FUNAI

ブルーレイディスクレコーダー

取扱説明書



はじめに 2
接続とかんたん一括設定 22
視聴する 56
録画する 64
再生する 104
消去する／編集する 136
ダビングする 153
外部機器を使う 174
各種設定 199
さまざまな情報 206

型番
FBR-HT2000
FBR-HT1000
FBR-HW1000
FBR-HW500

G-GUIDE® Blu-ray Disc™

本機の機能について

録画する



- **新番組・ドラマの初回を見逃さない**
  新番組おまかせ録画を設定する P.84
- **番組表からボタンひとつでかんたんに予約**
  一発予約 P.73
- **面白かった新番組は見終わったあと、すぐに繰り返し予約**
  新番組予約 P.113
- **外出先からでも、番組表を見て録画したい番組を予約**
  どこでも予約 P.180
  →くわしくは当社ホームページ(funai.jp/apps/)でご確認ください。

視聴する



- **探しやすい、全話連続再生**
  おすすめ再生 P.111
- **見終わった番組をボタンひとつでかんたんに消去**
  おすすめ再生、番組消去 P.117　録画一覧、番組消去 P.138
- **キッチンやバスルーム、外出先からでもスマホで視聴**
  どこでも視聴 P.180
  →くわしくは当社ホームページ(funai.jp/apps/)でご確認ください。

保存する



- **撮影したビデオの好きなシーンを残す**
  AVCHD方式の動画を取り込む P.166　チャプター編集 P.142

便利に使う



- **リモコンひとつでレコーダーも他社製のテレビも操作**
  テレビ操作対応リモコン P.41
- **暗い部屋でもスマホで操作**
  アプリリモコン
  →くわしくは当社ホームページ(funai.jp/apps/)でご確認ください。

即「したい!!」が見つかる逆引きリファレンス

● 好きなカテゴリーの番組やタレントの出演番組などを自動で録画

おまかせ録画を登録 …… P.84

● 録画時間を増やしてどんどん録画

番組表から録画モードを変更 …… P.18
USB-HDDの空き容量を増やす …… P.140

● スカパー!プレミアムサービスやCATV(ケーブルテレビ)を録画

スカパー!プレミアムサービスやCATVを録画する …… P.97

● 好きなタレントの出演番組をすぐに再生

おすすめ再生 …… P.111

● 番組の内容をすばやく把握

音声付き早見再生 …… P.122
1/10スキップ …… P.124

● 大切な番組をメディアに残す

SeeQVault-HDDにダビング …… P.154
ディスクにダビング …… P.157

● 家族で番組を録り分ける

フォルダ作成 …… P.148

● 見終わった番組をまとめて消去

録画一覧から消去 …… P.138

逆引きリファレンスのつづきはこちら …… P.284

もくじ

はじめに

ページ
本機の機能について……2
もくじ……4
安全のために必ずお守りください……10
ご使用の前に……16
● 本書について……16
● 本書で使用するマークの意味……16
各部のなまえとはたらき……18
● 本機前面……18
● 本機背面……19
● リモコン……20

接続とかんたん一括設定

準備の流れ……22
準備1 ▶ 付属品の確認……23
準備2 ▶ リモコンの準備……23
準備3 ▶ miniB-CASカードを入れる……24
準備4 ▶ アンテナやテレビとつなぐ……26
準備5 ▶ 電源を入れる……30
準備6 ▶「かんたん一括設定」をする……31
● かんたん一括設定をやり直す……40
リモコンを設定する……41
● 本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する……41
● 本機のリモコンで他の当社製ブルーレイディスクレコーダーを動作しないようにする……43
チャンネルの設定を変更する……44
● リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる…44
● チャンネルをスキップする……45
映りが悪いチャンネルを調整する……46
● 地上デジタル放送のアンテナを調整する……46
● BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する……47
県域設定を変更する……48
視聴可能年齢を設定する……49
メディアを用意する……50
● USB機器と接続する／SDカードを入れる……50
● ディスクの入れかた……52
画面表示の見かた……53
画面に表示されるアイコンについて……54
ホームについて……55

ページ

視聴する

番組を見る …… 56
- 放送中の番組を見る …… 56
- チャンネルを選ぶ …… 56
- テレビ放送に連動したデータ放送を見る …… 57
- 音声(言語)を切り換える …… 58
- 字幕(言語)を切り換える …… 58
- 映像(アングル)を切り換える …… 59
- マルチ番組の映像、音声などを切り換える …… 59
- 独立データ放送やラジオ放送を楽しむ …… 60
- 超解像設定(視聴中の番組を鮮明な画質に補正する) …… 60
- アンテナレベルを確認する …… 61
- デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する …… 61

外部入力の映像を見る …… 62
- ビデオデッキやビデオカメラの映像を見る …… 62
- CATV(ケーブルテレビ)やスカパー!で受信している映像を見る …… 63

録画する

録画の前に …… 64
- 録画するメディアについて …… 64
- 録画モードについて …… 65

放送中の番組を録画する …… 66

番組表(Gガイド)について …… 68
- 番組表を表示する …… 68
- 番組表の表示を切り換える …… 69
- 番組のジャンルを色分けして表示する …… 71
- 番組の詳細内容を確認する …… 71
- 指定した日の番組表を表示させる …… 72
- 予約一覧を確認する …… 72
- 番組表から録画モードを変更する …… 72

番組表から一発予約で予約する …… 73

注目番組一覧から予約する …… 74

番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する) …… 75
- ディスクの容量に合わせて録画する …… 78

番組を検索して予約する …… 79

手動で入力して予約する(日時指定予約) …… 81

自動で録画する(おまかせ録画) …… 84
- 新番組おまかせ録画を設定する …… 84
- おまかせ録画を登録する …… 85
- 登録したおまかせ録画を変更する …… 88
- 番組表からおまかせ録画を登録する …… 88

予約を確認・変更・消去する …… 91
- 設定済みの予約を確認する …… 91
- 設定済みの予約の内容を変更する …… 91
- 予約スキップ(毎週/毎日録画を一時停止する) …… 94
- 不要な予約を取り消す …… 95

録画を一時停止・停止する …… 96

ページ

録画する

LAN録画で録画する …… 97
外部入力の映像を録画する …… 99
- CATV(ケーブルテレビ)やスカパー!から録画する …… 99

録画についての補足説明 …… 101

再生する

録画した番組を再生する …… 104
- レジュームポイントについて …… 106
- 録画一覧(録画した番組の一覧)について …… 108

おすすめ再生をする …… 111
- おすすめ再生について …… 111
- おすすめ再生で再生する …… 112

ディスクを再生する …… 118
- ブルーレイディスクやDVDを再生する …… 118
- ブルーレイ3D™ディスクを再生する …… 119
- AVCHD方式の動画が記録されたディスクを再生する …… 120
- 音楽用CDを再生する …… 120
- 番号を指定して再生する …… 121

再生するときの操作 …… 122
- 速度を変えて再生する …… 122
- スキップ・頭出し(見たい番組や場面までとばす) …… 124
- リピート再生(繰り返して見る) …… 126
- プレイリストを再生する …… 127
- 追っかけ再生(録画中の番組を最初から見る) …… 127

再生するときに便利な機能 …… 128
- 音声(言語)や字幕(言語)、アングル(映像)を切り換える …… 128
- ノイズリダクション(再生映像のノイズを低減する) …… 130
- 超解像設定(再生映像の画質を鮮明な画質に補正する) …… 130
- BD-Videoの子画面を切り換える …… 131
- BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する …… 132
- PINコードを入力する …… 132

スライドショーで写真を再生する …… 133
- 写真一覧画面について …… 133

再生についての補足説明 …… 135

消去する／編集する

番組消去や番組編集の前に …… 136
- 本機でできる消去と編集について …… 136

番組を消去する …… 137
- HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD内の不要な番組を消去する …… 137
- 録画一覧から不要な番組を消去する …… 138
- ディスク内にある不要な番組を消去する …… 139

録画モード変換(HDD／USB-HDDの空き容量を増やす) … 140

チャプターを編集する …… 142
- チャプターを分割する …… 142

ページ

消去する／編集する

- チャプターを結合する …… 142
- チャプターを消去する …… 143

番組を分割・結合する …… 144

- 番組を分割する …… 144
- 番組を結合する …… 145

番組名を変更する・番組を保護する …… 146

- 番組名を変更する …… 146
- 番組を保護する …… 147

番組をフォルダで管理する…… 148

- ジャンルフォルダについて …… 148
- フォルダを作る …… 148
- フォルダの名前を変更する …… 149
- 番組を他のフォルダに追加する …… 150
- フォルダの順番を変更する …… 151
- フォルダに入っている番組について …… 151
- フォルダを消去する …… 152

ダビングする

目的別ダビングガイド…… 153

複数の番組をまとめてダビングする…… 154

複数の番組をまとめてディスクにダビングする…… 157

VR方式のDVDへ高速ダビングする …… 160

ビデオデッキやビデオカメラなどからダビングする…… 163

お引越し(LAN)でダビングする
(本機からネットワーク上の機器にダビングする)…… 164

AVCHD方式の動画をダビングで取り込む …… 166

ダビングについての補足説明…… 168

- ダビング制限について …… 168
- 録画モード(画質)とダビング速度について …… 170
- ダビング速度について …… 172
- コピーと移動について …… 172

外部機器を使う

スマートフォンやタブレットで視聴する…… 174

- 変換配信(本機で録画した番組を視聴する) …… 175
- 現在放送中の番組を配信する(ライブ配信) …… 175
- 録画した番組を持ち出す …… 175
- モバイル持ち出し番組を作成する …… 176

ホームネットワークを使う…… 178

- ホームネットワークを使って再生する …… 178

FUNAI Connect アプリ
(どこでも視聴／どこでも予約)を使う…… 180

- FUNAI Connect アプリを使う前に…… 180
- どこでも視聴でできること …… 180
- どこでも予約でできること …… 180
- 外出先から番組を見る …… 181
- 外出先から録画予約する …… 181

外部機器を使う

ページ
ネットワークを接続・設定する …… 182
- LANケーブルを使って接続する …… 182
- 無線LANを使って接続する …… 183
- 通信設定 …… 185
- 機器連携設定 …… 189
- アクセス制限を設定する …… 190
- モバイルアクセス制限を設定する …… 191
- FUNAI Connect アプリの設定をする …… 192

USB-HDD／SeeQVault-HDDを接続・設定する …… 194
- USB-HDDってどんな機器？ …… 194
- SeeQVault-HDDってどんな機器？ …… 194
- USB-HDDをつなぐ前に …… 194
- USB-HDDをつなぐ …… 195
- USB-HDDを登録する …… 197
- SeeQVault-HDDを初期化する …… 198

各種設定

機器制御機能について …… 199
- 機器制御機能ってどんな機能？ …… 199

自己診断機能について …… 200
- 自己診断機能を使う …… 200
- 自己診断機能の項目と診断内容 …… 200

ソフトウェア情報と更新について …… 204
- ソフトウェアのバージョンを確認する …… 204
- デジタル放送電波を使って更新する …… 204
- サーバーを使って更新する …… 205

さまざまな情報

文字入力のしかた …… 206

本機や放送局からのお知らせを確認する …… 208
- お知らせメールについて …… 208

視聴制限を設定する …… 210
- 暗証番号を変更する …… 212

いろいろな設定を変える(本体設定) …… 213
- 本体設定を使う …… 213
- 本体設定の項目と設定内容 …… 214
- 言語コード一覧 …… 218

放送関連の設定を変える(放送受信設定) …… 219
- 放送受信設定を使う …… 219
- 放送受信設定の項目と設定内容 …… 219

本機で使えるメディアについて …… 221

本機を初期化する …… 223

ディスクを初期化する …… 224
- 新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する …… 224
- 新品のDVDを初期化(フォーマット)する …… 225

さまざまな情報

ページ
メディアを管理する…… 226
- ディスク／USB-HDD／SeeQVault-HDDの名前を変更する… 226
- ディスクを保護する・保護を解除する …… 227
- 本機で記録したディスクをファイナライズする …… 227
- ファイナライズを解除する …… 228
- HDD／USB-HDDの記録内容を全部消去する …… 229
- HDDのモバイル持ち出し番組または DVD持ち出し番組を全部消去する …… 230
- ディスクを初期化（フォーマット）し直す …… 230

同時にできること…… 231
二カ国語・マルチ番組・字幕について…… 240
本機で受信できる放送の種類…… 241
各メディアに関するその他のお知らせ…… 244
- HDDについて …… 244
- USB-HDDについて …… 244
- ディスクについて …… 245
- SDカードについて …… 246
- USB機器について …… 246
- 本機で再生できるJPEGファイルについて …… 247
- 番組・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて …… 247

記録時間一覧表…… 248
テレビ画面に表示されるメッセージ…… 251
困ったときは…… 253
- よくあるご質問 …… 253

症状に合わせて解決法を調べる…… 256
- おかしいな？と思ったときの調べかた …… 256

使用上のお願い…… 265
用語解説…… 274
保証とアフターサービス…… 280
症状診断シート…… 281
仕様…… 282
したいことがすぐ分かる! 逆引きリファレンス …… 284
さくいん…… 286

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 図記号について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの	⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 図記号の例



● 記号は必ず行っていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。



⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- 図記号の意味

	必ず指示に従い、行ってください。		絶対に濡れた手で触れないでください。
	絶対に分解／修理はしないでください。		破裂に注意してください。
	絶対に濡らさないでください。		絶対に行わないでください。
	高温に注意してください。		絶対に水場では使用しないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		注意してください。
	絶対に触れないでください。		

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

⚠警告

■ ご使用になるとき


禁止

本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。


水漏れ禁止

本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

- こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。


水濡れ禁止


水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。


改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。


注意

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。


禁止

本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない

- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。


放置禁止

miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない

- miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に差し込んでください。
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電池の取り扱い


禁止

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。


注意

電池は乳幼児の手の届くところに置かない

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。
通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。


交流100V

本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

- 指定（表示）以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。


ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。


接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない

- 落雷すると感電することがあります。


禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、水や液体をかけたりしない

- 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。


禁止

電源コードを正しく使用する

- **束ねない**
- **延長・タコ足配線しない**
- **固定しない**

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

⚠警告

電源コード・プラグの取り扱い(つづき)


禁止

電源コードを傷つけない

- 破損させない
- 加熱しない
- 引っぱらない
- 加工しない
- 切断しない
- ねじらない
- 曲げない
- 重いものをのせない

● そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


禁止

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

● 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
● 時々点検をしてください。


禁止

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない

● 火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

● 感電・火災の原因となります。


注意

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

● 感電の原因となります。


注意

電源コードを動かすと電源が入ったり、切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

● コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。


使用禁止


プラグを抜く

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)


使用禁止


プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。


使用禁止


プラグを抜く

本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。


注意


プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。


注意


プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

■ 設置・移動するとき


塩害注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。


使用禁止

本機を車の中で使用しない 自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販されている車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。


設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。


禁止

本機の上に乗らない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。


禁止

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因となります。


注意

アンテナ工事は専門業者にお願いする

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。


正しく設置する

安定した場所に設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱い


プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。


プラグを抜く

次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。


プラグを抜く

本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす

- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。


禁止

電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。
- 必ず電源プラグを持って抜いてください。


禁止

電源コードを引き回さない

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。


禁止

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

- 発煙・発火の原因となります。


高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ ご使用になるとき

年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する

掃除

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 電池の取り扱い

乾電池は正しく挿入する

正しく入れる

- プラス(+)とマイナス(ー)の向きを正しく入れる
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定されていない電池を使用しない

使用禁止

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

使用禁止

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

乾電池の取り扱いに注意

破裂注意

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

- 破裂する危険があります。

■ 3D映像を視聴するとき

3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じたら、視聴を中止する
3Dメガネを使用中にはっきりと二重に映像が見えたら、視聴を中止する

視聴中止

- そのまま視聴すると、長時間の視聴による目の疲れや体調不良の原因となることがあります。
- 3D映画などの場合は、1作品の視聴を目安に適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。また、必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。また、回復するまで(2時間程度)は自動車などの運転はしないでください。
  回復するまでの時間は個人差がありますので、ご自身で判断してください。

次のようなときは3Dメガネを使用しない

使用禁止

- 光過敏の既往症がある
- 心臓に疾患がある
- てんかんの既往症がある
- 体調不良や疲れているとき
- 酒気を帯びている
- 睡眠不足
- 妊婦

- 症状や体調の悪化の原因となることがあります。

お子様の視聴年齢は5~6歳以上を目安とする

5~6歳以上

- 体調不良、目の疲れの原因となることがあります。
- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩をとるよう監督してください。

3D映像を視聴中に誤ってモニター画面や人をたたかない
3D映像を視聴するときは、周囲に壊れやすいものを置かない

禁止

- 画面との距離を誤って画面をたたいたり、身体を動かしたりして周囲のものを壊すなど、けがや故障の原因となることがあります。

置き場所や取り扱い

■ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源コードを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
■本機をテレビや他のレコーダーと上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりディスクが出ないなどの故障の原因となることがあります。
■ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
■本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(外付けハードディスクなど)の取りはずしや、ディスクを取り出した状態で行ってください。
■磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
■タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
■キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
■ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
■長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、ディスクが残っている場合は本機から取り出し、電源を切っておいてください。
※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源を入れて作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
■本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
■車載での使用はしないでください。
■本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃を行ってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。

アンテナについて

■妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■風雨にさらされているので、定期的に点検·交換することをおすすめします。
■アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

レーザーピックアップについて

■本書の該当部分と「自己診断機能について」P.200をお読みになり、操作を行っても本機が正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検·清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。**市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは本機では使わないでください。故障の原因となります。**

お手入れについて

■キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
■汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
■シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

修理について

■**本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

ご使用の前に

本書について

■本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
■「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
■本機や本機の操作画面などで「ブルーレイディスク」を「BD」と表現していることがあります。
■画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
■本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
■本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
■本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。
用語については、「用語解説」P.274をご覧ください。
■本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージや⃠が表示される場合があります。
本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
■製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
■本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞきFBR-HT2000です。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
ご注意	取扱上のご注意を記載しています。
お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
P.1	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
ホーム からでも 操作OK!!	ホーム を押しても基本の手順と同じ操作や設定などが行えます。
➡	決定 や ▶ などで選択すること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

メディアや方式を表すマーク

HDD	内蔵ハードディスク
USB-HDD	外付けハードディスク
SeeQVault -HDD	SeeQVault対応外付けハードディスク
BD	BDAV方式のBD-RE／BD-Rディスク
BD-Video	映画など、市販品のBD-Videoディスク
DVD-Video	映画など、市販品のDVD-Videoディスク
CD	音楽用CD
AVC方式	AVCREC™方式のDVD-RW／DVD-Rディスク
VR方式	VR方式のDVD-RW／DVD-R／DVD-RAMディスク
Video方式	Video方式のDVD-RW／DVD-Rディスク

AVCHD方式	AVCHD方式の映像が記録された以下のメディア DVD-RW／DVD-R／DVD-RAMディスク USB機器※1、2 SDカード
JPEG形式	JPEGファイルが記録された以下のメディア BD-RE／BD-Rディスク DVD-RW／DVD-Rディスク CD-RW／CD-Rディスク USB機器※2 SDカード

※1　USB機器またはSDカードに記録されたAVCHD方式の映像は、本機の内蔵ハードディスクにダビングしてから再生してください。USB機器またはSDカードから直接再生することはできません。AVCHD方式の映像について、くわしくはP.274をご覧ください。
※2　USB機器について、くわしくはP.246をご覧ください。

リモコンについて

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の際は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池（アルカリ乾電池とマンガン乾電池など）を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単４形乾電池（1.5 V 2 本）をお使いください。
- オキシライド乾電池（ZR6）、エボルタ乾電池（LR6）などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 以下の場合は乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。）
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
  - リモコンモードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定（**[リモコンモード3]**、「FUNAI」）に戻ってしまうとき。
- リモコンの乾電池を交換するとリモコンモードの設定P.43やテレビメーカーの設定P.41がお買い上げ時の設定（**[リモコンモード3]**、「FUNAI」）に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

▷リモコンが効かない場合について

- 本機側とリモコン側のリモコンモードが合っていない可能性があります。リモコンのリモコンモードを設定してください。P.43
- 乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。P.23

▷リモコンの使用範囲について

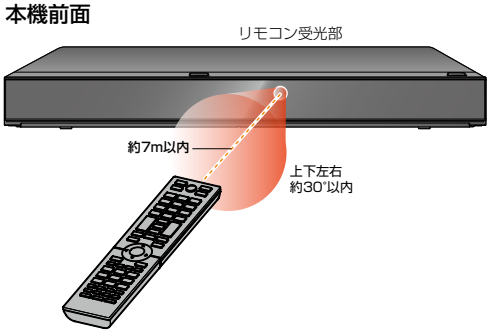
リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離…本機正面から 7m以内

角度…本機正面から 上下約30°以内（5m以内）
左右約30°以内（5m以内）

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

本機前面



▷リモコンの取扱い

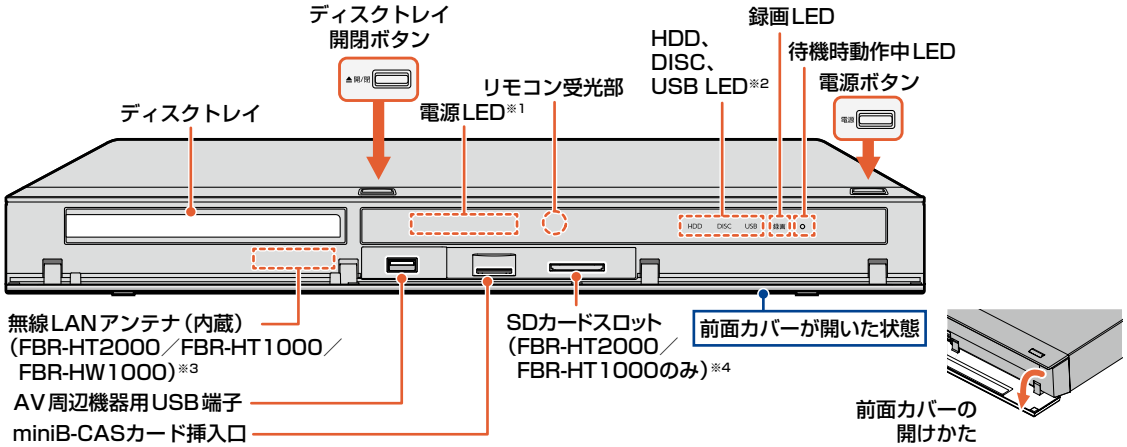
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

お知らせ

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dメガネは、どちらも赤外線信号を使用します。
  本機のリモコン受光部とテレビの3Dメガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがありますので、なるべく離して使用してください。

各部のなまえとはたらき

本機前面



本機が動作中のとき

以下のようにLEDが点灯･点滅します。

HDD、DISC、USB LED

点灯： 電源「入」のときに操作できるメディア
点滅： 高速ダビング中、等速ダビング中、お引越し（LAN）ダビング中
点滅（HDDのみ）： ソフトウェアアップデート更新中
点滅（DISCのみ）： ファイナライズ中

録画LED

点灯： 録画中、LAN録画中
点滅： 予約準備中、録画一時停止中、ディスクのファイナライズ中

待機時動作中LED

点灯： **電源「切」の状態で以下のような場合**
予約録画準備中、録画中、ダビング中、録画モード変換中、モバイル持ち出し変換中、クイック起動設定時間帯、番組データ取得中、放送波による自動更新中、番組を配信中
点滅： 起動中

電源LED

点灯： 動作中、電源「入」にしてから動作可能になるまで（起動中）
消灯： 電源「切」※1

※1 使用状況によっては、電源を「切」にしてからLEDが消灯するまでに時間がかかることがあります。
※2 HDDは内蔵ハードディスク、DISCはディスク、USBは外付けハードディスクの状態を表しています。（前面のAV周辺機器用USB端子に接続されるものは含みません）
※3 FBR-HW500には無線LANアンテナは内蔵されていません。
※4 FBR-HW1000／FBR-HW500にはSDカードスロットはありません。

お知らせ

- 本機側とリモコン側のリモコンモードが異なる場合に、リモコンの操作をすると、本機前面の録画LEDと待機時動作中LEDが点滅します。P.43

電源プラグについて

■電源プラグを抜くときは、電源をオフにして、本機の電源LEDと待機時動作中LEDが消灯したことを確認してから電源プラグを抜いてください。

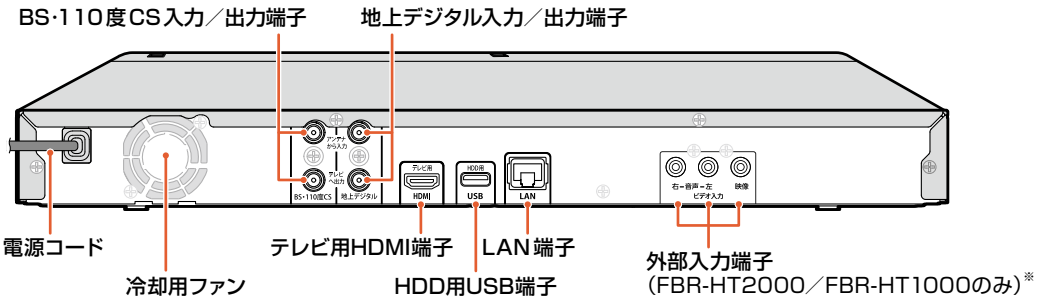
■本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタル出力端子やBS･110度CS出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグは常にコンセントに差し込み（通電状態にして）、ホーム➡**[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[共通設定]➡[アンテナ出力]➡[入]**にしておいてください。くわしくは「アンテナ出力」P.220をご覧ください。

■本機の動作中は電源プラグを抜き差ししないでください。正常に録画できなかったり、録画中、編集中、ダビング中のHDDやディスクが使用できなくなったりする恐れがあります。

ご注意

- 本機内部の放熱をよくするために、背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm以上空けてください。

本機背面



※ FBR-HW1000／FBR-HW500には外部入力はありません。

ご注意

- FBR-HT2000／FBR-HT1000の場合は、USB-HDDの種類によってUSB-HDDに同時録画できる番組数が異なります。

	USB 3.0	USB 2.0
FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000	3番組まで	2番組まで
FBR-HW1000 ／ FBR-HW500	2番組まで	

アンテナやアンテナ線(同軸ケーブル)について

■デジタル放送用のアンテナやケーブルまたはプラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■BS·110度CSアンテナは電源の供給を必要とします。本機はBS·110度CSデジタル放送用アンテナへ電源の供給ができます。くわしくは「BS·110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ」P.26をご覧ください。

■BS·110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたについて、くわしくはアンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

■平行フィーダー線は受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。

ご注意

- 同軸ケーブルを本機につなぐときに工具を使わないでください。工具で締めると、本機の地上デジタルおよびBS·110度CSの入力／出力端子が破損する恐れがあります。



HDMIケーブルについて

■映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質·高音質な再生が楽しめます。また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。

■HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）を使用して、本機とテレビとの連動操作を可能にする機能が使えます。

■HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。(ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れてしまいます。)

■HDMIケーブルは、タイプCなどプラグの大きさや形状によって接続できないものもあります。

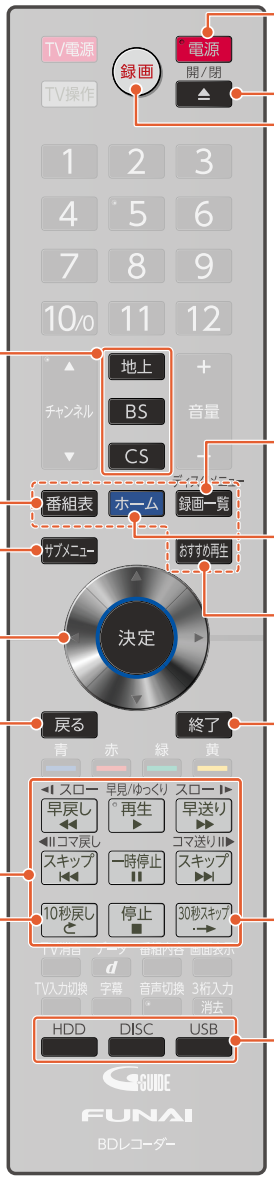
■本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI－HDMIケーブルには対応していません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

お知らせ

- 背面の冷却用ファンは、本機の電源が「入」、**[クイック起動]**の設定時間帯、予約録画時間帯、番組データ受信時に常時回ります。

リモコン

ふだんよく使うボタン



電源を「入」／「切」する P.30

ディスクトレイを開く／閉じる P.52

番組を録画する P.66

放送波を切り換える P.56
- 地上……地上デジタル放送
- BS……BSデジタル放送
- CS……110度CSデジタル放送

ディスクメニューまたは録画一覧を表示する P.104

番組表（Gガイド）を表示する P.57、P.68

ホームメニューを表示する P.55

サブメニューを表示する

おすすめ再生を表示する P.112

▲・▼・◀・▶ ： 選ぶ
決定 ： 決定する

設定を終了して、ホームメニューや画面表示を消す

1つ前の画面に戻る

30秒スキップを実行する※ P.124

再生や再生中の操作で使用する

メディアを切り換える P.66 P.108
HDD：内蔵ハードディスク
DISC：ディスク
USB：外付けハードディスク
（前面のAV周辺機器用USB端子に接続されるものは含みません）

10秒戻しを実行する※ P.124

※本体設定で時間変更できます。P.214

お知らせ
- 電源 以外でも、上の図の［　　］で囲われているボタンを押して本機の電源を入れることができます。

さらに便利に使いこなすボタン



テレビの電源を「入」／「切」する P.30

テレビのリモコン信号に切り換える P.42

チャンネルを順送りまたは逆送りで選局する P.56

テレビの音声を消す

テレビの入力を切り換える

データ放送に切り換える P.57

字幕を切り換える P.58

数字ボタン P.56
チャンネル番号を選ぶ
番号や文字を入力する P.206

テレビの音量を調節する P.41

操作画面などで使用する P.18

本機の情報を表示する P.53

録画した番組を消去する
（チャンネル番号を入力する）
P.56 P.138

番組内容を表示する P.18

音声を切り換える P.58

ご注意

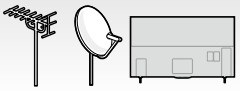
- リモコンが正しく操作ができないときは、「症状に合わせて解決法を調べる」P.256をご覧ください。
- 乾電池の入れかたについてくわしくは P.23 をご覧ください。
- 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製ブルーレイディスク／DVDプレーヤーやビデオデッキの操作はできません。
- ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。

準備の流れ

準備1 付属品の確認  P.23

準備2 リモコンの準備  P.23

準備3 miniB-CASカードを入れる
デジタル放送を視聴するために必要です。  P.24

準備4 アンテナやテレビとつなぐ  P.26

必要により

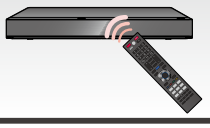
必ず行う

HDMIケーブルを使ってAVアンプをつなぐ
HDMIケーブルを使ってAVアンプと接続することで、
臨場感のある音声を楽しむことができます。  P.29

ネットワークに接続する
ネットワークに接続することで、
さまざまな機能を楽しむことができます。 

P.182

USB-HDDをつなぐ
USB-HDD（市販品）をつなぐと、
録画時間をより増やすことができます。  P.195

準備5 電源を入れる  P.30

準備6 「かんたん一括設定」をする
本機を使うための基本的な設定がかんたんにできます。 

P.31

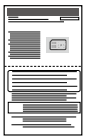
準備１ 付属品の確認

□の中に、チェックマーク(✔)を付けてすべての部品が正しく付属されているかをご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- □ リモコン／１台
  (FRM-100BDR)



- □ miniB-CASカード／１枚
  (台紙に貼り付けてあります。)



地上デジタル／BS･110度CS共用

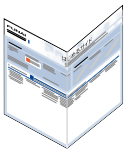
- □ 取扱説明書／１冊



- □ 同軸ケーブル(0.9m)／１本
  (地上デジタル放送専用)



- □ はじめるガイド／１枚



- □ 単４形乾電池(R03)／２本



動作確認用

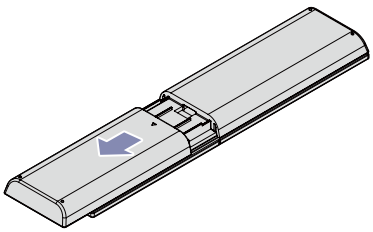
- □ 保証書／１枚



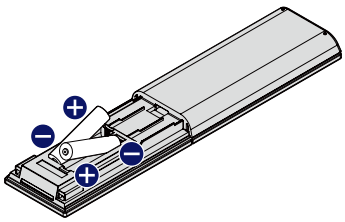
- □ B-CASカードのご利用方法／１部

準備２ リモコンの準備

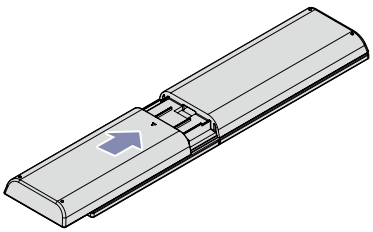
❶ 裏ぶたをはずす



❷ ⊕⊖をよく確かめて
⊖側から正しく入れる



❸ 裏ぶたをつける



ご注意

- **アルカリ乾電池ご使用の注意**
  アルカリ乾電池は外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触したとき、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。
- 乾電池および乾電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かないでください。
- 乾電池は⊖側から入れてください。

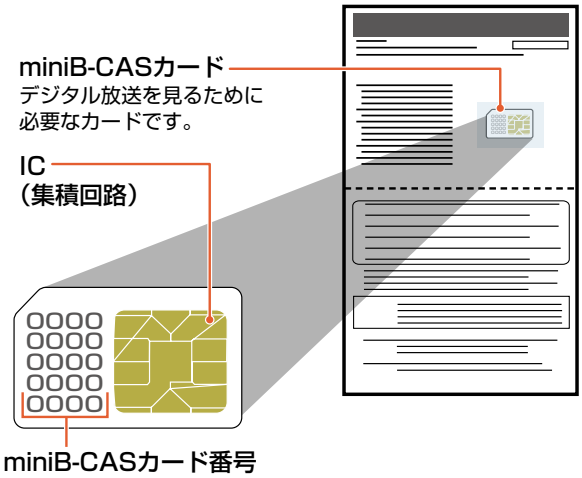
お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4 形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 乾電池ご使用の際は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー･同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。

準備３ miniB-CASカードを入れる

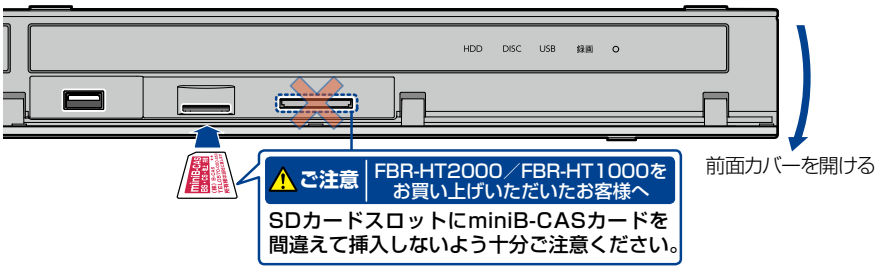
miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に差し込んでおくことをおすすめします。付属のminiB-CASカードのID番号は本書の「ご購入メモ」の「miniB-CASカード番号」にも記入しておいてください。P.281



miniB-CASカードの入れかた

• 赤色面を上に向け、★★マークのある側からminiB-CAS カード挿入口に「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。



お知らせ

● miniB-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

ご注意

- カードを本機に挿入する前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」P.281にカード番号を記入してください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機の使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。
  - お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されます。

お知らせ

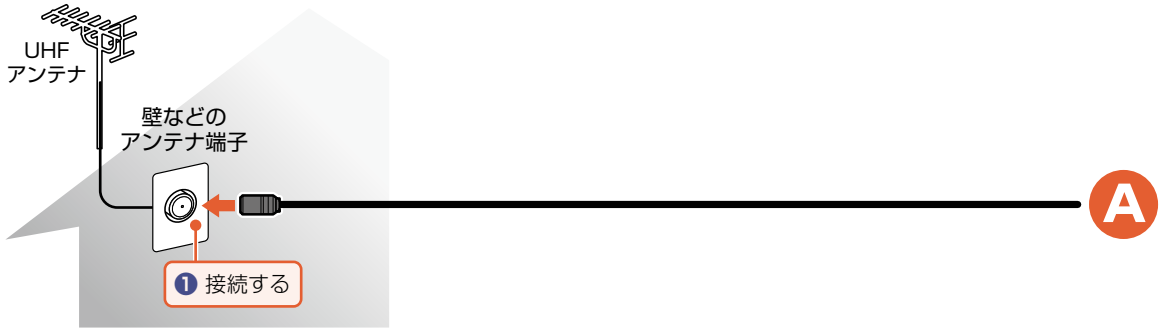
- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。
  破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先（2017年4月現在）
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL　0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
  受付時間 10:00～20:00（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

準備４ アンテナやテレビとつなぐ

■ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

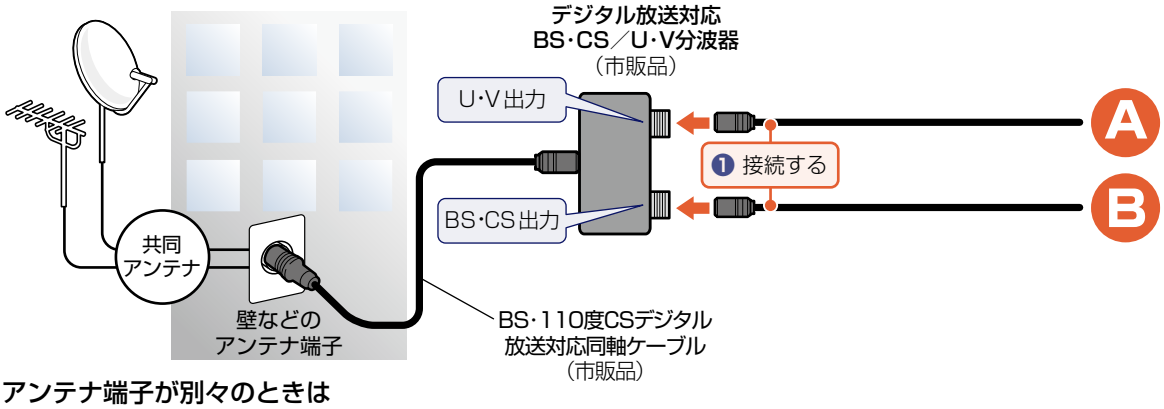


BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

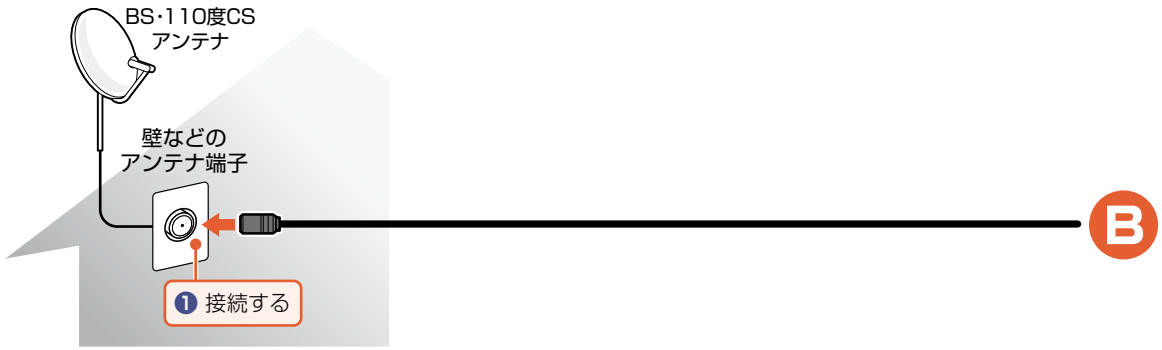
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が１つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

▷アンテナ端子が1つのときは

- マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が１つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

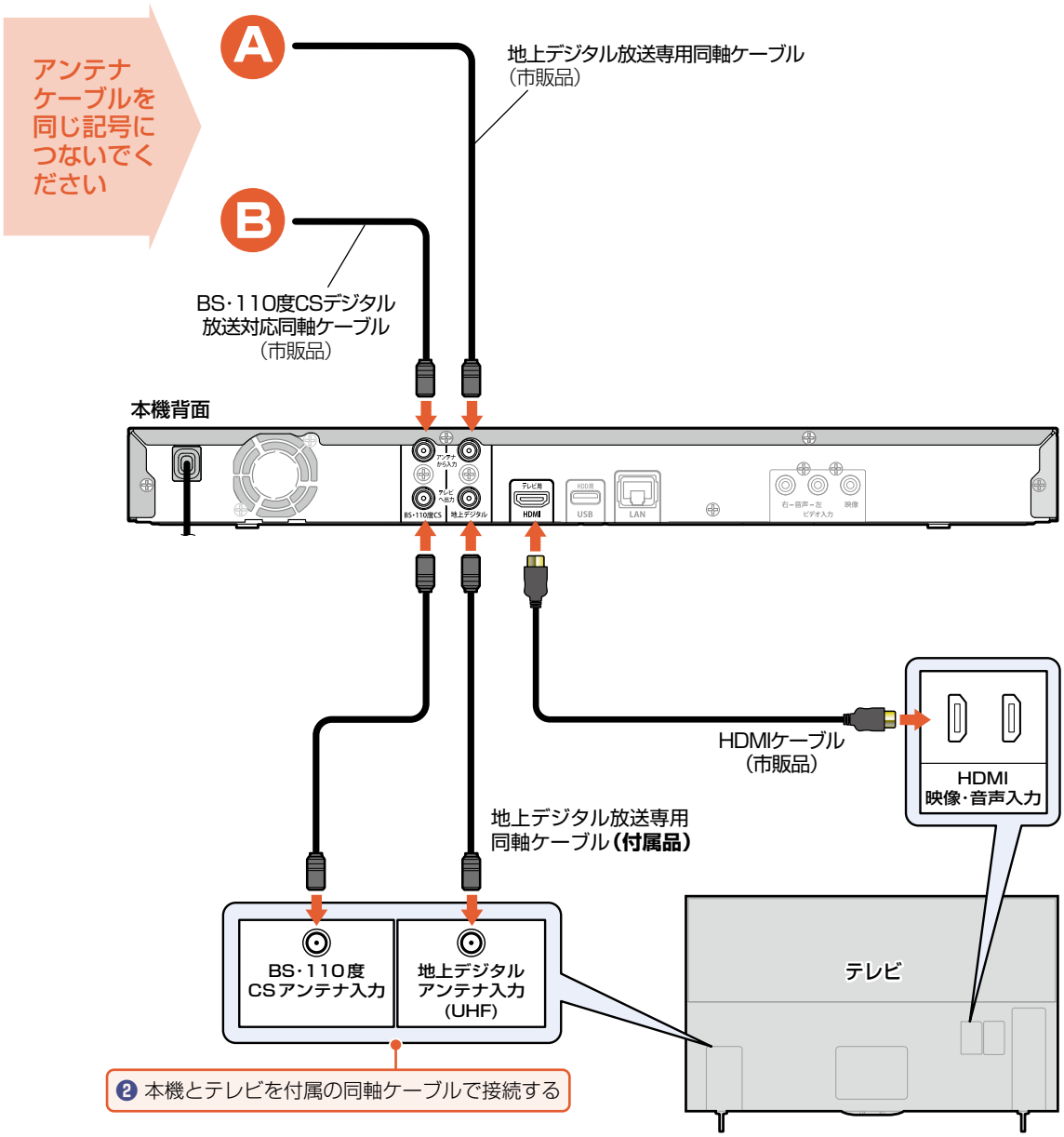


▷アンテナ端子が別々のときは



ご注意

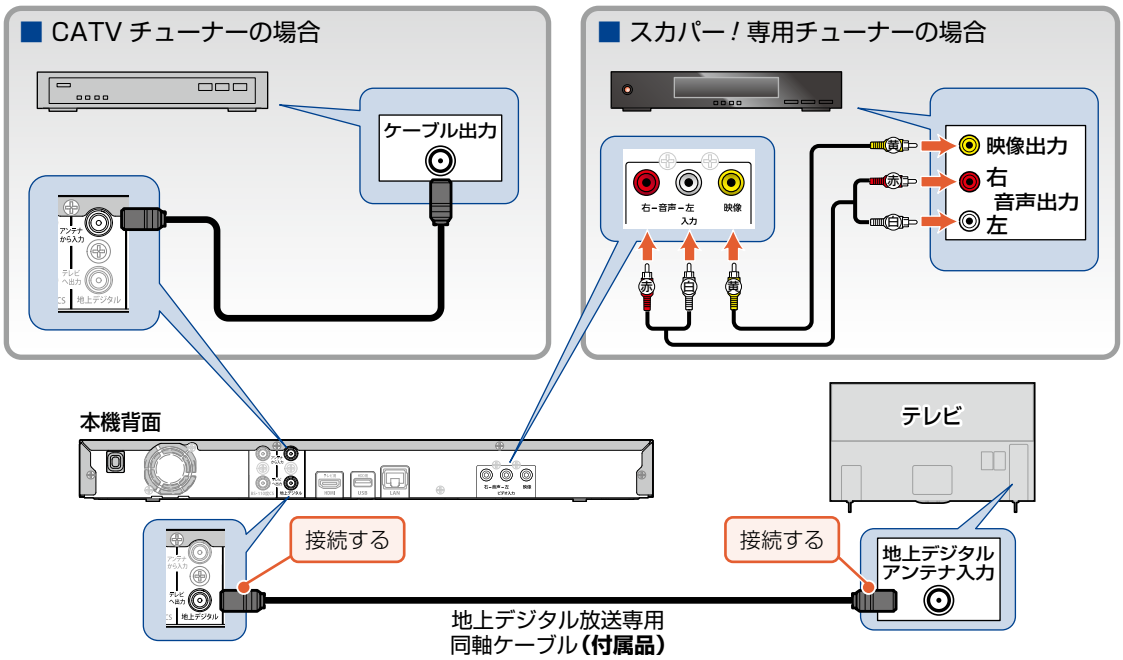
- BSアンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定を行ってください。
  電源設定を正しく行わないと、受信ができないことがあります。P.220
- 付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用です。BS・110度CSデジタル放送の接続には使用しないでください。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。
  （ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れ、視聴または録画に支障がでます。）



CATVチューナーまたはスカパー！専用チューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。
実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器やCATV（ケーブルテレビ）会社ごとに詳細が異なります。くわしくはチューナーに付属の取扱説明書をご覧のうえ、CATV会社または、スカパー！へお問い合わせください。

- 地上／BS・110度CSデジタル放送をCATVのホームターミナルやセットトップボックスの映像出力から録画したときは、HD放送でも標準画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。
- 本機とスカパー！専用チューナーを映像／音声接続コードでつなぐと、標準画質での録画となります。P.99
  本機とスカパー！専用チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画できます。P.97



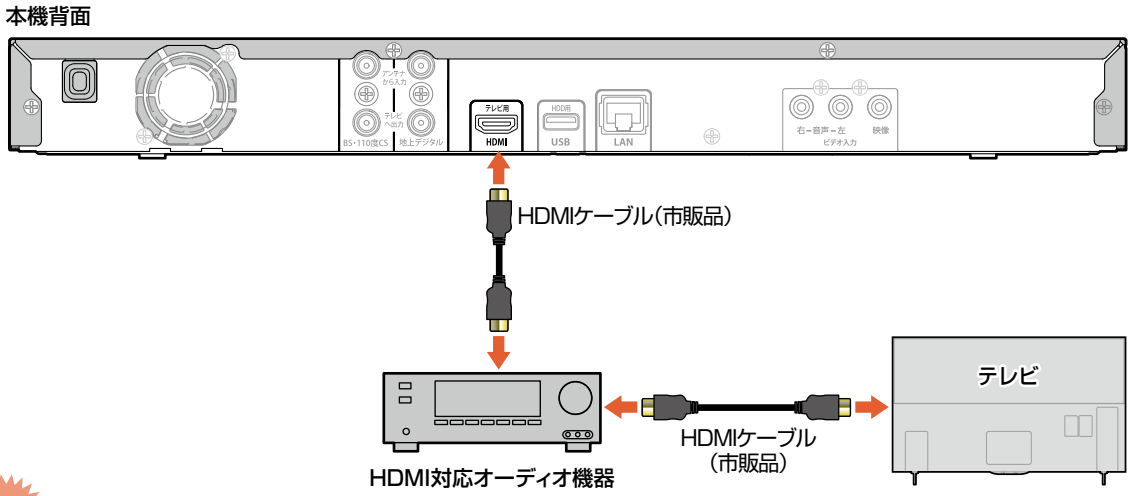
お知らせ

- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのまま送る方式です。ご加入のCATV会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。CATV経由の地上デジタル放送は、本来のUHFチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。

AVアンプとつなぐ

PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。
また、ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス、ドルビーオーディオ - ドルビー TrueHD、DTS-HD®の各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。

■HDMIケーブルの接続には、HDMIロゴのあるハイスピード対応HDMIケーブル（市販品）をお使いください。（ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れてしまいます。）



ご注意

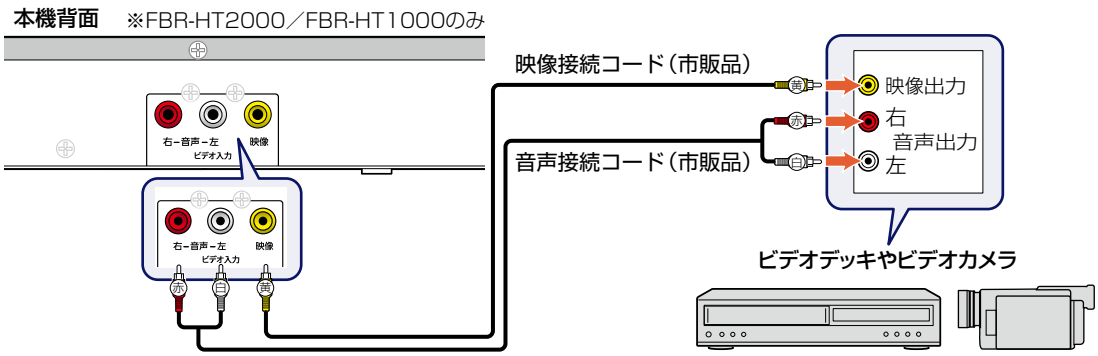
- HDMIケーブルを使って接続した場合は、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。くわしくはAVアンプやテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI対応オーディオ機器によっては、**[機器制御]**機能をご利用できないことがあります。
- 4K2K映像を視聴する場合は、4K対応のアンプをご使用ください。

ビデオデッキやビデオカメラと接続する※

ビデオデッキやビデオカメラの映像を本機で見たりP.62、本機にダビングしたりすることができます。P.163

ご注意

- 本機とビデオデッキやビデオカメラの電源を「切」にしてから、接続してください。
  - ビデオカメラの映像をダビングするときは、ACアダプターをご使用ください。ダビング中にビデオカメラのバッテリーが消耗すると、正しくダビングできないことがあります。



お知らせ

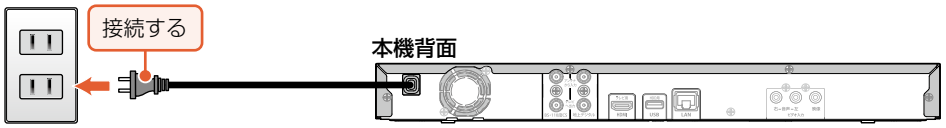
- USB機器と本機の接続や、ディスク、SDカードの入れかたについて、くわしくは「メディアを用意する」P.50をご覧ください。

次ページへつづく

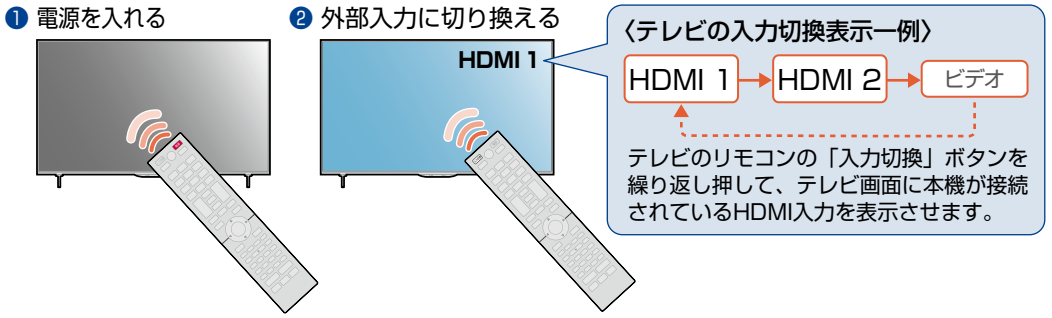
準備5 電源を入れる

電源プラグを差し込む

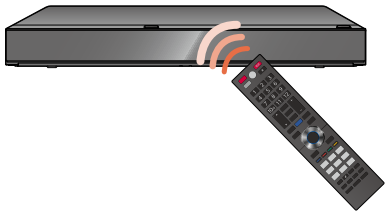
- 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込むと、電源LEDが点灯、待機時動作中LEDが点滅し、本機が通電状態になります。
- 待機時動作中LED点滅中は操作できません。待機時動作中LEDが消えると、本機の電源を「入」にして、操作できるようになります。



テレビの入力を切り換える



本機の電源を入れる



- 電源が入ると電源LEDが点灯し、使用可能になるまで待機時動作中LEDが点滅します。
- 「かんたん一括設定」の開始画面が表示されるので、続けて「「かんたん一括設定」をする」P.31〜P.40をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。

準備6 「かんたん一括設定」をする

▶ 準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に **[かんたん一括設定]** の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

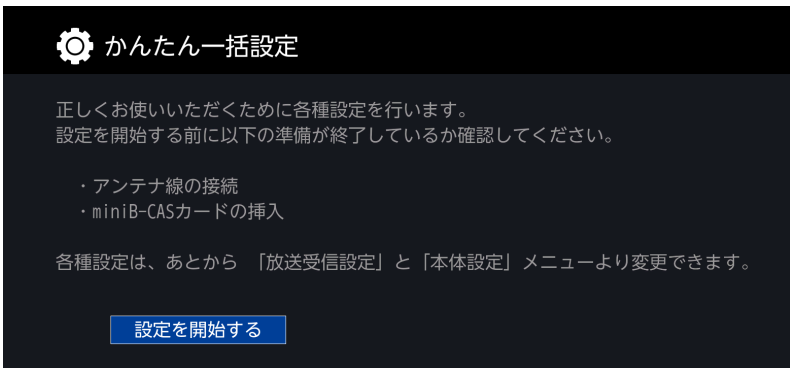
- **[かんたん一括設定]** は必ず**アンテナが接続された状態**で、番組が放送されている時間帯に行ってください。放送がない時間帯に行うと、信号が受信できないためにチャンネル設定が正常にできず、チャンネルが選択できない状態となります。
- **[かんたん一括設定]** 実行中は電源プラグを抜かないでください。
- **[かんたん一括設定]** 実行中に 電源 を押すと、本機の電源は切れますが **[かんたん一括設定]** が完了したことにはなりません。次回起動時に **[かんたん一括設定]** を最後まで設定してください。
- **[かんたん一括設定]** 実行中、開/閉 を押すとディスクトレイは開閉されますが、ディスクの再生はできません。**[かんたん一括設定]** を最後まで設定してからディスクを再生してください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、**[かんたん一括設定]** をやり直したいときは P.40 をご覧ください。

▷ ネットワークを利用するときは

- あらかじめ、本機を接続するネットワーク環境を準備してください。P.182

■チャンネル設定

1 電源 を押して本機の電源を入れる





- **[かんたん一括設定]** の開始画面が表示されます。

▷ はじめて電源を入れたときに画面に何も表示されないときは

次のことを確認してください。

- 本機⇔テレビをHDMIケーブルでつないでいますか。
- HDMIケーブルや電源プラグが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。HDMIケーブルや電源プラグの接続方法について、くわしくは P.26～P.28 をご覧ください。
- テレビの入力切換で本機を接続したHDMI入力に切り換えていますか。

2 設定を開始する が選ばれているので 決定 を押す

次ページへつづく

3 アンテナが本機と接続されていること、miniB-CASカードが挿入されていることを確認してから、次へ が選ばれているので 決定 を押す



- 本機背面の地上デジタル入力端子と壁などのアンテナ端子を、市販品の地上デジタル放送専用同軸ケーブルであらかじめ接続しておいてください。くわしくは P.26 をご覧ください。
- miniB-CASカードは赤色面を上に向け、★★マークのある側からminiB-CASカード挿入口にまっすぐ差し込み、「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。くわしくは P.24 をご覧ください。
- 決定 を押してもエラーメッセージが表示される場合は、閉じる が選ばれているので 決定 を押して、もう一度miniB-CASカードが正しく挿入されているか確認のうえ、手順3をやり直してください。

4 通常(本機以外の機器を使用しないとき)は リモコンモード3 が選ばれているので 決定 を押す

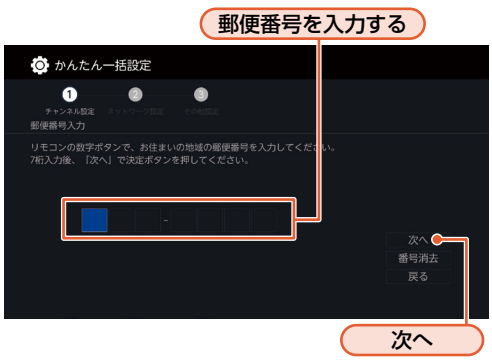
▷ リモコンモードを変更するときは

▲·▼で リモコンモード1 または リモコンモード2 を選んで 決定 を押してください。

その後、画面に表示されたメッセージに従ってリモコンの設定を行い、最後に 決定 を押してください。

5 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力すると、次へ が選ばれるので 決定 を押す

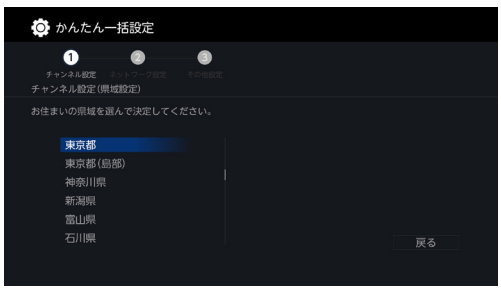
- [かんたん一括設定]済みのHDMI-CEC機能に対応している当社製テレビ(5000/4100/4000シリーズ)と接続すると、テレビの設定情報を取得して手順5と手順6をスキップしますので、手順7に進んでください。(設定情報が取得できない場合は手順5と手順6を行う必要があります。)



▷ 入力を間違えたときは

▲·▼で 番号消去 を選んで 決定 を押して、一括消去するか、▲·▼·◀·▶で戻って入力し直してください。

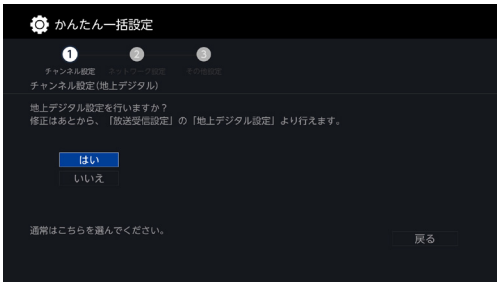
6 ▲·▼でお住まいの県域を選んで 決定 を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、東京都(島部) を選びます。
- 鹿児島県の南西諸島地域は、鹿児島県(島部) を選びます。

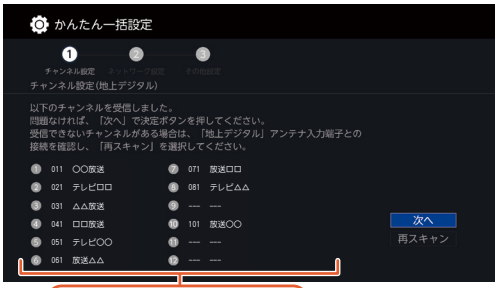
7 地上デジタル設定の確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す





- スキャンが始まります。(スキャンが完了するまで10分程度かかることがあります。)
- いいえ を選んで 決定 を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキャンを行いません。手順10に進んでください。
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、「チャンネル設定(地上デジタル)」画面に結果が表示されます。

8 ▲·▼で 次へ を選んで 決定 を押す



▷ **[チャンネルを受信できませんでした。]が表示されたときは**

アンテナ⇔本機⇔テレビの接続をご確認後、▲·▼で 再スキャン を選んで 決定 を押してください。
再度、地上デジタル設定が始まります。

9 ▲·▼でBS·CSデジタル放送を受信·取得するかしないかを選んで 決定 を押す



受信·取得： BS·CSデジタル放送の情報取得を行います。
取得しない： BS·CSデジタル放送の情報取得を行いません。

- 受信·取得 を選ぶと、情報取得が始まります。
  (情報取得が完了するまで数十秒程かかることがあります。)
- 取得しない を選ぶと、情報取得がスキップされます。

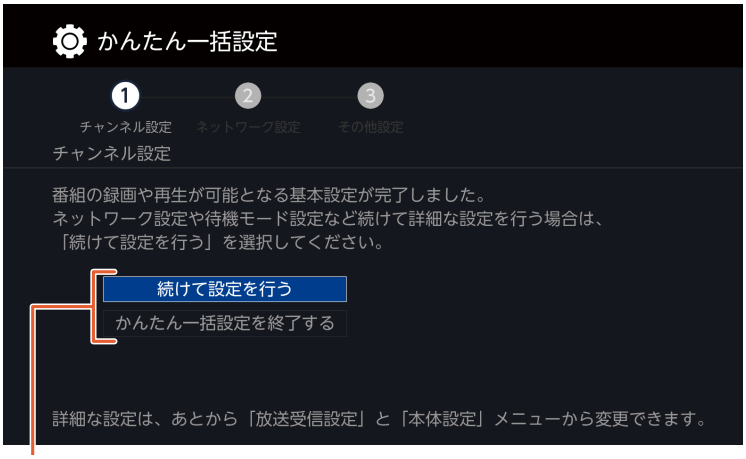
▷ **[情報を取得できませんでした。]が表示されたときは**

閉じる が選ばれているので 決定 を押して、アンテナ⇔本機⇔テレビの接続をご確認後、
▲·▼で 受信·取得 を選んで 決定 を押してください。再度、情報取得が始まります。

次ページへつづく

10 ▲·▼で続けて設定を行うか、かんたん一括設定を終了するかを選んで 決定 を押す





続けて設定を行う：
ネットワーク設定やその他設定(テレビリモコン設定、待機モード設定など)の、さらに詳細な設定を続ける場合はこちらを選択してください。

かんたん一括設定を終了する：
かんたん一括設定を終了する場合はこちらを選択してください。

- 続けて設定を行う を選ぶと詳細設定の画面が表示されますので、手順11に進んでください。
- かんたん一括設定を終了する を選ぶとメッセージが表示されます。完了 が選ばれているので 決定 を押すと、**[かんたん一括設定]** が完了します。

■ネットワーク設定

11 ▲·▼でネットワークを設定するかしないかを選んで 決定 を押す

- はい を選んだ場合は、手順12に進んでください。
- いいえ を選んだ場合は「その他設定」手順15に進んでください。

12 ▲·▼で 有線LAN または 無線LAN を選んで 決定 を押す

- ネットワークの接続方法についてくわしくは P.182 をご覧ください。
- 有線LAN を選んだ場合は、下記の「有線LANを設定する」をご覧ください。
- 無線LAN を選んだ場合は、「無線LANを設定する」 P.36 をご覧ください。
- **[有線LAN]** と **[無線LAN]** は同時に利用できません。
- **FBR-HW500には内蔵無線LANアンテナは搭載されていません。下記の「有線LANを設定する」をご覧ください。**

有線LANを設定する

- あらかじめ本機をLANケーブルでネットワークに接続してください。

▲·▼で設定モードを選んで 決定 を押す

▷ **自動設定 を選んだときは**

[ネットワーク設定] の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲·▼で 次へ を選んで 決定 を押して、手順13に進んでください。

▷ **手動設定 を選んだときは**

以下の項目が表示されるので、▲·▼で項目を選んで決定を押して設定してください。



文字入力のしかた P.206

IPアドレス設定

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① **▲·▼で設定方法を選んで決定を押す**

■ルーターにDHCP機能がない場合などは **手動** を選んで設定してください。

▷ **自動取得 を選んだときは**

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にIPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを設定します。

▷ **手動 を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス	パソコンなど、既にネットワーク接続されている機器に設定されているIP アドレスの最後の2桁を、他のネットワーク機器と重複していない数値に変更し入力してください。(3桁まで入力可能です。)例えば、パソコンのIPアドレスが「192.168.xxx.x10」の場合は、「192.168.xxx.x11」などを入力してください。
サブネットマスク	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。

DNS設定

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

① **▲·▼で設定方法を選んで決定を押す**

▷ **自動取得 を選んだときは**

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にプライマリDNS／セカンダリDNSを設定します。

▷ **手動 を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS	パソコンなどの機器の優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
セカンダリDNS	パソコンなどの機器の代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシサーバー設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときはプロキシサーバーを設定してください。

① **▲·▼で設定方法を選んで決定を押す**

▷ **有効 を選んだときは**

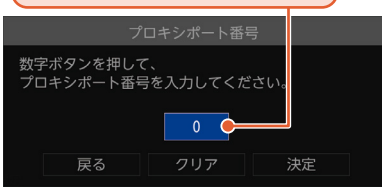
プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

プロキシアドレスを入力する



文字入力のしかた P.206

プロキシポート番号を入力する



- 設定が終わったら自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので、▲·▼で **次へ** を選んで決定を押して、手順13に進んでください。

▷ **無効 を選んだときは**

自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。

▲·▼で **次へ** を選んで決定を押して、手順13に進んでください。

次ページへつづく

無線LANを設定する※

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、LAN録画、録画番組の配信、ホームネットワークの機能はお使いになれません。

※ FBR-HW500には内蔵無線LANアンテナは搭載されていません。

▲·▼で設定する環境を選んで決定を押す



▷無線LAN自動検出を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。
接続するルーターのSSIDと暗号化キーをご用意ください。

① 検出された無線LANアクセスポイントから、接続したいルーターのSSIDを▲·▼で選んで決定を押す

② 暗号化キーを入力し、緑を押す

文字入力のしかた P.206

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で 次へ を選んで決定を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります(「KEY」、「セキュリティーキー」など)。

③ 設定モードを選ぶ

- 自動設定 を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲·▼で 次へ を選んで決定を押して、手順13に進んでください。
- 手動設定 を選んだときは、「手動設定を選んだときは」P.35をご覧ください。

▷手動設定を選んだときは

手動設定 を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

① 接続したいルーターのSSIDを入力して、緑を押す

文字入力のしかた P.206

② ▲·▼で暗号化方式を選んで決定を押す

③ 暗号化キーを入力し、緑を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で 次へ を選んで決定を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります(「KEY」、「セキュリティーキー」など)。

④ 設定モードを選ぶ

- 自動設定 を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲·▼で 次へ を選んで決定を押して、手順13に進んでください。
- 手動設定 を選んだときは、「手動設定を選んだときは」P.35をご覧ください。

▷ **WPSかんたん設定を選んだときは**

[プッシュボタン方式（PBC）] または **[PINコード方式]** でかんたんに無線LANを設定できます。

プッシュボタン方式（PBC）

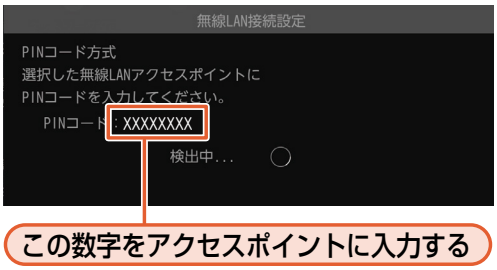
画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲·▼で 次へ を選んで 決定 を押して、手順13に進んでください。

PINコード方式

① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選んで 決定 を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



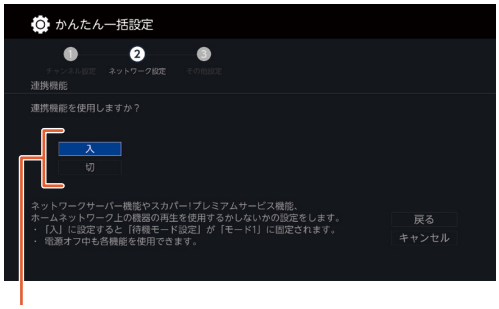


- PINコードの入力のしかたについて、くわしくはお使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると確認画面が表示されます。▲·▼で 次へ を選んで 決定 を押して、手順13に進んでください。

お知らせ

- **すべての無線LANルーター（アクセスポイント）での接続を保証するものではありません。**
- 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

13 ▲·▼で連携機能を使用するかしないかを選んで 決定 を押す



入	スカパー!プレミアムサービス機能やFUNAI Connectアプリ、番組の配信などのネットワークを使った連携機能を利用できます。（利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を使用できます。） -**[連携機能]** を 入 にすると、手順19の **[待機モード設定]** P.39▶は モード1 に固定されます。
切	連携機能を使用しません。

- 切 を選んだ場合は、手順15に進んでください。

次ページへつづく

14 ▲·▼でサーバー名を変更するかしないかを選んで 決定 を押す

はい	ネットワーク上に表示される本機の名前を変更します。 文字入力のしかた P.206
いいえ	本機の名前を変更しません。

▷ **はい** を選んだときは





■その他設定

15 ▲·▼でテレビリモコン設定をするかしないかを選んで 決定 を押す

- **いいえ** を選んだときは、手順**18**に進んでください。

16 停止 を押したまま、数字ボタンを押す

- 下記の表を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を2桁で入力してください。(お買い上げ時の設定は、「FUNAI(11)」になっています。)

例：DX(12)に設定する場合は、停止 を押したまま、1 ➡ 2 を押したあと、停止 から指を離してください。

テレビメーカー	番号
FUNAI	11
DX	12
シャープ(1)	13
シャープ(2)	14
シャープ(3)	15
パナソニック(1)	16
パナソニック(2)	17

テレビメーカー	番号
ソニー	18
東芝(1)	19
東芝(2)	21
日立(1)	22
日立(2)	23
LG	24
三菱	25

テレビメーカー	番号
パイオニア(1)	26
パイオニア(2)	27
三洋(1)	28
三洋(2)	29
ビクター	31

17 音量 を押してテレビの音量が正しく調節できることを確認し、決定 を押す

▷ **テレビの音量が調節できないときは**

テレビメーカーの番号が設定できていない可能性があります。もう一度、手順**16**を行ってください。

▷ **メーカー番号が複数あるときは**

いずれかの番号で設定してもテレビの操作ができないときは、別の番号で試してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンでは、テレビメーカーの設定や操作ができないことがあります。
- テレビメーカーの設定ができても一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

18 ▲·▼で機器制御機能を使用するかしないかを選んで 決定 を押す





入	HDMI-CECに対応したテレビなどを本機で制御したいときに選びます。 - **[機器制御]** を 入 にすると、手順19の **[待機モード設定]** は モード1 に固定されます。
切	機器制御機能を使用しません。

- 機器制御機能を使うためには、本機とHDMI-CECに対応したテレビをハイスピード対応のHDMIケーブル（市販品）で接続してください。くわしくは「機器制御機能について」P.199をご覧ください。

19 ▲·▼でお好みの待機モードを選んで 決定 を押す



モード1	本機の起動が早くなるモードです。また、連携機能による番組の配信 P.178 をできるようにする場合も、この設定にしておく必要があります。
モード2	待機時消費電力を抑えるモードです。 以下の場合は、モード2 を選ぶことはできません。 - 手順13でネットワーク設定の連携機能を 入 に設定した場合 - 手順18で機器制御機能を 入 に設定した場合

20 ▲·▼·◀·▶でクイック起動を設定したい時間帯を選んで 決定 を押す



設定した時間帯のみ、本機をすばやく起動することができます。くわしくはP.276をご覧ください。

- 決定 を押すたびに、チェックあり [◉]、なし [○] が切り換わります。
- クイック起動の時間帯は、最大2つまで設定できます。
- 設定中の起動時間は、待機モード設定の モード1 設定時に比べより短くなりますが、設定している時間帯の待機時消費電力は増加しますのでご注意ください。

次ページへつづく

21 設定が終わったら、▲·▼·◀·▶で 次へ を選んで 決定 を押す



22 ▲·▼で新番組おまかせ録画機能を使用するかしないかを選んで 決定 を押す



- 新番組おまかせ録画機能を使用すると、地上デジタル放送で放送予定の新番組やドラマの初回を検索して録画できます。(意図しない番組も自動的に録画される場合があります。)
- 条件の変更について、くわしくは P.84 をご覧ください。
- おまかせ録画の無効化について、くわしくは P.89 をご覧ください。

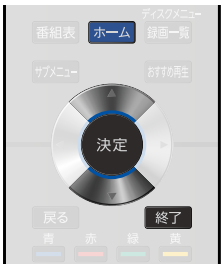
入	新番組をおまかせ録画したいときに、以下の検索設定で録画します。 **録画先：** 「HDD」 **録画モード：** 「DR」 **フォルダ設定：** 「すべて(指定しない)」 **自動消去：** 「入」 **詳細設定：チャンネル：**「すべて」 **ジャンル：** 「指定なし」 **出演者：** 「指定なし」 **除外ワード：**「指定なし」 **時間帯：** 「指定なし」
切	新番組おまかせ録画機能を使用しません。

23 ▲·▼で 完了 を選んで 決定 を押す

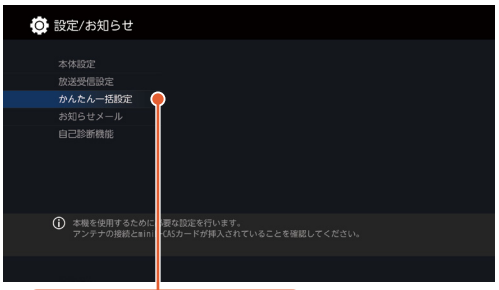
- 「かんたん一括設定」が完了します。

かんたん一括設定をやり直す

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で かんたん一括設定 を選んで 決定 を押す



- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

リモコンを設定する

本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する

テレビメーカーを設定する

テレビを操作する前に、お使いのテレビメーカーを設定してください。

1 **停止 ■ を押したまま、数字ボタンを押す**

- 下記の表を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2桁で入力してください。（お買い上げ時の設定は、「FUNAI（11）」になっています。）

例：DX（12）に設定する場合は、停止 ■ を押したまま、1 ➡ 2 を押したあと、停止 ■ から指を離してください。

テレビメーカー	番号
FUNAI	11
DX	12
シャープ（1）	13
シャープ（2）	14
シャープ（3）	15
パナソニック（1）	16
パナソニック（2）	17
ソニー	18
東芝（1）	19
東芝（2）	21

テレビメーカー	番号
日立（1）	22
日立（2）	23
LG	24
三菱	25
パイオニア（1）	26
パイオニア（2）	27
三洋（1）	28
三洋（2）	29
ビクター	31



2 **音量 + − を押してテレビの音量が正しく調節できることを確認する**

▷ **テレビの音量が調節できないときは**

テレビメーカーの番号が設定できていない可能性があります。
もう一度、手順1を行ってください。

▷ **メーカー番号が複数あるときは**

いずれかの番号で設定してもテレビの操作ができないときは、別の番号で試してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。
また、テレビメーカーの設定ができても、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

リモコンを設定する(つづき)

テレビを操作する

リモコン信号をテレビに切り換えて、テレビを操作します。

1 TV操作を押してから、リモコンボタンを押す

- TV操作が点灯している間（約30秒間）のみ、テレビを操作できます。
- TV操作が点灯している間に他のボタンを押すと、そこから30秒間延長されます。もう一度TV操作を押すと消灯して本機のリモコン信号に戻ります。
- テレビ操作に使用するリモコンボタンは、テレビメーカーによって異なります。



ご注意

- TV操作を押してテレビを操作しているときは、HDDや USBなど、本機の操作のみに使用するボタンが使用できなくなります。
- TV電源などのテレビを操作できるボタンは、設定が完了していればTV操作を押さなくても有効です。

▷お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないように設定するときは

一時的にリモコン信号を受け付けないようにできます。

① ホーム ➡ 番組内容 ➡ 音声切換 の順に押す

- 解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。



本機のリモコンで他の当社製ブルーレイディスクレコーダーを動作しないようにする

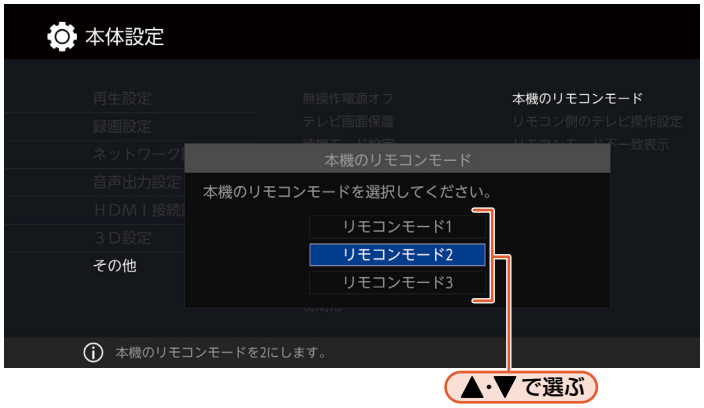
当社製のブルーレイディスクレコーダーを2台以上使用するときは、本機のリモコンに他のブルーレイディスクレコーダーが反応してしまうことがあります。その場合は、本機側とリモコン側のそれぞれにリモコンモードを設定することで、他のブルーレイディスクレコーダーが反応しないように設定できます。
（お買い上げ時の設定は、本機、リモコンとも **[リモコンモード3]** になっています。）

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で その他 ➡ リモコン設定 ➡ 本機のリモコンモード を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で本機に割り当てるリモコンモードを選んで 決定 を押す



4 手順3で設定したリモコンモードをリモコンに設定する



▷ **リモコンモード1 を選んだとき**
1 を押したまま、決定 を3秒間押す

▷ **リモコンモード2 を選んだとき**
2 を押したまま、決定 を3秒間押す

▷ **リモコンモード3 を選んだとき**
3 を押したまま、決定 を3秒間押す

上記のように画面に表示されたメッセージに従ってリモコンの設定を行い、最後に 決定 を押してください。

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。



お知らせ

- 本機側とリモコン側のリモコンモードが異なる場合は、リモコンの操作をすると、画面にリモコンモード設定方法が表示され、本機前面の録画LEDと待機時動作中LEDが点滅します。
  - リモコンモード設定方法の画面を非表示にする場合は、ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[その他]** ➡ **[リモコン設定]** ➡ **[リモコンモード不一致表示]** ➡ **[表示しない]** を選んで 決定 を押してください。（**[リモコンモード不一致表示]** の設定に関わらず、本機側とリモコン側のリモコンモードが異なる場合に、リモコンの操作をすると、本機前面の録画LEDと待機時動作中LEDが点滅します。P.18）

チャンネルの設定を変更する

リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

▷地上デジタル放送の場合は

▲·▼で 地上デジタル設定 ➡ チャンネル操作設定 を選んで 決定 を押す

▷BS·110度CSデジタル放送の場合は

▲·▼で BS ／ CS デジタル設定 ➡ BS チャンネル操作設定 または CS チャンネル操作設定 を選んで 決定 を押す



2 リモコン数字ボタン割当 を選んで 決定 を押す



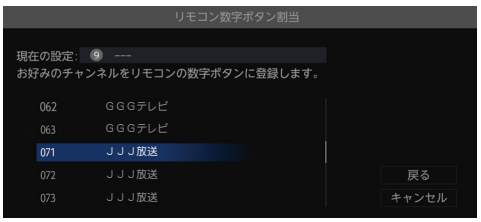
チャンネル割り当て一覧

- [ページ1] [ページ2] [ページ3] に割り当てたチャンネルは、サブメニューの [選局ガイド] から選ぶことができます。P.56

3 ▲·▼·◀·▶で、チャンネルを割り当てたい番号（①～⑫）を選んで 決定 を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

4 手順3で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを▲·▼で選んで 決定 を押す



- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は、チャンネルの割り当てをしない を選んで 決定 を押してください。

5 設定が終わったら、▶で 完了 を選んで 決定 を押す

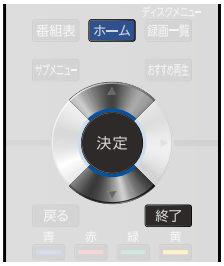
- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

チャンネルをスキップする

チャンネルを押したときに、視聴しないチャンネルをスキップできます。

1

ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡
放送受信設定 を選んで 決定 を押す



▷地上デジタル放送のときは
▲·▼で 地上デジタル設定 ➡
チャンネル操作設定 を選んで 決定 を押す

▷BS·110度CSデジタル放送のときは
▲·▼で BS ／ CS デジタル設定 ➡
BS チャンネル操作設定 または
CS チャンネル操作設定 を選んで 決定 を押す

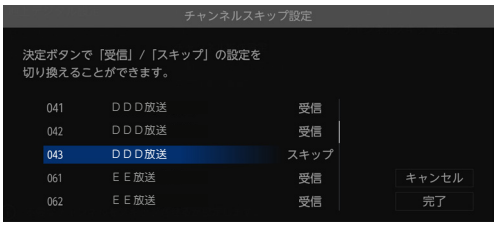
2

チャンネルスキップ設定 を選んで 決定 を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

3

▲·▼でスキップしたいチャンネルを選んで 決定 を押す



- チャンネル名の右が **[受信]** から **[スキップ]** に切り換わります。
- 決定 を押すたびに **[受信]** と **[スキップ]** が切り換わります。

4

設定が終わったら▶で 完了 を選んで 決定 を押す

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 「スキップ」に設定したチャンネルは、番組表に表示されなくなります。

映りが悪いチャンネルを調整する

地上デジタル放送のアンテナを調整する

[アッテネーター] を **[入]** に設定すると、状況が改善されることがあります。

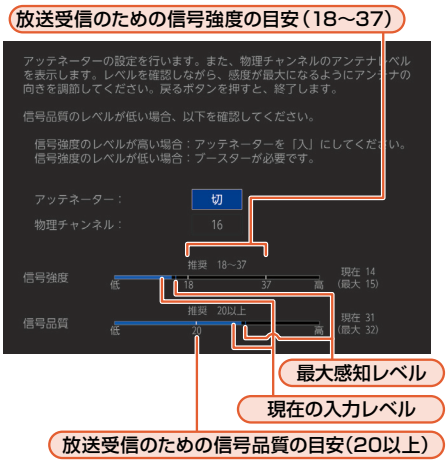
1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する



2 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で 地上デジタル設定 ➡ 受信状態の確認 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼でアッテネーター欄を選んで 決定 を押す



- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル（13 ～ 62CH）のことです。

▷ **地上デジタル放送用のアンテナレベルについて**

この画面で信号強度と信号品質を確認しながら、UHFアンテナの向きを調整できます。（信号強度は「18 ～ 37」、信号品質は「20」以上が目安です。）

- この画面で 物理チャンネル を選んで 決定 を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力できます。

5 ▲·▼で 入 を選んで 決定 を押す

- 信号強度が変更されます。（ 入 に設定すると信号強度が弱くなり、状況が改善されることがあります。）
- CATV（ケーブルテレビ）をご利用の場合は、CATVの13 ～ 63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順 4 で、**[物理チャンネル]** の先頭に **[C]** が表示されます。
- 調整が終わったら、 終了 を押して、完了してください。

ご注意

- 地域により、受信状況が異なる場合があります。

お知らせ

- 信号品質の数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する

[BS ／ CS デジタル設定] の **[受信状態の確認]** 画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整できます。
（マンションなどの共聴アンテナやCATVをご利用の場合は、この調整は不要です。）

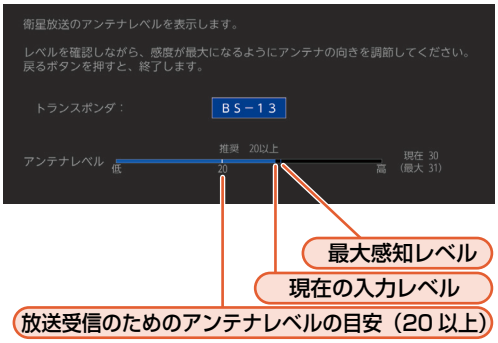
1 BS・110 度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する



2 ホーム を押して、▲・▼で 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

3 ▲・▼で BS ／ CS デジタル設定 ➡ 受信状態の確認 を選んで 決定 を押す

4 「入力値」の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する



- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合は、放送信号（映像と音声）の確認はできません。
- 決定 を押すと、チャンネルを選ぶことができます。
  他のチャンネルに切り換えたいときは、▲・▼でチャンネルを選んで 決定 を押してください。
- 調整が終わったら、終了 を押して、完了してください。

ご注意

- **[BS／CSデジタル設定]**の**[アンテナ電源]**の設定を**[供給する]**にしたときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、**[アンテナ電源]**の設定が自動的に**[供給しない]**に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。
  数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。P.220

県域設定を変更する

お住まいの県域を設定します。

■データ放送サービスなど、お住まいの県域や地域に応じたサービスをご利用いただくために、郵便番号と合わせて設定してください。

1

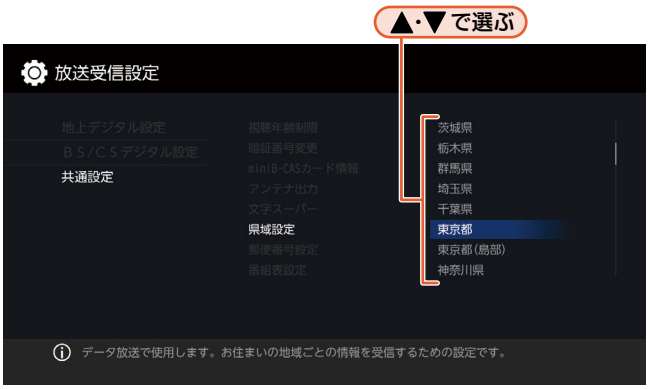
ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

2

▲·▼で 共通設定 ➡ 県域設定 を選んで 決定 を押す

3

▲·▼でお住まいの県域を選んで 決定 を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、東京都（島部）を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、鹿児島県（島部）を選びます。

4

▲·▼で 郵便番号設定 を選んで 決定 を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

5

1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力すると、完了 が選ばれるので 決定 を押す

▷入力を間違えたときは

▲·▼で 番号消去 を選んで 決定 を押して、一括消去するか、▲·▼·◀·▶で戻って入力し直してください。



6

すべての設定が終わったら、終了 を押す

ご注意

- 県域設定に誤りがあると、放送が正しく受信できない場合があります。

視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。
視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときに、暗証番号の入力が必要となります。P.61
視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組がある場合に暗証番号が未設定のときは、本機の録画一覧に表示されません。

- ここで設定する暗証番号は、デジタル放送の視聴制限を解除するための暗証番号となります。**[BD視聴制限]**や**[DVD視聴制限]**、**[インターネット接続]**P.211を設定するための暗証番号とは異なります。

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で 共通設定 ➡ 視聴年齢制限 を選んで 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

3 1 ～ 10/0 で暗証番号（4桁）を入力する

- 初めて暗証番号を登録する場合は、確認のためにもう一度暗証番号の入力が求められます。
  最後に確認画面が表示されるので 決定 を押してください。
- 入力した数字は、「*」で表示されます。

▷**入力中に番号を間違えたときは**
◀で戻るか、▲·▼で すべてクリア を選んで 決定 を押してください。

▷**暗証番号を忘れたときは**
4、7、3、7を入力してください。 新しい暗証番号を設定できます。



4 ▲·▼で設定したい年齢を選んで 決定 を押す

- 視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組などがある場合に、設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は、本機の録画一覧やネットワークを利用して別の機器で視聴する場合の再生一覧に表示されません。
- 制限を解除する場合は、▲·▼で 制限なし を選んで 決定 ボタンを押してください。

5 すべての設定が終わったら、終了 を押す

▷**暗証番号を変更するときは**
手順**2**で 視聴年齢制限 の代わりに 暗証番号変更 を選んで 決定 を押して、画面の指示に従ってください。

ご注意
- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

メディアを用意する

USB機器と接続する／SDカードを入れる※

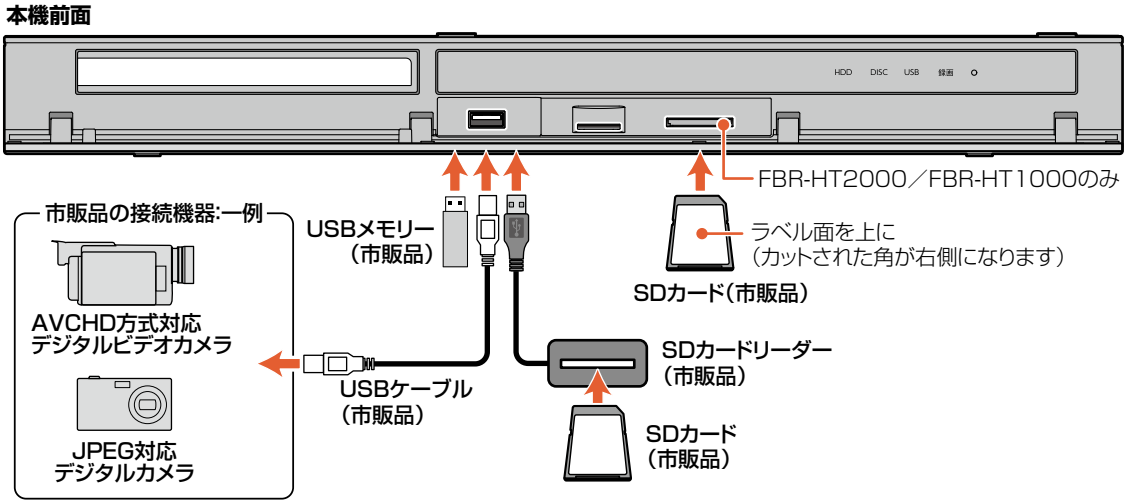
本機ではUSB機器やSDカードに記録された写真を再生できます。P.133
また、AVCHD方式の動画を本機へ取り込む（ダビングする）ことができます。P.166
※SDカードを本機に直接挿入できる機種は、FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000です。

- **USB-HDDやUSBハブは、必ず本機背面のHDD用USB端子に接続してください。**P.195
- **FBR-HW1000／FBR-HW500にはSDカードスロットが搭載されておりませんので、SDカードを使用される際は、USBケーブルまたはUSB端子で本機と接続可能なSDカードリーダー（市販品）をご使用ください。**

写真やAVCHD方式の動画を保存した**USB機器**を再生やダビングに使用したい場合は
- 本機前面のAV周辺機器用USB端子に接続してください。

写真やAVCHD方式の動画を保存した**SDカード**を再生やダビングに使用したい場合は
- 本機前面のSDカードスロットに挿入してください。※
- USBケーブルまたはUSB端子で本機と接続可能なSDカードリーダー（市販品）を本機前面のUSB端子に接続してください。

1 USB機器を接続する／SDカードを挿入する



- USB機器は必ず本機前面のAV周辺機器用USB端子に接続してください。
- 接続する機器に専用のケーブルが指定されている場合は、そのケーブルを使用してください。
- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。くわしくは接続するUSB機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機前面のAV周辺機器用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 認識するまでに数十秒かかる場合があります。
- SDカードの向きを確認して、奥まで差し込んでください。
- 複数のSDカードスロットを持つSDカードリーダーをお使いの場合は、一度に複数のSDカードを入れると読み込むSDカードが特定できないため、読み込みたいSDカードを1枚だけ入れてご使用ください。

2 USB機器を取りはずす／SDカードを取り出す

- USB機器を取りはずす際は、再生、ダビングが停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。
- SDカードを取り出す際は、再生、ダビングが停止していることを確認し、SDカードの中央部分を押してロックをはずし、まっすぐ引き出してください。

ご注意

- USB機器やSDカードは、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器やSDカードの認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。USB機器、SDカードや本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - USB機器を取りはずす／USBケーブルを抜く／SDカードを取り出す
- SDカードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラをUSB接続しても認識・読み込みができないときは、カメラから取り出したSDカードを本機のSDカードスロット（FBR-HT2000、FBR-HT1000のみ）、またはAV周辺機器用USB端子で本機と接続可能なSDカードリーダー（市販品）に差し込んで写真の再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。
- SDカードの向きを確認して奥まで差し込んでください。
- USB端子やSDカードは折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- USB機器やSDカードは重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- USB機器やSDカードは分解・加工をしないでください。
- USB端子やSDカードは 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとSDカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。

お知らせ

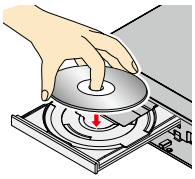
- 対応するUSB機器についてくわしくはP.246をご覧ください。
- 対応するSDカードについてくわしくはP.246をご覧ください。

ディスクの入れかた

1 開/閉を押して、ディスクトレイを開く



2 ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く



▷ **両面ディスクを再生するときは**
再生する面を下にしてください。

3 開/閉を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、ディスクトレイを閉めたあと自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

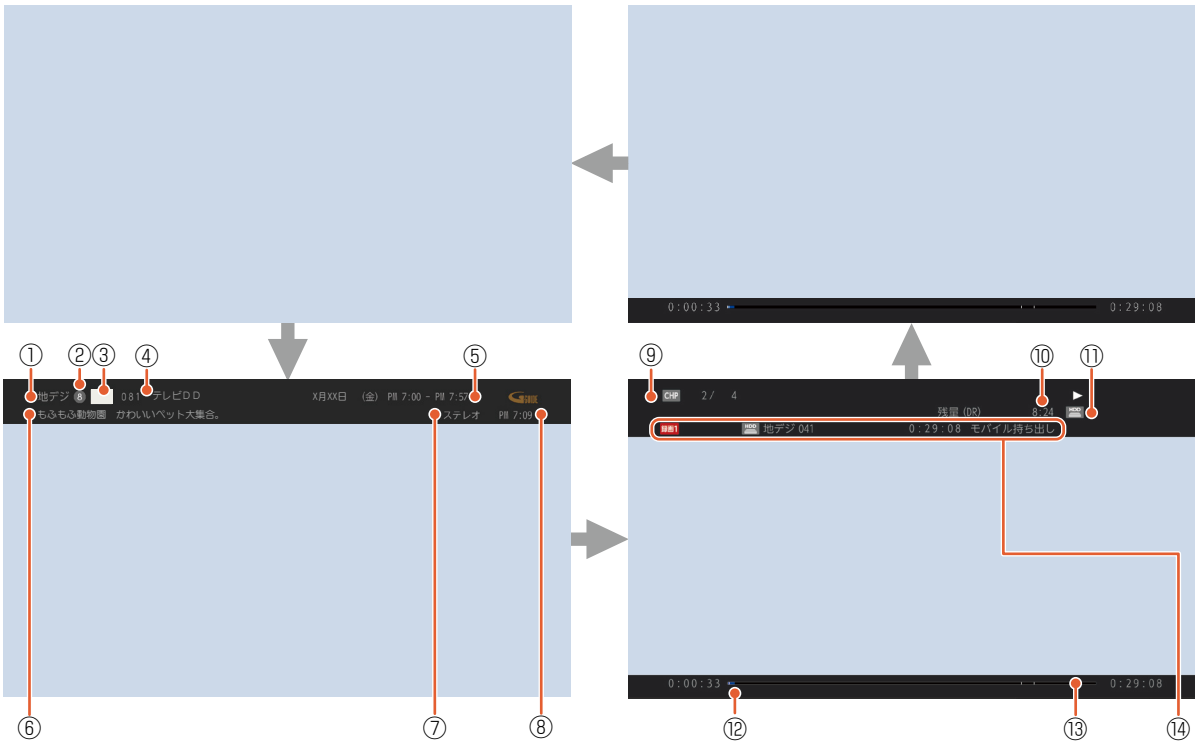
画面表示の見かた

▷現在の本機の状態や情報を表示するときは

リモコンの画面表示を押すたびに、画面が次のように切り換わります。



（例）



① 放送の種類
② リモコンの数字ボタンの割り当て番号
③ 放送局のロゴ
④ チャンネル番号と放送局名
⑤ 番組の放送日時
⑥ 番組名
⑦ 番組の音声情報
⑧ 現在時刻

⑨ 現チャプター番号／総チャプター数
⑩ 現在設定されている録画モードの残量時間表示
⑪ メディアの種類
⑫ 再生中の現在位置
⑬ タイムバー
⑭ 録画／視聴情報表示
録画中の場合：録画メディアの種類／放送の種類／チャンネル番号／録画時間／録画モード／持ち出し設定を表示します。
録画停止時の視聴中の場合：各放送における残量を一覧表示します。（録画モード **[DR]** 以外の場合は表示されません。）

お知らせ

- 本機の動作状態（放送の視聴中や再生中、録画中など）によって、表示される情報が変わります。
- 本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
  残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。
  該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。

画面に表示されるアイコンについて

▷メディアの種類

HDD	HDD
USB USB-HDD ○※	USB-HDD
USB SeeQVault-HDD○※	SeeQVault-HDD
DISC	ディスク
BD-RE	BD-RE
BD-R	BD-R
BD-Video	BD-Video
BDAV ORG	BDAV（オリジナル）
BDAV PL	BDAV（プレイリスト）
DVD-RW	DVD-RW
DVD-R	DVD-R
DVD-Video	DVD-Video
DVD-RAM	DVD-RAM
VR ORG	VRモード（オリジナル）
VR PL	VRモード（プレイリスト）
Video	ビデオモード
AVCREC ORG	AVCREC™モード（オリジナル）
AVCREC PL	AVCREC™モード（プレイリスト）
SD DATA	SDカード
USB DATA	USB機器
CD-DA	音楽用CD
CD DATA	データCD
AVCHD	AVCHD方式のディスク
DISC ディスクなし	ディスクが入っていないとき
	ホームネットワーク（DLNA対応機器）

※ ○には番号が表示されます。

ご注意

- 画面に ⃠ が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

▷主な動作

●	録画
● ⏸	録画一時停止
しばらくお待ちください ◯	番組の編集処理中など
□	停止
レジューム	つづき再生の停止（レジューム停止）
▷	再生
⏸	再生一時停止
▷ × 1.3	音声付き早見再生（約1.3倍速再生）
▷ × 0.8	音声付きゆっくり再生（約0.8倍速再生）
▷▷、◁◁	早送り、早戻し
⏸▷、◁⏸	スロー、逆スロー再生
▷▷|、|◁◁	正方向、逆方向のスキップ
▫▷、↷	30秒スキップ、10秒戻し
▫▷ 1/10、↷ 1/10	1/10スキップ、リプレイ
HDD➡BD/DVD	ダビング 例：HDDからディスクへダビングするとき
USB-HDD ○※➡HDD	ダビング 例：USB-HDDからHDDへダビングするとき

※ ○には番号が表示されます。

▷リピート

TITLE	タイトルリピート
CHAPTER	チャプターリピート
TRACK	トラックリピート
ALL	オールリピート

▷その他

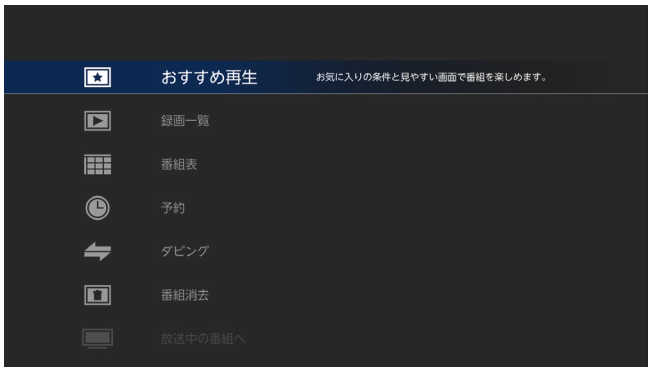
⏏、▽	ディスクトレイ開、閉
読み込み中 ◯	メディアの読み込み中
TT	番組
CHP	チャプター
TR	トラック
	再生時間（タイム）

ホームについて

以下に示す機能は、ホームメニューを表示してから操作します。

■ホームメニューは、リモコンの ホーム を押すと表示されます。

■操作ができない項目はグレー表示されます。

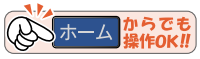


機能名（一例）	できること
おすすめ再生	お気に入りの条件と見やすい画面で番組を楽しめます。
録画一覧	録画した番組をすべて表示し、再生や編集などができます。
番組表	放送予定の番組を探して予約ができます。
予約	おまかせ録画や登録済みの予約の確認ができます。
ダビング	録画した番組のコピー／移動や、撮影ビデオの取り込みなどができます。
番組消去	録画した番組を消去することで、空き容量を増やすことができます。
放送中の番組へ	現在放送中の番組へ切り換えます。外部入力にも切り換えられます。※
メディア管理	HDD／USB-HDD、ディスクの初期化や登録ができます。
設定／お知らせ	本機の設定変更や診断、お知らせメールの確認ができます。

※ 外部入力はFBR-HT2000／FBR-HT1000のみです。

お知らせ

- 見出しに右記のイラストを記載している項目は、ホーム を押しても基本の手順と同じ操作や設定などが行えます。



番組を見る

放送中の番組を見る

1 ホーム を押して、▲·▼で 放送中の番組へ を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で放送の種類を選んで 決定 を押す

▷チャンネルを選ぶときは
下記の「チャンネルを選ぶ」をご覧ください。



チャンネルを選ぶ

本機では、以下の３つの方法でチャンネルを切り換えることができます。

リモコンの 1 ～ 12 でチャンネルを選ぶ

① 地上 、 BS または CS を押して、見たい放送の種類を選ぶ
② チャンネルを選ぶ
▷順送り／逆送りで選ぶときは
チャンネル を使います。
▷リモコンの1～12ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは
1 ～ 12 を使います。
- 102チャンネルのようにデジタル放送の３桁のチャンネルを選ぶときは、以下のように押してください。
3桁入力 消去 ➡ 1 ➡ 10/0 ➡ 2

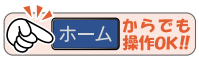
お知らせ
- 枝番号があるチャンネルを選局した場合は
  - 枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。
  （例）入力した3桁チャンネルに枝番号がある場合は、
  [チャンネルの枝番号の選局]画面が表示されるので、
  ◀·▶でお好みのチャンネルを選んでください。



選局ガイドからチャンネルを選ぶ

① 地上 、 BS または CS を押して、見たい放送の種類を選ぶ
② サブメニュー ➡ 選局ガイド を選んで 決定 を押す
③ 1 ～ 12 を押す、または▲·▼·◀·▶でお好みのチャンネルを選んで 決定 を押す
- ◀IIコマ戻し スキップ ⏮ ·コマ送りII▶ スキップ ⏭ で「ページ１」「ページ２」「ページ３」を切り換えることができます。
ページへのチャンネル割り当ては、「リモコン数字ボタン割当」で設定できます。P44

番組表からチャンネルを選ぶ



① 番組表 を押す
- 番組表の見かたは、P.68 をご覧ください。

② 地上 、BS または CS を押して、見たい放送の種類を選ぶ

③ ▲·▼·◀·▶ で現在放送中の視聴したい番組を選んで 決定 を押す

④ ◀·▶ で 見る を選んで 決定 を押す

▷ **番組の詳細内容を確認するときは**

以下の方法で確認できます。
- 番組表で確認したい番組を選んだ状態で、番組内容 または 決定 を押してください。
- 表示を消すには 番組内容 または 戻る を押してください。
- 番組視聴中は 番組内容 を押してください。

▷ **詳細内容の続きがあるときは**
- ▲·▼ で詳細内容のページを切り換えることができます。



ご注意
- 録画と変換配信の同時動作中は、チャンネルの切り換えができないことがあります。
- 録画した番組の再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

■本機ではデータ放送を録画できません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

1 データ放送のある番組を視聴中に、データ を押す

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

2 ▲·▼·◀·▶ や 青 ·赤 ·緑 ·黄 、または 1 ～10/0 などを使って、画面の案内に従って操作する

▷ **データ放送での文字入力について**
- 戻る を押すと、入力した文字を消去できます。
- 漢字や半角カナは入力できません。

3 データ放送を見終わったらデータ を押してテレビ放送に戻す

音声(言語)を切り換える

視聴中の番組に複数の音声(主音声／副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、視聴したい音声を選ぶことができます。

1 番組を視聴中に 音声切換 を押す

- 設定情報が表示されます。
- サブメニュー➡ **音声** を選んで操作することもできます。



2 ▲·▼でお好みの音声を選ぶ

- 選択している音声がステレオで右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。

ステレオ ⟷ R-ch ⟷ L-ch

- 選択している音声が二カ国語で右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。

主／副 ⟷ 主音声 ⟷ 副音声

ご注意

- 複数の音声が用意されていない番組もあります。

字幕(言語)を切り換える

視聴中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入／切を選んだりすることができます。

1 番組を視聴中に 字幕 を押す

- 設定情報が表示されます。
- サブメニュー➡ **字幕** を選んで操作することもできます。



2 ▲·▼でお好みの字幕を選ぶ

- 字幕の言語を設定中に◀·▶で字幕／切の設定ができます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

3 お好みの設定を選んで 決定 を押す

ご注意

- 字幕が用意されていない番組もあります。

映像(アングル)を切り換える

視聴中の番組に複数のカメラアングル(映像)が記録または収録されているときは、お好みの映像を選ぶことができます。

1 番組を視聴中にサブメニューを押して、▲·▼で 映像 を選んで 決定 を押す

- 設定情報が表示されます。



2 ▲·▼でお好みのカメラアングル(映像)を選んで 決定 を押す

- 押すたびにカメラアングル(映像)が切り換わります。

ご注意

- 複数のアングルが用意されていない番組もあります。

マルチ番組の映像、音声などを切り換える

視聴中の番組に、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある **[マルチビュー]** のときは、この項目を切り換えることでそれぞれの項目が一度に切り換わります。

1 番組を視聴中にサブメニューを押す



2 ▲·▼で マルチビュー を選んで 決定 を押す

- 設定情報が表示されます。

3 ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

ご注意

- **[マルチビュー]** に対応していない番組もあります。

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

■BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶことができます。



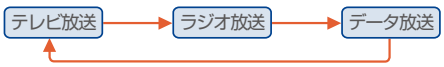
1 地上、BSまたはCSを押して、見たい放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送を見たい場合は、BSを押してBSデジタル放送を選んでください。

2 番組を視聴中にサブメニューを押す

3 ▲·▼でサービス切換を選んで決定を押す

- この操作を繰り返すたびに下記の順でサービスが切り換わります。(存在していないサービスはスキップされます。)
  データ放送やラジオ放送を終了するにはテレビ放送に切り換えてください。
- チャンネルを切り換えるときは チャンネル を使います。



ご注意

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
  - ネットワークの接続と設定　- miniB-CASカードの登録　- 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴できません。
- デジタル放送録画中のチャンネルを視聴中は、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴できません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向通信サービスもあります。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。

超解像設定(視聴中の番組を鮮明な画質に補正する)

映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。



1 番組を視聴中にサブメニューを押す

2 ▲·▼で超解像設定を選んで決定を押す

- 設定情報が表示されます。

3 ▲·▼で入または切を選んで決定を押す

アンテナレベルを確認する

視聴中の放送のアンテナレベルを確認できます。

1 番組を視聴中に サブメニュー を押す



2 ▲·▼で アンテナレベル表示 を選んで 決定 を押す

- アンテナレベルが表示されます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する

番組の視聴中に暗証番号入力画面が表示されたときは、暗証番号を入力すると、その番組を視聴できるようになります。

1 1 ～ 10/0 で、P.49 で設定した暗証番号を入力する

- 制限を解除するには、ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 ➡ 共通設定 ➡ 視聴年齢制限 を 制限なし に設定してください。P.49



ご注意

- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

外部入力の映像を見る※

本機の外部入力端子につないだ他の機器の映像を見るときは、本機を外部入力に切り換えます。
※ **外部入力はFBR-HT2000 ／ FBR-HT1000のみです。**

ビデオデッキやビデオカメラの映像を見る

ビデオデッキやビデオカメラを本機につなげて、映像を見ることができます。

▶ **準備**
- 本機とビデオデッキやビデオカメラなどをつないでおく P.29

1 ビデオデッキまたはビデオカメラを再生する
- 操作方法について、くわしくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



2 ホーム を押す

3 ▲·▼で 放送中の番組へ を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼で 外部入力 を選んで 決定 を押す
- サブメニュー ➡ 放送・入力切換 から 外部入力 を選んで操作することもできます。

ご注意
- ビデオカメラの映像をダビングするときは、ビデオカメラ付属のACアダプターをご使用ください。ダビング中にビデオカメラのバッテリーが消耗すると、正しくダビングできないことがあります。
- 以下の場合は、外部入力に切り換えることはできません。
  - 外部入力以外で3番組同時録画中

CATV(ケーブルテレビ)やスカパー！で受信している映像を見る

■テレビやCATVのホームターミナル／セットトップボックスのIrシステムを使う場合は、本機を操作できないことがあります。

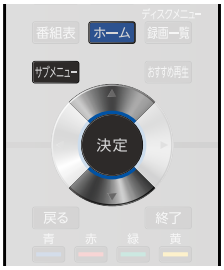
▶ 準備

- 本機とCATVチューナーをつないでおく P.28
  または本機とスカパー！専用チューナーをつないでおく P.28

1 CATVまたはスカパー！専用チューナーを見たいチャンネルに合わせる

- 操作方法について、くわしくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 ホーム を押す



3 ▲·▼で 放送中の番組へ を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼で 外部入力 を選んで 決定 を押す

- サブメニュー ➡ 放送・入力切換 から 外部入力 を選んで操作することもできます。

ご注意

- 地上／BS·110度CSデジタル放送をCATVのホームターミナルやセットトップボックスの映像出力から録画したときは、HD放送でも標準画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。
- 本機とCATVチューナー／スカパー！専用チューナーを映像／音声接続コードでつなぐと、標準画質での録画となります。
- 以下の場合は、外部入力に切り換えることはできません。
  - 外部入力以外で3番組同時録画中

お知らせ

- 本機とCATVチューナー／スカパー！専用チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画できます。 P.97

録画の前に

本機では、ハイビジョン画質によるデジタル放送の最大同時録画数は、機種により以下の番組数まで対応しています。( ) はLAN録画機能を含めた場合。

- FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000：3番組(4番組)
- FBR-HW1000 ／ FBR-HW500：2番組(3番組)

本機の不具合または、放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらじかじめご了承ください。

録画するメディアについて

下記の表を参照のうえ、目的に合ったメディアを選んでください。
番組によっては、著作権保護のため録画が禁止·制限されています。

■ ブルーレイディスクに録画するときは、HDDに録画してからブルーレイディスクにダビングすることをおすすめします。※

番組の録画制限	HDD USB-HDD	BD
制限なしに録画可能	○	○
1回だけ録画可能	○	○
ダビング10	○	○※
録画禁止	×	×

○: できる　×: できない

※ ブルーレイディスクに直接録画したダビング10番組は、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。(移動はできます。)



ご注意

- USB-HDDに録画モード**[AF]**～**[AE]**で直接録画すると、一時的に録画モードを**[DR]**で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 外部入力に接続された機器の映像·音声はUSB-HDDには直接録画できません。
- DVDには直接録画できません。
- SeeQVault-HDDには直接録画できません。USBハブを経由して、USB-HDDとSeeQVault-HDDを同時に接続しているときに録画する場合は、USBを押してから▲·▼でUSB-HDDに切り換えてください。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 二カ国語·マルチ番組·字幕を含む番組の録画制限についてくわしくはP.240をご覧ください。
- ブルーレイディスクに直接録画すると、**[自動チャプター]**を**[入]**に設定しても無効になります。P.214
- ブルーレイディスクに2番組以上を同時に録画できません。

録画モードについて

録画モードとは番組の画質のことです。録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けることができます。

■一度録画した番組の録画モードを変換することもできます。P.140

放送画質（放送画質）	DR		放送そのままの画質になります。 ・デジタル放送をそのままの画質で録画したいときにおすすめです。
HD画質	AF（2倍） AN（3倍） AS（4倍） AL（5.5倍） AE（12倍）	高画質 ↕ 長時間	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質になります。 ・デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画したいときにおすすめです。 ・画質レートを選ぶことができます。
標準（標準画質）	XP（1時間） SP（2時間） LP（4時間） EP（6時間）	高画質 ↕ 長時間	標準画質になります。 ・外部入力での映像を録画する場合に選ぶことができます。（FBR-HW1000 ／ FBR-HW500は表示されません。）

▷録画モードAF（2倍）～AE（12倍）で録画すると・・・

- 録画時の画質レートが低い場合は、映像によってはブロック状のノイズが目立ったり、色が変化するなど映像が乱れたりすることがあります。そのようなときは、画質レートを上げて録画することをおすすめします。
- ディスクにダビングするときは、録画モードDRで録画することをおすすめします。

▷録画モードSKPやAVCとは

スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組をLAN録画機能で録画すると、番組に応じて録画モードがSKPまたはAVCになります。任意の録画モードは設定できません。

お知らせ

- 同時録画時の録画モードの組み合わせによっては、選択した録画モードで録画できないことがあります。くわしくはP.235をご覧ください。
- 録画モード別の記録時間についてくわしくはP.248をご覧ください。

放送中の番組を録画する

HDD　USB-HDD　BD

▶ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく P.52

1 HDD、DISC または USB を押して、録画したいメディアを選ぶ

- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由してUSB-HDDを複数接続している場合は、USBを押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押してください。

2 地上、BS または CS を押して、録画したい放送を選ぶ

3 チャンネル または 1 ～ 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画 を押す

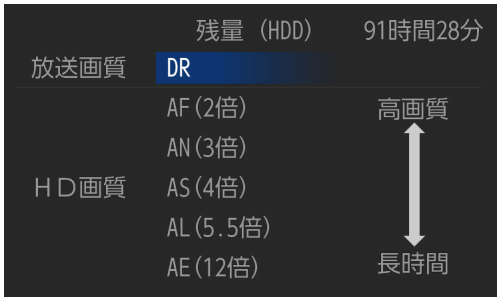
- ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ 録画設定 ➡ ワンタッチ録画の終了方法 を 番組が終わるまで に設定しているときは、番組が終了すると自動的に録画を停止します。 P.215



▷ 録画モードを変更するときは

録画を始める前に、あらかじめ録画モード（画質）を設定してください。
変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。録画中は、録画している番組の録画モードは変更できません。

① 番組を視聴中にサブメニューを押す
② ▲·▼で 録画モード を選んで決定を押す
③ ▲·▼でお好みの設定を選んで決定を押す



▷ 録画を一時停止するときは（BDへの録画中の一時停止はできません）

録画中のメディアとチャンネルに切り換えてから、一時停止を押す

- もう一度押すと再び録画が始まります。

▷ 録画を停止するときは

停止を押す

- 停止した位置までが1つの番組となります。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。

ご注意

- くわしくは「同時録画時の録画モードについて」P.235をご覧ください。
- 新品（未使用）のディスクを入れると、初期化（フォーマット）画面が表示されるので、ディスクを初期化（フォーマット）してからお使いください。P.224
- ダビング中は（録画）を押しても録画できない場合があります。
- USB-HDDに録画モード**[AF]**～**[AE]**で直接録画すると、一時的に録画モードを**[DR]**で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- 外部入力に接続された機器の映像・音声はUSB-HDDには直接録画できません。
- **FBR-HT2000／FBR-HT1000の場合は、USB-HDDの種類によってUSB-HDDに同時録画できる番組数が異なります。**

	USB 3.0	USB 2.0
FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000	3番組まで	2番組まで
FBR-HW1000 ／ FBR-HW500	2番組まで	

お知らせ

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、画面表示を1回押して画面表示を表示すると確認できます。

指定した時間で録画を終了するには（ワンタッチタイマー録画）

HDD　USB-HDD　BD

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。

■ワンタッチタイマー録画を利用するときは、ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[録画設定]** ➡ **[ワンタッチ録画の終了方法]** を **[停止ボタンを押すまで]** に設定してください。P.215

「放送中の番組を録画する」の手順**4**で（録画）を2回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。（2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。）

- 最大4時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻したいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か（録画）を押してください。
- HDDとUSB-HDDへの録画の場合は、録画時間を設定しないときは、15時間で録画が自動的に停止します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、画面表示を2回押してください。



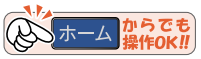
▷ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- 1番組だけ録画中の場合は、停止を押してください。
- 同時録画中／追っかけ再生中の場合は、P.96をご覧ください。
- ワンタッチタイマー録画中の一時停止はできません。

番組表(Gガイド)について

番組表を表示する

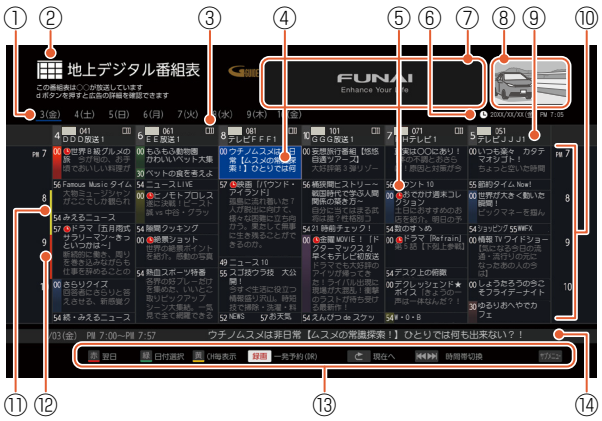
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。



1 番組表 を押して、地上 、BS または CS で お好みの放送の種類を選ぶ



番組表の見かた



① 現在の日付から8日分の日付表示
② 放送の種類
③ マルチ表示
④ 選択中の番組
⑤ ●：録画予約済みアイコン
⑥ 現在の日時
⑦ 広告
⑧ 現在視聴中の放送局の映像
⑨ 放送局のロゴ／放送局の3桁のチャンネル番号／放送局名
⑩ 時間
⑪ これ以上録画予約できない時間帯(黄色帯)
⑫ 重複のため既に録画できない番組が存在する時間帯(赤色帯)
⑬ 操作ガイド
⑭ 選択中の番組の放送日時、かんたんな情報

■録画番組の重複により、これ以上録画予約できない時間帯(⑪)を黄色で表示し、重複のため既に録画できない番組(⑫)が存在する時間帯を赤色で表示します。

■色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻の帯が設定した色に変わります。

▷**番組データの受信について**

かんたん一括設定の設定直後など、番組表で番組データが表示されないときは、表示されない番組を選んで 決定 を押してください。選んだ番組のチャンネルを選局し番組データの取得が開始されます。新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。

(更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。)



- アンテナ線がはずれているときは番組データの受信はされません。
- 本機の状況によっては選んだ番組のチャンネルを選局できないことがあります。
- 上記操作を行わない場合も、視聴中のチャンネルの番組データは取得されます。

番組データは本機の電源が「切」(通電状態)のときにも更新されます。

- 電源プラグをコンセントから抜いているときや、アンテナ線がはずれているときは番組データの受信はされません。
- 番組データの受信中は、待機時動作中LEDが点灯します。
- 番組データの受信中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。
- 番組データの受信には、受信開始から通常数十分かかります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。
- 番組データの受信が完了していなくても、待機時動作中LEDが消えることがあります。

▷デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示できます。

▷CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

CATVは、放送や伝送方式により本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。



ご注意

- 録画中や停電したとき、電源プラグを抜いたときは、番組データを受信できず番組表が最新ではない場合があります。
- 受信状態が良くないときは番組データを受信できないことがあります。
- 次の場合は、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやり直したとき
  - 約1週間以上本機の電源プラグを抜いて使用していなかったとき
- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表を表示してください。
- 放送局の都合により番組が変更になることがあります。この場合は、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。
- 表示チャンネル数は最小3チャンネルから最大12チャンネルまで設定可能ですが**[表示チャンネル数切換]**で**[9チャンネル]**以上設定した場合は、表示される文字が小さくなるため、ハイビジョンテレビでご覧いただく事をおすすめいたします。

お知らせ

- 番組表は最大8日分まで表示できます。
- 地上デジタル放送／BSデジタル放送／CSデジタル放送の番組表を表示できます。
- 番組表から録画予約した番組には ● が表示され、録画予約した番組が録画中の場合は番組左の帯が赤く表示されます。(番組表に ● を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 ▌ が表示されます。毎週／毎日録画の番組の場合は、該当する番組すべてに ● が表示されます。)
- 番組表の表示対象は**[テレビ]**／**[ラジオ]**／**[データ]**から選択できます。ただし、存在していないサービスは選択できません。なお、視聴中のサービスの切り換えについて、くわしくは「独立データ放送やラジオ放送を楽しむ」P.60をご覧ください。
- データ d を押すと広告の詳細が表示されます。広告詳細表示画面では、◀·▶で広告の切り換え(広告が複数ある場合のみ)、▲·▼で広告内容のスクロール(広告内容が1ページに収まっていない場合のみ)を行えます。戻る を押すと広告詳細表示を終了します。

番組表の表示を切り換える

サブメニューを使うと、以下の表示を切り換えることができます。

- ■表示する日付(日付選択)
- ■表示するチャンネルの数(表示チャンネル数切換)
- ■表示する時間数(表示時間数切換)
- ■番組のジャンルを色分けして表示(ジャンル色分け)
- ■番組名などの文字の大きさ(文字サイズ切換)
- ■番組の詳細表示(番組詳細表示切換)
- ■テレビ放送のサービス(表示対象切換)
- ■マルチチャンネル放送の表示(マルチ表示／1チャンネル表示)

1 番組表を表示中にサブメニューを押す



2 ▲·▼で切り換えたい項目を選んで決定を押す

3 ▲·▼でお好みの表示を選んで決定を押す

番組表（Gガイド）について（つづき）

日付を切り換える



- 赤を押すと翌日の番組表に切り換えます。
- 青を押すと前日の番組表に切り換えます。

▷**日付を指定して切り換えるときは**

① **サブメニューを押す**

② **▲・▼で 日付選択 を選んで 決定 を押す**
- 緑を押しても日付選択が表示できます。

③ **▲・▼でお好みの日付を選んで 決定 を押す**

現在の番組を表示する

10秒戻しを押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

マルチチャンネルを表示する

デジタル放送の中には、１つの放送局で複数の番組を放送できるマルチチャンネル放送があります。

① **▲・▼・◀・▶でマルチチャンネルを表示したい番組を選んでサブメニューを押す**

② **▲・▼で マルチ表示 を選んで 決定 を押す**
- 同様に１チャンネル表示にしたい場合は、手順②で １チャンネル表示 を選んで 決定 を押します。
- マルチチャンネル放送を行っていない放送局や チャンネルスキップ設定 で スキップ に設定されている放送局は、１チャンネル表示 ／ マルチ表示 で切り換えることはできません。

CH毎表示に切り換える

選んだチャンネルの８日分の番組表を表示させることができます。

① **▲・▼・◀・▶でチャンネルを選んで黄を押す**
- CH毎表示 では、曜日表記の 土 と 日 の背景色が他の曜日表記と異なる色で表示されます。
- 全CH表示 に戻すには、もう一度黄を押します。

ページを切り換える

- コマ戻し スキップ ・ コマ送り スキップ を押すと、表示時間数切換 で設定された時間に応じて上下にページが切り換わります。
- 表示時間数切換 は２時間、４時間および６時間に設定できます。
- スロー 早戻し ・ スロー 早送り を押すと、表示チャンネル数切換 で設定されたチャンネル数に応じて左右にページが切り換わります。
- スキップ したチャンネル数やお住まいの地域（県域）で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

番組詳細の表示を切り換える

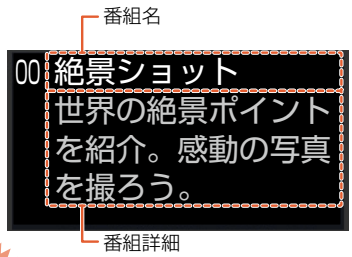
番組表で番組詳細を表示するかしないかを切り換えることができます。

① **サブメニューを押す**

② **▲・▼で 番組詳細表示切換 を選んで 決定 を押す**

③ **▲・▼で 表示する または 表示しない を選んで 決定 を押す**

表示する：番組名と番組詳細を表示する
表示しない：番組名のみを表示する



ご注意
- 出荷状態では**[表示しない]**が選ばれています。番組詳細を表示する場合は、**[表示する]**を選んでください。

番組のジャンルを色分けして表示する

■番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すときに便利です。
■お買い上げ時に設定されている色分けを以下の操作で変更できます。

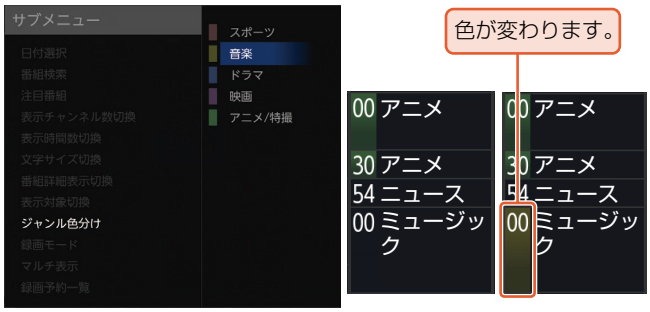


① **番組表を表示中にサブメニューを押す**

② **▲·▼で ジャンル色分け を選んで決定を押す**
- 色分け設定一覧が表示されます。

③ **▲·▼で表示する色を選んで決定を押す**

④ **▲·▼·◀·▶で ジャンル項目 を選んで決定を押す**
- 番組表に戻るには戻るを2回押してください。
  番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。



▷**他の色を続けて設定するときは**
手順③～④を繰り返す

▷**色分けを解除したいときは**
手順④で 指定しない を選ぶ

お知らせ
- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

番組の詳細内容を確認する

① **番組表を表示中に▲·▼·◀·▶で確認したい番組を選んで番組内容または決定を押す**
- 表示を消すには、番組内容または戻るを押してください。

▷**番組についてのアイコン一覧**

- 1080i / 1080i：番組の映像信号情報（上：画面の縦横比／下：信号方式）
- 有料 / 済：有料放送未契約／有料放送契約済み
- コピーD / 出力D：デジタルコピー禁止／デジタル出力禁止
- コピー制限：ダビング10番組またはコピーワンス（1回だけ録画可能）番組
- コピーA / 出力A：アナログコピー禁止／アナログ出力禁止
- 4才～ / 20才～：4歳から視聴可能～20歳から視聴可能
- 信号：マルチ番組（映像や音声などが複数ある番組）
- モノラル / ステレオ：モノラル音声／ステレオ音声
- 主+副 / サラウンド：主+副 音声／マルチチャンネル音声
- 字幕：字幕有り

お知らせ
- 番組を視聴しているときに番組内容を押すと、視聴している番組の詳細内容を確認できます。

次ページへつづく

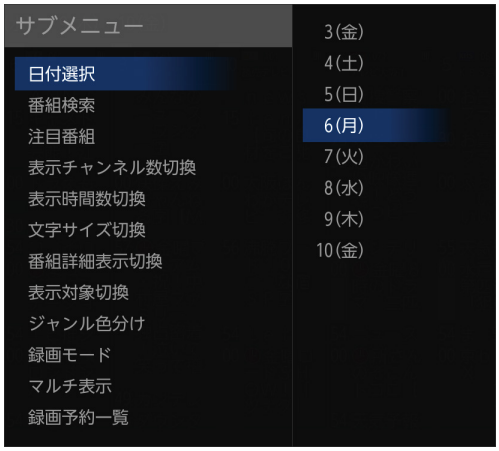
指定した日の番組表を表示させる

日付を選んで番組表を表示させることができます。

① 緑 を押す

- サブメニュー を押して、日付選択 を選んで操作することもできます。

② ▲·▼で指定したい日を選んで 決定 を押す



- 選択した日付の番組表が表示されます。



予約一覧を確認する

予約一覧の確認ができます。

① ホーム を押す

② ▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

③ ▲·▼で おまかせ録画 または 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 録画予約一覧 を選んだ場合は、P.91 をご覧ください。
- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

番組表から録画モードを変更する

番組表を表示中に録画モードを変更できます。

① 番組表を表示中に サブメニュー を押す

② ▲·▼で 録画モード を選んで 決定 を押す

③ ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。

ご注意

- 録画中の予約の内容は変更できません。

番組表から一発予約で予約する

HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 地上 、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 ▲·▼·◀·▶で予約したい番組を選んで 録画 を押す

- HDDへの録画予約が確定し、選んだ番組に ◔ が表示されます。
- 番組表に ◔ を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 ▌ が表示されます。
- 予約録画が始まると、下記の帯部分が赤い表示に変わります。



- 録画 を使った一発予約では、録画先はHDDになります。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、終了 を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。
  （電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）



▷予約の内容を変更したいときは

① 一発予約した番組を選んで 決定 を押す

② ◀·▶で 予約修正 を選んで 決定 を押す

③ 予約の内容を変更する

- くわしくは「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」P.76の手順5以降をご覧ください。

▷予約の確認・消去や録画停止をするときは

予約の確認 P.91、予約の消去 P.95、録画の停止 P.96をご覧ください。

お知らせ

- 予約が重なったときは、P.102をご覧ください。

注目番組一覧から予約する

HDD　USB-HDD　BD

放送局おすすめの番組一覧から番組を選んで予約できます。

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押して、番組表を表示する

2 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

3 ▲·▼ で 注目番組 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼ でお好みのカテゴリーを選んで 決定 を押す



カテゴリー 一覧

注目番組一覧
選択されているカテゴリーによっては、表示方法が異なることがあります。



5 ▲·▼·◀·▶で予約したい番組を選ぶ

▷お好みの設定で予約するには

① 決定 または 番組内容 を押して、注目番組詳細画面を表示してから、◀·▶で 録画予約 を選んで 決定 を押す

- 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、はい を選んで 決定 を押します。

② 「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」P.76 の手順5 に進んでください。

- 選んだ番組に[ ]が表示されます。

▷[一発予約]をするには

① 録画 を押す

- 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、はい を選んで 決定 を押します。
  選んだ番組に[ ]が表示されます

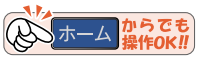
番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)

HDD USB-HDD BD

番組表から録画予約したい番組を選んで、お好みの設定で録画予約できます。

▶ **準備**

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく P.52



1 番組表を押す



2 地上、BSまたはCSを押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 ▲·▼·◀·▶で録画予約したい番組を選んで決定を押す

4 ◀·▶で 録画予約 を選んで決定を押す

- 現在の設定内容が表示されます。▲·▼で 予約する を選んで設定内容に問題なければ、決定を押してください。設定を変更したい場合は、手順5に進んでください。
- 放送が確定していない番組の場合は確認画面が表示されるので▲·▼で はい を選んで決定を押してください。

次ページへつづく

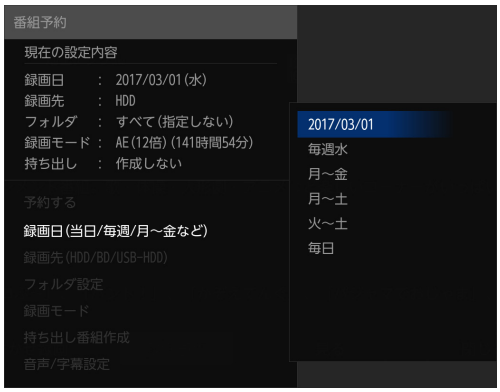
5 ▲·▼·◀·▶で設定内容を変更したい項目を選んで 決定 を押す

● お好みに合わせて以下の項目を変更してください。



番組表予約で設定できる項目一覧

録画日	当日の日付(2017/3/1など)
	毎週○(○は曜日を表示)
	月～金
	月～土
	火～土
	毎日



▷ **毎週／毎日録画をするときは**

毎週○ や 月～金、月～土、火～土、毎日 を選ぶ

- 日曜日以外に放送される番組を毎日録画する場合は 月～土 を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を毎日録画する場合は 火～土 をおすすめします。

録画先	HDD
	BD
	USB-HDD○:XXX※

※ **[USB-HDD]** の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名を表示します。

フォルダ設定	すべて(指定しない)
	新規フォルダ
	新規フォルダ(番組名)
	作成したフォルダ

- 録画先を BD に設定したときは選べません。

▷ **すべて(指定しない) を選ぶと**

- すべて および ジャンル に保存されます。

▷ **新規フォルダ を選ぶと**

- お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた P.206

▷ **新規フォルダ(番組名) を選ぶと**

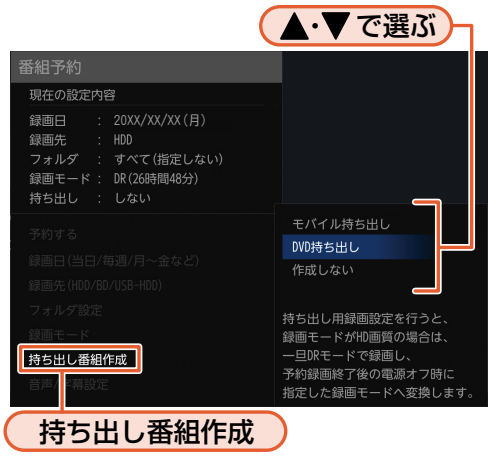
- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダを作成して、録画できます。
(フォルダ名はお好みの名前にも変更できます。)



録画モード	自動
	DR
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先がUSB-HDDの場合は、録画モードを 自動 に設定できません。
- 録画モードを 自動 に設定するときは、「ディスクの容量に合わせて録画する」P.78をご覧ください。
- 録画モードを DR 以外に設定したときは、記録する音声・字幕を設定してください。
字幕放送を行っていない番組は、**[音声／字幕設定]** で切り換えることはできません。

持ち出し番組作成	モバイル持ち出し
	DVD持ち出し
	作成しない



▷ **モバイル持ち出し を選ぶと**
- 予約録画しながらモバイル持ち出し番組を作成します。P.174

▷ **DVD持ち出し を選ぶと**
- 予約録画しながらVR方式のDVDに高速ダビングできる番組を作成します。P.160

▷ **作成しない を選ぶと**
- 持ち出し設定をしません。

- モバイル持ち出し用の画質は **モバイル持ち出し画質設定** に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ **設定／お知らせ** ➡ **本体設定** ➡ **録画設定** の **モバイル持ち出し画質設定** P.214で変更できます。
- DVD持ち出し用の画質は **DVD持ち出し画質設定** に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ **設定／お知らせ** ➡ **本体設定** ➡ **録画設定** の **DVD持ち出し画質設定** P.214で変更できます。
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード **AF** ～ **AE** で録画すると、一時的に録画モードを **DR** で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- モバイル持ち出し、DVD持ち出しを選択した場合は、予約録画時の録画状況によって録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先は **HDD** または **USB** を選んでください。

音声／字幕設定	音声
	字幕

- 録画モードを **DR** に設定したときは選べません。

6 すべて設定し終えたら、▲·▼で 予約する を選んで 決定 を押す



- 番組表に戻り、選んだ番組に ◔ が表示されます。（番組表に ◔ を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 ▎ が表示されます。毎週／毎日録画をした場合は、該当する番組すべてに ◔ が表示されます。）
- 設定が終わったら、終了 を押してください。
- 本機を使用しないときは電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）

▷ **予約が重なったときは**
「予約が重なったときは」P.102をご覧ください。

▷ **他の番組を続けて予約するときは**
このあと、P.75～P.77の手順2 ～ 6を繰り返す

▷ **予約の確認・変更・消去や録画停止をするときは**
P.91～P.96をご覧ください。
- 予約は200件まで登録できます。HDDとUSB-HDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

ご注意
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード**[AF]**～**[AE]**で録画すると、一時的に録画モードを**[DR]**で録画します。（電源「切」時に設定した録画モードに変換します。）
- モバイル持ち出し、DVD持ち出しを選択した場合は、予約録画時の録画状況によっては、録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先メディアがUSB-HDDの場合は、録画モードを**[AF]**～**[AE]**に設定しても一時的に**[DR]**で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）

ディスクの容量に合わせて録画する

HDD　BD

[録画モード] を **[自動]** に設定すると、本機で初期化直後のディスクの容量ぴったりに収まるように、自動的に画質を調節して録画します。

▷**録画先メディアがブルーレイディスクの場合は**

本機でディスクの容量を自動的に計算し、その容量に合わせて録画します。

▷**録画先メディアがHDDの場合は**

録画モード で 自動 を選んだあと、録画モード自動設定 画面が表示されます。録画したあとにダビングするときのブルーレイディスクやDVDの容量を選んでください。

① 「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」P.76の手順5で、録画モード を選ぶときに、▲·▼で 自動 を選んで▶を押して、つづけて決定を押す

- 録画モード自動設定 画面が表示されます。

② ▲·▼で、ディスクの容量を選んで決定を押す



- ディスク容量と対応しているディスクは以下になります。
（BD-RE（3層）とBD-R（3層／4層）もダビングはできますが、ディスク容量に合わせることはできません。）

HD画質	4.7GB	DVD-RW（AVCREC™）	（1層）
		DVD-R（AVCREC™）	（1層）
	8.5GB	DVD-R（AVCREC™）	（2層）
	25GB	BD-RE／BD-R	（1層）
	50GB	BD-RE／BD-R	（2層）

- 前ページの手順6に進んでください。

番組を検索して予約する

HDD USB-HDD BD

録画したい番組を検索して予約できます。

番組表のデータを、カテゴリー、ジャンル、出演者およびフリーワードから検索して、お好みの番組を探すことができます。

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 番組表を表示中に サブメニュー を押す

3 ▲·▼ で 番組検索 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼ でお好みの検索方法を選んで 決定 を押す



▷カテゴリーから検索する場合は

① ▲·▼ で [検索方法] を選んで 決定 を押す

② ▲·▼ で カテゴリー を選んで 決定 を押す

③ ▼ で [カテゴリー] へ移動して 決定 を押す

④ ▲·▼·◀·▶ で [カテゴリー] と [サブカテゴリー] を選んで 決定 を押す

- P.80 の手順5に進んでください。

▷ジャンルから検索する場合は

① ▲·▼ で [検索方法] を選んで 決定 を押す

② ▲·▼ で ジャンル を選んで 決定 を押す

③ ▼ で [ジャンル] へ移動して 決定 を押す

④ ▲·▼·◀·▶ で [ジャンル項目] と [詳細ジャンル項目] を選んで 決定 を押す

- P.80 の手順5に進んでください。

▷出演者から検索する場合は

① ▲·▼ で [検索方法] を選んで 決定 を押す

② ▲·▼ で 出演者 を選んで 決定 を押す

③ ▼ で [出演者] へ移動して 決定 を押す

④ ▲·▼·◀·▶ で [頭文字] と [出演者名] を選んで 決定 を押す

- P.80 の手順5に進んでください。

▷フリーワードから検索する場合は

① ▲·▼ で [検索方法] を選んで 決定 を押す

② ▲·▼ で フリーワード を選んで 決定 を押す

③ ▼ で [フリーワード] へ移動して 決定 を押す

④ フリーワードを入力する

文字入力のしかた P.206

- P.80 の手順5に進んでください。
- [フリーワード] の入力欄を選んだ状態で 青 を押すと、フリーワードの新規登録や、登録済みのフリーワードの選択や編集ができます。
- フリーワードは最大14個まで登録できます。

次ページへつづく

番組を検索して予約する(つづき)

5 ▼で **日付** を選んで 決定 を押す

6 ▲·▼で検索する日付を選んで 決定 を押す

7 ▼で **放送種別** を選んで 決定 を押す

8 ▲·▼で検索する放送種別を選んで 決定 を押す

9 ▼で **検索開始** を選んで 決定 を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

▷番組の詳細内容を確認するには

内容を確認したい番組を選んで 決定 を押す P.71

▷今すぐ番組を見たいときは

現在放送中の番組を選んで 決定 ➡ [番組内容] ➡ **見る** を選んで 決定 を押す

10 ▲·▼で予約したい番組を選ぶ

▷一発予約で予約するには

録画 を押す

- 選んだ番組に[ ]が表示されます。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

▷お好みの設定で予約するには

決定 を押して[番組内容]画面を表示してから「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」P.75の手順4以降を行う



ご注意

- フリーワードの入力は全角/半角にかかわらず、最大で30文字までになります。
- 検索結果は各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、カテゴリーやジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- **[カテゴリー]**、**[ジャンル]**、**[出演者]**で検索した場合と**[フリーワード]**で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。
- 検索結果は最大300件まで表示できます。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。

お知らせ

- フリーワードには、スペースをはさんで複数のワードを設定することもできます。この場合は、入力した全ワードを含む番組を検索します。(例:ヨーロッパ　鉄道旅行)
- 検索した設定は再度番組検索を表示しても記憶されていますが、**[日付]**の設定は**[すべて]**に戻ります。

手動で入力して予約する(日時指定予約)

HDD USB-HDD BD

番組表が利用できない番組を録画予約したいときに、手動で番組を録画予約できます。

▶ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく P.52

1 ホームを押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中にサブメニューを押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

3 赤 を押す

- 録画予約設定 が表示されます。
- 録画予約一覧 ➡ サブメニュー ➡ 新規予約 を選んで 決定 を押して操作することもできます。

4 ◀·▶で各項目を選んで▲·▼で設定する





- 昼の12時は「PM0：00」に、夜の12時は「AM0：00」に合わせてください。

▷ 毎週／毎日録画をするときは

録画日 のところで▼を押していくと、毎日 、火～土 、月～土 、月～金 、毎週○ (○は録画予約する番組の曜日が表示されます) などを選べます。

次ページへつづく

5 ▲·▼·◀·▶で設定内容を変更したい項目を選んで 決定 を押す

● お好みに合わせて以下の項目を変更してください。



録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	BD
	USB-HDD○:XXX※

※ [USB-HDD] の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名を表示します。

録画モード	自動
	DR
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先がUSB-HDDの場合は、録画モードを 自動 に設定できません。
- 録画モードを 自動 に設定するときは、「ディスクの容量に合わせて録画する」P.78をご覧ください。
- 録画モードを DR 以外に設定したときは、記録する音声・字幕を設定してください。

フォルダ設定	すべて(指定しない)
	新規フォルダ
	作成したフォルダ

- 録画先を BD に設定したときは選べません。

▷ **新規フォルダ を選ぶと**

- お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた P.206

▷ **すべて(指定しない) を選ぶと**

- すべて および ジャンル に保存されます。

持ち出し番組作成	モバイル持ち出し
	DVD持ち出し
	作成しない

▷ **モバイル持ち出し を選ぶと**

- 予約録画しながらモバイル持ち出し番組を作成します。P.174

▷ **DVD持ち出し を選ぶと**

- 予約録画しながらVR方式のDVDに高速ダビングできる番組を作成します。P.160

▷ **作成しない を選ぶと**

- 持ち出し設定をしません。

- モバイル持ち出し用の画質は モバイル持ち出し画質設定 に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ 録画設定 の モバイル持ち出し画質設定 P.214で変更できます。
- DVD持ち出し用の画質は DVD持ち出し画質設定 に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ 録画設定 の DVD持ち出し画質設定 P.214で変更できます。
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード AF ～ AE で録画すると、一時的に録画モードを DR で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- モバイル持ち出し、DVD持ち出しを選択した場合は、予約録画時の録画状況によって録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先は HDD または USB を選んでください。

6 すべて設定し終えたら、▲·▼·◀·▶で 決定 を選んで 決定 を押す



- 予約が確定し、録画予約一覧 に戻ります。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。
- 本機を使用しないときは電源を切ることをおすすめします。
  （電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）

▷ **予約が重なったときは**

「予約が重なったときは」P.102をご覧ください。

▷ **他の番組を続けて予約するときは**

P.81～P.83の手順3～6を繰り返します。

ご注意

- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード[AF]～[AE]で録画すると、一時的に録画モードを[DR]で録画します。
  （電源「切」時に設定した録画モードに変換します。）
- モバイル持ち出し、DVD持ち出しを選択した場合は、予約録画時の録画状況によっては、録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先メディアがUSB-HDDの場合は、録画モードを[AF]～[AE]に設定しても一時的に[DR]で録画されます。
  （電源「切」時に設定した録画モードに変換されます。）

お知らせ

- 予約は200件まで登録できます。HDDとUSB-HDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。
  ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

自動で録画する(おまかせ録画)

フリーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

おまかせ録画設定画面の見かた



① 録画先メディア
② 検索条件
③ 検索条件詳細
④ 検索設定:入／切
⑤ 操作ガイド

ご注意

- おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表などから予約してください。
- おまかせ録画できる番組は、1日に最大12時間までです。

新番組おまかせ録画を設定する

HDD　USB-HDD

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で 新番組 を選んで 決定 を押す



- 条件を設定する場合は、「おまかせ録画を登録する」P.85の手順5を行ってください。

4 設定完了 を選んで 決定 を押す

5 閉じる を選んで 決定 を押す



6 緑 を押して 検索設定 を 入 にする

- 緑 を押すたびに 検索設定 の 入 と 切 が切り換わります。
  - 検索設定を 入 にすると、地上デジタル放送で放送予定の新番組やドラマの初回を検索して録画します。（放送種別 P.86 は「地デジ」のみになります。）
  - 検索設定を 入 にしたときに登録された録画予約は、検索設定を 切 にしても自動的に録画されます。不要な録画予約を消去したいときは、「録画予約一覧から予約を取り消す」 P.95 をご覧ください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

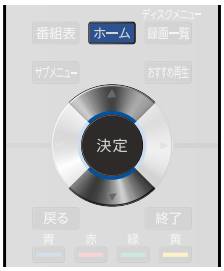
おまかせ録画を登録する

HDD　USB-HDD

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で （未設定） を選んで 決定 を押す



検索条件を選ぶ

4 ▲·▼で検索条件を選んで 決定 を押す

カテゴリー：
カテゴリーの一覧が表示されます。左側の一覧からカテゴリーを選んだあと、右側の一覧からサブカテゴリーを選んでください。

ジャンル：
ジャンルの一覧が表示されます。左側の一覧からジャンル項目を選んだあと、右側の一覧から詳細ジャンル項目を選んでください。

出演者：
出演者の一覧が表示されます。左側の一覧から頭文字を選んだあと、右側の一覧から出演者名を選んでください。

フリーワード：
文字入力画面が表示されます。お好みのフリーワードを入力してください。スペースをはさんで、複数のフリーワードを設定することもできます。
（例：　ヨーロッパ　鉄道旅行）

- 文字の入力方法については、

文字入力のしかた P.206 をご覧ください。

次ページへつづく

5 条件を変更する場合は、▲·▼で条件を設定したい項目を選んで 決定 を押す



- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。
- 自動消去とは、内蔵HDD／USB-HDDの残り容量が少なくなったときに、自動的に消去する番組をあらかじめ指定できる機能です。自動消去を実行する残り容量については、「自動消去する条件を設定する」P.90をご覧ください。

条件を設定できる項目一覧

録画先	HDD
	USB-HDD○:XXX※1

※1 **[USB-HDD]** の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名を表示します。

録画モード	DR
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

フォルダ設定	すべて(指定しない)
	新規フォルダ
	作成したフォルダ

▷ **新規フォルダ を選ぶと**
- お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた P.206

▷ **すべて(指定しない) を選ぶと**
- すべて および ジャンル に保存されます。

自動消去	入
	切

▷ **入 を選ぶと**
- 録画した番組の番組内容画面に"🗑 自動消去予定"が表示されます。P.71

▷ **くわしい検索条件を設定するときは**

① 詳細設定 を選んで 決定 を押す
- 手順4で カテゴリー を選択した場合は、詳細設定 は表示されません。

② 各項目を設定する

詳細設定	放送種別
	チャンネル
	出演者※2
	ジャンル※3
	フリーワード※4
	除外ワード
	時間帯

※2 手順4で 出演者 を選択した場合は表示されません。
※3 手順4で ジャンル を選択した場合は表示されません。
※4 手順4で フリーワード を選択した場合は表示されません。

③ ▶で 決定 を選んで 決定 を押す

6 ▶で 設定完了 を選んで 決定 を押す

- 現在時刻の30分後に開始する番組から2日先までの番組を検索し、おまかせ録画予約します。
- 次回からは、本機の電源が「切」のときに行う番組表更新時に検索が実行されます。

7 メッセージが表示されるので確認して、決定 を押す

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

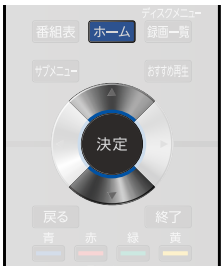
- 自動消去を 入 に設定して録画された番組を編集した場合は、自動消去が解除されます。
- 検索条件に関連する番組であっても、同時に設定した除外ワードに関連する番組は、おまかせ録画の対象から除外されますのでご注意ください。

お知らせ

- おまかせ録画は、新番組おまかせ録画1個を含めて最大16個まで登録できます。
- 番組表での表示が左のチャンネルから順に予約されます。

登録したおまかせ録画を変更する

HDD USB-HDD



1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

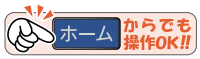
3 ▲·▼で変更したいおまかせ録画を選んで 決定 を押す

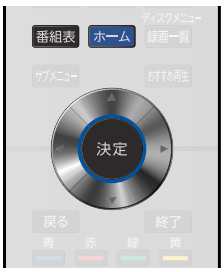
4 「おまかせ録画を登録する」P.85の手順4以降を行う

ご注意
- 変更した内容は次の検索時から反映されます。変更前に検索された録画予約には反映されません。

番組表からおまかせ録画を登録する

HDD USB-HDD





1 番組表 を押す

2 ▲·▼·◀·▶でおまかせ録画したい番組を選んで 決定 を押す

3 ◀·▶で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼で検索条件を選んで 決定 を押す

カテゴリー:
一覧からカテゴリーを選んでください。

ジャンル:
一覧からジャンルを選んでください。

出演者:
一覧から出演者を選んでください。

番組名:
文字入力画面に選んだ番組と同じ番組名が表示されるので、番組名を編集してください。

文字入力のしかた P.206

- 選んだ番組によっては、話数も番組名として含まれる場合もあります。

- 一覧が表示された場合は ▲·▼ でお好みの条件を選んで 決定 を押してください。
- 該当データなし が表示された場合は、他の条件を選択してください。

5 「おまかせ録画を登録する」P.86の手順5以降を行う

おまかせ録画で登録された予約を確認する

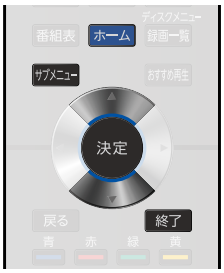
HDD USB-HDD

1 ホーム を押す

2 ▲·▼ で 予約 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼ で 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す





- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

おまかせ録画の検索設定を無効にする

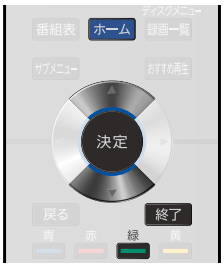
HDD USB-HDD

おまかせ録画を一時的に実行しないようにします。

1 ホーム を押して、▲·▼ で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼ で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼ で無効にしたいおまかせ録画を選んで 緑 を押す





- 緑 を押すたびに 検索設定 の 入 と 切 が切り換わります。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- おまかせ録画の検索設定を[切]にしても、すでに検索された録画予約は消去されません。消去したいときは、「録画予約一覧から予約を取り消す」P95をご覧ください。

おまかせ録画の登録を消去する

HDD USB-HDD

おまかせ録画の登録を消去します。

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で消去したいおまかせ録画を選んで 3桁入力 消去 を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- 「新番組」は消去できません。新番組おまかせ録画をしない場合は、「おまかせ録画の検索設定を無効にする」P.89をご覧ください。
- おまかせ録画の登録を消去しても、すでに確定された録画予約は消去されません。消去したいときは、「録画予約一覧から予約を取り消す」P.95をご覧ください。

自動消去する条件を設定する

HDD

自動消去を実行する内蔵HDD／USB-HDDの残り容量を設定できます。

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で おまかせ録画 を選んで 決定 を押す

3 赤 を押す



4 ▲·▼でお好みの残り容量を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

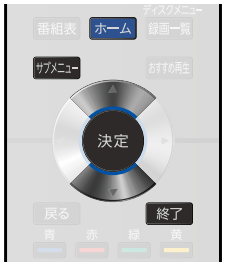
予約を確認・変更・消去する

設定済みの予約を確認する

HDD USB-HDD BD

録画予約一覧で予約を確認することができます。

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選ぶ

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

録画予約一覧の見かた



① 予約結果のお知らせ
② 現在の日時
③ 番組名
④ 予約日時、放送局名
⑤ おまかせ録画
⑥ 録画モード
⑦ 録画先メディア
⑧ スキップ設定をしている予約
⑨ 操作ガイド
⑩ 持ち出し設定アイコン
　：モバイル持ち出しアイコン
　：DVD 持ち出しアイコン

■ 録画中の予約には、録画 が表示されます。
■ 重複 が表示されたときは、P.102 をご覧ください。
■ 予約結果のお知らせ フォルダについてくわしくはP.103 をご覧ください。

設定済みの予約の内容を変更する

録画予約一覧または番組表から予約内容の変更をすることができます。

録画予約一覧から予約の内容を変更する

HDD USB-HDD BD

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

次ページへつづく

3 ▲·▼で変更したい予約を選んでサブメニューを押す



4 ▲·▼で 予約修正 を選んで 決定 を押す

5 ◀·▶で変更したい項目へ移動して、▲·▼で内容を変更する



- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

6 ▲·▼·◀·▶で設定内容を変更したい項目を選んで 決定 を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	BD
	USB-HDD○:XXX※

※ [USB-HDD] の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名を表示します。

録画モード	自動
	DR
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先がUSB-HDDの場合は、録画モードを 自動 に設定できません。
- 録画モードを 自動 に設定するときは、「ディスクの容量に合わせて録画する」P.78をご覧ください。
- 録画モードを DR 以外に設定したときは、記録する音声・字幕を設定してください。

フォルダ設定	すべて(指定しない)
	新規フォルダ
	新規フォルダ(番組名)
	作成したフォルダ

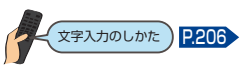
- 録画先を BD に設定したときは選べません。

▷ **すべて(指定しない) を選ぶと**

- すべて および ジャンル に保存されます。

▷ **新規フォルダ を選ぶと**

- お好みの名前のフォルダを作成できます。



▷ **新規フォルダ(番組名) を選ぶと**

- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダを作成して、録画できます。
(フォルダ名はお好みの名前にも変更できます。)
- 「手動で入力して予約する(日時指定予約)」で予約した番組では選べません。

持ち出し番組作成	モバイル持ち出し
	DVD持ち出し
	作成しない

▷ **モバイル持ち出し を選ぶと**

- 予約録画しながらモバイル持ち出し番組を作成します。 P.174
- モバイル持ち出し用の画質は モバイル持ち出し画質設定 に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ 録画設定 の モバイル持ち出し画質設定 P.214 で変更できます。
- DVD持ち出し用の画質は DVD持ち出し画質設定 に設定してある画質に変換されます。
  ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ 録画設定 の DVD持ち出し画質設定 P.214 で変更できます。
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード AF ～ AE で録画すると、一時的に録画モードを DR で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- モバイル持ち出し、DVD持ち出しを選択した場合は、予約録画時の録画状況によって録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先は HDD または USB を選んでください。

▷ **DVD持ち出し を選ぶと**

- 予約録画しながらVR方式のDVDに高速ダビングできる番組を作成します。 P.160

▷ **作成しない を選ぶと**

- 持ち出し設定をしません。

音声／字幕設定	音声
	字幕

- 録画モードを DR に設定したときは選べません。
- 「手動で入力して予約する（日時指定予約）」で予約した番組では選べません。

7 すべて設定し終えたら、▲·▼·◀·▶で 決定 へ移動して、決定を押す



- 予約が確定し、録画予約一覧 に戻ります。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

▷ **予約が重なったときは**

「予約が重なったときは」 P.102 をご覧ください。

番組表から予約の内容を変更する

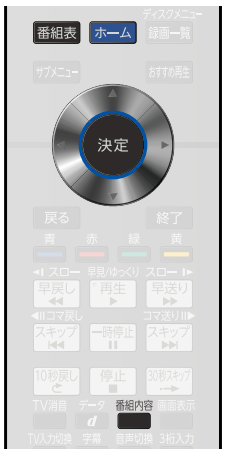
HDD　USB-HDD　BD

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表を押す

2 ▲·▼·◀·▶で変更したい予約を選んで 番組内容 または 決定 を押す

3 ◀·▶で 予約修正 を選んで 決定 を押す



次ページへつづく

4 予約の内容を変更する

- 「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」P.76〜P.77の手順5〜6をご覧ください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。



ご注意

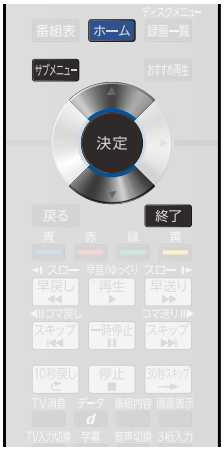
- 番組表から録画予約した番組の場合は、**[開始時刻]**または**[終了時刻]**を変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、P.103をご覧ください。
- **[持ち出し番組作成]**を**[作成しない]**以外に設定して番組表から予約した録画予約は、**[録画先]**を変更できません。
- 日時指定予約の場合は、予約録画が実行中でも終了時刻のみ変更できます。

予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)

HDD　USB-HDD　BD

祝日などでその週／日の番組の放送がない場合は、予約をそのまま残して次回の録画だけ実行されないように設定できます。

1 ホームを押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

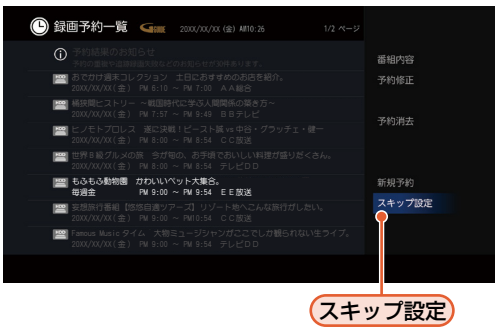


2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選ぶ

- 番組表を表示中にサブメニューを押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

3 ▲·▼で一時的に毎週／毎日録画を解除したい予約を選んでサブメニューを押す

4 ▲·▼で スキップ設定 を選んで 決定 を押す



- スキップを設定した予約に スキップ と表示され、次回の予約がスキップされます。
- スキップ設定 を解除するには、もう一度手順3〜4を行ってください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意

- 予約のスキップ設定は、1回スキップすると自動的に解除されます。

不要な予約を取り消す

番組表または録画予約一覧から不要な予約を取り消すことができます。

番組表から予約を取り消す

HDD USB-HDD BD

予約の取り消しは 1 予約ずつとなります。

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 ▲·▼·◀·▶ で予約を取り消したい番組を選んで 録画 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- 録画予約が取り消され、選んだ番組から が消えます。
- 録画 の代わりに 決定 または 番組内容 を押して 番組内容 画面を表示させ、◀·▶ で 予約消去 を選んで 決定 を押して予約を取り消すこともできます。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

録画予約一覧から予約を取り消す

HDD USB-HDD BD

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

3 3桁入力 消去 を押す

- サブメニュー を押して、予約消去 を選んで操作することもできます。

4 ▲·▼で予約を取り消したい番組を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組に が付きます。
- 緑 を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- 黄 を押すとすべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、予約を取り消したい番組を選んでください。

5 番組を選び終えたら、▶で 決定 へ移動して、決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。



録画を一時停止･停止する

一時停止する

HDD USB-HDD

録画中に、録画を一時停止できます。

1 一時停止 を押す

- 録画が一時停止します。
- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 予約録画中またはワンタッチタイマー録画中は録画の一時停止はできません。

▷**同時録画中に録画を一時停止するときは**
録画中のメディアに切り換えて、一時停止したい番組にチャンネルを切り換えたあと 一時停止 を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、停止 を押してあらかじめ追っかけ再生を停止してください。



停止する

HDD USB-HDD BD

録画中に、録画を停止できます。

1 停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
録画が停止します。
- 停止した位置までが 1 つの番組となります。
（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）

▷**同時録画中に録画を停止するときは**
停止 を押して、▲･▼で停止したい録画を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、停止 を押してあらかじめ再生を停止してください。

ご注意

- 録画中に一度停止を選択して録画を再開した場合は、番組が分割されます。

LAN録画で録画する

HDD

LAN録画とは、ネットワークに接続したCATV（ケーブルテレビ）チューナーまたはスカパー！プレミアムサービスチューナーからの映像をハイビジョン画質で録画できます。

▶ 準備

- CATVチューナーから録画するときは、本機とCATVチューナーをつないでおく P.182
- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画するときは、本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーをつないでおく P.182

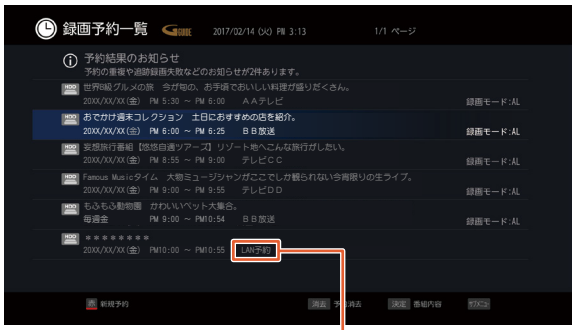
1 CATVチューナー側またはスカパー！プレミアムサービスチューナー側で、録画予約する



- テレビ画面には録画している映像は表示されません。
- 録画が終了すると録画一覧に番組が表示されます。

▷録画予約できているか確認するには

ホーム ➡ 予約 ➡ 録画予約一覧 で確認できます。



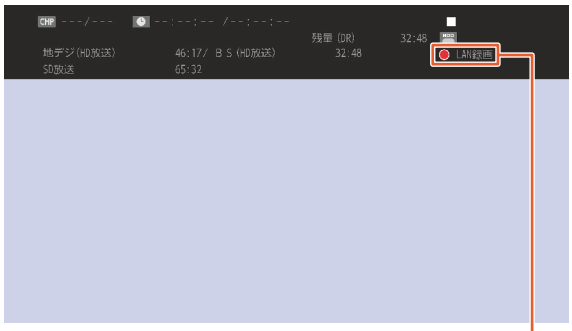
放送局名が[LAN予約]と表示されます。

- 確認が終わったら 終了 を押してください。

▷録画されているか確認するには

画面表示 を押す

（現在の画面によっては 画面表示 を数回押してください。）



録画中は[LAN録画]と表示されます

- 確認が終わったら 終了 を押してください。

▷録画を停止するには

停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- LAN録画と通常録画の同時動作中は、▲・▼で停止する録画を選んで 決定 を押してください。

LAN録画で録画する(つづき)

ご注意

- 外部チューナー側でのみ、録画予約を変更できます。
  (外部チューナー側で録画予約を消去しても本機の録画予約一覧から消去されないときは、本機の録画予約一覧から録画予約を消去してください。)
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。(録画予約は消去されます。)
- LAN録画中は、以下の操作ができません。
  - 市販品のBD-Videoの再生
  - AVCHD方式のディスクの再生
  - 写真の再生
  - ホームネットワーク再生
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合は、視聴年齢が制限された録画番組は本機の録画一覧に表示されません。
P.91

お知らせ

- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- ネットワークの接続が途切れると録画を停止します。また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- 録画した番組は、字幕とデータ放送の表示ができない場合や本機以外で再生できない場合があります。
- 録画した番組は、番組の終わりが数秒間欠けることがあります。
- 録画が終了しても、本機の電源は「入」のままになっています。(外部チューナー側の操作によって本機の電源が自動的に切れる場合もあります。)くわしくは外部チューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 視聴年齢が制限された録画番組の番組名と放送局名は、配信先の機器によっては、「*」で表示されることがあります。

外部入力の映像を録画する※

本機の外部入力端子につないだ他の機器の映像を、本機を経由して録画するときは、本機を外部入力に切り換えます。

※ FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000 のみ

CATV（ケーブルテレビ）やスカパー！から録画する

▶ 準備

- CATV を録画するときは、本機と CATV チューナーをつないでおく P.28
- スカパー！ SD（標準画質）を録画するときは、本機とスカパー！専用チューナーをつないでおく P.28
- ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[録画設定]** から **[外部入力音声]** を設定しておく P.214
- CATV のホームターミナルやセットトップボックスを録画したいチャンネルに合わせておく

録画する

HDD　BD

1 ホーム を押す

2 ▲·▼ で 放送中の番組へ を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼ で 外部入力 を選んで 決定 を押す

- サブメニュー を押して、放送・入力切換 から 外部入力 を選んで操作することもできます。

4 録画したいチャンネルを外部入力に接続したチューナー側で選ぶ

5 録画 を押す

- 録画が始まります。

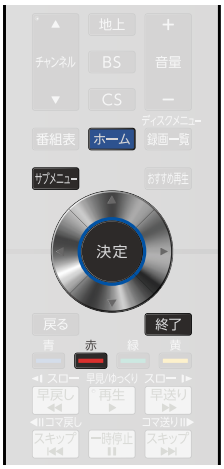


録画予約する

HDD　BD

■あらかじめ、録画したいチャンネルをチューナー側で選んでおいてください。

1 ホーム を押して、▲·▼で 予約 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で 録画予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、録画予約一覧 を選んで操作することもできます。

3 赤 を押す

- 録画予約設定 が表示されます。
- 録画予約一覧 ➡ サブメニュー を押してから 新規予約 を選んで操作することもできます。

4 ◀·▶各項目を選んで▲·▼で設定する

- チャンネル は 外部入力 に設定してください。
- 録画先 は、HDD と BD (ブルーレイディスク) になります。

5 ▲·▼·◀·▶で 録画モード を選んで 決定 を押す

- 録画モードの一覧が表示されます。

6 ▲·▼でお好みの録画モードを選んで 決定 を押す

- 録画モード は、XP ～ EP から選んでください。
- 録画先 が BD (ブルーレイディスク) の場合は、手順9に進んでください。

7 ▲·▼·◀·▶で フォルダ設定 を選んで 決定 を押す

8 ▲·▼でお好みのフォルダを選んで 決定 を押す

- 新規フォルダ を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。
フォルダの作成についてくわしくはP.148をご覧ください。

9 ▲·▼で 決定 を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 予約録画の開始時間までにCATV(ケーブルテレビ)のホームターミナルまたはセットトップボックスの電源を入れておいてください。電源が入っていないと録画できません。
- 最大同時録画数で録画中の場合は、録画中のチャンネル以外のチャンネルに切り換えることができません。※
- DVD-RW／DVD-Rには直接録画できません。
- CATV、スカパー! SD(標準画質)、WOWOWなどで録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、CATVのホームターミナル／セットトップボックス経由でダビング10番組(コピー9回＋移動1回番組)を録画する場合は、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組として録画されます。
- 現在放送中の番組を配信中は外部入力の録画はできません。
- 外部入力からの録画時は、モバイル持ち出し番組／DVD持ち出し番組を作成できません。(FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ)

※ FBR-HT2000／FBR-HT1000は3番組同時録画中、FBR-HW1000／FBR-HW500は2番組同時録画中の状態を指します。

録画についての補足説明

録画全般

■録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

■FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000の場合は、USB-HDDの種類によってUSB-HDDに同時録画できる番組数が異なります。

	USB 3.0	USB 2.0
FBR-HT2000／FBR-HT1000	3番組まで	2番組まで
FBR-HW1000／FBR-HW500	2番組まで	

■ブルーレイディスクに2番組以上を同時に録画できません。

録画予約全般

予約録画があるときの本機の動き

▷予約開始時刻の直前になると

- 本機の電源が「入」のとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を「切」にしても録画は中断されません。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま録画が実行されます。（録画準備中は録画LEDが点滅し、録画中は録画LEDが点灯します。）

▷予約終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。

番組表を使った予約（番組検索、注目番組）

●番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報（日によって変わることがあります）をもとに行うため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。

代理録画

■予約録画が実行できない状態でも、HDDが録画可能な状態であればHDDに代理で録画します。（代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。）

■以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。（他にも代理録画される場合があります。）

▷ディスクに予約録画するときに…

- ディスクの残量時間が足りない
- 録画不可のディスクが入っている
- ディスクが入っていない

▷USB-HDDに予約録画するときに…

- USB-HDDの残量時間が足りない
- 録画可能なUSB-HDDが接続されていない

録画／ワンタッチタイマー録画／等速ダビングと予約録画が重なったときは

以下の場合は、録画を押した録画やワンタッチタイマー録画が予約開始2分前に取り消されます。

▷3番組同時の場合は（FBR-HT2000／FBR-HT1000）

（3番組同時録画できる場合は、1番組のみ取り消されます。）

- すでに3番組同時録画中の場合
- 3番組同時録画できない条件の場合（くわしくは「同時録画時の録画モードについて」P.235をご覧ください。）

▷2番組同時の場合は（FBR-HW1000／FBR-HW500）

（2番組同時録画できる場合は、1番組のみ取り消されます。）

- すでに2番組同時録画中の場合
- 2番組同時録画できない条件の場合（くわしくは「同時録画時の録画モードについて」P.235をご覧ください。）

▷等速ダビングの場合は

- 予約開始2分前に取り消されます。

予約が重なったときは

予約を決定するときに確認画面が表示されます。

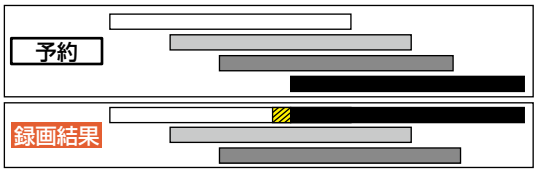
重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で**[はい]**を選んで)決定を押すと、**[録画予約一覧]**画面が表示されます。
- 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には 重複 が付いて表示されています。
- 複数の予約と外部入力への予約が重なっていると、重複 が付いていない予約が停止する場合があります。

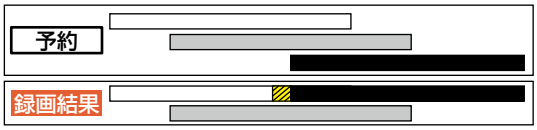
予約が重なった場合

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

▷**4つ以上の場合は**(FBR-HT2000/FBR-HT1000)



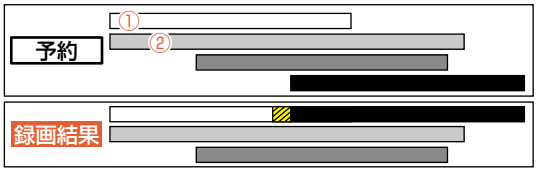
▷**3つ以上の場合は**(FBR-HW1000/FBR-HW500)



※▨の部分(約20秒)は録画されません。

- 開始時刻が同じ場合は、録画予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。

▷**4つ以上の場合は**(FBR-HT2000/FBR-HT1000)



▷**3つ以上の場合は**(FBR-HW1000/FBR-HW500)



※▨の部分(約20秒)は録画されません。
①録画予約一覧で上に表示されている番組
②録画予約一覧で下に表示されている番組

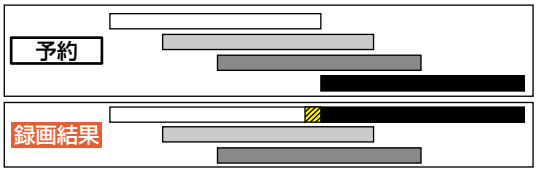
同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、録画予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。
(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む)

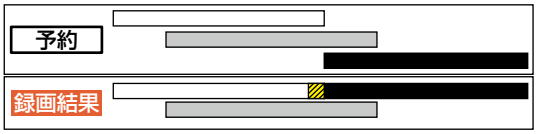
1番目の予約の終了時刻と予約の開始時刻が同じときは

連続する予約(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ)の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。

▷**4番組目の場合は**(FBR-HT2000/FBR-HT1000)



▷**3番組目の場合は**(FBR-HW1000/FBR-HW500)



※▨の部分(約20秒)は録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理を行います。
- 停電によって予約録画が中断したときは、録画予約一覧でお知らせします。P.91

録画の種類別では

▷**録画中やワンタッチタイマー録画中に停電したとき**

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後は電源が切れます。

▷**予約録画の開始前に停電したとき**

- 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。

▷**予約録画の実行中に停電したとき**

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

録画先別では

▷**HDD／USB-HDD**

- 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、「すべての初期化」P.223が必要となることがあります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によって停電復帰後の予約録画の続きがHDDに代理録画されることがあります。

▷**BD-RE／BD-R**

- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。
- 停電復帰後に予約した番組をディスクへ録画できない場合は、HDDに代理録画されます。HDDに代理録画された場合は、HDDの録画一覧に登録されます。

予約録画が正常に行われなかったときは

■重なりや停電などの要因で録画が正常に行われなかった予約は、**[予約結果のお知らせ]** フォルダにまとめられます。録画予約一覧で、**[予約結果のお知らせ]** フォルダ内の番組を選んで決定を押すとお知らせ内容が表示されます。**[戻る]** を選ぶと、そのまま「予約結果のお知らせ」画面に戻り、**[お知らせ消去]** を選ぶと予約結果のお知らせが一覧から消去されます。

■複数の予約結果のお知らせを消去するには、**[予約結果のお知らせ]** フォルダで3桁入力 消去を押してから消去したい番組を選んで決定を押します。選んだ番組に **[✓]** がつくので、消去したい予約結果のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▶で **[決定]** を選んで決定を押します。確認画面が表示されるので **[はい]** を選んで決定を押してください。（録画予約一覧の表示方法については、「設定済みの予約を確認する」P.91をご覧ください。）

■**[予約結果のお知らせ]** フォルダにまとめられる番組は、最大30件です。30件を超えた場合は、古い番組から順に消去されます。

お知らせ

- 最大記録可能数／登録数については、P.283をご覧ください。

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- 自動追跡は番組表から予約した場合のみ有効となり、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。
  （例）
  - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
  - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
  - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
  - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
- 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。（イベントリレー）
  （例）
  - 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
  - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」P.102の例に従って録画されます。

ご注意

- 自動追跡によって予約が重なった場合や、時間変更情報が番組表に反映されていない場合は、予約録画が正常に行われないことがあります。

録画した番組を再生する

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD AVC方式 VR方式 Video方式

本機ではHDDやUSB-HDD、ブルーレイディスクに録画した番組を再生することができます。

- 本機でSeeQVault-HDDとして初期化して、ダビングで記録したSeeQVault対応USB-HDDは当社製SeeQVault対応機器のみで再生できます。
- 本機で記録したUSB-HDDは、他の機器では再生できません。
- 見終わった番組をディスクから消去する場合は「番組を消去する」P.137を、HDDやUSB-HDDのフォルダにある番組を消去する場合は「番組をフォルダで管理する」P.148をご覧ください。
  また、再生した番組を編集する場合はP.136をご覧ください。
- 本機で録画した番組をDVDにダビングすると、DVDから再生することもできます。ダビングについて、くわしくはP.157をご覧ください。

▶ 準備

- USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおくP.195
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておくP.52
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく

ホームからでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で見たい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 ▲·▼で見たい番組を選ぶ

3 早見/ゆっくり 再生 または 決定 を押す

- レジュームポイントが記憶されている場合は、レジュームポイントから再生が始まります。レジュームポイントについて、くわしくは「レジュームポイントについて」P.106をご覧ください。

▷ **副音声を楽しむには**
くわしくはP.128をご覧ください。

▷ **字幕を表示させるには**
くわしくはP.129をご覧ください。



ご注意

- 複数の音声が用意されていない番組もあります。
- 字幕が用意されていない番組もあります。

再生中に番組内容を見る

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD AVC方式 VR方式

番組内容 を押す

- 番組内容が表示されます。

お知らせ
- DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)は録画日／録画開始時刻／録画終了時刻／番組名のみ表示されます。

再生を一時停止する

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD AVC方式 VR方式 Video方式

一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 早見/ゆっくり 再生 または、一時停止 を押すと再生に戻ります。

再生を停止する

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD AVC方式 VR方式 Video方式

停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。
  (レジュームポイントが記憶されます。)
- レジュームポイントを解除するには、録画一覧が表示されていない状態で停止中にもう一度 停止 を押してください。ただし、HDDとUSB-HDDの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。



ご注意
- 本機以外で録画したDVDを再生するには、録画したレコーダーなどでファイナライズしておく必要があります。

お知らせ
- 再生中にメディア(HDD、DISC、USB)を切り換えると、再生が停止します。
- 本機でできる番組の編集について、くわしくは P.136 をご覧ください。

レジュームポイントについて

■再生中に 停止 を1回押して再生を停止すると、レジュームポイント(再生停止位置)が記憶されます。(レジュームポイントを解除するには、録画一覧が表示されていない状態で停止中にもう一度 停止 を押してください。ただし、HDDとUSB-HDDの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。)
■録画一覧を表示せずに 早見/ゆっくり 再生 を押すと、最後に視聴していた番組/トラックのレジュームポイントから再生が始まります。(つづき再生)
■レジュームポイントの再生は、メディアなどによって異なります。

HDD/USB-HDDの場合

HDD USB-HDD

録画一覧の番組表示中に 早見/ゆっくり 再生 または 決定 を押す

- 番組ごとのレジュームポイントから再生します。



ディスクの場合

BD AVC方式 VR方式 Video方式

録画一覧の番組表示中に 早見/ゆっくり 再生 または 決定 を押す

- 最後に再生していた番組を再生すると、レジュームポイントから再生します。(他の番組を再生した場合は、レジュームポイントは解除されます。)

音楽用CDの場合

CD

音楽一覧のトラック表示中に 早見/ゆっくり 再生 を押す

- 最後に再生していたトラックを再生すると、レジュームポイントから再生します。(他のトラックを再生した場合は、レジュームポイントは解除されます。)

お知らせ
- 決定 を押して再生すると、トラックの最初から再生します。

写真の場合

JPEG形式

▷ディスクから再生

写真一覧のサムネイル表示中に 早見/ゆっくり 再生 または 決定 を押す

- レジュームポイントからスライドショーを再開します。

▷USB機器やSDカードから再生

- レジュームポイントは記憶されません。

ご注意
- ディスクによっては、レジュームポイントに対応していないものがあります。

お知らせ

- 記憶したレジュームポイントは、以下の場合などに解除されます。
  - 録画一覧が表示されていない状態で停止中に停止を押したとき
    （HDDやUSB-HDDの場合は、そのとき選ばれている番組のレジュームポイントが解除されます。）
  - 番組やディスクを編集したとき
  - 視聴年齢制限のある番組を一時的に制限解除して再生したあとに、電源を「切」にしたとき
  - 初期化をしたとき
  - 番組の終わりまで再生したとき
  - 録画一覧を開き、レジュームポイントのある番組以外にハイライトを移動してから録画一覧を閉じたとき
    （以下はディスクのみになります。）
    - ディスクトレイを開いたとき
    - ファイナライズをしたとき
    - トップメニューを表示中に停止を押したとき

録画一覧(録画した番組の一覧)について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。録画一覧では、録画された番組が並ぶ「番組一覧」を表示します。また、操作するメディアがHDD／USB-HDDの場合は、ジャンルやお好みの名前で作成したフォルダに番組がまとめられた「フォルダー一覧」に切り換えることもできます。

録画一覧を表示する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD　AVC方式　VR方式

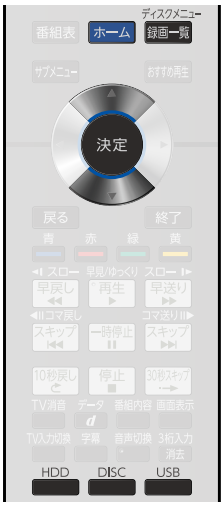
ホーム からでも操作OK!!

1 HDD、DISC または USB を押して、操作するメディアに切り換える

- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由してUSB-HDDを複数接続している場合は、USBを押すと一覧が表示されるので、▲・▼で切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押してください。

2 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- 録画一覧(番組一覧またはフォルダー一覧)が表示されます。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。
- ホーム ➡ **[録画一覧]** を選ぶこともできます。
- もう一度ディスクメニュー 録画一覧を押すと放送画面に戻ります。

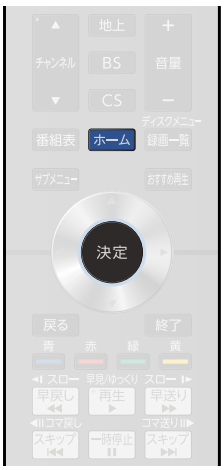


モバイル持ち出し番組またはDVD持ち出し番組の録画一覧を表示する

HDD

1 ホーム を押してから 録画一覧 を選んで 決定 を押す

2 モバイル持ち出し番組 または DVD持ち出し番組 を選んで 決定 を押す



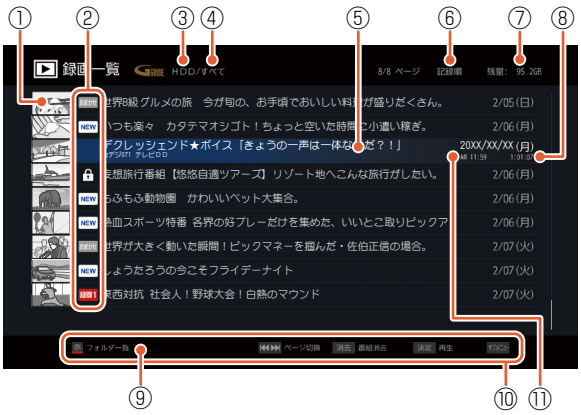
お知らせ

- モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組は再生できません。
- モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組を消去したい場合は、P.230 をご覧ください。
- 録画中、ダビング中などに**[モバイル持ち出し番組]**または**[DVD持ち出し番組]**は選択できません。

録画一覧の見かた

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD　AVC方式　VR方式

ご注意
- メディアによって録画一覧の表示は異なります。



※「すべて」フォルダ内の番組一覧の表示例

サブメニュー を押すと表示されます。

- はじめから再生
- つづきから再生
- 視聴制限一時解除
- 番組編集
- 保存フォルダ変更
- ダビング
- 録画モード変換
- 並び順
- ページ指定ジャンプ
- 番組の消去

① サムネイル(番組の冒頭画面)
② 番組の種類
おまかせ:おまかせ録画された番組
NEW:未再生の番組
:保護された番組
録画1:録画中の番組
録画が終わると 録画1 が NEW になります。
再生をすると おまかせ と NEW は消えます。
③ 操作中のメディア
④ フォルダの名前
⑤ 選択中の番組
⑥ 番組並び順の種類
⑦ 残量
(残量が20GB以下になると赤字に変わります。)
⑧ 番組総時間
⑨ ガイド表示
赤 を押すと、並び順を「番組一覧」か「フォルダー覧」に切り換えできます。
⑩ 操作ガイド
⑪ 開始時間

- 操作するメディアがHDD／USB-HDDの場合は、赤 または◀・▶を押すと番組一覧とフォルダー覧の表示を切り換えます。(フォルダについて、くわしくは P.148をご覧ください。)フォルダー覧表示中に決定を押すと、選んでいるフォルダの中身(番組の一覧表示)に切り換わります。



お知らせ
- 操作するメディアがHDD／USB-HDDの場合は、録画一覧を閉じたあとに再度 ディスクメニュー / 録画一覧 を押すと、前回表示していた一覧(番組一覧またはフォルダー覧)を表示します。

▷変換予定のモバイル持ち出し番組を確認するには
- 確認したい番組を選んで 番組内容 を押します。モバイル持ち出し番組に変換予定の場合は、**[モバイル変換予定]** が表示されます。

▷変換予定のDVD持ち出し番組を確認するには
- 確認したい番組を選んで 番組内容 を押します。DVD持ち出し番組に変換予定の場合は、**[DVD変換予定]** が表示されます。

▷録画モードの変換が終了しているか確認するには
- 確認したい番組を選んで 番組内容 を押して、「○○→○○変換予定」がお好みの録画モードに変更されていれば、録画モード変換は終了しています。

▷録画一覧表示中にメディアを切り換えるには
- HDD、DISC または USB を押します。本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由してUSB-HDDを複数接続している場合は、USB を押すと一覧が表示されるので、▲・▼で切り換えたいUSB-HDDを選んで 決定 を押してください。

視聴制限を一時的に解除する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD

視聴年齢制限のある番組を録画一覧で一時的に表示できます。

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

2 サブメニュー を押して、▲·▼で 視聴制限一時解除 を選んで 決定 を押す

- 暗証番号を入力すると視聴制限が解除されます。
- 暗証番号を忘れたときは P.49 をご覧ください。

お知らせ
- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

並び順を変更する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD AVC方式 VR方式

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

2 サブメニュー を押して、▲·▼で 並び順 を選んで 決定 を押す

- 並び順の種類が表示されるので、お好みの並び順を選んで 決定 を押してください。
- 現在録画中の番組は並び順の最後に表示されます。

記録順： 記録した順（ディスクの場合は番号順）に並び替わります。

番組名順： 番組名順に並び替わります。

新しい順： 録画日が新しい順に並び替わります。（録画日が記録されていない場合は、並び順の最後に配置されます。）

古い順： 録画日が古い順に並び替わります。（録画日が記録されていない場合は、並び順の最初に配置されます。）



おすすめ再生をする

おすすめ再生とは、お好みの番組をHDDやUSB-HDDに録画またはダビングした番組の中からかんたんに探し出し、まとめて再生させる機能のことです。

録画一覧での再生とは異なり、番組終了まで再生した場合は、自動的に次の番組を再生してくれるので、録りためしておいたまとめ番組（連続ドラマなどのシリーズ番組）を一気に見るときなどに便利です。

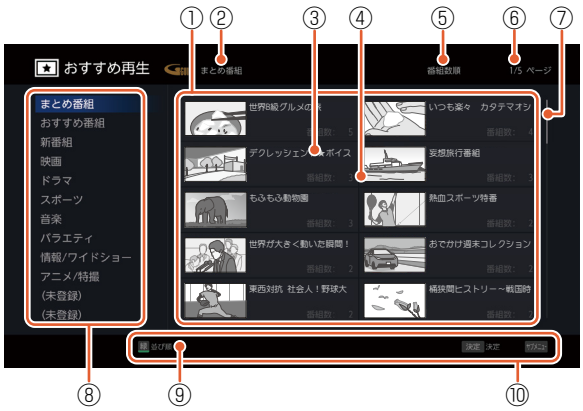
また、見終わったまとめ番組は3桁入力 消去で一括消去できます。



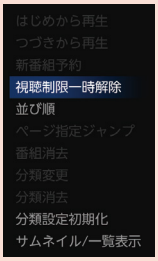
おすすめ再生について

おすすめ再生の見かた

▷まとめ番組の場合

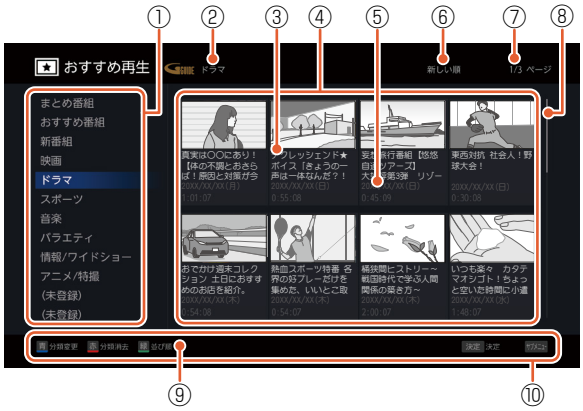


サブメニュー を押すと表示されます。

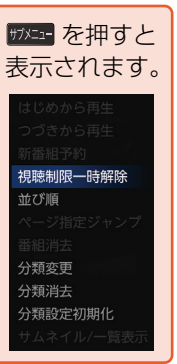


① まとめ番組とサムネイルの一覧
② 選択中のおすすめ項目
③ まとめ番組名
④ 番組数
⑤ 現在の並び順
⑥ まとめ番組一覧のページ数
⑦ スクロールバー
⑧ おすすめ再生の選択項目
⑨ ガイド表示
緑 を押すと、並び順を「番組名順」か「番組数順」に切り換えできます。
⑩ 操作ガイド

▷まとめ番組以外の場合



サブメニュー を押すと表示されます。



① おすすめ再生の選択項目
② 選択中の分類項目
③ 番組名
④ 選択分類項目の番組とサムネイルの一覧
⑤ 録画日時·録画時間
⑥ 現在の並び順
⑦ 分類項目一覧のページ数
⑧ スクロールバー
⑨ ガイド表示
緑 を押すと、並び順を「新しい順」、「古い順」または「番組名順」に切り換えできます。
⑩ 操作ガイド

お知らせ

- **[まとめ番組]、[おすすめ再生]、[新番組]**以外の場合は、以下の操作ができます。
  - 青 を押すと、分類条件を「カテゴリー」、「ジャンル」または「出演者」に切り換えできます。
  - 赤 を押すと、分類消去（項目ごと消去）ができます。

おすすめ再生で再生する

HDD USB-HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 おすすめ再生 を押す

2 ▲·▼ でおすすめ再生の選択項目を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼·◀·▶ でお好きな番組を選んで 決定 を押す

- おすすめ再生の再生が始まります。
- おすすめ再生の再生を停止するときは 停止 を押します。
  - 再生が停止し、おすすめ再生が表示されます。



まとめ番組を表示する

HDD USB-HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 おすすめ再生 を押す

2 ▲·▼ で まとめ番組 を選んで ▶ または 決定 を押す

- 番組情報を元に、HDDやUSB-HDDに記録されている番組を分類して表示します。

おすすめ番組を表示する

HDD USB-HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 おすすめ再生 を押す

2 ▲·▼ で おすすめ番組 を選んで ▶ または 決定 を押す

- 録画した番組の中から、おすすめの番組を表示します。

新番組を表示する

HDD　USB-HDD

ホームからでも操作OK!!

1 おすすめ再生を押す

2 ▲·▼で 新番組 を選んで 決定 を押す

● HDDやUSB-HDDに記録されている番組のうち、新番組が表示されます。
（例：番組名に新を含む番組など）

▷ **新番組を録画予約するには**

① **新番組を表示中に、▲·▼·◀·▶で録画予約したい新番組を選ぶ**

② **録画 を押す**

- サブメニュー ➡ **[新番組予約]** を選んで操作することもできます。
- **[新番組]** 内の番組を再生中に 録画 を押しても表示できます。

③ **▲·▼で はい を選ぶ**



④ **▲·▼でお好みの録画日を選ぶ**

- 録画日は **[○月○日のみ録画]**（○は放送日）や **[毎週○で予約]**（○は曜日）、**[月～金で予約]**、**[月～土で予約]**、**[火～土で予約]**、**[毎日で予約]** を選んでください。



お知らせ

- 新たに録画する番組は、この新番組が保存されている機器へ録画します。
- 録画モードは現在の設定に従います。
- 録画予約完了までに時間がかかる場合があります
- 手順③で「はい」を選択後、該当する番組が見つからなかった場合は録画予約できません。
- 新番組をすでに予約済み（ ）かどうかは、本画面から録画予約操作を行った時に更新して表示します。予約を消去する場合は ホーム ➡ **[予約]** ➡ **[録画予約一覧]** から行ってください。

カテゴリーを登録する

HDD　USB-HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 おすすめ再生 を押す



2 ▲·▼ で 未登録 を選んで 青 を押す

- [まとめ番組]、[おすすめ番組] または [新番組] は分類条件を変更できませんが、その他の項目は変更できます。

3 分類条件が表示されるので、▲·▼ で カテゴリー を選んで 決定 を押す



4 ▲·▼ でおすすめのカテゴリーを選んで 決定 を押す

5 ▲·▼ でおすすめのサブカテゴリーを選んで 決定 を押す

- 選んだサブカテゴリーの番組が表示されます。
  サブカテゴリーの多くは番組名になっていますので、お好みの番組だけを表示できます。

ご注意

- カテゴリーの選択項目に合致した番組がない場合は、**[該当する番組はありません]**と表示されます。お買い上げ直後などの録画番組が少ないときは、番組が表示されません。

ジャンルを登録する

HDD　USB-HDD

ホームからでも操作OK!!

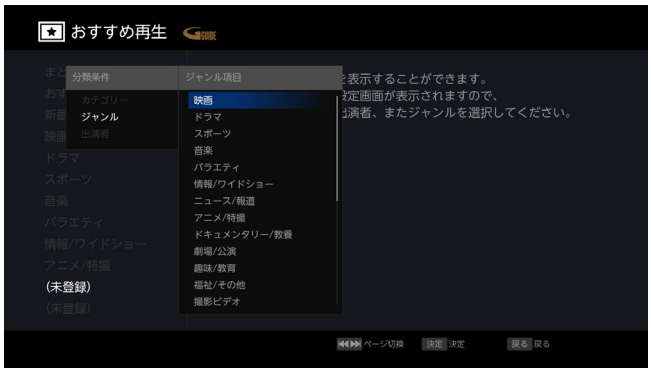
1 おすすめ再生を押す



2 ▲·▼で 未登録 を選んで 青 を押す

- 選んだジャンルに分類される番組が表示されます。
- **[まとめ番組]**、**[おすすめ番組]** または **[新番組]** は分類条件を変更できませんが、その他の項目は変更できます。

3 分類条件が表示されるので、▲·▼で ジャンル を選んで 決定 を押す



4 ▲·▼でおすすめのジャンルを選んで 決定 を押す

- 選んだジャンルが番組情報に含まれる番組が表示されます。
- 選べるジャンルには、**[映画]** や **[ドラマ]**、**[スポーツ]** といった一般的なジャンルに加え、**[撮影ビデオ]**（USB機器やSDカードまたはDVDから取り込んだAVCHD方式の番組）、**[おまかせ録画]** P.84、**[未視聴]** があります。

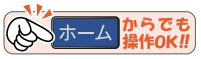
ご注意

- ジャンルの選択項目に合致した番組がない場合は、**[該当する番組はありません]**と表示されます。お買い上げ直後などの録画番組が少ないときは、番組が表示されません。

おすすめ再生をする(つづき)

出演者を登録する

HDD　USB-HDD



1 おすすめ再生 を押す

2 ▲·▼ で 未登録 を選んで 青 を押す

- [まとめ番組]、[おすすめ番組] または [新番組] は分類条件を変更できませんが、その他の項目は変更可能です。

3 分類条件が表示されるので、
▲·▼ で 出演者 を選んで 決定 を押す



4 ▲·▼ で出演者の名前の頭文字の範囲を選んで 決定 を押す

5 ▲·▼ で出演者の名前を選んで 決定 を押す

- 選んだ出演者に分類される番組が表示されます。



ご注意

- 出演者の選択項目に合致した番組がない場合は、[該当する番組はありません]と表示されます。お買い上げ直後などの録画番組が少ないときは、番組が表示されません。

番組を消去する

HDD　USB-HDD

ホームからでも操作OK!!

1 おすすめ再生を押す

2 おすすめ再生画面を表示中に、▲·▼で選択項目を選んで決定または▶を押す

3 ▲·▼·◀·▶で消去したい番組を選んで3桁入力 消去を押す

4 確認メッセージが表示されるので、▲·▼で はい を選んで決定を押す

- 番組が消去されます。

▷番組を複数消去するには

① おすすめ再生画面を表示中に、▲·▼で選択項目を選んで決定または▶を押す

② サブメニューを押す

③ ▲·▼で 番組消去 を選んで決定を押す

④ 消去したい番組を選んで決定を押す

- ▲·▼·◀·▶で消去したい番組をすべて選んでください。
- 選んだ番組に [✓] が付きます。
- 緑を押すと、すべての番組に [✓] が付きます。
- 黄を押すと、[✓] がすべて解除されます。

⑤ 番組を選び終わったら、3桁入力 消去を押す

- 選択した番組が一括消去されます。

⑥ 確認メッセージが表示されるので、▲·▼で はい を選んで決定を押す



ディスクを再生する

▶ 準備
- DISC を押して、操作するメディアに切り換えておく

ブルーレイディスクやDVDを再生する

BD　BD-Video　DVD-Video　AVC方式　VR方式　Video方式

1 再生したいディスクを入れる

- ディスクによっては自動的に再生が始まるものがあります。
  また、ディスクに含まれるメニューが表示される場合は、
  そのメニューに従って操作してください。

2 早見/ゆっくり 再生 を押す

- 再生を停止するときは 停止 を押します。
  - レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
    （レジュームポイントについて、くわしくは P.106 をご覧ください。）



メニューを操作する

BD-Video　DVD-Video　Video方式

（メニューやポップアップメニューがある場合のみ）
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、BD-Videoの場合は、再生中にポップアップメニューを表示していろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容は異なります。
操作のしかたについて、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

（ここでは一般的な操作の例を示します。）

① ディスクメニュー 録画一覧 を押す
- メニュー選択画面が表示されます。

② ▲·▼·◀·▶でお好みの番組や項目を選んで 決定 を押す

ブルーレイ3D™ディスクを再生する

BD-Video

本機はブルーレイ 3D™ ディスクの再生を楽しむこともできます。

▶ 準備

- 本機と 3D 対応テレビをハイスピード対応 HDMI ケーブルでつないでおく P.27
- 3D 対応テレビと 3D メガネの設定を行う（必要な場合のみ）

1 ブルーレイ 3D™ ディスクを入れる

- ディスクによっては自動的に再生が始まるものがあります。
  また、ディスクに含まれるメニューが表示される場合は、
  そのメニューに従って操作してください。



2 早見/ゆっくり 再生 を押す

- 再生を停止するときは 停止 を押します。
  - レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
    （レジュームポイントについて、くわしくは P.106 をご覧ください。）

▷3D映像を出力するときの奥行き感を変更するときは

ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[3D 設定]** ➡ **[奥行き設定]** をお好みの設定に変更してください。 P.216

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

▷2D映像で再生するときは

ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[3D 設定]** ➡ **[3D 出力設定]** を **[切]** に設定してください。

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 3D 対応テレビや3D メガネに付属の取扱説明書をご覧になり、注意事項などは必ずお守りください。

AVCHD方式の動画が記録されたディスクを再生する

AVCHD方式

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに記録された、AVCHD方式のハイビジョン画質の動画を本機で再生できます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)
また、HDDにダビングしたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を再生できます。

1 ディスクを入れる



- ディスクにAVCHD方式の動画が入っている場合は、自動的にAVCHD方式のファイルの再生が始まります。始まらない場合は 再生 を押してください。
- ディスクを入れると自動的にディスクに含まれるメニューが表示される場合があります。また、ディスクによってメニューの内容は異なります。操作のしかたについて、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

(ここでは一般的な操作の例を示します。)

2 ▲·▼·◀·▶ でお好みの番組や項目を選んで 決定 を押す

- 再生を停止するときは 停止 を押します。
  - レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
    (レジュームポイントについて、くわしくはP.106をご覧ください。)

ご注意

- AVCHD方式(AVCHD Ver2.0)に準拠していない動画は再生できません。
- SDカードやUSB機器に記録されたAVCHD方式の動画は直接再生できませんが、HDDに取り込んで(ダビングして)から再生できます。
- HDDにダビングしたAVCHD方式の動画の再生方法は、通常の番組の再生方法と同じですので、「録画した番組を再生する」P.104をご覧ください。

音楽用CDを再生する

CD

ホーム からでも操作OK!!

1 再生したいディスクを入れる



- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は ディスクメニュー 録画一覧 を押してください。

2 ▲·▼ でお好みのトラックを選んで、早見/ゆっくり 再生 または 決定 を押す

- 再生を停止するときは 停止 を押します。
  - レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
    (レジュームポイントについてくわしくはP.106をご覧ください。)

番号を指定して再生する

BD DVD-Video AVC方式 VR方式 Video方式

ディスクを再生するときに、番号を指定してから再生できます。

■以下のディスクについては、放送中の番組を視聴しているときでも、番号を指定して再生することができます。

- BD-RE／BD-R
- DVD-Video
- DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)
- DVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)

1 **サブメニュー を押す**

2 **▲·▼ で ディスクサーチ を選んで 決定 を押す**

3 **▲·▼ または 1 ～ 10/0 で番号を変更し 決定 を押す**

- 指定した番号の再生が始まります。



ご注意

- 指定した番号がないときは再生できません。
- 以下の場合は**[ディスクサーチ]**は選ぶことができません。
  - メディアを HDD または USB に切り換えた場合
  - ディスクを挿入していない場合

再生するときの操作

▶ 準備

- USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく P.52
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- USB機器を再生するときは、本機前面のAV周辺機器用USB端子にUSB機器をつないでおく P.50
- SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく（FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ） P.50
- USB接続のSDカードリーダーでSDカードを再生するときは、SDカードリーダーを本機前面のAV周辺機器用USB端子とUSB接続しておく P.50

速度を変えて再生する

1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。ゆっくりと番組を視聴する時間がないときに便利です。（ホームネットワークで配信されている映像の場合は、音声付きの早送り再生はできません。）

早戻し／早送り（早く見る／聞く）

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　BD-Video　DVD-Video　CD

AVC方式　VR方式　Video方式　AVCHD方式

再生中に◀◀スロー 早戻し・スロー▶▶ 早送りを押す

- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。
  BD-VideoおよびAVCHD方式のディスクをのぞき、1段階目の早送りのみ、音声付きで約1.6倍速で再生することができます。
- ホームネットワークで配信されている映像または音楽用CDは、3段階で切り換えます。
- 音楽用CDの早戻し／早送り中は、およその再生位置が確認できる程度の音声を断片的に出力します。
- 早見/ゆっくり 再生を押すと通常の再生速度に戻ります。

ご注意

- 以下の場合は早戻し／早送り再生はできません。
  - 写真の再生中

早見/ゆっくり再生（音声付きで早く／ゆっくり見る）

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　BD-Video　DVD-Video

AVC方式　VR方式　Video方式　AVCHD方式

再生中に早見/ゆっくり 再生を押す

- 押すたびに約1.3倍速→約0.8倍速→通常再生と切り換わります。

ご注意

- 以下の場合は早見/ゆっくり再生はできません。
  - BD-Videoを3Dで再生中
  - 録画モード**[AVC 3D]**の番組を3Dで再生中
  - 録画モード**[AVC PRO]**の番組を再生中
  - 音楽用CDや写真の再生中
  - ホームネットワークの映像を再生中



再生を一時停止する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video CD

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式 JPEG形式

再生中に 一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 早見/ゆっくり 再生 または 一時停止 を押すと再生に戻ります。



逆スロー／スロー再生(ゆっくり見る)

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

再生一時停止中に スロー 早戻し ・ スロー 早送り を押す

- 押すたびに再生速度を3段階で切り換えます。
- 早見/ゆっくり 再生 を押すと通常再生に、一時停止 を押すと再生一時停止に戻ります。
- 長押しすると早戻し／早送り動作となります。

ご注意

- 以下の場合は逆スロー再生は1段階のみになります。
  - ホームネットワークで配信されている映像
- 以下の場合は逆スロー再生は2段階切り換えになります。
  - 録画モードが**[AF]**～**[AE]**で録画された番組
  - MPEG-4 AVC/H.264で記録された映像
- 以下の場合は逆スロー／スロー再生はできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中
- 以下の場合は逆スロー再生はできません。
  - 録画モード**[AVC 3D]**(3D再生中)
  - 録画モード**[AVC PRO]**
  - BD-Video
  - DVD-Video
  - DVD-RW(AVCHD)／DVD-R(AVCHD)

コマ戻し／送り(コマを戻す／進める)

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

再生一時停止中に コマ戻し スキップ ・ コマ送り スキップ を押す

- 押すたびにコマが戻り／進みます。

ご注意

- 以下の場合はコマ戻し／コマ送り再生はできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中
  - ホームネットワークで配信されている映像
- 以下の場合はコマ戻し再生はできません。
  - 録画モード**[AVC 3D]**(3D再生中)
  - 録画モード**[AVC PRO]**
  - BD-Video
  - DVD-Video
  - DVD-RW(AVCHD)／DVD-R(AVCHD)

スキップ・頭出し（見たい番組や場面までとばす）

スキップ（見たい／聞きたいところまでスキップ・頭出しする）

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video CD

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式 JPEG形式

再生中に◀II コマ戻し スキップ ⏮ ・コマ送り II▶ スキップ ⏭ を押す

- 押すたびに、前または次のチャプターやトラックにスキップ・頭出しします。（◀II コマ戻し スキップ ⏮ を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターやトラックにスキップ・頭出しします。）



1/10リプレイ／スキップ

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD DVD-Video

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

再生中に◀・▶を押す

- 番組の長さの1/10のポイントを、再生中に1つずつたどっていく機能です。
- 戻る方向と進む方向、どちらの場合も一番近いポイントへスキップします。

ご注意

- 番組の長さが1分以下の場合はスキップできません。
- 以下の場合は1/10リプレイ／スキップはできません。
  - BD-Videoや音楽用CD、写真の再生中

10秒戻し／30秒スキップ

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video

AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

再生中に10秒戻し ↺ ・30秒スキップ →··· を押す

- 押すたびに、**[再生設定]➡[10秒戻しボタン時間変更]**、**[30秒スキップボタン時間変更]**で設定した時間だけ再生がスキップします。P.214

ご注意

- 以下の場合は10秒戻し／30秒スキップはできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中

サーチ(番組やチャプター、時間などを指定してスキップする)

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD　BD-Video　DVD-Video　CD

AVC方式　VR方式　Video方式　AVCHD方式　JPEG形式

1 再生中にサブメニューを押して、▲·▼で サーチ を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼でお好みのサーチを選ぶ

- ▲·▼を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- サーチの種類は再生しているメディアによって異なります。

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD ホームネットワークで配信されている映像	タイムサーチ ⟷ チャプターサーチ
BD　BD-Video　DVD-Video AVC方式　VR方式　Video方式 AVCHD方式※	タイムサーチ ⟷ 番組サーチ チャプターサーチ
CD	タイムサーチ ⟷ トラックサーチ
JPEG形式	トラックサーチ のみ

※ AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

3 ▶で数字の入力欄へ移動して、▲·▼または 1 ～ 10/0 で数値を変更し 決定 を押す

- 指定した番号または時間まで再生がスキップされます。

▷入力を間違えたときは
◀ を押す



ご注意

- 指定した番号や時間のチャプターやトラックがないときはスキップはできません。
- BD-Videoの場合は 1 ～ 10/0 を押してもスキップされないことがあります。

お知らせ

- 再生中に 1 ～ 10/0 を押してチャプターをスキップすることもできます。(音楽用CDや写真の再生をのぞく)
  画面左上に数字が表示されるので、スキップしたい番号を入力してください。

リピート再生（繰り返して見る）

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD　BD-Video　DVD-Video　CD

AVC方式　VR方式　Video方式　AVCHD方式　JPEG形式

再生中の映像を繰り返して再生することができます。

1 再生中にサブメニューを押して、▲·▼でリピートを選んで決定を押す



2 ▲·▼でお好みのリピート再生を選んで決定を押す

- リピートの種類は再生しているメディアによって異なります。

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD-Video　DVD-Video　Video方式　AVCHD方式※	切 ⇔ チャプター ⇔ 番組
BD　AVC方式　VR方式	切 ⇔ チャプター ⇔ オール ⇔ 番組
CD　JPEG形式	切 ⇔ トラック ⇔ オール
ホームネットワークで配信されている映像	切 ⇔ 番組

※ AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

▷リピート再生をやめるときは

手順2で切を選ぶ

- リピート再生をやめて再生も停止するときは、停止を押します。

ご注意

- リピート再生を設定したあとに以下の操作を行い、リピート再生の範囲を超えた場合はリピート再生が解除されます。
  - スキップ
  - 番組サーチ／チャプターサーチ／トラックサーチ／タイムサーチ
  - 1/10リプレイ／スキップ
  - 10秒戻し／30秒スキップ

プレイリストを再生する

BD　AVC方式　VR方式

ホーム からでも操作OK!!



1 ディスクメニュー 録画一覧 **を押す**

2 黄 **を押す**

- 「プレイリスト」画面に切り換わります。

3 **▲·▼ でお好みのプレイリストを選んで、**
早見/ゆっくり 再生 **または** 決定 **を押す**

追っかけ再生（録画中の番組を最初から見る）

HDD　USB-HDD

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

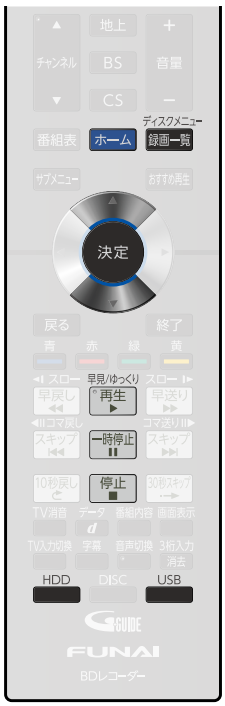
ホーム からでも操作OK!!

1 HDD **または** USB **を押して、**
録画中のメディアに切り換える

- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由してUSB-HDDを複数接続している場合は、USB を押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選んで 決定 を押してください。

2 ディスクメニュー 録画一覧 **を押す**

3 **▲·▼ で録画中の番組（録画1、録画2 または 録画3 ※）を選んで、**
早見/ゆっくり 再生 **または** 決定 **を押す**



▷**追っかけ再生を一時停止するときは**

一時停止 **を押す**

- 再生が一時停止します。（録画は続きます。）

▷**追っかけ再生をやめるときは**

停止 **を押す**

- 再生が停止します。（録画は続きます。）

▷**録画も停止させるときは**

追っかけ再生を停止して、録画一覧が表示されたら ディスクメニュー 録画一覧 **を押して、**
放送中の画面に戻ってから 停止 **を押す**

- 確認画面が表示されますので、はい を選んで 決定 を押してください。

※ FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ

ご注意

- 再生が録画に追いつくと、早送りや頭出しができなくなります。（録画は続きます。）
- 再生中にメディア（HDD、DISC、USB）を切り換えると、再生が停止します。

再生するときに便利な機能

▶ 準備

- USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく P.52
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく

音声(言語)や字幕(言語)、アングル(映像)を切り換える

お知らせ

- BD-Video／DVD-Videoの場合は、音声／字幕／カメラアングルの内容はディスクによって異なります。くわしくはディスクに付属の取扱説明書でご確認ください。
- カメラアングルが選べる場面では、画面に が表示されます。(を表示しないようにすることもできます。くわしくは「アングルアイコン表示」P.214をご覧ください。)

音声(言語)を切り換える

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　BD-Video　DVD-Video　CD　AVC方式　VR方式　Video方式　AVCHD方式

複数の音声(主音声／副音声など)や音声言語・音声フォーマットが収録されている番組やトラックの再生中に、再生したい音声を選ぶことができます。ピクチャー・イン・ピクチャーのBD-Videoの場合は、プライマリ音声のほか、インタラクティブオーディオやコメンタリ音声などのセカンダリ音声を設定することもできます。

1 再生中に音声切換を押す

- サブメニュー ➡ 音声 を選んで操作することもできます。



2 ▲·▼·◀·▶ でお好みの音声を選ぶ

- 選択している音声がステレオで、右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。

ステレオ ⟷ R-ch ⟷ L-ch

- 選択している音声が二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。

主／副 ⟷ 主音声 ⟷ 副音声

▷ **BD-Video の場合**

① ▲·▼で プライマリ か セカンダリ ➡ 決定 を押す

② ▲·▼でお好みの音声に切り換える

- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意

- **[音声出力設定]➡[BDビデオ副音声・操作音]を[切]**に設定してBD-Videoを再生すると、セカンダリ音声は出力されません。
- 以下の場合はステレオ音声(**[ステレオ]**、**[R-ch]**、**[L-ch]**)を切り換えることはできません。
  - ホームネットワークで配信されている映像

字幕(言語)を切り換える

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

複数の字幕言語が収録されている番組の再生中に、字幕の言語や字幕表示の入／切を選ぶことができます。ピクチャー·イン·ピクチャーのBD-Videoの場合は、プライマリ映像用字幕のほか、セカンダリ映像用字幕や字幕のスタイルを設定することもできます。

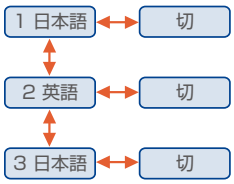
1 再生中に 字幕 を押す

- サブメニュー を押して 字幕 を選んで操作することもできます。



2 ▲·▼ でお好みの字幕を選ぶ

- 字幕の言語を設定中に◀·▶で字幕／切の設定ができます。



- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

▷ BD-Video の場合

① ▲·▼で プライマリ 、セカンダリ または スタイル を選んで 決定 を押す

② ▲·▼でお好みの字幕または字幕スタイルを選ぶ

- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は音声や字幕を切り換えることはできません。
  - 早戻し／早送り
  - 一時停止
  - 逆スロー／スロー再生
  - 早見/ゆっくり再生
  - 音楽用CDやJPEGファイルの再生

アングル(映像)を切り換える

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video AVC方式

複数台のカメラで撮影された映像の再生中に、お好みのカメラアングル（映像）を選んで再生することができます。

1 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼ で アングル を選んで、決定 を押す



2 ▲·▼でお好みのカメラアングル（映像）を選んで、決定 を押す

- 押すたびにカメラアングル（映像）が切り換わります。

ノイズリダクション（再生映像のノイズを低減する）

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

再生映像のノイズを低減します。

1 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼ で ノイズリダクション を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼ で 入 または 切 を選んで 決定 を押す



お知らせ
- 映像を1080/24pの解像度で出力している場合は無効になります。

超解像設定（再生映像の画質を鮮明な画質に補正する）

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD BD-Video DVD-Video AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。

1 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼ で 超解像設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼ で 入 または 切 を選んで 決定 を押す

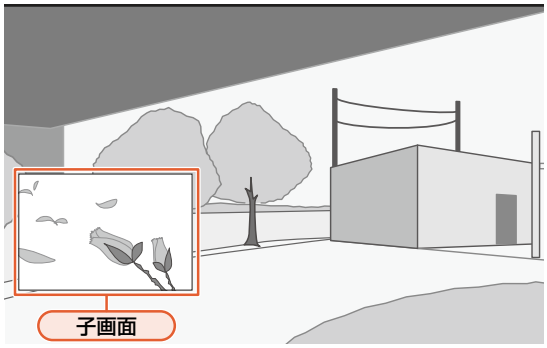


BD-Videoの子画面を切り換える

BD-Video

子画面（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

■子画面の再生のしかたについて、くわしくはBD-Videoに付属の取扱説明書をご覧ください。



1 BD-Videoの再生中にサブメニューを押して、▲・▼で セカンダリビデオ を選んで 決定 を押す

- 子画面の設定は、親画面／子画面の同時再生中にだけ設定できます。

2 ▲・▼で 入 または 切 を選んで 決定 を押す



お知らせ

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまで時間がかかることがあります。

BD-Videoのバーチャル･パッケージを利用する

BD-Video

バーチャル･パッケージに対応しているBD-Videoでは、他のメディア（ローカルストレージ）にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。
本機ではUSBメモリーをローカルストレージとして使用します。

▶ 準備
- USBメモリーを接続しておく P.50

■他のデータが入ったUSBメモリーや、他機でフォーマットされたUSBメモリーを使うと、BD-Videoが正しく再生されないときがあります。
その場合は本機でUSBメモリーを初期化してください。P.223

■コピーされたバーチャル･パッケージを再生中に本機からUSBメモリーを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。

■BD-Videoの再生中に映像や音声が停止することがあります。

■USBメモリーに記録されたバーチャル･パッケージの内容を消去するには、ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[その他]** ➡ **[初期化]** ➡ **[BDビデオデータ消去]** の順に選んで **[USBに保存されたデータ]** を行ってください。P.223

▷BD-Live™について

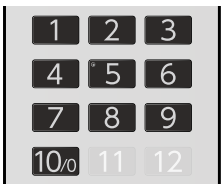
- 本機はBD-Live™機能付きのBD-Video（BD-ROM Profile 2.0）に対応しています。
- 本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツやネットワーク対戦ゲームなど、さまざまな機能を楽しむことができます。
- BD-Live™で利用できるさまざまな機能はディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。
接続のしかたについてくわしくは「ネットワークを接続･設定する」P.182をご覧ください。設定のしかたについてくわしくは「通信設定」P.185をご覧ください。
- ディスクによっては **[BDインターネット接続]** P.215変更する必要があります。
- お使いのネットワーク環境によってはネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™対応ディスクの再生中、ブルーレイディスクレコーダーやディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには **[BDインターネット接続]** P.215を変更してください。

PINコードを入力する

BD　AVC方式

他社製のブルーレイディスクレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されますので、設定されたPINコードを入力してください。
（本機ではPINコードの設定や変更はできません。）

1 1～10/0でPINコードを入力する





ご注意
- PINコードとは、ディスクの視聴を制限するための4桁の暗証番号です。

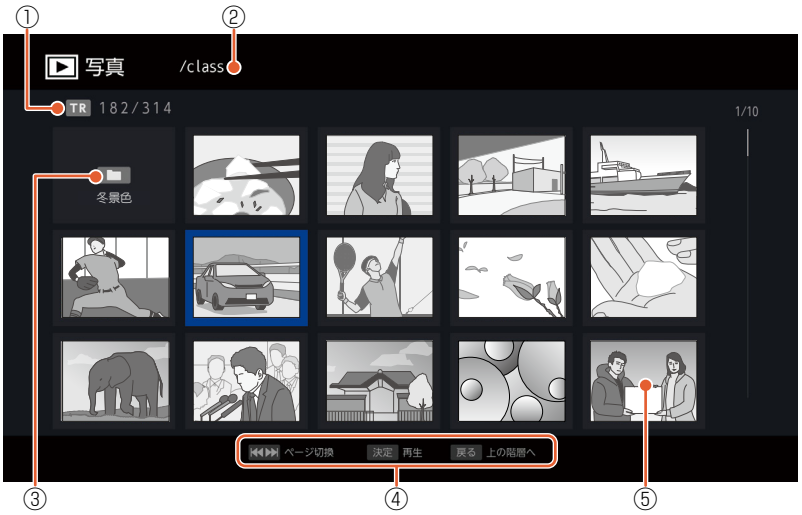
スライドショーで写真を再生する

写真一覧画面について

JPEG形式

スライドショーとは、ディスクやSDカード、USB機器に記録されたJPEGファイルを順番に表示する機能のことです。拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた「Exif 2.1」準拠のJPEGファイルだけが再生できます。

写真の見かた



① 現在のファイル／総ファイル数
② 現在の階層
③ フォルダ
④ 操作ガイド
⑤ サムネイル

▶ 準備

- ディスクを再生するときは再生用のディスクを入れておく P.52
- DISC または USB を押して、操作するメディアに切り換えておく
- USB機器を再生するときは、本機前面のAV周辺機器用USB端子にUSB機器をつないでおく P.50
- SDカードに記録されたJPEGファイルを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく※ P.50
- USB接続のSDカードリーダーでSDカードを再生するときは、SDカードリーダーを本機前面のAV周辺機器用USB端子とUSB接続しておく P.50

※ FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000のみ

次ページへつづく

スライドショーで写真を再生する（つづき）

1 ファイルタイプ選択画面が表示されるので、▲·▼で 写真を見る を選んで 決定 を押す

例：ディスクのとき

- 録画一覧が表示されます。



- JPEGファイルしか入っていないメディアが読み込まれた場合は、ファイルタイプ選択画面は表示されません。（自動的に **[写真]** を表示します。）

▷ **ファイルタイプ選択画面が表示されないときは**

① ホーム ➡ 録画一覧 を選んで 決定 を押す

② ▲·▼で ディスク または USB を選んで 決定 を押す※

▷ **フォルダ内を見たいときは**

▲·▼·◀·▶で見たいフォルダを選んで 決定 を押す

▷ **別のページを表示するときは**

◀II コマ戻し スキップ ⏮ **（前ページ）**、コマ送り II▶ スキップ ⏭ **（次ページ）を押す**

※ FBR-HT2000／FBR-HT1000の場合は SDカード も選べます。



2 ▲·▼·◀·▶で見たい写真を選んで 決定 を押す

- 選んだ写真と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 再生中に 画面表示 を２回押すとファイル名を表示できます。
- 再生のスピードは、ホーム ➡ **[設定／お知らせ] ➡ [本体設定] ➡ [再生設定] ➡ [JPEGスライドショー]** で設定できます。P.214

▷ **再生中の写真を回転させたいときは**

再生中に◀·▶で画像を90°ずつ回転する

（回転させた情報は記憶されません。）

▷ **再生を一時停止するときは**

一時停止 II **を押す**（早見/ゆっくり 再生 または 一時停止 II を押すと、再生に戻ります。）

▷ **再生を停止するときは**

停止 ■ **を押す**

- ディスクの場合はレジュームポイントを記憶して、再生が停止します。（レジュームポイントについてくわしくはP.106をご覧ください。）
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して録画一覧に戻ります。

ご注意

- ブルーレイディスクにJPEGファイルと録画した番組の両方が入っている場合は、写真を再生できません。（録画した番組は再生できます。）

再生についての補足説明

再生全般

■2層(DL)や3層(XL)のディスクは、ディスクの層が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。
■再生開始時に映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
■番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズ(四角いノイズ)が見えたりすることがあります。
■コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマとびして再生されないことがあります。
■ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますのでご注意ください。
■ディスクによっては本機の機能(つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やアングルの切り換え、リピート再生など)がはたらかないことがあります。
■ファイナライズ中や初期化中は再生できません。
■Cinavia™
Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
CinaviaはVerance Corporationの商標です。
Copyright 2004-2017 Verance Corporation.
すべての権利はVeranceが保有しています。
リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

録画一覧

■ファイナライズされたDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)は録画一覧を表示できません。ディスクメニューから再生してください。
■リピート再生中に録画一覧を表示すると、リピート再生が解除されます。
■他の機器で作成したディスクからHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報(チャンネル名、録画モードなど)が記録されていなければ、録画一覧での番組情報表示箇所は空白になります。

つづき再生

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声/字幕/アングルの切り換え

▷**音声/字幕**
- BD-Video / DVD-Videoによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が**[本体設定]➡[再生設定]➡[音声言語設定]**の設定に戻ります。(BD-Video / DVD-Videoによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
- 字幕設定を変更したときは切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- BD-Video / DVD-Videoの音声付き早見再生(約1.3倍速)または音声付きゆっくり再生(約0.8倍速)をのぞき、早送り/早戻し再生中の字幕表示はできません。

▷**アングル**
- 変更したときは切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは設定が「1」に戻ります。

写真

■1つあたりのファイルの再生時間(表示間隔)は5秒です。10秒に変更することもできます。
くわしくは**[JPEGスライドショー]**P.214をご覧ください。
■**[写真]**では、JPEGファイルだけが表示されます。
■写真の再生中に再生できないファイルがあった場合は、**[**🚫**]**を表示して次のトラックにスキップします。
■画像の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
■**[写真]**の再生中に予約録画開始2分前になると、**[写真]**の再生は自動的に停止します。
■以下の場合は、**[写真]**の再生はできません。
- 通常録画中
- ダビング中
- LAN録画中

番組消去や番組編集の前に

本機でできる消去と編集について

できること（メニュー項目）	HDD	USB-HDD	SeeQVault -HDD	BD	AVC方式	VR方式	Video方式
フォルダ作成・フォルダ名変更・フォルダ消去・フォルダ表示順変更	○	○	○	×	×	×	×
保存フォルダ変更	○	○	○	×	×	×	×
番組の消去	○	○	○	○	○	○	×
番組編集							
番組名変更	○	○	○	○	○	○	×
チャプター分割・チャプター結合・全チャプター結合	○	○	○	○	○	○	×
チャプター消去	○	○	×	×	×	×	×
番組分割／番組結合	○※1	○※1	×	×	×	×	×
番組保護／保護解除	○※2	○※2	○	○	○	○	×
録画モード変換	○	○	×	×	×	×	×
メディア管理							
番組全消去	○	○	○	×	×	×	×
番組全消去（保護番組以外）	○	○	○	×	×	×	×
モバイル持ち出し番組全消去※7	○	×	×	×	×	×	×
DVD持ち出し番組全消去※7	○	×	×	×	×	×	×
初期化	×	×	○	○※3	○※3	○※3	○※3
ファイナライズ	×	×	×	○（BD-Rのみ）	○	○※4	○※5
ディスク名変更	×	×	×	○	○	○	○※6
ディスク保護／保護解除	×	×	×	○	○	○	×
USB-HDD名変更	×	○	×	×	×	×	×
SeeQVault-HDD名変更	×	×	○	×	×	×	×

○：できる ×：できない

※1　本機で録画した番組のみ分割・結合できます。
※2　録画モード変換予定の番組やモバイル変換予定の番組、DVD持ち出し変換予定の番組は、番組保護はできません。
※3　BD-RやDVD-Rは、ディスクを入れて初期化をしていないときのみ初期化できます。
※4　DVD-RW（VR）のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除できます。
※5　ダビング後に自動的にファイナライズされます。
※6　ダビング時にディスク名を変更できます。
※7　**［モバイル持ち出し番組全消去］**と**［DVD持ち出し番組全消去］**について、くわしくは「HDDのモバイル持ち出し番組またはDVD持ち出し番組を全部消去する」P.230をご覧ください。

ご注意

- 以下の場合は、上記の編集はできません。
  - ディスクが保護されている場合
  - ダビング中
- 録画中は上表にある**［メディア管理］**の項目すべてと**［番組編集］**の「番組分割／番組結合」はできません。
  AVC番組の3番組同時録画中は、**［番組編集］**はできません。**（FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ）**
  録画中以外の番組の「番組名変更」、「チャプター編集」、「番組保護／保護解除」は編集可能です。
- おまかせ録画された番組を編集した場合は、おまかせ録画番組の対象から除外となり「自動消去」も解除されます。

番組を消去する

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。
- HDDやUSB-HDDの場合は、フォルダの中に番組が入っています。

再生後やダビング予定のない不要な番組を消去し、HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDDの空き容量を増やすことができます。

▶ 準備

- USB-HDDから消去するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- HDDまたはUSBを押して操作するメディアに切り換えておく

HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD内の不要な番組を消去する

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

1 ホームを押して、▲·▼で番組消去を選んで決定を押す

2 ▲·▼で操作するメディアを選んで決定を押す

3 ▲·▼で番組を選んで決定を押す

- 選んだ番組に✓が付きます。
- 複数の番組を1度に消去したいときは、この手順を繰り返します。
- 緑を押すとすべての番組が選ばれます。
- 黄を押すとすべての番組が解除されます。

4 ▶を押すと決定が選ばれているので決定を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼ではいを選んで決定を押してください。
- 消去が終わったら、終了を押してください。



録画一覧から不要な番組を消去する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

▶ 準備

- HDD または USB を押して操作するメディアに切り換えておく

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で消去したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。
- HDD／USB-HDD以外のメディアの場合は ホーム ➡ **録画一覧** から、▲·▼で操作するメディアを選んで 決定 を押してください。



2 3桁入力 消去 を押す

- サブメニュー ➡ **番組の消去** を選んで操作することもできます。

3 ▲·▼で番組を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組に✓が付きます。
- 複数の番組を１度に消去したいときは、この手順を繰り返します。
- 緑 を押すとすべての番組が選ばれます。
- 黄 を押すとすべての番組が解除されます。

4 ▶を押すと **決定** が選ばれているので 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で **はい** ➡ 決定 を押してください。

▷ **フォルダー一覧で作成したフォルダを選んでいるときは確認画面で消去方法を選んで 決定 を押してください。**

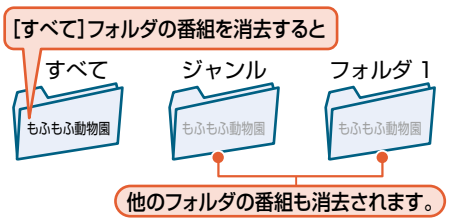
- **このフォルダから番組を消去** を選ぶと、選んだフォルダ内の番組のみ消去し、**[すべて]** および **[ジャンル]** フォルダの番組は残ります。
- **すべてのフォルダから番組を消去** を選ぶと、本機から選んだ番組を完全に消去します。
- 消去が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- ダビング中は番組を消去できません。
- 保護された番組と録画中の番組は消去できません。

お知らせ

- **[すべて]** または **[ジャンル]** フォルダの番組を消去すると別のフォルダ内に入っている番組もまとめて消去します。
- **[すべて]** または **[ジャンル]** フォルダの番組を消去すると、残量時間が増えます。



ディスク内にある不要な番組を消去する

BD　AVC方式　VR方式

▶ 準備

- 消去したい番組の入ったディスクを入れておく P.52
- DISC を押して操作するメディアに切り換えておく

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

2 3桁入力 消去 を押す

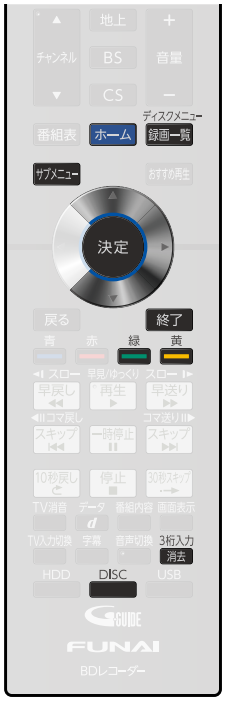
- サブメニュー ➡ **番組の消去** を選んで操作することもできます。

3 ▲·▼ で消去したい番組を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組を解除したいときは、番組を選んだ状態で 決定 を押してください。
- 緑 を押すとすべての番組が選ばれます。
- 黄 を押すとすべての番組が解除されます。
- 手順3を繰り返し行い、消去したい番組をすべて選んでください。

4 番組を選び終わったら、▶を押して 決定 を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので **はい** を選んで 決定 を押してください。選んだ番組が一括消去されます。
- 消去が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- ダビング中は番組を消去できません。
- 保護された番組と録画中の番組は消去できません。
- プレイリストに含まれる番組を消去すると、プレイリストから消去されます。

お知らせ

- 番組を消去するとメディアによっては、残量時間が増えます。

メディア	残量時間
BD-RE／DVD-RW(VR)	増えます
BD-R／DVD-RW(AVC)※ DVD-R(AVC)／DVD-R(VR)	増えません

※ DVD-RW(AVC)の場合は、初期化(フォーマット)すると残量時間を増やすことができます。P.230
(ただし、初期化を行って消去された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。)

録画モード変換(HDD／USB-HDDの空き容量を増やす)

HDD USB-HDD

録画モード[DR]で録画した番組の画質を録画モード[AVC]に変換できます。録画モード[AVC]で録画した番組は、より少ない容量の録画モードに変換できます。録画モードを変換すると画質は下がりますが、HDDなどの空き容量を増やすことができます。

■くわしくは「録画モードについて」P.65をご覧ください。

▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおくP.195
- HDDまたはUSBを押して操作するメディアに切り換えておく

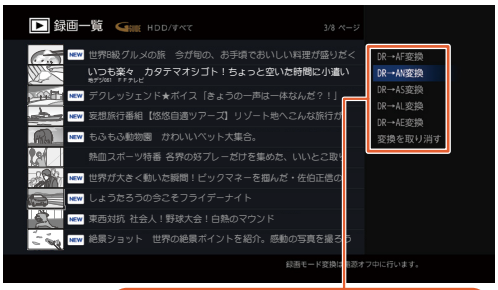
ホームからでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押して▲·▼で変換したい番組を選んで サブメニュー を押す

- フォルダ一覧が表示されたときは、▲·▼で変換したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押して番組を選んでください。

2 ▲·▼で 録画モード変換 を選んで 決定 を押す

3 お好みの録画モードを選んで 決定 を押す



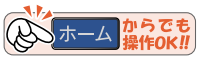
- 設定が終わったら、終了を押してください。
- 電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。(録画モード変換中は、待機時動作中LEDが点灯します。)
- 録画モードの変換には、番組の再生時間と同じ時間がかかります。

▷録画モードの変換が終了しているか確認するには

- 録画一覧で番組を選んで 番組内容 を押して、「○○→○○変換予定」がお好みの録画モードに変更されていれば、録画モード変換は終了しています。



▷モード変換を解除するには



① ディスクメニュー 録画一覧 を押す
- フォルダー覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

② ▲·▼で解除したい番組を選んでサブメニューを押す

③ ▲·▼で **録画モード変換** を選んで決定を押す

④ ▲·▼で **変換を取り消す** を選んで決定を押す



ご注意

- HDDやUSB-HDDの空き容量が少ないと、録画モードを変換できないことがあります。HDDやUSB-HDDの空き容量が少ないときは、不要な番組を消去するなどして容量を増やしてください。P.137
- 以下の番組は録画モードを変換できません。
  - 保護された番組
  - 録画中の番組
  - 録画モードが標準画質または録画モード不明の番組
- 録画モード変換中に電源を「入」に設定すると、変換が中止されます。もう一度電源を「切」に設定すると、変換が始まります。
- 以下の場合は、本機の電源を「切」にしていても録画モードは変換されません。
  - 予約録画の開始時刻4分前から録画終了まで
  - ダビング中
  - **[クイック起動]**の設定時間中
  - デジタル放送電波からソフトウェアのダウンロードを開始する5分前
  - USB-HDDが接続されていない(USB-HDDの録画モードを変換するとき)
- モバイル持ち出し番組に変換済みのダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組またはコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を**[録画モード変換]**すると、**[モバイル持ち出し番組]**画面からモバイル持ち出し番組は消去され、もう一度モバイル持ち出し用変換を行う必要があります。
- DVD持ち出し番組変換済みのコピーワンス番組を**[録画モード変換]**すると、**[DVD持ち出し番組]**画面からDVD持ち出し番組は消去されます。

チャプターを編集する

▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく P.52
- HDD、DISCまたはUSBを押して操作するメディアに切り換えておく

チャプターを分割する

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　AVC方式　VR方式

番組をチャプターで分割することができます。

ホームからでも操作OK!!



1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 ▲·▼で番組を選んで サブメニュー を押す

3 ▲·▼で 番組編集 を選んで 決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲·▼で チャプター編集 を選んで 決定 を押す

5 チャプターを分割したいところまで再生し、一時停止 を押す

- 再生時は「一時停止」、「スキップ（前/後）」、「早戻し/早送り」、「10秒戻し」、「30秒スキップ」の操作が可能です。
- 一時停止時は「コマ戻し/コマ送り」、「逆スロー/正スロー」、「前へスキップ」、「次へスキップ」、「10秒戻し」、「30秒スキップ」の操作が可能です。

6 ▲·▼で チャプター分割 を選んで 決定 を押す

- チャプターが分割されます。
- 続けてチャプターを分割するときは、手順5～6を繰り返してください。
- 分割できるチャプター数についてくわしくは P.283 をご覧ください。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。

チャプターを結合する

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　AVC方式　VR方式

分割されたチャプターを結合することができます。

▷ すべてのチャプターを結合する

① 「チャプターを分割する」の手順5で 全チャプター結合 を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

▷前後のチャプターを結合する

①「チャプターを分割する」の手順5で 一時停止 ➡ 緑・黄でチャプターの境界に位置を合わせる





② ▲·▼で チャプター結合 ➡ 決定 を押す

- チャプターが結合されます。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。

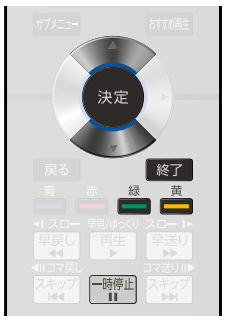
お知らせ

- 番組の再生中に一時停止すると、チャプター分割·結合ができます。
- 青 を押すとチャプターを分割します。
- 赤 を押すとチャプターを結合します。

チャプターを消去する

HDD USB-HDD

HDDとUSB-HDDの場合はチャプターを消去できます。



① 消去したいチャプターまで再生し 一時停止 を押す

② 「チャプターを分割する」の手順5で、▲·▼で チャプター消去 ➡ 決定 を２回押す

- 確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押してください。
- 再生位置を含むチャプターが消去されます。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 分割できるチャプター数が最大数を超える場合は、チャプター分割できません。分割できるチャプター数についてくわしくはP.283をご覧ください。
- チャプター間が短すぎる場合は、チャプター消去できないことがあります。
- 番組の先頭または終端のチャプターは、長さに関係なくチャプター消去できます。
- チャプターが1つだけの番組は、チャプターを結合したり消去したりすることはできません。

お知らせ

- チャプター編集画面で、再生中に番組の終わりへスキップすると一時停止になります。
- HDDやUSB-HDDの場合は、チャプターを編集すると編集した番組が含まれる別のフォルダの番組も同じようにチャプターが編集されます。

番組を分割･結合する

1つの番組を2つに分けたり、2つの番組を1つにまとめたりすることができます。

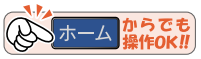
▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- HDD または USB を押して操作するメディアに切り換えておく

番組を分割する

HDD　USB-HDD

1つの番組を2つに分けることができます。



1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲･▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 ▲･▼で番組を選んで サブメニュー を押す

3 ▲･▼で 番組編集 を選んで 決定 を押す

4 ▲･▼で 番組分割 を選んで 決定 を押す

5 番組を分割したいところまで再生し 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので はい ➡ 決定 を押してください。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- 以下の番組は分割できません。
  - 録画モード変換待ちの番組
  - モバイル持ち出し番組への変換待ちの番組
  - DVD持ち出し変換待ちの番組
  - 番組保護された番組
- 以下の場合は番組を分割できません。
  - 録画中
  - 分割する箇所が番組開始位置や終了位置に近い(1秒以内)場合
  - 最大番組数を超える場合
  - メディアの空き容量が少ない場合

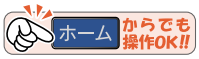
お知らせ

- 番組に「自動消去」が設定されている場合は、「自動消去」は解除されます。
- **[番組分割]**すると、分割した番組が含まれる別のフォルダの番組も分割されます。

番組を結合する

HDD USB-HDD

2つの番組を1つにまとめることができます。



1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダ一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 ▲·▼で元となる番組を選んで サブメニュー を押す

3 ▲·▼で 番組編集 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼で 番組結合 を選んで 決定 を押す

5 ▲·▼で結合したい番組を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押してください。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- コピー制限の異なる番組を結合すると、コピー回数が少ない番組情報が優先されます。(例えば、コピーが残り4回可能なダビング10番組とコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を結合すると、コピーワンス番組になります。)
- 以下の番組は結合できません。
  - 録画モード変換待ちの番組
  - モバイル持ち出し番組への変換待ちの番組
  - DVD持ち出し変換待ちの番組
  - 番組保護された番組
  - 画質(DR／AVC／標準／SKP)が異なる番組
  - AVCHD方式で取り込んだ(ダビングした)1080/60pの番組
  - 3D番組(AVCHD 2.0)と2D番組
- 以下の場合は番組を結合できません。
  - 録画中
  - 番組が1つしかない場合
  - 番組保護された番組
  - 番組結合後の総再生時間が15時間を超える場合
  - 番組結合後の総チャプター数が999を超える場合
- 他の機器からダビングした番組は結合できない場合があります。

お知らせ

- 結合したあとの番組情報は手順2で選んだ番組情報が基準になります。
- 番組に「自動消去」が設定されている場合は、「自動消去」は解除されます。
- **[番組結合]**すると結合される番組(あとから選んだ番組)はすべてのフォルダから消去されます。

番組名を変更する･番組を保護する

▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく P.52
- HDD、DISCまたはUSBを押して操作するメディアに切り換えておく

番組名を変更する

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD AVC方式 VR方式

録画した番組の番組名を変更することができます。



1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲･▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

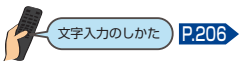
2 ▲･▼で番組を選んでサブメニューを押す

3 ▲･▼で 番組編集 を選んで 決定 を押す

4 ▲･▼で 番組名変更 を選んで 決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

5 番組名を入力して 決定 を押す



- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。番組名が変更されます。
- 番組名を変更すると、変更した番組が含まれる別のフォルダの番組名も変更されます。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。



番組を保護する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD AVC方式 VR方式

録画した番組を保護することができます。

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダ一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 ▲·▼で番組を選んで サブメニュー を押す

3 ▲·▼で 番組編集 を選んで 決定 を押す

4 ▲·▼で 番組保護 を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押してください。番組が保護されます。
- 保護された番組には、録画一覧で 🔒 が付きます。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。

▷**番組保護を解除するときは**

手順4で 番組保護解除 を選ぶ



ご注意

- **[番組保護]**すると、すべてのフォルダに入っている同じ番組も保護されます。
- 保護された番組は、以下の操作ができません。
  - フォルダ移動
  - 番組の消去
  - 番組名の変更
  - チャプターの分割
  - チャプターの結合
  - チャプターの消去
  - 番組の分割／結合
  - 録画モードの変換
  - ダビング10番組のダビング(移動)
  - コピーワンス(1回だけ録画可能)番組のダビング
- 録画モード変換予定の番組やモバイル変換予定の番組、DVD持ち出し変換予定の番組は保護できません。

番組をフォルダで管理する

番組をフォルダに入れて管理できます。

▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- HDDまたはUSBを押して操作するメディアに切り換えておく

ジャンルフォルダについて

録画時やダビング時、番組の情報に従って自動的に番組が各ジャンルフォルダに分類されます。
分類されるフォルダは以下になります。

未視聴： 未視聴の番組
映画： 映画、劇場／公演のジャンルの番組
ドラマ： ドラマのジャンルの番組
スポーツ： スポーツのジャンルの番組
音楽： 音楽のジャンルの番組
バラエティ： バラエティのジャンルの番組
ニュース： 情報／ワイドショー、ニュース／報道、ドキュメンタリー／教養のジャンルの番組
アニメ： アニメ／特撮のジャンルの番組
撮影ビデオ： AVCHD方式の番組
おまかせ録画： おまかせ録画された番組（HDDとUSB-HDDのみ表示されます。）

フォルダを作る

HDD USB-HDD SeeQVault-HDD

番組を管理するためのフォルダを作ることができます。

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- 録画一覧が表示されたときは 赤 を押してください。
- ◀·▶でも階層移動できます。

2 サブメニュー を押す

3 ▲·▼で フォルダ作成 を選んで 決定 を押す

- フォルダが作成されます。
- 作成が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- 最大99個まで作成できます。

フォルダの名前を変更する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD

作成したフォルダの名前を変更できます。

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- 録画一覧が表示されたときは、赤 を押してください。
- ◀·▶でも階層移動できます。

2 ▲·▼で変更するフォルダを選んでサブメニューを押す

3 ▲·▼で フォルダ名変更 を選んで 決定 を押す

4 フォルダ名を入力して 決定 を押す

文字入力のしかた P.206

- 変更が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダの名前は変更できません。
- 録画予約やおまかせ録画の録画先に指定しているフォルダは、予約録画の2分前になるとフォルダ名を変更できません。

番組を他のフォルダに追加する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で追加したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

2 サブメニュー を押す

3 ▲·▼で 保存フォルダ変更 を選んで 決定 を押す

- 変更先のフォルダー一覧が表示されます。

4 ▲·▼で変更先のフォルダを選んで 決定 を押す

5 ▲·▼でフォルダを変更したい番組を選んで 決定 を押す

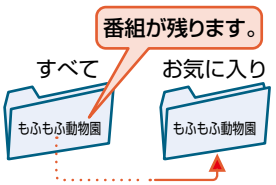
6 ◀·▶で 決定 を選んで 決定 を押す

- 追加が終わったら、終了 を押してください。



お知らせ

- [ジャンル]フォルダの番組は他のフォルダに追加できません。
- [すべて]フォルダから作成したフォルダに番組を追加しても、[すべて]フォルダの番組は消去されません。



フォルダの順番を変更する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 **を押す**

- 録画一覧が表示されたときは 赤 を押してください。

2 サブメニュー **を押す**

3 **▲·▼で フォルダ表示順変更 を選んで 決定 を押す**

4 **▲·▼で順番を変更するフォルダを選んで 決定 を押す**

5 **▲·▼で変更先を選んで 決定 を押す**

- フォルダの順番が変更されます。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。



お知らせ

- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダの順番は変更できません。

フォルダに入っている番組について

- 番組を編集すると、編集した番組を含むフォルダすべてに同じ編集が反映されます。
  反映される編集は以下になります。
  - **[チャプター編集]**
  - **[番組分割]**（HDDとUSB-HDDのみ）
  - **[番組結合]**（HDDとUSB-HDDのみ）
  - **[番組名変更]**
  - **[番組保護]**
  - **[録画モード変換]**（HDDとUSB-HDDのみ）

お知らせ

- **[番組結合]**すると、結合される番組（あとから選んだ番組）はすべてのフォルダから消去されます。
- **[番組分割]**すると、分割した番組が含まれる別のフォルダの番組も分割されます。

▷HDDやUSB-HDDの番組を全消去すると

ホーム ➡ **[メディア管理]** ➡ **[HDDメニュー]** または **[メディア管理]** ➡ **[USB-HDDメニュー]** ➡ **[USB-HDD]** で **[番組全消去]** すると、すべての番組と **[すべて]** または **[ジャンル]** フォルダ以外のフォルダが消去されます。
[番組全消去(保護番組以外)]すると、保護されている番組とその番組を含むフォルダおよび**[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダ以外の番組とフォルダが消去されます。P.229

フォルダを消去する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD

作成したフォルダを消去できます。

ホーム からでも操作OK!!

1 ディスクメニュー 録画一覧 を押す

- 録画一覧が表示されたときは 赤 を押してください。

2 ▲·▼でフォルダを選んで 3桁入力 消去 を押す

- サブメニュー を押して フォルダ消去 を選んで操作することもできます。

3 ▲·▼で消去方法を選んで 決定 を押す

- フォルダのみ消去 を選ぶと、フォルダ内の番組は消去されずに[すべて]フォルダに残ります。
- フォルダとフォルダ内の番組を消去 を選ぶと、フォルダとフォルダ内の番組を完全に消去します。
- 確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押してください。
- 消去が終わったら、終了 を押してください。

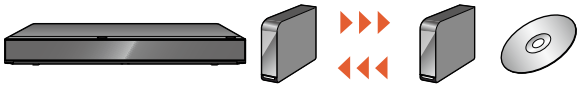


お知らせ

- [すべて]または[ジャンル]フォルダは消去できません。
- 消去したフォルダとフォルダ内の番組はすべて消去されます。
  ([すべて]または[ジャンル]フォルダ内の番組は消去されません。)

目的別ダビングガイド

本機とUSB-HDDやディスク間で複数の番組をダビングしたい P.154 P.157



VR方式のDVDへ高速ダビングしたい P.160



本機からネットワーク上の機器にダビングしたい P.164



AVCHD方式の動画を本機に取り込みたい P.166



ビデオデッキやビデオカメラの映像を本機にダビングしたい(FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ) P.163



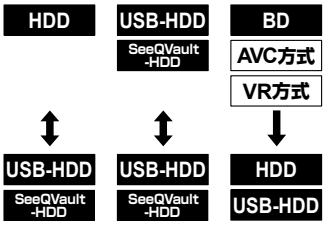
ご注意

- 市販品のBD-Video／DVD-Videoやレンタルディスクのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされており、ダビングできません。
- ファイナライズされたDVD-RW(Video)やDVD-R(Video)をHDDへダビングするときは、DVDプレーヤーなどを使ってダビングしてください。P.163
- DVD-RW(AVCHD)／DVD-R(AVCHD)の場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。
- 10回目のダビング(移動)となるダビング10番組またはコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を、ダビングまたはバックアップするとHDD内の録画一覧からは消去されます。また、これらの番組で作成されたモバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組に変換済みの番組も、モバイル持ち出し番組用の録画一覧やDVD持ち出し番組用の録画一覧から消去されます。

複数の番組をまとめてダビングする

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD　BD　AVC方式　VR方式

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。



▶ 準備

- USB-HDDを使う場合は、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDを接続しておく P.195
- ディスクを使う場合は、ディスクを入れておく P.52

1 ホームを押して▲·▼でダビングを選んで決定を押す

- ディスクメニュー 録画一覧を押し、録画一覧表示中にサブメニューを押してからダビングを選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 ▲·▼でダビング元を選んで決定を押す

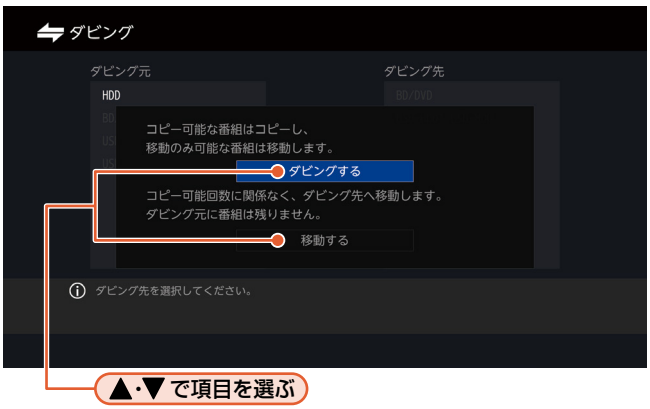
▷ディスクからHDDまたはUSB-HDDへダビングするときは

ダビング元：BD／DVDを選ぶ

3 ▲·▼でダビング先を選んで決定を押す

▷HDDとUSB-HDDの間でダビングするときは

続けてダビング方法を選ぶ



▷ディスクからHDDまたはUSB-HDDへダビングするときは

ダビング先：HDD　USB-HDD◯を選ぶ

- 番組をダビングするとダビング元に番組は残りません。



4 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- 確認画面が表示された場合は▲·▼で はい を選んで 決定を押してください。
- フォルダ一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで決定を押して録画一覧を表示してください。
- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷ **フォルダを選ぶときは**

赤を押してフォルダ表示に切り換える

- ディスクはフォルダ表示できません。

▷ **他の番組を続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

- 最大36個まで選ぶことができます。
- 録画モードが [DR] と [AVC] の番組は同時に選ぶことができますが、DR ／ AVC、標準画質、SKP、録画モード不明な番組はそれぞれを同時に選ぶことができません。

▷ **番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで決定を押す

5 ダビングしたい番組を選び終わったら、▶を押す

6 ▲·▼で 画質選択 を選んで決定を押す

- ダビングの組み合わせによっては、 画質選択 を選べない場合があります。その場合は、決定を押して手順9に進んでください。

7 ▲·▼でお好みの画質（録画モード）を選んで決定を押す

そのまま（高速）： ダビング元と同じ画質でダビングします。

そのまま（高速）以外： ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。くわしくは P.170をご覧ください。
- 画質によってダビング速度が変わります。P.170

8 画質を選び終わったら、▶で 決定 を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、P.156をご覧ください。

9 ▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

10 ▲·▼で ダビング開始 を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

実行中のダビングを中止する

① ダビング中に 停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、 はい を選んで決定を押してください。

くわしくは「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」P.173もご覧ください。

複数の番組をまとめてダビングする(つづき)

ダビングリストの見かた



① ダビングする番組が表示されます。
（ダビングリストの上から順にダビングされます。）
② 番組選択画面に戻り、番組を追加します。
③ ダビングリストから番組を選んで消去します。
④ ダビングリストから番組をすべて消去します。
⑤ 操作ガイド
（ダビングリストのページ数が複数あるときだけ表示されます。）
⑥ ダビング先のフォルダを指定します。
⑦ ダビングリストの順番を変更します。

ダビングリストに番組を追加する

① ▲·▼で **番組を追加** を選んで 決定 を押す
② ▲·▼で追加したい番組を選んで 決定 を押す
③ ◀·▶で **決定** を選んで 決定 を押す

ダビングリストから番組を消去する

① ▲·▼で **リストから消去** を選んで 決定 を押す
② ▲·▼で消去したい番組を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで 決定 を押してください。

ダビングリストの番組をすべて消去する

① ▲·▼で **全消去** を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで 決定 を押してください。



ダビングの順番を変更する

① ▲·▼で **ダビング順変更** を選んで 決定 を押す
② ▲·▼で変更したい番組を選んで 決定 を押す
③ ▲·▼で変更したい位置へ移動して 決定 を押す

フォルダを指定する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

① ▲·▼で **フォルダ設定** を選んで 決定 を押す
② ▲·▼でダビング先に指定するフォルダを選んで 決定 を押す

お知らせ

- 以下の場合は、ダビングできません。
  - ディスクに録画中
  - ダビング先のメディアの番組数、チャプター数がいっぱいになっている
  - ダビング先のメディアの残量が足りない
  - ダビング先のメディアが保護されている
  - LAN録画機能での録画開始時刻とダビングが重なる
  - LAN録画中　　- 録画中の番組
- 通常録画中は高速ダビングになります。等速ダビングはできません。
- 本機に取り込んだAVCREC™方式の番組をBDAV／AVCREC™方式のディスク、またはSeeQVault-HDDへダビングする場合は、番組を分割してダビングすることがあります。
- 予約録画と重なる可能性があるときは、ダビングできない場合があります。

複数の番組をまとめてディスクにダビングする

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD BD AVC方式 VR方式 Video方式

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。

HDD / USB-HDD → BD（AVC方式 / VR方式※ / Video方式）

SeeQVault -HDD → BD

※ DVD-RAMにはダビングできません。

▶ 準備

- USB-HDDを使う場合は、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDを接続しておく P.195

1 ダビング先に設定したいディスクを入れる



初期化が必要なディスクをダビング先に設定する場合

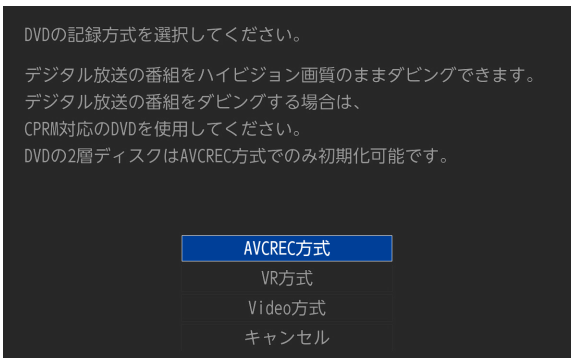
① **ディスク挿入後、初期化確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す**

- ディスクがDVDの場合は、記録方式選択画面が表示されるので、▲·▼でお好みの方式を選んで決定を押します。

AVCREC方式：デジタル放送の番組をハイビジョン画質のままダビングできます。

VR方式：ダビングした番組は標準画質で記録されます。AVCREC™方式より、長時間記録できます。他の機器で再生するときは、本機でのファイナライズとVR方式に対応したプレーヤーなどが必要です。

Video方式：デジタル放送の番組はダビングできません。AVCREC™方式かVR方式をおすすめします。VR方式で再生できないDVDプレーヤーに適しています。



② **初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す**

- 初期化が開始されます。
- 未使用ディスクの場合は、初期化再確認画面が表示されずにそのまま初期化が開始されます。

③ **ホーム を押す**

④ **▲·▼で ダビング ➡ 決定 を押す**

- ダビング元の録画一覧表示中にサブメニューを押してから ダビング を選んで操作することもできます。その場合は、手順3に進んでください。

次ページへつづく

使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合



① ディスク挿入後、ホーム ➡ メディア管理 ➡ BD／DVDメニュー ➡ 初期化 ➡ はい を選んで 決定 を押す
- ディスクがDVDの場合は記録方式選択画面が表示されるので、▲·▼でお好みの方式を選んで決定を押します。

② 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す
- 初期化が開始されます。

③ ホーム を押す

④ ▲·▼で ダビング を選んで 決定 を押す
- ダビング元の録画一覧表示中に サブメニュー で ダビング を選んで操作することもできます。その場合は、手順3に進んでください。

すでにダビング済み、または初期化済みのディスクの場合

① ホーム を押す

② ▲·▼で ダビング を選んで 決定 を押す
- ダビング元の録画一覧表示中に サブメニュー で ダビング を選んで操作することもできます。その場合は、手順3に進んでください。

2 ▲·▼でダビング元を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼でダビング先として BD／DVD を選んで 決定 を押す

- VR方式で初期化されたDVD-RW／DVD-Rを使う場合で、DVD持ち出し番組をすでに作成している場合は、▲·▼で 録画一覧から選ぶ または DVD持ち出し番組から選ぶ を選ぶことができます。DVD持ち出し番組から選ぶ を選んだときは、高速ダビングができます。高速ダビングについて、くわしくはP.160をご覧ください。

4 ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示された場合は、▲·▼で はい を選んで 決定 を押してください。
- フォルダ一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで決定を押して録画一覧を表示してください。
- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。
- ダビング先の録画容量が不足している場合は、下記確認画面が表示されます。▲·▼で選んで決定を押してください。
  - [画質を自動調整する] 手順7を参照ください。
  - [この番組の選択をやめる]

▷フォルダを選ぶときは

赤 を押してフォルダ表示に切り換える

▷他の番組を続けて選ぶときは
この手順を繰り返す

- 最大36 個まで選ぶことができます。
- 録画モードが [DR] と [AVC] の番組は同時に選ぶことができます。

▷番組の選択を解除したいときは
解除したい番組を選んで決定を押す

5 ダビングしたい番組を選び終わったら、▶を押す

6 ▲·▼で 画質選択 を選んで決定を押す

- ダビングの組み合わせによっては、画質選択 を選べない場合があります。その場合は、決定を押して手順9に進んでください。

7 ▲·▼でお好みの録画モード（画質）を選んで決定を押す

そのまま（高速）： ダビング元と同じ画質でダビングします。
そのまま（高速）以外： ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。くわしくはP.170をご覧ください。
- 画質によってダビング速度が変わります。P.170

▷**画質を自動設定でダビングする場合**
ディスクへダビングする場合は、画質（録画モード）を **[自動]** に設定できます。

- **[自動]** に設定すると、ディスクの容量に合わせて画質を自動調整します。

▷**ブルーレイディスクまたはDVD（AVCREC™方式）の場合**
録画モードをハイビジョン画質でダビングします。

▷**DVD（VR方式）またはDVD（Video方式）の場合**
録画モードを標準画質でダビングします。

8 画質を選び終わったら、▶を押して、▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、P.156をご覧ください。

9 ▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

▷**ダビング先のディスクがBD-RまたはVR方式のDVD、AVCREC™のときは**

- ファイナライズ確認画面が表示されます。ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、**[他のプレーヤーでも再生する]** を選んでください。ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。
  引き続き本機で記録する場合は **[ダビング後も本機で記録をする]** を選んでください。

10 ▲·▼で ダビング開始 を選んで決定を押す

▷**DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）がダビング先のときは**
ディスク名を変更できます。

① **▲·▼で ディスク名変更 を選んで決定を押す**

- ディスク名設定画面が表示されます。

② **ディスク名を入力し、緑を押す**

文字入力のしかた P.206

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- ディスクの名前が設定されます。
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

▷**DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）へダビングした場合**

- ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

VR方式のDVDへ高速ダビングする

HDD　VR方式

あらかじめ作成しておいたDVD持ち出し番組をDVDに高速でダビングすることができます。
くわしくは「DVD持ち出し番組について」および「コピー制限番組について」P.169をご覧ください。

HDD
↓
VR方式※

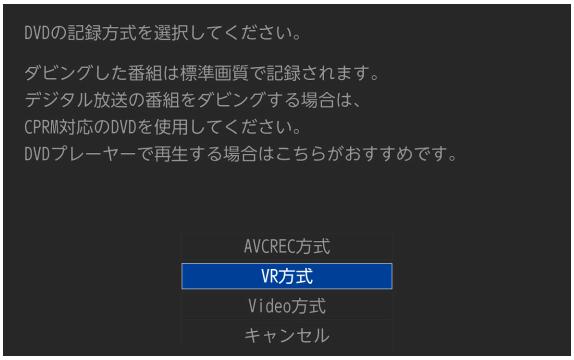
※ DVD-RAMにはダビングできません。

▶ 準備
- DVD持ち出し番組を作成しておくP.75、P.81、P.91

1 DVDを入れる

初期化が必要なディスクをダビング先に設定する場合

① ディスク挿入後、初期化確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す
- 記録方式選択画面が表示されるので、▲·▼で VR方式 を選んで決定を押します。



② 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す
- 初期化が開始されます。
- 未使用ディスクの場合は、初期化再確認画面が表示されずにそのまま初期化が開始されます。



使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合

① ディスク挿入後、ホーム ➡ メディア管理 ➡ BD／DVDメニュー ➡ 初期化 ➡ VR方式 ➡ はい を選んで 決定 を押す

② 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す
- 初期化が開始されます。

すでにダビング済みのディスクまたは初期化済みのディスクの場合

① ホーム を押す

② ▲·▼で ダビング を選んで 決定 を押す

- 録画一覧 を押し、録画一覧表示中に サブメニュー を押してから ダビング を選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 ▲·▼でダビング元として HDD を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼でダビング先として BD ／ DVD を選んで 決定 を押す

4 DVD持ち出し番組から選ぶ が選ばれているので 決定 を押す

5 ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示された場合は▲·▼で はい を選んで 決定 を押してください。
- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷**他の番組を続けて選ぶときは**
この手順を繰り返す

▷**番組の選択を解除したいときは**
解除したい番組を選んで 決定 を押す

6 ダビングしたい番組を選び終わったら、▶を押して、決定 を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、P.156をご覧ください。
- **[画質選択（そのまま）]** は変更できません。

7 ▲·▼で 決定 を選んで 決定 を押す

- ファイナライズ確認画面が表示されます。ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、**[他のプレーヤーでも再生する]** を選んでください。ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。引き続き本機で記録する場合は **[ダビング後も本機で記録をする]** を選んでください。

8 ▲·▼で ダビング開始 を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。



VR方式のDVDへ高速ダビングする(つづき)

DVD持ち出し番組を表示する

1 ホーム を押してから **録画一覧** を選んで 決定 を押す

2 **DVD持ち出し番組** を選んで 決定 を押す



お知らせ

- DVD持ち出し番組は再生できません。
- DVD持ち出し番組を消去したい場合は、P.230をご覧ください。

ビデオデッキやビデオカメラなどからダビングする

▶ 準備

- ビデオデッキやAVCHD非対応のビデオカメラなどを接続しておく（FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ）P.29
  （ファイナライズされたDVDからダビングするときは、DVDプレーヤーを接続しておく）
- HDDにダビングするときは、HDDを押しておく
- ディスクにダビングするときは、ディスクを入れてDISCを押しておくP.52
- ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[録画設定]** から **[外部入力音声]** を設定しておくP.214

1 ホームを押す

2 ▲·▼で 放送中の番組へ を選んで決定を押す

3 ▲·▼で 外部入力 を選んで決定を押す

- サブメニュー ➡ 放送・入力切換 から 外部入力 を選んで操作することもできます。

4 録画モードを選ぶ

- 「録画モードについて」P.65をご覧ください。
- 録画モードは、**[XP]** ～ **[EP]** から選んでください。

5 接続した機器を再生する

- 接続した機器の操作や設定について、くわしくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

6 録画を押す

- ダビングが始まります。

▷録画を一時停止するときは（HDDのみ）

一時停止を押す

- 録画が一時停止します。（もう一度押すと再び録画が始まります。）

▷録画を停止するときは

停止を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- 録画が停止します。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）停止した位置までが1つの番組になります。

▷録画を停止するときは（同時録画中）

停止を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で 外部入力 を選んで決定を押してください。
- 再び確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。録画が停止します。

▷録画を停止するには（追っかけ再生中／同時録画再生中）

① 停止を押す

- 再生が停止します。録画一覧が表示されたときはディスクメニュー 録画一覧を押して、放送画面に戻ってください。

② 停止を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で 外部入力 を選んで決定を押してください。
- 再び確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。録画が停止します。



ご注意

- 外部入力の録画モードは、標準画質のみ設定可能です。
- 違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされている市販品のBD-Video／DVD-Videoやレンタルディスク·ビデオテープなどはダビングできません。
- SDカードやUSBメモリーなど、HDD、ディスク以外のメディアにはダビングできません。

お引越し(LAN)でダビングする(本機からネットワーク上の機器にダビングする)

お引越し(LAN)で、HDDやUSB-HDDに録画した番組をネットワーク上の機器にダビングできます。

- ダビング先の機器は当社製のLAN録画対応機器をお使いください。
- 本機と接続する機器は同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一のネットワーク環境に接続してください。

▶ 準備

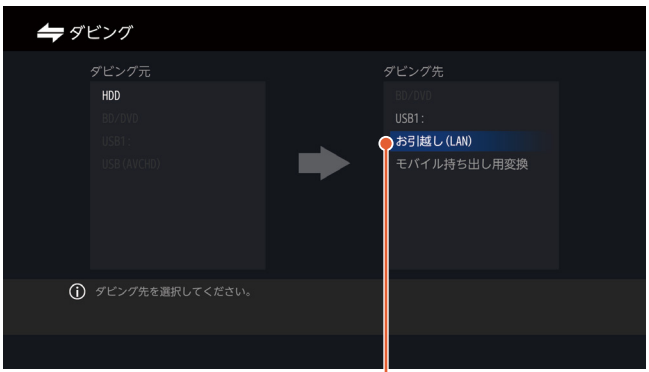
- 接続する機器をネットワークでつなぐ(くわしくは接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。)
- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ P.182、P.183
  本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、「本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ」P.189をご覧ください。
- 本機の以下を設定しておく
  「通信設定」P.185
  「機器連携設定」P.189

1 ホームを押して、▲·▼でダビングを選んで決定を押す

- 録画一覧を押し、録画一覧表示中にサブメニューを押してからダビングを選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 ▲·▼でダビング元にHDDまたはUSB-HDDを選んで決定を押す

3 ▲·▼でダビング先にお引越し(LAN)を選んで決定を押す



- ネットワーク上の機器が一覧で表示されます。

4 ▲·▼でダビング先の機器を選んで決定を押す



5 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- フォルダ一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで、決定を押して録画一覧を表示してください。
- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷**フォルダを選ぶときは**

赤を押して、フォルダ表示に切り換える

▷**他の番組を続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

▷**番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで決定を押す



6 ダビングする番組を選び終わったら、▶で 決定 を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。
- ダビングする番組を追加したり消去したりする場合は、P.156をご覧ください。

7 ▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

8 ダビング開始 を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

ご注意

- 以下の番組はお引越し(LAN)でダビングできません。
  - 録画モード[XP]～[EP]の番組
  - AVCHD方式の番組
  - 試験放送のような映像の動きが少ない放送を、録画モード[AVC]で録画した番組
- 録画モードを[AF]～[AE]に変換した番組は、お引越し(LAN)でダビングできない場合があります。

お知らせ

- お引越し(LAN)でダビング中に予約録画が開始されると、ダビングが中断される場合があります。その場合は、予約録画終了後にお引越し(LAN)ができなかった番組をやり直してください。
- お引越し(LAN)機能をお使いの場合はネットワークのデータアクセス量が増え、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズが入ることがあります。お引越し(LAN)機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをおすすめします。
- ダビングした番組は番組の先頭や番組の境界部分、編集した部分などが数秒間欠けることがあります。
- ダビング10番組は、ダビング先ではコピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。
- 以下の番組は、ダビングできない場合があります。
  - 編集で一部を消去した番組
  - 分割·結合した番組
  - 他の機器からダビングした番組

AVCHD方式の動画をダビングで取り込む

HDD　USB-HDD　AVCHD方式

ディスクやUSB機器、SDカードに記録された動画（AVCHD方式）を本機にダビングして取り込むことができます。

AVCHD方式
↓
HDD
USB-HDD

▶ 準備

- AVCHD方式の動画が記録されたディスクを入れておく P.52
- USB機器を本機前面のAV周辺機器用USB端子とつないで電源を入れておく P.50
- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを入れておく（FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000のみ） P.50

ディスクからダビングして取り込む

1 ホーム を押して、▲·▼で ダビング を選んで決定を押す

- 録画一覧 を押し、録画一覧表示中にサブメニューを押してから ダビング を選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。



2 ▲·▼でダビング元に BD ／ DVD を選んで決定を押す

3 ▲·▼でダビング先に HDD または USB-HDD を選んで決定を押す

4 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷ **他の番組を続けて選ぶときは**
この手順を繰り返す

▷ **番組の選択を解除したいときは**
解除したい番組を選んで決定を押す

5 ダビングする番組を選び終わったら、▶を押す

6 ▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。

7 ダビングリストの内容を確認する

8 ▲·▼で 決定 を選んで決定を押す

9 ダビング開始 を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

USB機器やSDカードから取り込む（ダビングする）

■USB 機器を接続したり SD カードを入れたりすると、自動的に選択画面が表示されます。
■USB 機器を使うときは、USB 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ▲·▼で AVCHD を取り込む を選んで 決定 を押す

▷ホームメニューから操作するときは

① ホーム を押して、▲·▼で ダビング を選んで 決定 を押す

② ▲·▼でダビング元に SD カード（AVCHD） または USB(AVCHD) を選んで 決定 を押す

③ ▲·▼でダビング先に HDD 選んで 決定 を押す



2 ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

● 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷他の番組を続けて選ぶときは
この手順を繰り返す

▷番組の選択を解除したいときは
解除したい番組を選んで 決定 を押す

3 ダビングする番組を選び終わったら、▶で 決定 を選んで 決定 を押す

● ダビングリストが表示されます。

4 ダビングリストの内容を確認する

5 ▲·▼で 決定 を選んで 決定 を押す

6 ダビング開始 を選んで 決定 を押す

● ダビングが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面（シーン）でも別々の番組になることがあります。くわしくはデジタルビデオカメラに付属の取扱説明書でご確認ください。
- 以下の動画もダビングして取り込むことができます。
  - 3D で記録された動画　（本機にダビングして取り込むと、録画モードは[AVC 3D]と表示されます。）
  - 1080/60p で記録された動画　（本機にダビングして取り込むと、録画モードは[AVC PRO]と表示されます。）

ダビングについての補足説明

ダビング制限について

ダビング制限	HDD USB-HDD	SeeQVault -HDD	HDD USB-HDD	SeeQVault -HDD	BD AVC方式 VR方式	HDD USB-HDD
	↕	↕	↓	↓	↓	↓
	USB-HDD	SeeQVault -HDD	SeeQVault -HDD	HDD USB-HDD	HDD USB-HDD	BD AVC方式 VR方式
制限なしに録画可能	◎／○ （選択可能）	◎	◎	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	○	○	○	○	○※1	○
ダビング10 （9回目まで）	◎／○ （選択可能）		◎			◎
ダビング10 （10回目）	○		○			○

ダビング制限	SeeQVault -HDD	HDD USB-HDD	HDD USB-HDD	HDD USB-HDD
	↓	↓	↓	↓
	BD	Video方式	LAN	モバイル持ち出し用変換※2
制限なしに録画可能	◎	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	○	×	○	○
ダビング10 （9回目まで）		×	◎	◎
ダビング10 （10回目）		×	○	○

◎:「コピー」になる　○:「移動」になる　×:できない

※1　DVDディスクおよびファイナライズ済みのBD-Rディスクからのダビングはできません。

※2　モバイル持ち出し用変換を行った番組は、モバイル持ち出し番組としてHDD（内蔵ハードディスク）内に作成されます。

▷制限なしに録画可能な番組について

- ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- デジタル放送の場合は、一部の番組をのぞき、ほとんどの番組がコピーワンス（1回だけ録画可能）番組またはダビング10（コピー9回＋移動1回）番組となります。

▷デジタル放送のコピーワンス番組について

- ダビングする場合は「移動」となり、ダビング元の番組が録画一覧から消去されます。また、モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組に変換済みの場合は、モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組もモバイル持ち出し番組用の録画一覧やDVD持ち出し番組用の録画一覧から消去されます。

▷デジタル放送のダビング10番組について

- ダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- 10回目は「移動」となり、ダビング元の番組が録画一覧から消去されます。また、モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組に変換済みの場合は、モバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組もモバイル持ち出し番組用の録画一覧やDVD持ち出し番組用の録画一覧から消去されます。
- HDD⇔USB-HDD間のダビングにおいて、9回目まではダビング時にコピー、もしくは移動が選択可能です。

お知らせ

- 外部入力からHDDに録画したコピー制限のある番組をDVDにダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW（VR）／DVD-R（VR）を使用してください。（FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ）

DVD持ち出し番組について

■DVD持ち出し番組とは、VR方式のDVDに高速ダビングできる番組のことをいいます。
■本機では、録画予約するときに設定することでDVD持ち出し番組を作成できます。
■作成したDVD持ち出し番組を確認するには、「モバイル持ち出し番組またはDVD持ち出し番組の録画一覧を表示する」P.108をご覧ください。

▷コピー制限番組について

- DVD持ち出し番組に変換すると、ダビング10番組はコピー可能回数が1回減ります。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組またはコピーワンス番組は、DVD持ち出し用に変換した番組をディスクにダビングすると、ダビング元の番組が録画一覧から消去されます。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組またはコピーワンス番組でDVD持ち出し番組を作成していた場合に、ダビング元の番組を編集すると作成されたDVD持ち出し番組がDVD持ち出し番組用の録画一覧から消去されます。

ご注意

- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- DVD持ち出し作成をする録画予約をした場合は、録画される番組は録画モードで設定した画質になります。DVD持ち出し番組は、**[DVD持ち出し画質設定]**P.214で設定されている画質になります。
- 外部入力からの録画時は、DVD持ち出し番組を作成できません。（FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ）

録画モード（画質）とダビング速度について

ダビングするときの録画モード（画質）によってダビング速度が変わります。

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア／お引越し（LAN）	録画モード	ダビング速度
HDD	DR	USB-HDD	そのまま（高速）	高速
			AF ～ AE	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま（高速）	高速
		BD	そのまま（高速）	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		AVC方式	自動、AF ～ AE	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
		お引越し（LAN）※	そのまま（高速）	高速
	AF ～ AE	USB-HDD	そのまま（高速）	高速
			AF ～ AE	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま（高速）	高速
		BD	そのまま（高速）	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		AVC方式	そのまま（高速）	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
		お引越し（LAN）※	そのまま（高速）	高速
	XP ～ EP	USB-HDD	そのまま（高速）	高速
			XP ～ EP	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま（高速）	高速
		BD	そのまま（高速）	高速
			XP ～ EP	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
	DVD持ち出し画質	VR方式	そのまま（高速）	高速

※ ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）がかかる場合があります。

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア／お引越し (LAN)	録画モード	ダビング速度
USB-HDD	DR	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			AF ～ AE	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
		BD	そのまま (高速)	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		AVC方式	自動、AF ～ AE	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
		お引越し (LAN)※	そのまま (高速)	高速
	AF ～ AE	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			AF ～ AE	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
		BD	そのまま (高速)	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		AVC方式	そのまま (高速)	高速
			自動、AF ～ AE	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
		お引越し (LAN)※	そのまま (高速)	高速
	XP ～ EP	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			XP ～ EP	等速
		SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
		BD	そのまま (高速)	高速
			XP ～ EP	等速
		VR方式 Video方式	自動、XP ～ EP	等速
SeeQVault -HDD	DR	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
		BD SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
	AF ～ AE	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
		BD SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
	XP ～ EP	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
		BD SeeQVault -HDD	そのまま (高速)	高速
BD	DR AF ～ AE	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			AF ～ AE	等速
	XP ～ EP	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			XP ～ EP	等速
AVC方式	AF ～ AE	HDD USB-HDD	そのまま (高速)	高速
			AF ～ AE	等速
VR方式	XP ～ EP	HDD USB-HDD	XP ～ EP	等速
Video方式	XP ～ EP	ダビングできません。		

※ ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）がかかる場合があります。

ダビングについての補足説明（つづき）

お知らせ

- スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組をLAN録画機能で録画をすると、番組に応じて録画モードが**[SKP]**または**[AVC]**になります。任意の録画モードは設定できません。
- ディスクからHDDまたはUSB-HDDにダビングするときに、ダビング元番組の画質（録画モード）が不明な場合は高速ダビングできません。（等速ダビングが可能なダビングであれば、等速ダビングされます。）

ダビング速度について

▷ [そのまま（高速）]（高速ダビング）

ダビング時に画質（録画モード）を**[そのまま（高速）]**に設定すると、高速でダビングできます。

- 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビング元番組の記録時間よりも短い時間でダビングできます。
- ダビング元と同じ画質（録画モード）でダビングします。
- 本機の動作音が通常よりも大きくなります。

▷ [そのまま（高速）]以外（等速ダビング）

ダビング時に画質（録画モード）を**[そのまま（高速）]**以外に設定すると、等速ダビングになります。

- ダビング元番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）をかけてダビングします。
- 画質（録画モード）を変えてダビングできます。（ダビング元より高い画質を選んでも、画質は良くなりません。）

お知らせ

- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間やダビング速度が変わります。

コピーと移動について

コピーワンス（1回だけ録画可能）番組やダビング10（コピー9回＋移動1回）番組をダビングすると、ダビング元の番組の状態が変わります。

コピーの場合：ダビング元の番組は残り、コピー回数が減ります。
移動の場合：　ダビング元の番組は残りません。

▷ ダビングすると「移動」になる部分を含んでいる番組について

- コピーワンス部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「移動」になります。
- コピーワンス部分を含む番組を編集してコピーワンス部分を消去してからダビングしても、「コピー」にはなりません。「移動」になります。

ご注意

- HDDやUSB-HDDは録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
- たいせつな録画（録音）内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- ダビングの所要時間は高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる（ダビング時間がかかる）ことがあります。
- HDD（またはUSB-HDD）→DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）へダビングすると、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。複数の番組をダビングするときは、ダビングしたい番組をすべて選んでください。
- HDD→DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、ホーム ➡ **[設定／お知らせ]➡[本体設定]➡[録画設定]**で**[ダビング時の映像縦横比]**の設定を変更してダビングしてください。違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。（テレビ側で画面サイズを変更できます。）
- 本機でDVD→HDDにダビングする場合は、制限なしに録画可能な番組のダビングだけが可能です。デジタル放送のコピーワンス番組やダビング10番組、ほとんどの市販品のBD-Video／DVD-Videoはダビングできません。
- 他の機器のAVCREC™方式で録画されたディスクは、HDDにダビングできない場合があります。
- 他の機器で作成したディスクからHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報（チャンネル名、録画モードなど）が記録されていなければ、ダビング画面での番組情報表示箇所は空白になります。
- 本機の状態や、ブルーレイディスクなどのメディアから画質変換ダビングなどを実施した番組の状態によっては、再生などの操作で、正常に動作しない場合があります。

デジタル放送のコピー制限について

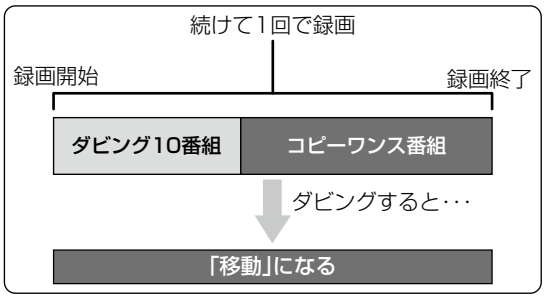
▷コピーワンス（1回だけ録画可能）番組

コピーワンス番組をダビングすると、ダビング元の録画内容が「移動」されてダビング元の録画内容は消去されます。

▷ダビング10

ダビング10番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「移動」となります。

- ダビング10または制限なしに録画可能な番組と、コピーワンス番組を続けて1回で録画した場合は、録画の開始から終了までがコピーワンス番組になります。また、その番組をダビングすると、「移動」になります。



ご注意

- デジタル放送のコピーワンス番組やダビング10（コピー9回＋移動1回）番組をVR方式のDVDにダビングするときは、必ずCPRM対応のディスクを使用してください。

ダビング全般

▷ダビングするときのチャプター

- ダビングするときはチャプター情報も引き継ぎます。
- ダビング先のチャプター分割位置は、多少ずれる場合があります。

▷ダビング中に電源を「切」に設定すると・・・

- 電源「切」の状態でダビングを続けます。（待機時動作中LEDが点灯します。）

▷ダビングするときに予約録画が近いと・・・

- 2番組以上の予約録画の開始時刻が近いとダビングを途中で停止することがあります。

▷Cinavia™

- Cinaviaの通告

  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。

CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2017 Verance Corporation.
すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは

▷ダビング元

ダビング元の番組はそのまま残ります。

▷ダビング先

メディアによって動作が異なります。

メディア	動作
HDD USB-HDD SeeQVault-HDD BD-RE DVD-RW（VR）	ダビングされません。
BD-R DVD-R（VR） DVD-RW（AVC） DVD-R（AVC）	ダビングを中止したところまで録画され、その分だけディスクの残量時間が減りますが、ダビングを中止した番組は再生できません。
DVD-RW（Video）	初期化が必要になります。
DVD-R（Video）	ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

スマートフォンやタブレットで視聴する

スマートフォンやタブレットにインストールしたFUNAI Connect（フナイコネクト）アプリを使って、HDDやUSB-HDDに録画した番組を端末機器で再生したり、持ち出したりすることができます。
また、端末機器を使用すれば放送中の番組をテレビのない部屋でも視聴できます。

お使いの端末機器(スマートフォンやタブレット)によって再生できる品質が異なります。くわしくはお使いの端末機器に付属の取扱説明書や、FUNAI Connect アプリのヘルプなどでご確認ください。

本機に対応したFUNAI Connect アプリなどについて、くわしくは当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

▶ 準備

- 本機とスマートフォンやタブレットなどの機器は同じルーターに接続し、同一ホームネットワークに接続しておく P.182
- 本機の以下を設定しておく
  - 「機器連携設定」P.189

モバイル持ち出し番組について

■モバイル持ち出し番組とは、端末機器のFUNAI Connect アプリで視聴したり、持ち出したりできる番組のことをいいます。

■本機では、以下の方法でモバイル持ち出し番組を作成できます。

- すでに録画した番組を変換して作成する P.176
- 録画するときに作成する P.77

■作成したモバイル持ち出し番組を確認するには、「モバイル持ち出し番組を表示する」P.108をご覧ください。

■録画した番組の種類によっては、モバイル持ち出し番組を再生したときに上下左右に黒い帯がつくことがあります。また、解像度によっては小さく表示される場合があります。

■モバイル持ち出し番組は、本機と同一ネットワーク上に設定されている端末機器以外にはダビングできません。

■録画やダビングしたときの状態によって、モバイル持ち出し番組に変換できない場合があります。

■モバイル持ち出し番組は、お使いの端末機器によって再生できる画質が異なります。くわしくはお使いの端末機器に付属の取扱説明書や、FUNAI Connect アプリのヘルプなどでご確認ください。

▷ コピー制限番組について

- ダビング10番組は、モバイル持ち出し番組に変換するとコピー可能回数が1回減ります。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組またはコピーワンス（1回だけ録画可能）番組は、モバイル持ち出し用に変換した番組を端末機器にダビングすると、ダビング元の番組が録画一覧から消去されます。

ご注意

- 複数の音声がある番組は主音声のみ記録されます。
- 複数の映像がある番組は放送局が指定した映像のみ記録されます。
- モバイル持ち出し番組の画質が端末機器の仕様にあっていない場合は、端末機器で番組を再生できません。
- モバイル持ち出し番組を、再度、変換することはできません。
- 外部入力の映像や録画モード**[XP]**～**[EP]**の番組は変換できません。
- モバイル持ち出し番組として予約するときに、録画モードを設定しても、**[本体設定]**の**[モバイル持ち出し画質設定]**で設定されている画質で録画されます。くわしくは P.214をご覧ください。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組またはコピーワンス番組を端末機器のFUNAI Connect アプリからダウンロードした場合は、録画した番組が録画一覧から消去されます。
- くわしくは「録画時の配信について」P.239をご覧ください。
- FUNAI Connect アプリで本機のリモコン操作をする場合は、操作結果を確認できるように本機が見える位置から操作してください。

変換配信（本機で録画した番組を視聴する）

本機で録画した番組または録画中の番組を、テレビのない部屋でも視聴できます。

● 端末機器で再生開始の操作をします。操作方法については、FUNAI Connect アプリのヘルプをご覧ください。

▷端末機器のFUNAI Connect アプリで視聴中は

本機の画面表示に **[変換配信中]** と表示されます。

▷本機側から配信を止めるには

停止 を押す

• 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。



ご注意

- 以下の番組は端末機器へ配信できません。
  - 外部入力で録画された番組
  - ディスクに録画された番組
  - DVD持ち出し番組
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ダビング中は配信できません。
- 録画中の番組を配信中は、サーチやスキップなどの動作ができず、再生すると番組の先頭からの再生となります。
- 番組は端末機器2台まで同時に配信できます。

現在放送中の番組を配信する（ライブ配信）

放送中の番組をスマートフォンやタブレットで視聴することができます。

● 端末機器で視聴開始の操作をします。操作方法については、FUNAI Connect アプリのヘルプをご覧ください。

▷端末機器のFUNAI Connect アプリで視聴中は

本機の画面表示に **[ライブ配信中]** と表示されます。

▷本機側から配信を止めるには

停止 を押す

• 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。

ご注意

- 字幕、データ放送には対応していません。
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- 現在放送中の番組を配信中のときはダビングやLAN録画できません。
- 番組は端末機器2台まで同時に配信できます。
- 最大同時録画数で録画中の場合は、現在放送中の番組を配信できません。※

※ FBR-HT2000／FBR-HT1000は3番組同時録画中、FBR-HW1000／FBR-HW500 は2番組同時録画中の状態を指します。

録画した番組を持ち出す

本機で録画した番組を、外出先などで見ることができます。

録画した番組を持ち出したいときは、あらかじめモバイル持ち出し番組に変換する必要があります。くわしくは「モバイル持ち出し番組を作成する」P.176をご覧ください。

なお、モバイル持ち出し番組のダウンロードや再生など操作方法については、FUNAI Connect アプリのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 端末機器にダウンロードした番組を、本機に戻すことはできません。

モバイル持ち出し番組を作成する

録画した番組をダビングでモバイル持ち出し番組に変換することができます。

録画した番組をモバイル持ち出し番組に変換する

HDD　USB-HDD

1 ホーム を押して、▲·▼で ダビング を選んで決定を押す

- 録画一覧 を押し、録画一覧表示中にサブメニューを押してから ダビング を選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 ▲·▼でダビング元にHDDまたはUSB-HDDを選んで決定を押す

3 ▲·▼でダビング先に モバイル持ち出し用変換 を選んで決定を押す

4 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- フォルダー覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで決定を押して録画一覧を表示してください。
- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

▷フォルダを選ぶときは
赤を押してフォルダ表示に切り換える

▷他の番組を続けて選ぶときは
この手順を繰り返す

▷番組の選択を解除したいときは
解除したい番組を選んで決定を押す

5 ダビングする番組を選び終わったら、▶を押す

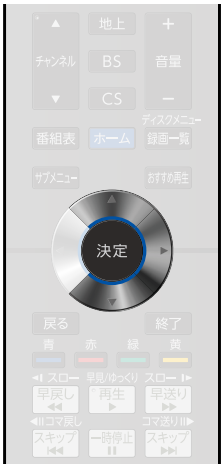
6 ▲·▼で 画質選択 を選んで決定を押す

7 ▲·▼でお好みの画質を選んで決定を押す



8 画質を選び終わったら、▶を押して 決定 を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。
- 変換する番組を追加したり消去したりする場合は、P.156をご覧ください。



9 決定 を選んで 決定 を押す

10 ▲·▼で ダビング開始 を選んで 決定 を押す

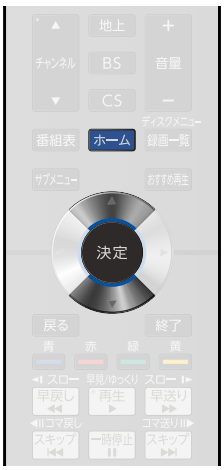
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- モバイル持ち出し番組に変換済みの10回目のダビング(移動)となるダビング10番組またはコピーワンス(1回だけ録画可能)番組は、端末機器への持ち出しを開始した時点で、本機の録画一覧、モバイル持ち出し番組用の録画一覧には表示されなくなります。ただし、端末機器への持ち出し中に持ち出しをキャンセルすると、それぞれの画面に再び表示されるようになります。
- モバイル持ち出し番組に変換済みの10回目のダビング(移動)となるダビング10番組またはコピーワンス番組を録画一覧で編集すると、モバイル持ち出し番組用の録画一覧からモバイル持ち出し番組は消去され、もう一度**[モバイル持ち出し用変換]**を行う必要があります。編集したい場合は、先に録画一覧で編集してから**[モバイル持ち出し用変換]**を行ってください。

モバイル持ち出し番組を表示する

1 ホーム を押してから▲·▼で 録画一覧 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で モバイル持ち出し番組 を選んで 決定 を押す

お知らせ

- モバイル持ち出し番組は再生できません。
- モバイル持ち出し番組を消去したい場合は、P.138、P.230をご覧ください。

ホームネットワークを使う

DLNAを使って、他の部屋にあるDLNA対応機器（番組配信する側）の映像を本機で再生することができます。（レコーダーなどで記録した番組も再生することができます。くわしくは接続するDLNA対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

ホームネットワークを使って再生する

▶ 準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ P.182、P.183
- 本機の以下を設定しておく
  - 「通信設定」P.185　- 「機器連携設定」P.189
- 接続する機器をネットワークでつなぐ（くわしくは接続するDLNA対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

1 ホームを押して、▲·▼で 録画一覧 を選んで決定を押す

2 ▲·▼で ホームネットワーク を選んで決定を押す

- ホームネットワークサーバーを読み込みます。
- 読み込みが終わると、ホームネットワークサーバーが一覧で表示されます。（最大30件まで）
- 一覧を更新する場合は黄を押してください。ホームネットワークサーバーを再度読み込みます。

3 ▲·▼でホームネットワークサーバーを選んで決定を押す

4 ▲·▼で見たいファイルを選んで早見/ゆっくり 再生 または決定を押す

- 再生が始まります。（再生が始まるまで時間がかかることがあります。）
- 再生中の機能について、くわしくは「再生するときの操作」P.122、「再生するときに便利な機能」P.128をご覧ください。



▷ **ホームネットワークサーバーで認識できる方式**

映像	MPEG2-PS、MPEG2-SD、MPEG2-TS/TTS、AVC※

※ レコーダーなどで録画した放送波の映像。

お知らせ

- フォルダの階層が10以上のファイルは認識されません。
- ホームネットワークサーバー一覧に表示されていても、ホームネットワークサーバー側の状態によっては再生できないことがあります。
- ホームネットワークサーバーは同じネットワークに接続してください。
- ホームネットワークサーバーによって、再生時に使える機能や動作が異なります。
- ホームネットワークサーバーで記録した番組に字幕が含まれていれば、ホームネットワーク再生時に字幕の切り換えができます。
- 映像の画質などは、ネットワークの環境によって異なります。
- 再生中にファイルやフォルダを切り換えるときに、時間がかかることがあります。
- 当社製ブルーレイディスクレコーダーで以下の編集や操作をした番組を再生中に、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
  - チャプター消去
  - 番組結合
- ハイビジョン画質放送と標準画質放送（マルチチャンネル放送など）が混在した番組を再生中、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯へ設定してご使用ください。（2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、再生時に映像が止まることがあります。）

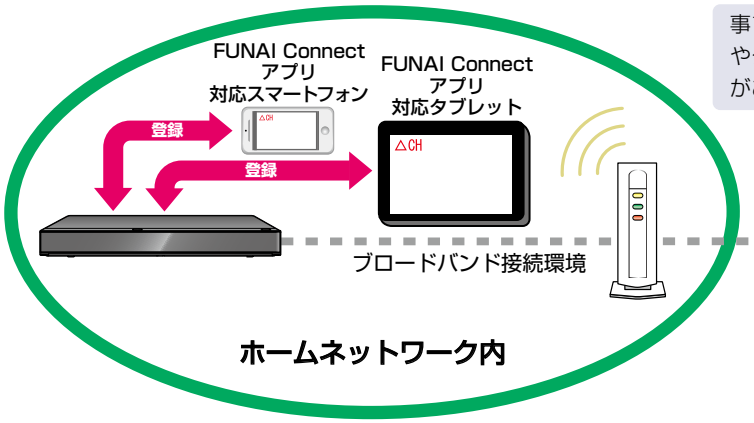
ご注意

- 以下の場合は、ホームネットワーク再生はできません。
  - ダビング中
  - LAN録画中
  - 複数番組同時録画中

FUNAI Connect アプリ(どこでも視聴／どこでも予約)を使う

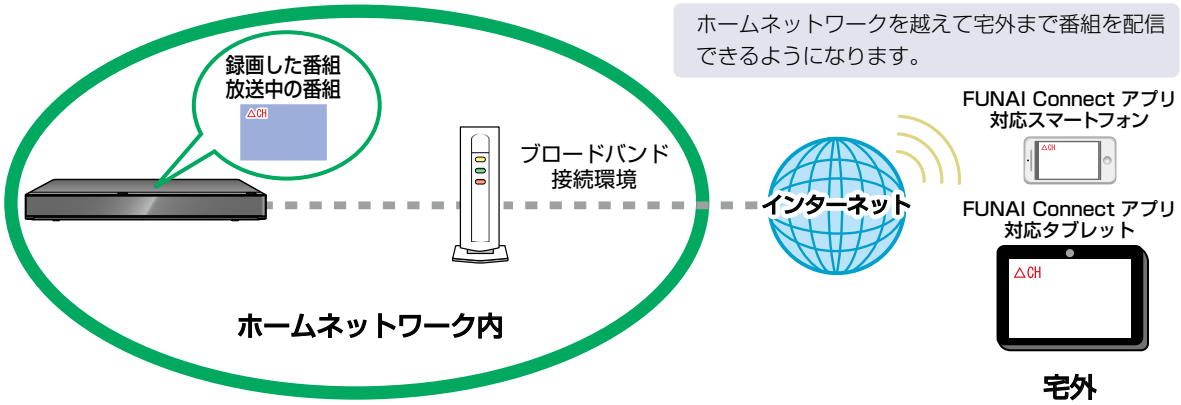
スマートフォンやタブレットにインストールしたFUNAI Connect アプリでインターネットを経由して、本機で録画しておいた番組を外出先でも視聴できる「どこでも視聴」機能や、外出先から番組表を見て録画の予約ができる「どこでも予約」機能が使えます。
なお、本機で可能な「どこでも視聴」は通常配信、変換配信、現在放送中の番組の配信となります。
※通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。

FUNAI Connect アプリを使う前に



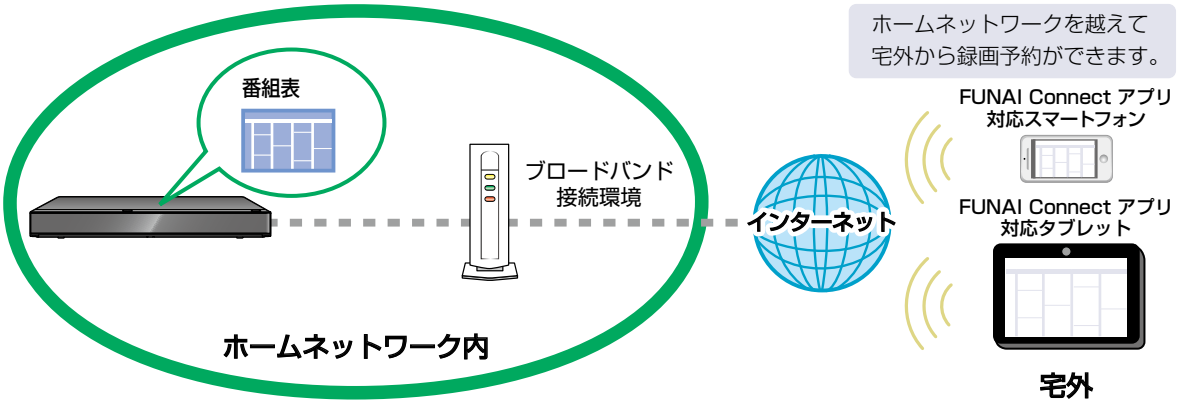
事前にホームネットワーク内のスマートフォンやタブレットと本機を相互に登録しておく必要があります。

どこでも視聴でできること



ホームネットワークを越えて宅外まで番組を配信できるようになります。

どこでも予約でできること



ホームネットワークを越えて宅外から録画予約ができます。

ご注意
- 宅外からのモバイル持ち出し番組のダウンロードはできません。

外出先から番組を見る

▶ 準備
- 本機をホームネットワーク内でネットワークに接続しておく P.182
- 通信設定をしておく P.185
- 機器連携設定をしておく P.189
- スマートフォンやタブレットなどにFUNAI Connect アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットなどから「どこでも視聴」に本機を登録しておく P.192

1 スマートフォンやタブレットなどでFUNAI Connect アプリを起動する

2 FUNAI Connect アプリの画面に従い、本機の番組を再生する

- 本機に対応したFUNAI Connect アプリなどについて、くわしくは当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

ご注意
- 「どこでも視聴」は2台以上に同時配信できません。
- 以下の番組は、「どこでも視聴」できません。
  - 標準画質で録画された番組
  - ディスクに録画された番組
  - チャプター編集を行った番組
  - 他機で編集してから本機へダビングしてきた番組
- 以下の場合は、変換配信または現在放送中の番組の配信を伴う「どこでも視聴」はできません。
  - 本機で録画モードを標準で録画中
- 以下の場合は、「どこでも視聴」はできません。
  - 本機でBD-Video、AVCHD方式のディスク、写真を再生中

お知らせ
- 「どこでも視聴」はネットワーク回線状況が悪いと視聴しづらいことがあります。その際は、アプリ側で配信中の番組の画質を下げることで状況が改善されることがあります。

外出先から録画予約する

▶ 準備
- 本機をホームネットワーク内でネットワークに接続しておく P.182
- 通信設定をしておく P.185
- 機器連携設定をしておく P.189
- スマートフォンやタブレットなどにFUNAI Connect アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットなどから「どこでも予約」に本機を登録しておく P.192

1 スマートフォンやタブレットなどでFUNAI Connect アプリを起動する

2 FUNAI Connect アプリの画面に従い、録画予約する

- 本機に対応したFUNAI Connect アプリなどについて、くわしくは当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

ネットワークを接続･設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

LANケーブルを使って接続する

チューナーを使って録画したい（LAN録画）

スカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATV（ケーブルテレビ）チューナーからの映像をハイビジョンで録画やダビングできます。

▷必要な設定

「通信設定」P.185
「機器連携設定」P.189

他機を使ってダビングしたい

録画した番組をテレビから本機にダビングしたり、本機からスマートフォンやタブレットにダビングしたりできます。

▷必要な設定

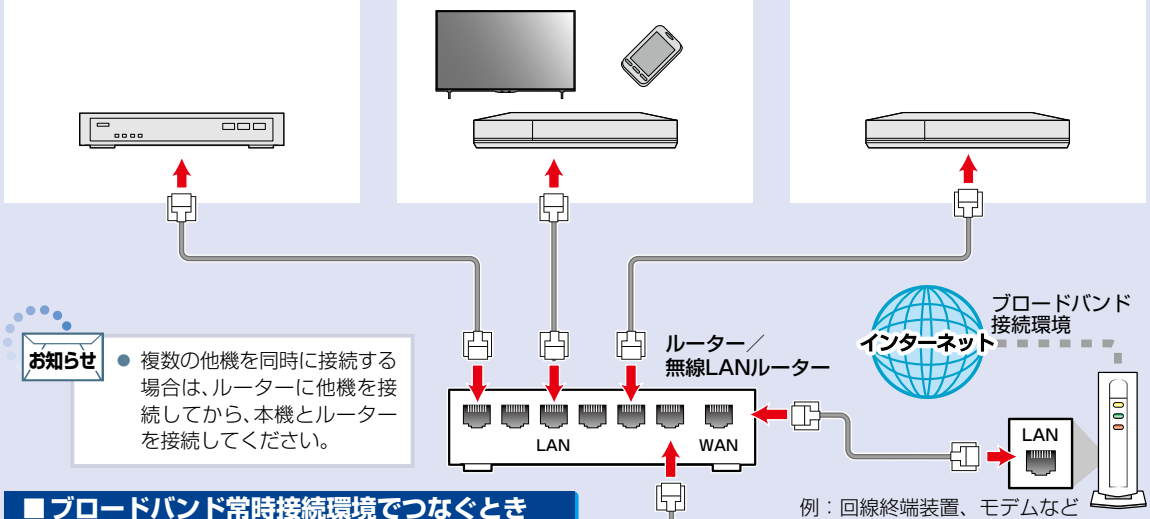
「通信設定」P.185
「機器連携設定」P.189

他機の映像などを再生したい

DLNA対応機器の映像などを本機で再生できます。

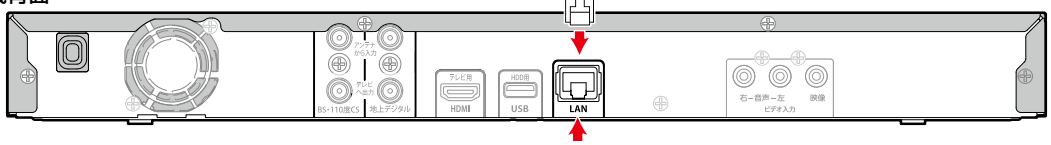
▷必要な設定

「通信設定」P.185
「機器連携設定」P.189



■ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき

本機背面



■本機と機器をLANケーブルで直接つなぐとき

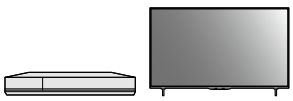
ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と機器をLANケーブルで直接つないでください。



チューナーを使って録画したい（LAN録画）



他機の番組などを再生したい



他機を使ってダビングしたい



他機を使って再生したい

ご注意

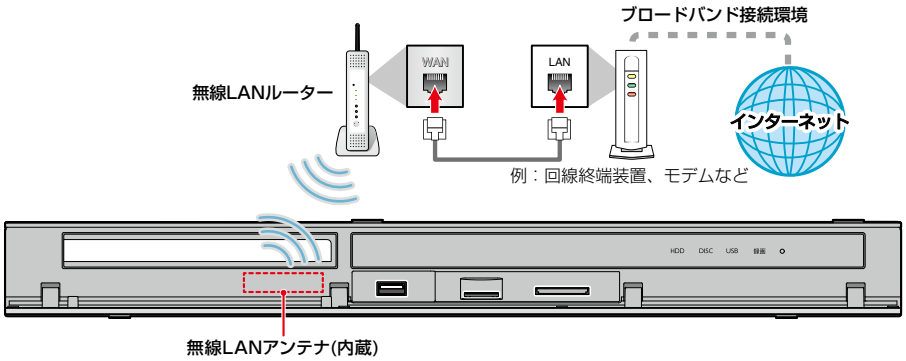
● ブロードバンド常時接続環境がないと、FUNAI Connect アプリの「どこでも視聴」や「どこでも予約」はご利用いただけません。

無線LANを使って接続する※

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。

● ブロードバンド常時接続環境があれば前ページのすべての機能を使うことができます。

※ FBR-HW500には内蔵無線LANアンテナは搭載されていません。



※ 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。

※ 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。P.196

※ 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

▷ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。
- FUNAI Connect アプリに必要な動作環境
  - FUNAI Connect Android 版、FUNAI Connect iOS版が動作するスマートフォン･タブレット動作環境に関しては、当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。
  - FUNAI Connectアプリで視聴機能をご使用になる場合は、以下の環境が必要です。
    ・ブロードバンド常時接続環境
    ・ハブ機能を持ったブロードバンドルーター（DHCP機能搭載を推奨）
    ・無線LANルーター（無線LAN接続の場合）

▷用語と商標について

- Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

▷制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に、100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。

次ページへつづく

- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル（ストレート）をご用意ください。
- 「どこでも視聴／どこでも予約」機能を利用する場合は、本機をFTTH（光ファイバー）回線などでブロードバンド常時接続環境につなぐ必要があります。ブロードバンド常時接続環境につなぐには、プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。（プロバイダーまたは回線事業者が採用している接続の方式や契約の約款などによっては、ご利用いただけない場合があります。）

▷免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失、インターネット契約料金･通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画･録音･編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▷すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

▷ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリー5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

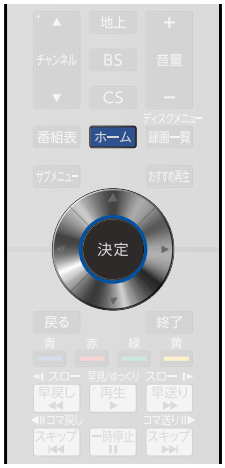
- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、ホーム ➡**[設定／お知らせ]**➡**[本体設定]**➡**[ネットワーク設定]**の**[接続確認]**画面で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

通信設定

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどとの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に本機をつなぐことが必要です。

■本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーなどとの契約は不要です。

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定を押す



2 ▲·▼で ネットワーク設定 ➡ 通信設定 を選んで 決定を押す

3 ▲·▼で 有線LAN または 無線LAN を選んで決定を押す

▷**無線LANで接続しているときは**

無線LAN を選んで、「無線LANを設定する」P.187に進んでください。

- FBR-HW500は無線LANアンテナは内蔵されていません。下記の「▷LANケーブルで接続しているときは」をご覧ください。

▷**LANケーブルで接続しているときは**

有線LAN ➡ 自動設定 または 手動設定 を選んで決定押します。

自動設定：「有線LANを自動で設定する」P.185に進んでください。

手動設定： 手動設定 を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。P.186

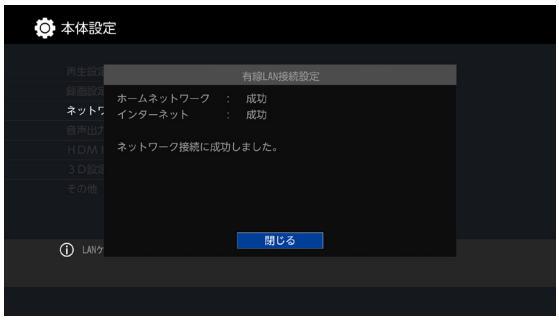
ご注意

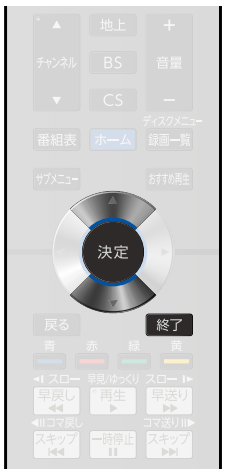
- **[有線LAN]**と**[無線LAN]**は同時に利用できません。
- LANケーブルで接続して**[通信設定]**の各設定を**[手動設定]**で変更した際は、必ず接続テストを行ってください。
- 録画中は通信設定できません。

有線LANを自動で設定する

[通信設定]の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定していた場合は、設定値が自動設定で取得した値に更新されます。（このときプロキシサーバーの設定はクリアされます。）

1 ▲·▼で 自動設定 を選んで決定を押す

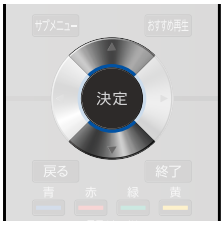




- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

有線LANを手動で設定する

1 ▲・▼で 手動設定 を選んで 決定 を押す



- 設定一覧が表示されるので、それぞれの項目を▲・▼で選んで 決定 を押してください。

IPアドレス設定

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① ▲・▼で IPアドレス設定 を選んで 決定 を押す

② ▲・▼で設定方法を選んで 決定 を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動 を選んで設定してください。

▷ 自動取得 を選んだときは

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にIPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを設定します。

▷ 手動 を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス	パソコンなど、既にネットワーク接続されている機器に設定されているIPアドレスの最後の2桁を、他のネットワーク機器と重複していない数値に変更し入力してください。（3桁まで入力可能です。）例えば、パソコンのIPアドレスが「192.168.xxx.x10」の場合は、「192.168.xxx.x11」などを入力してください。
サブネットマスク	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。

DNS設定

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

① ▲・▼で DNS設定 を選んで 決定 を押す

② ▲・▼で設定方法を選んで 決定 を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動 を選んで設定してください。

▷ 自動取得 を選んだときは

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にプライマリDNS／セカンダリDNSを設定します。

▷ 手動 を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS	パソコンなどの機器の優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。	セカンダリDNS	パソコンなどの機器の代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシサーバー設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシサーバー設定をしてください。

① ▲・▼で プロキシサーバー設定 を選んで 決定 を押す

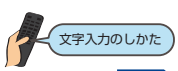
② ▲・▼で設定方法を選んで 決定 を押す

▷ 有効 を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

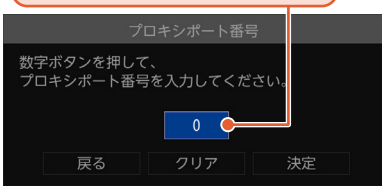
プロキシアドレスを入力する





P.206

プロキシポート番号を入力する



- 設定が終わったら、手順2に進んでください。

▷ **無効** を選んだときは
手順2 に進んでください。

2 ▲·▼で 接続テスト を選んで決定を押す

● 確認画面が表示されるので、決定を押してください。



3 手動設定 で設定が終わったら、▶で 決定 を選んで決定を押す

● 設定が終わったら、終了 を押してください。

▷ **接続テストでエラーメッセージが表示されたときは**
画面の指示に従ってネットワークの設定をし直してください。

お知らせ

● パソコンなどの機器に設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の確認方法についてくわしくは「本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ」P.189の手順3、またはご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

無線LANを設定する※

■無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。
暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいの恐れがあります。
■無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、以下の機能はお使いになれません。
・LAN録画、録画済み番組の配信、ホームネットワーク

※ FBR-HW500には無線LANアンテナは内蔵されていません。

1 ▲·▼で設定方法を選んで決定を押す



無線LAN自動検出

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。
接続するルーターのSSIDと暗号化キーをご用意ください。

① 検出された無線LANアクセスポイントから、接続したいルーターのSSIDを▲·▼で選んで決定を押す

② 暗号化キーを入力し、緑を押す

・確認画面が表示されるので、▲·▼で 次へ を選んで決定を押してください。
・暗号化キーの名称はメーカーによって異なります（「KEY」、「セキュリティーキー」など）。
・数字入力の場合は、青で入力モードを切り換えてください。

③ 設定モードを選ぶ

▷ **自動設定 を選んだときは**
[通信設定] の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので決定を押してください。

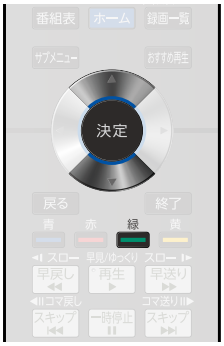
▷ **手動設定 を選んだときは**
IPアドレス、DNS、プロキシサーバーを設定してください。くわしくは「有線LANを手動で設定する」P.186をご覧ください。

次ページへつづく

手動設定

各項目を手動で設定します。

文字入力のしかた P.206



① SSIDを入力して、緑を押す

② ▲・▼で暗号化方式を選んで決定を押す

③ 暗号化キーを入力し、緑を押す

- 確認画面が表示されるので、▲・▼で 次へ を選んで決定を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります（「KEY」、「セキュリティーキー」など）。

④ 設定モードを選ぶ

▷ 自動設定 を選んだときは

[通信設定] の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので決定を押してください。

▷ 手動設定 を選んだときは

IPアドレス、DNS、プロキシサーバーを設定してください。くわしくは「有線LANを手動で設定する」P.186をご覧ください。

WPSかんたん設定

プッシュボタン方式またはPINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

▲・▼で プッシュボタン方式（PBC） または PINコード方式 を選んで決定を押す



▷ プッシュボタン方式(PBC) を選んだときは

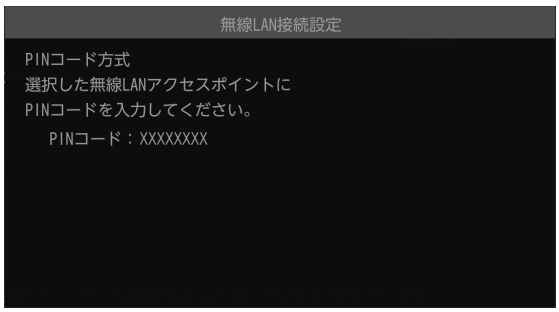
画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

▷ PINコード方式 を選んだときは

① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで決定を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

設定が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。P.196
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター（アクセスポイント）での接続を保証するものではありません。

本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで決定を押す



2 ▲·▼·◀·▶で ネットワーク設定 ➡ 通信設定 ➡ 有線LAN ➡ 自動設定 を選んで決定を押す

3 確認画面が表示されるので、決定を押す

- 自動設定で接続に成功しなかった場合は、有線LAN ➡ 手動設定 ➡ IPアドレス設定 と DNS設定 を 手動 にしてから、以下の項目を設定してください。

▷本機のネットワーク設定(例)

項目	設定内容
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	192.168.1.1

▷接続する機器のネットワーク設定(例)

項目	設定内容
IPアドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	192.168.1.1

- 上記の設定内容は一例です。IPアドレスの一番右の値を1～254の値に設定し、本機の値と本機と接続する機器の値が同じ値にならないように設定してください。

ご注意
- LANケーブルは、カテゴリー5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。
- 接続テストで[ホームネットワーク:成功]と表示されていれば接続は成功しています。

機器連携設定

ネットワークを利用した連携機能を使うための設定をします。
■これらの機能を利用するには、「通信設定」P.185を完了している必要があります。

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで決定を押す

2 ▲·▼で ネットワーク設定 ➡ 機器連携設定 ➡ 連携機能 を選んで決定を押す

3 ▲·▼で 入 または 切 を選んで決定を押す



入：スカパー!プレミアムサービス機能やFUNAI Connectアプリ、番組の配信などのネットワークを使った連携機能を利用できます。(利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を使用できます。)

切：ネットワーク連携機能を利用しません。

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

1 ホームを押して、▲・▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで決定を押す

2 ▲・▼で ネットワーク設定 ➡ 機器連携設定 ➡ アクセス制限 を選んで決定を押す

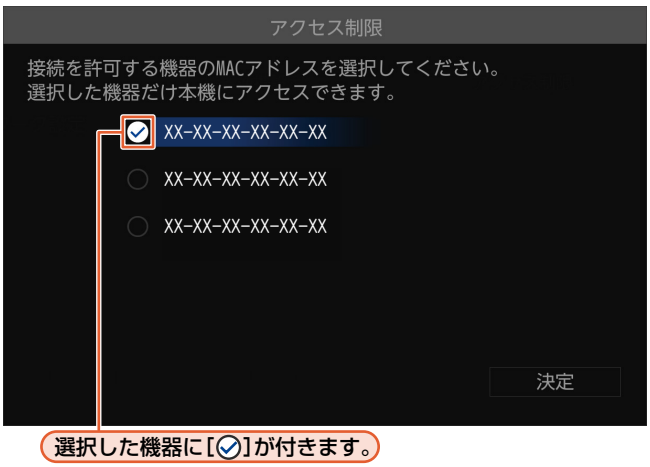
3 ▲・▼で制限するか、しないかを選んで決定を押す

制限する： 本機にアクセスできる機器を制限します。

制限しない： アクセスを制限しません。

▷ **制限する を選んだときは**

本機にアクセスできる機器を選んで決定を押す





- 決定を押すたびにチェックあり（✓）、なし（○）が切り換わります。本機にアクセスできる機器を選択後、▲・▼・◀・▶で 決定 を選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

※ MACアドレスとは、ネットワーク機器やネットワークアダプタに付いている固有の識別番号です。
接続した機器のMACアドレスについて、くわしくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

モバイルアクセス制限を設定する

意図しないFUNAI Connect アプリから本機へのアクセスを制限するためにユーザー名とパスワードを設定します。

■これらの機能を利用するには、**[通信設定]** P.185を完了している必要があります。



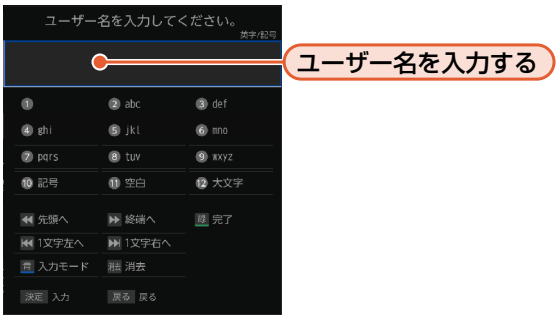
1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで決定を押す

2 ▲·▼で ネットワーク設定 ➡ 機器連携設定 ➡ モバイルアクセス制限 を選んで決定を押す

- **[モバイルアクセス制限]** 画面が表示されるので、それぞれの項目を▲·▼で選んで決定を押してください。

ユーザー名

ユーザー名を入力して、緑を押してください。



文字入力のしかた P.206

パスワード入力

パスワードを入力して、緑を押してください。

サーバー名を設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定を押す

2 ▲·▼で ネットワーク設定 ➡ 機器連携設定 ➡ サーバー名 を選んで決定を押す

文字入力のしかた P.206

3 サーバー名を入力して緑を押す

FUNAI Connect アプリの設定をする

スマートフォンやタブレットなどを本機に登録する（ペアリング）

FUNAI Connect アプリを使うには、本機とスマートフォンやタブレットを同じネットワーク環境に接続しておき、本機に端末機器を登録（ペアリング）しておく必要があります。

▶ 準備

- 本機をブロードバンド常時接続環境につなぐ P.182
- 通信設定をしておく P.185
- 機器連携設定をしておく P.189
- スマートフォンやタブレットなどにFUNAI Connect アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットを本機と同じネットワーク環境に接続しておく

1 スマートフォンやタブレットなどでFUNAI Connect アプリを起動する

2 FUNAI Connect アプリの画面に従って登録する

- FUNAI Connect アプリについて、くわしくは当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

- アプリ側から見た本機の表示名は、下記より変更できます。
  ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 本体設定 ➡ ネットワーク設定 ➡ 機器連携設定 で サーバー名 を選んでください。



お知らせ

- ペアリングは最大6台まで可能です。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人　電波産業会（ARIB）により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14（6.2改定版）」および「ＢＳ／広帯域ＣＳデジタル放送運用規定ARIB TR-B15（7.2改定版）」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。（2017年4月現在）

「どこでも視聴」や「どこでも予約」ができる端末機器を確認する

「どこでも視聴」や「どこでも予約」を使うために、本機に登録してあるスマートフォンやタブレットといった機器が宅外接続機器一覧から確認できます。

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で ネットワーク設定 ➡ 宅外接続機器一覧 を選んで 決定 を押す

- 「どこでも視聴」や「どこでも予約」が可能な宅外接続機器一覧が表示されます。ただし、1台も登録されていない場合は確認画面が表示されますので 閉じる を選んで 決定 を押してください。

▷ **宅外接続機器一覧から機器の登録を解除するには**

① 宅外接続機器一覧を表示中に、▲·▼で消去したい機器を選ぶ

② 消去 で 決定 を押す

③ 確認画面が表示されるので▲·▼で はい を選んで 決定 を押す



すべての登録機器を消去する

宅外接続機器一覧から登録機器をすべて消去することができます。

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で その他 ➡ 初期化 ➡ 宅外機器の登録初期化 を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押してください。
- 登録してある機器がすべて消去されます。再度、「どこでも視聴」や「どこでも予約」をするには再登録が必要です。
- 機器が1台も登録されていなくても、宅外機器の登録初期化 は可能です。

USB-HDD／SeeQVault-HDDを接続･設定する

USB-HDDってどんな機器？

HDDと同じように、受信した番組を録画したり再生したりすることができます。

ご注意
- 本機への登録を解除したUSB-HDDは録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDをもう一度本機に登録する場合も、本機専用方式で初期化しますので番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

SeeQVault-HDDってどんな機器？

SeeQVault-HDDを使用すれば、本機で録画した番組をバックアップ用に記録できます。（バックアップ用に記録したダビング10番組はバックアップ先ではコピーワンス（1回だけ録画可能）番組になります。）

万一、本機が故障した場合は、本機に内蔵のHDDやUSB-HDDに録画された番組は失われますが、SeeQVault-HDDへ記録した番組は本機の修理後でも再生やダビングが可能になります。

また、本機能に対応した当社製の他の機器でも再生やダビングができます。（本機でバックアップ用に記録した番組を他社のSeeQVault対応機器で再生やダビングをしたり、他社のSeeQVault対応機種で記録した番組を本機で動作させたりすることを保証するものではありません。）

初期化していないSeeQVault-HDDを本機に接続した場合は、接続後に表示される確認画面で**[SeeQVault-HDD用として他機でも使用する]**を選ぶ必要があります。P.196

USB-HDDをつなぐ前に

■本機が対応するUSB-HDDについて
本機に接続して番組の録画／再生が可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

■他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続してUSB-HDDとして登録すると、本機専用の方式で初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。

■本機で使用していたUSB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。

■USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機およびHDD／USB-HDDが故障したりする原因となります。

■本機とUSB-HDDまたはUSBハブを接続するときは、本機とUSB-HDD（セルフパワー型のみ）またはUSBハブの電源を必ず「切」にしてください。
[クイック起動]が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。P.217
電源を「切」にしたあと、本機前面のLEDがすべて消灯していることを確認してください。

■通常録画用として登録したUSB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。
他の当社製レコーダー（同じ型番のレコーダーも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。

■USB-HDDに付属の取扱説明書をご覧ください。

■USB-HDDを接続する本機背面のHDD用USB端子は、FBR-HT2000／FBR-HT1000はUSB3.0準拠、FBR-HW1000／FBR-HW500はUSB2.0準拠です。

ご注意
- USB-HDDは8台まで本機に登録できます。
- USB-HDD／SeeQVault-HDDをつなぐ場合は、USBハブを使うと4台まで同時に接続可能です。

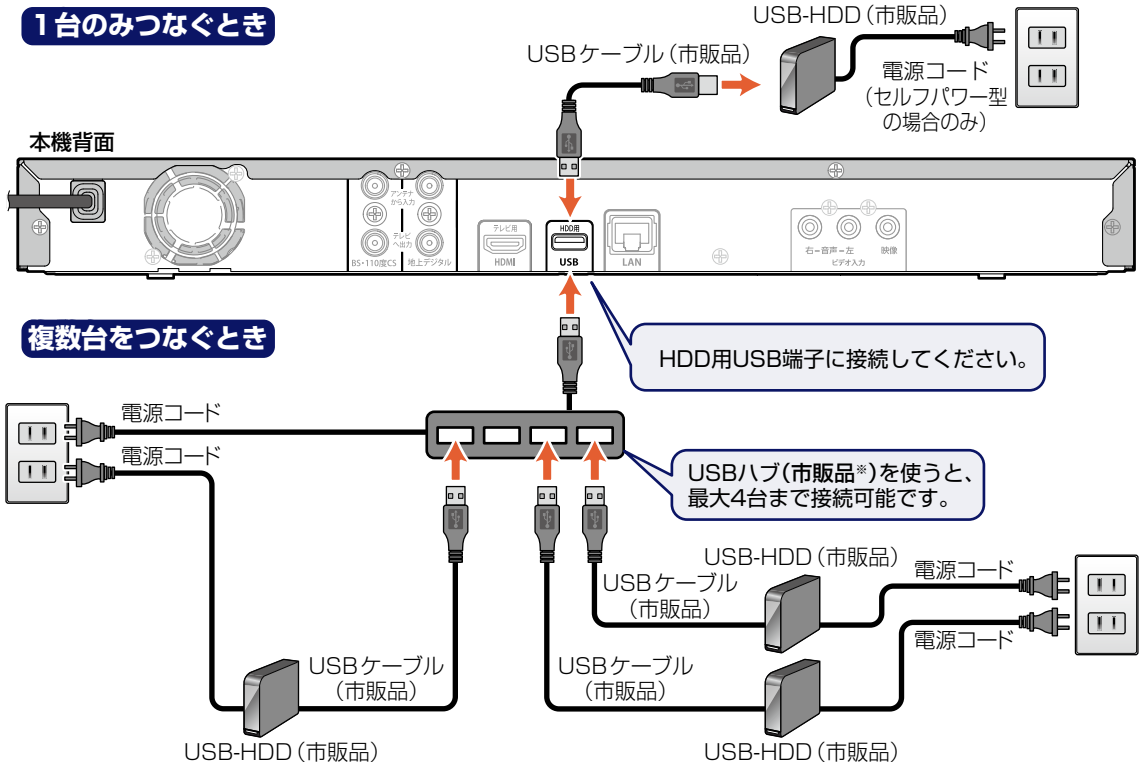
USB-HDDをつなぐ

▷USBハブを使うときは

- USBハブを使うときに接続するUSB-HDDは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をおすすめします。（バスパワー型USB-HDDをUSBハブに接続したとき、製品供給電力を超える場合は動作しません。）P.282
- USBハブに使用するACアダプターは専用のACアダプターをご使用ください。
- USB-HDD名や接続場所などを特定しやすくするために、登録や初期化の処理を1台ずつ接続して行うことをおすすめします。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続できません。
- 5ポート以上のUSBハブに5台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは4台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続したときは、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。

USB-HDDをつなぐ

■USB-HDDは必ず本機背面のHDD用USB端子に接続してください。
■USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。

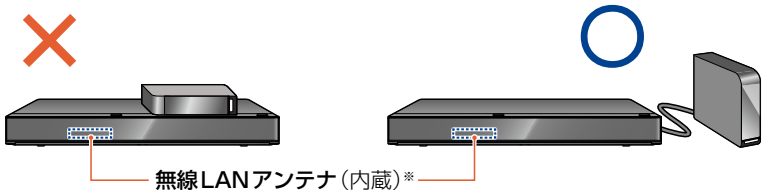


※ セルフパワー型のUSBハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

次ページへつづく

USB-HDD／SeeQVault-HDDを接続･設定する（つづき）

■2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDDおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。



※ FBR-HW500には無線LANアンテナは内蔵されていません。

■5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。2.4GHz帯の設定では他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。

▷USB-HDDを接続したあとは



- 本機にUSB-HDDを登録してください。（本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。）
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
- ▲･▼で**［はい］**を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」P.197の手順3に進んでください。

▷SeeQVault-HDDを接続したあとは

- 当社製のSeeQVault対応機器で、SeeQVault-HDDとして登録するなど他機種での使用も想定して使用していたSeeQVault-HDDは、そのまま本機で使用できます。
- 他社のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault-HDDは、本機で使用できない場合があります。初期化を行うと使用できる場合がありますが、他社のSeeQVault対応機器で記録した番組がすべて消去されますので、消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。
- 初期化していないSeeQVault-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
- SeeQVault-HDDとして使用する場合は、▲･▼で**［SeeQVault-HDD用として他機でも使用する］**を選んで決定を押してください。そのあと、「SeeQVault-HDDを初期化する」P.198の手順3に進んでください。
- 通常録画用として使用する場合は、▲･▼で**［通常録画用として登録する］**を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」P.197の手順3に進んでください。
  通常録画用として登録すると、本機でのみ再生や録画が可能となります。

▷USB-HDDまたはUSBハブを取りはずすには

セルフパワー型のUSB-HDDまたはUSBハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてからUSB-HDDまたはUSBハブの電源を「切」にして取りはずしてください。

お知らせ

- 本機背面のHDD用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

USB-HDDを登録する

USB-HDD　SeeQVault -HDD

本機背面のHDD用USB端子に接続したUSB-HDD／SeeQVault-HDDを通常録画用として登録します。

1 ホームを押して、▲·▼で メディア管理 を選んで 決定を押す

2 ▲·▼で USB-HDDメニュー ➡ USB-HDD ➡ USB-HDD登録設定 を選んで決定を押す

3 ▲·▼で 未登録 と表示されている行を選んで 決定を押す

- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを使用して複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

4 ▲·▼で USB-HDDを本機に登録する を選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定を押してください。

5 ▲·▼でUSB-HDD名を設定するかしないかを選んで決定を押す

▷ **はい を選んだ場合**

「ディスク／USB-HDD／SeeQVault-HDDの名前を変更する」P.226の手順3に進んでください。

▷ **いいえ を選んだ場合**

登録を完了して放送画面に戻ります。

- 登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDD／SeeQVault-HDDの名前を変更する」P.226をご覧ください。



▷ **登録を解除するときは**

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

① 手順2 のあと、▲·▼で登録を解除したいUSB-HDDを選んで決定を押す

② ▲·▼で USB-HDDの登録を解除する を選んで 決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- 以下の場合は、[メディア管理]を変更できません。
  通常録画中／ダビング中／LAN録画中

SeeQVault-HDDを初期化する

SeeQVault -HDD

本機に接続したSeeQVault-HDDを初期化します。

1 ホームを押して、▲･▼で メディア管理 を選んで 決定を押す

2 ▲･▼で USB-HDDメニュー ➡ SeeQVault-HDD ➡ SeeQVault-HDD初期化 を選んで決定を押す

3 ▲･▼で 未登録 または本機／他機で初期化済みのSeeQVault-HDDを選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲･▼で はい を選んで決定を押してください。
- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを使用して複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

4 ▲･▼でUSB-HDD名を設定するかしないかを選んで決定を押す

▷ **はい を選んだ場合**

「ディスク／ USB-HDD ／ SeeQVault-HDDの名前を変更する」P.226の手順3に進んでください。

▷ **いいえ を選んだ場合**

登録を完了して放送画面に戻ります。

- 登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク／ USB-HDD ／ SeeQVault-HDDの名前を変更する」P.226をご覧ください。



▷ **再度初期化するときは**

SeeQVault-HDDを初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて初期化されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

① 手順1 ～ 4 を再度行う

ご注意

- 本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由してUSB-HDDを2台以上接続しているときは、USBを押すと接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、▲･▼で切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押す
  - USB-HDDは、一覧上で「USB-HDD○:XXX」※と表示されます。
  - SeeQVault-HDDは、一覧上で「SeeQVault-HDD○:XXX」※と表示されます。
  - 録画一覧表示中にUSBを押して切り換えることもできます。
  - 録画中の場合は、録画に使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。
  - ダビング中の場合は、ダビングに使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。また、USB-HDD／SeeQVault-HDDからUSB-HDD／SeeQVault-HDDへのダビングする場合は、ダビング元のUSB-HDDのみ選ぶことができます。

※ **[USB-HDD]** または **[SeeQVault-HDD]** の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名またはSeeQVault-HDD名を表示します。

機器制御機能について

機器制御機能ってどんな機能？

機器制御機能とは、HDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能で、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）規格に準拠した機器間をHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。



[機器制御]を[入]にすると、以下のような連動動作ができます。
（操作の手間が省けて便利です。）

- 本機の電源が「切」のときに 電源、開/閉、ホーム、ディスクメニュー 録画一覧、番組表、おすすめ再生を押すと、本機の電源が「入」になり、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。
- 本機で再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生は自動的に停止状態になります。ただし、再生が自動的に停止しない場合もあります。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も「切」になります。ただし、HDDやUSB-HDD、ディスクのいずれかが通常録画中、または本機が起動処理中の場合は、本機の電源は切れません。
- 本機の電源が「入」のときに右図リモコンのイラストボタン（電源、開/閉以外）を押すと、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。

▷当社製テレビのHDMI機器連動対応シリーズについて

対応機種については、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

- 他社製のHDMI-CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合もありますが、当社製テレビの**[HDMI機器連動]**対応シリーズ以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは**[機器制御]**を**[切]**にしてください。くわしくはP.216をご覧ください。

お知らせ

- **[機器制御]**は当社製のテレビでは**[HDMI機器連動]**と呼んでいます。

機器制御機能を設定する

機器制御機能を使うには、以下の手順で**[機器制御]**を**[入]**にしてください。

▶ 準備

- 本機と**[HDMI機器連動]**に対応した当社製のテレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおくP.29
- 当社製のテレビ側で**[HDMI機器連動]**の設定をしておく（くわしくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。）

① ホーム ➡ **設定／お知らせ** ➡ **本体設定** を選んで 決定 を押す
② ▲·▼で **HDMI接続設定** ➡ **機器制御** を選んで 決定 を押す
③ ▲·▼で **入** を選んで 決定 を押す

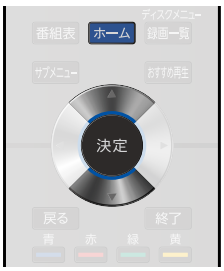


自己診断機能について

本機の主な機能の動作確認は、**[自己診断機能]** メニューで確認することができます。

自己診断機能を使う

1 **ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ を選んで 決定 を押す**



2 **▲·▼で 自己診断機能 を選んで 決定 を押す**

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で **はい** を選んで 決定 を押してください。
- 自己診断機能の項目選択画面に進みます。

自己診断機能の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をしたり、ディスク情報やUSB機器の情報を表示したりすることができます。

本体診断

本機の主な機能の診断を行います。

1 **▲·▼で 本体 を選んで 決定 を押す**



2 **▲·▼·◀·▶で確認したい診断項目を選んで 決定 を押す**

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で **はい** を選んで 決定 を押してください。
- 診断後、**[結果]** に **[詳細を確認してください。]** と表示された **[項目]** を確認する場合は、▲·▼·◀·▶で **[項目]** を選んで 青 を押すと表示される詳細画面で **[結果]** と **[対処方法]** をご確認ください。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 診断が終わったら、終了 を押してください。

▷ **全機能診断**

[本体] 画面に表示されている **[項目]** すべての診断を行います。

- 診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。(最大約12分)

▷ **HDD**

本機に内蔵されているHDDの診断を行います。

▷ **BD／DVDドライブ**

ブルーレイディスク／DVDドライブの診断を行います。

▶ **準備**

- ディスクを取り出しておく

■本機にディスクが挿入されている場合は、正しく診断することができません。

▷ **チューナー(地デジ)**

地上デジタル用チューナーの診断を行います。

▶ 準備
- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく P.26
- miniB-CASカードを挿入しておく P.24

■本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

▷チューナー(BS／CS)
BS／CS用チューナーの診断を行います。

▶ 準備
- 本機のBS･110度CS入力端子と、壁などのアンテナ端子をBS･110度CSデジタル放送対応同軸ケーブルでつないでおく P.26
- miniB-CASカードを挿入しておく P.24

■本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

▷ネットワーク
ネットワークの診断を行います。

▶ 準備
- 本機とネットワークを接続しておく P.182

■**[通信設定]**が**[切]**に設定されている場合は、正しく診断することができません。

▷HDMI-CEC
HDMI-CECの診断を行います。

▶ 準備
- 本機とHDMI-CEC対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく P.27
- **[本体設定]➡[HDMI接続設定]➡[機器制御]**を**[入]**に設定しておく P.199

■以下の場合は、正しく診断することができません。
- テレビがHDMI-CECに対応していない場合
- 本機とテレビがHDMIケーブルで接続されていない場合
- テレビ側のHDMI-CEC設定が有効になっていない場合

ご注意
- HDMIケーブルは付属しておりません。市販品のHDMIケーブルをご準備ください。

▷USB-HDD
USB-HDDの診断を行います。

▶ 準備
- 本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- USB-HDDを本機に登録しておく P.197

■本機とUSB-HDDが接続されていない場合は、正しく診断することができません。

■USB-HDDが本機に登録されていない場合は、そのまま診断を行うと**[結果]**に**[詳細を確認してください。]**と表示されます。その結果が表示された**[USB-HDD]**を選んだまま青を押して、詳細画面で停止を押すと仮登録を行い、診断のみ行うことができます。
（仮登録を行うと、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。）



次ページへつづく

自己診断機能について(つづき)

▷USBメモリー

USBメモリーの診断を行います。

▶ 準備

- 本機前面のAV周辺機器用USB端子にUSBメモリーを接続しておく P.50

■本機とUSBメモリーが接続されていない場合は、正しく診断することができません。

▷SDカード(FBR-HT2000、FBR-HT1000 のみ)

SDカードの診断を行います。

▶ 準備

- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく P.50

■本機にSDカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

放送チャンネル

現在の地上デジタル放送の受信チャンネル状況を表示します。

1 ▲·▼で 放送チャンネル を選んで決定を押す

- スキャン完了後、チャンネル情報が検出されます。
- 受信レベル が低いチャンネルなど、個別に受信状態を確認したい場合は、▲·▼でチャンネルを選んで決定を押すと、受信状態の確認画面が表示されます。(アンテナの調整についてくわしくは P.46 をご覧ください。)
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。



ディスク

ディスクの情報を表示します。

1 ▲·▼で ディスク を選んで決定を押す

2 確認するディスクを挿入する

- 読み込み完了後、ディスク情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

USB-HDD

USB-HDDの情報を表示します。

▶ **準備**
- 本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- USB-HDDを本機で登録または初期化しておく P.197、P.198（すでに当社製のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault-HDDの情報を表示する場合は、初期化する必要はありません。）

1 ▲·▼で **USB-HDD** を選んで決定を押す



2 **開始** が選ばれているので決定を押す
- 読み込み完了後、USB-HDD情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

USBメモリー

本機前面のAV周辺機器用USB端子に接続しているUSBメモリーの情報を表示します。

▶ **準備**
- 本機前面のAV周辺機器用USB端子にUSBメモリーを接続しておく P.50

1 ▲·▼で **USBメモリー** を選んで決定を押す

2 **開始** が選ばれているので決定を押す
- 読み込み完了後、USBメモリー情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

SDカード情報

SDカードの情報を表示します。

▶ **準備**
- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく（FBR-HT2000 ／ FBR-HT1000のみ）

■SDカードがロックされている場合は、ロックを解除してからSDカードスロットに挿入してください。

1 ▲·▼で **SDカード情報** を選んで決定を押す

2 **開始** が選ばれているので決定を押す
- 読み込み完了後、SDカード情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ
- **［自己診断機能］**では、すべての故障を診断できるわけではありません。

ソフトウェア情報と更新について

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を改良版として公開する場合があります。ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。

- デジタル放送電波を使って更新する
- サーバーを使って更新する

ご注意

- ソフトウェア更新中は、電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。動作しなくなったときは、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」P.280にご連絡ください。

ソフトウェアのバージョンを確認する

現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

本体設定から確認する場合

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で その他 ➡ ソフトウェア情報と更新 ➡ バージョン情報 を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。



デジタル放送電波を使って更新する

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で その他 ➡ ソフトウェア情報と更新 ➡ 放送波による自動更新 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で 自動更新する を選んで 決定 を押す

- ダウンロードが実施されると お知らせメール が届きます。P.208
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は、ソフトウェアを自動更新できません。
  - 電源プラグが抜けている
  - 悪天候などにより受信状態が悪い
  - 本機の電源が入っている
  - ダウンロード更新時刻と予約録画が重なっている
- 本機のソフトウェア更新は、本機の電源「切」時に行われます。
- ダウンロード更新中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。

サーバーを使って更新する

インターネットを使って当社サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新します。
（新しいソフトウェアが公開されていないときは、ダウンロードされません。）
地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をご利用でない方は、サーバーを使って更新してください。

▶ 準備

- 本機をホームネットワーク内でネットワークに接続しておく P.182
- 通信設定をしておく P.185

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で その他 ➡ ソフトウェア情報と更新 を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で ネットワークによる更新 を選んで 決定 を押す

- メッセージが２回表示されるので、▲·▼で はい ➡ 決定 を押してください。
- ダウンロード終了のメッセージが表示されたら、決定 を押してください。
- 更新が終わったら、終了 を押してください。



▷ **ソフトウェアが公開されているか自動で確認するには**

① ▲·▼で ネットワークによる自動確認 を選んで 決定 を押す
② ▲·▼で 更新確認する を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアの確認は、本機の電源「切」のときに行われます。
- 新しいソフトウェアが公開されている場合は、本機の電源を「入」にしたときにメッセージが表示されます。
  ダウンロードする場合は、▲·▼で はい を選んで 決定 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は、ソフトウェアをダウンロードできません。
  - 録画中
  - ダビング中
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。

お知らせ

- ダウンロードを行い、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は本機前面のHDD LEDが点滅します。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

文字入力のしかた

■リモコンの［青］を押すたびに、文字種類の切り換えができます。
■［緑］を押すと **[全角かな]** で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。
それ以外のときは、すべての文字を確定させて文字入力を終了します。
■［◀II コマ戻し スキップ ⏮］を押すとカーソルが１文字左へ、［コマ送り II▶ スキップ ⏭］を押すとカーソルが１文字右へ移動します。
■確定状態でカーソルが最後尾にあるときに［コマ送り II▶ スキップ ⏭］を押すと、半角スペースが入ります。
■文字を入力していないときに［◀I スロー 早戻し ◀◀］を押すと入力の先頭へ、［スロー I▶ 早送り ▶▶］を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
■▲･▼で文字入力部にハイライトを移動した状態で、［◀II コマ戻し スキップ ⏮］を押すとカーソルが１文字左へ、［コマ送り II▶ スキップ ⏭］を押すとカーソルが１文字右へ移動して、［決定］を押すと入力が確定します。
■文字入力に使うボタンと入力できる文字の種類は以下になります。
また、▲･▼･◀･▶と［決定］でも以下の文字を入力することができます。

ボタン	文字の種類				
	全角かな	全角カナ	半角カナ	英字／記号	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ		1
2	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	abc ／ ABC	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	def ／ DEF	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghi ／ GHI	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl ／ JKL	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno ／ MNO	6
7	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs ／ PQRS	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuv ／ TUV	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz ／ WXYZ	9
10/0	濁音／半濁音※1 全角記号※2	濁音／ 半濁音※1	濁音／ 半濁音※1	半角記号※3	0
11	わをんゎー、。 全角スペース	ワヲンヮー、。 全角スペース	ﾜｦﾝｰ､｡ 半角スペース	半角 スペース	半角 スペース
12	番組記号※4			小文字／大文字	
青	全角カナに切り換え	半角カナに切り換え	英字／記号に切り換え	数字に切り換え	全角かなに切り換え
◀I スロー 早戻し ◀◀	漢字に変換 前候補を表示 （漢字変換中）			全角／半角	全角／半角
スロー I▶ 早送り ▶▶	次候補を表示 （漢字変換中）			全角／半角	全角／半角
3桁入力 消去	消去※5 変換取り消し （漢字変換中）	消去※5	消去※5	消去※5	消去※5
◀II コマ戻し スキップ ⏮	１文字左へ移動	１文字左へ移動	１文字左へ移動	１文字左へ移動	１文字左へ移動
コマ送り II▶ スキップ ⏭	１文字右へ移動	１文字右へ移動	１文字右へ移動	１文字右へ移動	１文字右へ移動



※1　押すたびに濁音(゛)、半濁音(゜)が切り換わります。
(例)か ➡ が ➡ か ➡ ･･･、は ➡ ば ➡ ぱ ➡ は ➡ ･･･
※2　押すたびに以下の順で切り換わります。(文字を入力していない場合のみ)
･. @－＿／：！“＃＄％＆‘()＊＋、；＜＝＞？［￥］＾｛｜｝～、。【】「」●○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇒⇔→←♂♀℃※
※3　押すたびに以下の順で切り換わります。
. @ - _ ／ : ! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? [¥] ^ ` { ¦ } ~
※4　押すたびに以下の順で切り換わります。
新 終 再 生 双 デ 字 手 S SS B 二 多 解 無 映
※5　［3桁入力 消去］を数秒間長押しすると、入力した文字をすべて消去します。

▷リモコンの数字ボタンで入力した文字を、漢字に変換するときは

（例）「もくよう」と入力後に「木曜」と漢字変換するとき

① 7 を５回押す



② 2 を３回押す



③ 8 を３回押す



④ 1 を３回押す



⑤ スロー 早送り を押して漢字に変換する



▷▲·▼·◀·▶と 決定 で入力した文字を、漢字に変換するときは

（例）「もくよう」と入力後に「木曜」と漢字変換するとき

① ▲·▼·◀·▶で ⑦ま を選んで 決定 を５回押す



② ▲·▼·◀·▶で ②か を選んで 決定 を３回押す



③ ▲·▼·◀·▶で ⑧や を選んで 決定 を３回押す



④ ▲·▼·◀·▶で ①あ を選んで 決定 を３回押す



⑤ スロー 早送り を押して漢字に変換する



- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。
- 緑 を押すと、漢字の変換が確定します。

▷次の文字が同じボタン上にあるときは

コマ送り スキップ を押すと、カーソルが１文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大40文字（半角は最大80文字）まで入力できます。
- 未確定文字は最大9文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

本機や放送局からのお知らせを確認する

お知らせメールについて

ホームメニューの[**お知らせメール**]で、本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード（掲示板）を確認できます。
未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信したりすると、テレビ画面上に[**ホームメニューからメールを確認してください**]というメッセージが約20秒間表示されます。
■本機ではパソコンや携帯電話などの電子メールは扱えません。

放送メール

本機や放送局からメールが送られてきます。

▷**本機から送られてくるメール**

本機から以下の情報や連絡が送られてきます。

- **[送信状況変更のお知らせ]**
  地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
- **[自動チャンネル再設定のお知らせ]**
  本機が自動チャンネル再設定を行ったとき
- **[ダウンロードのお知らせ]**
  ダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
- **[FW更新のお知らせ]**
  ソフトウェアの更新を行ったとき

最大39通まで保管できます。39通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。

▷**放送局から送られてくるメール**

放送局からのお知らせが送られてきます。

1放送局につき、最大13通まで保管できます。13通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。

保存期限は14日間です。

CS1ボード／CS2ボード

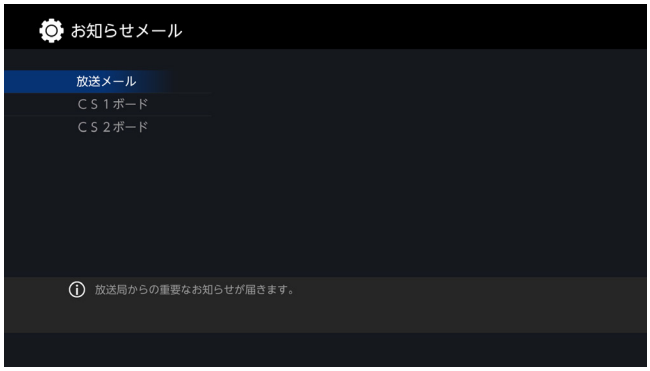
▷ **ボード（掲示板）**

110度CSデジタル放送からの情報や案内が表示されます。
最大24件まで表示できます。

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ お知らせメール を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼で 放送メール 、CS1 ボード 、CS2 ボード を選んで 決定 を押す



- メールやボード（掲示板）の一覧が表示されます。
- 未読のメール ✉ 、既読のメールは 📭 で表示されます。

3 ▲·▼で確認したいメールまたはボード（掲示板）を選んで 決定 を押す

- 確認が終わったら、終了 を押してください。

▷ **放送メール**

本機や放送局から送られてきたメールを確認できます。

▷ **CS1ボード** または **CS2ボード**

110度CSデジタル放送局の情報や案内をボード（掲示板）で確認できます。

視聴制限を設定する

暗証番号を設定して視聴を制限できます。[本体設定]で制限できる機能は以下になります。
■[インターネット接続]、[BDインターネット接続]、[BD視聴制限]、[DVD視聴制限]

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼でお好みの項目を選んで 決定 を押す

- BD視聴制限 または DVD視聴制限 を設定したい場合は、再生設定 を選んでください。
- インターネット接続 または BDインターネット接続 を設定したい場合は、ネットワーク設定 を選んでください。

3 1 ～ 10/0 で暗証番号（4桁）を入力する

- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- 暗証番号が未登録の場合は、ここで入力した番号が暗証番号として登録されます。

▷**入力を間違えたときは**
◀で戻るか、▲·▼で すべてクリア を選んで 決定 を押す

▷**暗証番号を忘れたときは**
4、7、3、7（4737）を入力する。

- 新しい暗証番号を登録できます。

4 ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、終了 を押してください。



ご注意
- 本機に登録できる暗証番号は1つです。

制限できる機能と内容

▷**インターネット接続制限**

本機を使ってインターネットサービスをご利用になるご家庭では、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限するため、本機能のご利用をおすすめします。

以下の項目で **[禁止]** を選んでください。

許可：インターネットアクセスを許可します。

禁止：インターネットアクセスを禁止します。(「BD-Live」機能が使えなくなります。)

▷**BDインターネット接続**

BD-Live 機能を制限します。

許可：BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。

許可 (制限つき)：証明書を持つBD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。

禁止：BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。

▷**BD視聴制限**

ブルーレイディスクの視聴を制限します。

制限なし：制限なく、すべてのディスクが視聴できます。

視聴制限レベル設定：制限レベル入力画面が表示されるので、制限レベルを入力してください。入力した年齢制限を超える内容が含まれるディスクは視聴できなくなります。

▷**DVD視聴制限**

DVDの視聴を制限します。

制限なし：制限なく、すべてのディスクが視聴できます。

レベル８：年齢に関係なく視聴できます。

レベル７：18歳未満の方は視聴できません。

レベル６：保護者の指導のもとで18歳未満の方が視聴できます。

レベル５：保護者同伴での視聴を推奨します。

レベル４：13歳未満の方の視聴には不適切な表現があります。

レベル３：保護者の方の判断による視聴を推奨します。

レベル２：一般的に視聴できる内容です。

レベル１：お子様が視聴されても問題のない内容です。

お知らせ

- 市販品のBD-Video／DVD-Videoに視聴制限が設定されている場合は、暗証番号を入力することで一時的に視聴制限を解除できます。(本機の電源を切るまでの間、ディスクを視聴できます。)
- ディスクによっては、ディスク制作者の意図により本書の記載通りに動作しないことがあります。くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 視聴年齢制限付きの放送や録画番組の制限は、**[放送受信設定]** の **[視聴年齢制限]** で設定できます。P.49

暗証番号を変更する

1 ホーム を押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で その他 ➡ 暗証番号変更 を選んで 決定 を押す

3 1 ～ 10/0 を押して現在の暗証番号を入力する

- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- 新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

4 1 ～ 10/0 を押して新しい暗証番号を入力する

- 確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力して 決定 を押してください。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

いろいろな設定を変える(本体設定)

本体設定を使う

1 ホームを押して、▲·▼で 設定／お知らせ ➡ 本体設定 を選んで 決定 を押す



2 ▲·▼でお好みの項目または設定を選んで 決定 を押す

- この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。
- 戻る または◀を押すと、一つ前の項目に戻ります。▶を押すと、次の項目に進みます。

▷**確認画面が表示されるときは**

- ▲·▼で はい を選んで 決定 を押します。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 録画中は、設定画面の設定ができないことがあります。(設定できない場合は、その項目は選べません。)
- 再生中にホームメニューを表示すると、再生が自動的に停止します。

本体設定の項目と設定内容

設定のしかたについて、くわしくはP.213をご覧ください。（ ___ はお買い上げ時の設定です。）

再生設定

- 言語設定はBD-Video ／ DVD-Video側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD-Video ／ DVD-Videoによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたについて、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。
- BD-Video ／ DVD-Videoによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。

▷音声言語設定

BD-Video ／ DVD-Videoを再生するときの音声言語を設定します。

[その他の言語]を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、P.218の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

オリジナル／日本語／英語／その他の言語

▷字幕言語設定

BD-Video ／ DVD-Videoを再生するときの字幕言語を設定します。

[その他の言語]を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、P.218の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

切／日本語／英語／その他の言語

▷ディスクメニュー言語設定

BD-Video／DVD-Videoを再生するときのディスクメニューの言語を設定します。

[その他の言語]を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、P.218の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

日本語／英語／その他の言語

▷BD視聴制限

ブルーレイディスクの視聴を制限します。P.210

制限なし／視聴レベル設定

▷DVD視聴制限

DVDの視聴を制限します。P.211

制限なし／レベル8／レベル7／レベル6／レベル5／レベル4／レベル3／レベル2／レベル1

▷30秒スキップボタン時間変更

30秒スキップを押したときに、何秒スキップするかを設定します。P.124

5秒／10秒／30秒／1分／5分

▷10秒戻しボタン時間変更

10秒戻しを押したときに、何秒スキップバックするかを設定します。P.124

5秒／10秒／30秒／1分／5分

▷アングルアイコン表示

[入]に設定すると、再生中にカメラアングル（映像）が切り換え可能な場面で、画面に を表示します。P.129

入／切

▷JPEGスライドショー

写真の表示時間を設定します。P.133

5秒／10秒

録画設定

▷自動チャプター

通常録画する番組に、自動的にチャプターを分割するかどうかを設定します。

入：録画する番組の本編と、本編以外の変わり目でチャプターを分割します。

切：録画するときに自動的にチャプターを分割しません。

▷ダビング時の映像縦横比

4:3：DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）にダビングするときの画面の縦横比を4：3固定とします。

16:9：DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）にダビングするときの画面の縦横比を16：9固定とします。

▷二カ国語音声

主音声：二重音声（二カ国語）を録画するときの音声を主音声で録画します。

副音声：二重音声（二カ国語）を録画するときの音声を副音声で録画します。

▷外部入力音声

ステレオ：外部入力から録画するときの音声をステレオで録画します。

二カ国語：外部入力から二カ国語音声放送を録画するときに、設定します。

（設定によって記録される音声についてくわしくはP.240をご覧ください。）

▷モバイル持ち出し画質設定

録画するときのモバイル持ち出し画質を設定します。

画質優先（HD　8Mbps）／標準1（HD　4Mbps）／標準2（HD　1.5Mbps）／容量優先（VGA　0.9Mbps）

▷DVD持ち出し画質設定

録画するときにDVD持ち出し用に作成するコンテンツの画質を設定します。

自動：　録画する番組の長さに合わせた録画モードで作成します。

容量優先：ディスクに長時間の番組を記録可能な画質で作成するため、低画質モードで作成します。

▷ワンタッチ録画の終了方法

デジタル放送を手動で録画するときに、番組終了に合わせて自動的に録画を停止するかどうかを設定します。

（外部入力の映像を録画しているときは、設定できません。）

番組が終わるまで：　録画している番組が終了すると自動的に録画を停止します。

停止ボタンを押すまで：録画している番組が終了しても録画を続けます。
（HDDとUSB-HDDへの録画の場合は、最大15時間まで録画します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。）

ネットワーク設定

▷通信設定

ネットワーク接続を設定します。P.182

有線LAN：LANケーブルを使って接続します。

無線LAN：無線LANを使って接続します。

切：　ネットワークを使用しません。

▷機器連携設定

FUNAI Connect アプリおよびDLNA対応機器など、ネットワークを利用した連携機能に関する設定をします。P.189

連携機能／アクセス制限／モバイルアクセス制限／サーバー名

▷宅外接続機器一覧

ペアリングした子機の一覧画面を表示します。

- ペアリングは最大6台まで可能です。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人　電波産業会（ARIB）により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14（6.2改定版）」および「BS／広帯域CSデジタル放送運用規定ARIB TR-B15（7.2改定版）」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。（2017年4月現在）

▷インターネット接続

インターネットサービスのご利用で、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限します。P.210

許可／**禁止**

▷BDインターネット接続

インターネットサービスのご利用による追加映像や追加字幕のダウンロードや、インタラクティブ機能を制限します。P.211

許可／**許可（制限つき）**／**禁止**

▷接続確認

現在のネットワークの設定を表示します。

音声出力設定

- HDMI端子から出力される音声の設定をします。

▷ドルビーオーディオ

自動：　接続する機器がドルビーオーディオ - ドルビーデジタル／ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス／ドルビーオーディオ - ドルビー TrueHDに対応している場合は、ビットストリームが出力されます。（対応していない場合は、LPCMが出力されます。）

PCM：ドルビーオーディオ - ドルビーデジタル／ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス／ドルビーオーディオ - ドルビー TrueHDを2chダウンミックスに変換して出力します。

▷DTS／DTS-HD

自動：　接続する機器がDTS®、DTS-HD®に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。（対応していない場合は、LPCMが出力されます。）

PCM：DTS®、DTS-HD®をLPCMに変換して出力します。（コアサブストリームのみをダウンミックスして2ch PCMで出力されます。）

▷AAC

自動：　接続する機器がAACに対応している場合は、HDMI端子からビットストリームが出力されます。（対応していない場合は、LPCMが出力されます。）

PCM：AAC音声をLPCMに変換して出力します。

▷BDビデオ副音声・操作音

入：主音声に、副音声や操作音を加えて出力します。

切：主音声のみを高音質で出力します。

- **[入]**から**[切]**に切り換えたとき、ドルビー TrueHDを2chダウンミックスで出力されます。

▷ドルビーダイナミックレンジ

自動：ドルビーオーディオ - ドルビー TrueHDの再生中に、本機がディスクのドルビーダイナミックレンジ情報を認識し、ドルビーダイナミックレンジ設定を自動的に**[入]**、または**[切]**に設定します。
音声がドルビーオーディオ - ドルビー TrueHD以外の場合は、**[切]**と同じ動作をします。

入：　記録された音声の強弱の幅を調整します。

切：　記録されたオリジナル音源で出力します。

- 効果は、番組によって異なります。

いろいろな設定を変える(本体設定)(つづき)

設定のしかたについて、くわしくはP.213をご覧ください。(___ はお買い上げ時の設定です。)

HDMI接続設定

▷出力解像度設定

自動： おすすめの設定です。接続したHDMI機器およびコンテンツに応じて自動で適切な解像度に設定します。HDMI-CEC機能に対応している当社製テレビ(5000/4100/4000シリーズのみ)との接続時は、テレビ側の**[解像度復元]**を**[強]**、**[中]**、**[弱]**のいずれかに設定すると、テレビ側で4Kにアップコンバートされます。

480p： 480プログレッシブで出力します。

720p： 720プログレッシブで出力します。

1080i： 1080インターレースで出力します。

1080p：1080プログレッシブ60フレームで出力します。24p記録された映像を再生中に映像の動きがなめらかではない場合は設定を**[自動]**に変更してください。

1080/24p：
1080プログレッシブ24フレームで出力します。

4Kアップコンバート：
4K対応テレビと接続時に1080p/24Hzのコンテンツを再生すると4K2K/24pに映像をアップコンバートして出力します。

▷ディープカラー

自動：接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合は、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。

切： HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

▷プログレッシブモード

HDMI出力端子からプログレッシブで出力する際の適切な出力方法を設定します。

自動： 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切な状態で出力します。

ビデオ：ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。**[自動]**設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。

▷音声出力

HDMI出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。

入／**切**

▷機器制御

HDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどとの連動機能を使うかどうかの設定をします。P.199

入／**切**

- **[入]**に設定すると、**[待機モード設定]**の設定も自動的に**[モード1]**に設定されます
- 本機とHDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどとHDMIケーブルでつなぐと、本機が対応している連動機能を利用できます。くわしくはHDMI-CEC対応機器側に付属の取扱説明書をご覧ください。

3D設定

▷3D出力設定

自動： 3D映像で出力します。

切： 3D映像を2Dで出力します。

- ディスクによっては、2D出力できないものがあります。
- 3Dコンテンツを4Kアップコンバート出力する場合は、**[2D]**に設定してください。

▷奥行き設定

3D映像を出力するときの奥行き感を設定します。

その他

▷無操作電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定をします。

切／**30分**／**1時間**／**2時間**／**3時間**／**6時間**

▷テレビ画面保護

ホームメニューなどを表示中に操作をしない状態が約15分続いた場合は、自動的にテレビ放送画面に戻ります。(音楽用CDの音楽一覧または写真一覧画面表示中は、スクリーンセーバーが起動します。)

入／**切**

▷待機モード設定

待機時消費電力を抑えるかどうかを設定します。

モード1：本機の起動が早くなるモードです。また、連携機能による番組の配信をできるようにする場合も、この設定にしておく必要があります。

モード2：待機時消費電力を抑えるモードです。**[HDMI接続設定]**の**[機器制御]**は、自動的に**[切]**に設定されます。また、連携機能による番組の配信もできなくなりますのでご注意ください。

- 以下の設定の場合は、**[待機モード設定]**は自動的に**[モード1]**になります。
  - **[機器制御]**が**[入]**のとき
  - **[連携機能]**が**[入]**のとき
- **[モード1]**のときは内部の制御部が通電状態になるため、**[モード2]**のときと比較して次のようなところが異なります。
  - 待機時消費電力が増加します。
  - 本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ることがあります。

設定のしかたについて、くわしくは P.213 をご覧ください。（＿＿ はお買い上げ時の設定です。）

▷クイック起動

ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を **[待機モード設定]** の **[モード1]** 設定時よりさらに短縮できます。

- クイック起動時の時間帯は、最大2つまで設定できます。
- 設定している時間帯は内部の制御部が通電状態になるため、設定していないときと比較して次のようなところが異なります。
  - 待機時消費電力が増加します。
  - 本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ります。
- 設定している時間帯は絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜く場合は、その時間帯の **[クイック起動]** 設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。

AM7:00 ～ AM10:00 ／ AM10:00 ～ PM1:00 ／
PM1:00 ～ PM4:00 ／ PM4:00 ～ PM7:00 ／
PM7:00 ～ PM10:00 ／ PM10:00 ～ AM1:00 ／
AM1:00 ～ AM4:00 ／ AM4:00 ～ AM7:00

▷リモコン設定

本機のリモコンを設定します。

本機のリモコンモード：
本機のリモコンが他の当社製ブルーレイディスクレコーダーを操作しないように、リモコンと本機のリモコンモードを設定します。

リモコンモード1 ／**リモコンモード2** ／**リモコンモード3**

リモコン側のテレビ操作設定：
本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。くわしくは「テレビメーカーを設定する」P.41 をご覧ください。

リモコンモード不一致表示：
本機のリモコン設定と異なるリモコンモードを受信した場合に、リモコンモードが一致しないメッセージを表示するかどうかを設定します。

表示する ／**表示しない**

▷本体LED表示

本機のLEDの明るさを設定します。

明るい： LEDは常に明るくなります。
暗い： LEDは常に暗くなります。
再生時オフ： LEDは常に暗くなります。また、再生中に1分間何も操作しなければ、再び操作をするまでLEDは消灯します。

▷日時設定

本機の日時を設定します。

- デジタル放送受信時は自動取得するため、現在の日時を表示するのみで、設定変更はできません。

▷暗証番号変更

画面の指示に従って暗証番号を変更できます。P.212

▷ソフトウェア情報と更新

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使用したダウンロードによる最新ソフトウェアの更新をするかどうかの設定をします。P.204

▷初期化

本機で設定されたデータを、お好みに合わせて初期化します。P.223

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	jv	5668
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan) Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

放送関連の設定を変える(放送受信設定)

放送関連の設定は、[**放送受信設定**]メニューで変えることができます。

放送受信設定を使う

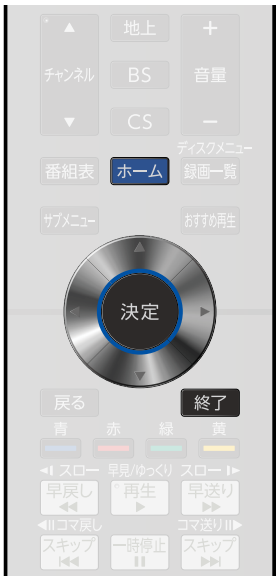
1 ホーム を押して、▲·▼で **設定／お知らせ** を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で **放送受信設定** を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼でお好みの項目または設定を選んで 決定 を押す

この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。

- 設定が終わったら、終了 を押してください。



放送受信設定の項目と設定内容

地上デジタル設定

▷初期スキャン

お住まいの県域を選んでください。お住まいの県域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。

引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信県域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやり直します。

(**[かんたん一括設定]**の中で実行されるスキャンと同じです。)

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

通常： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンします。

CATV対応(ケーブルテレビ)：
CATVのチャンネルを対象にスキャンします。

▷再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

▷チャンネル操作設定

リモコン数字ボタン割当：リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：チャンネル で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは P.44、P.45 をご覧ください。

▷自動チャンネル再スキャン

入：地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

切：地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的には更新しません。視聴できないチャンネルが発生した場合は、**[再スキャン]**を行ってください。

▷受信状態の確認

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。

アッテネーター [入] ／ [切]：
アンテナレベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。**[アッテネーター]**の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。P.46

物理チャンネル：リモコンの数字ボタンで、2桁の物理チャンネルを入力し、受信します。

BS／CSデジタル設定

- BS・110度CSチャンネルに関しては、チャンネルスキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

▷BSチャンネル操作設定

リモコン数字ボタン割当：リモコンの数字ボタンにBS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：  で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは P.44、P.45 をご覧ください。

▷CSチャンネル操作設定

リモコン数字ボタン割当：リモコンの数字ボタンに110度CS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：  で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは P.44、P.45 をご覧ください。

▷アンテナ電源

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。

供給する：この機能は、おもに一戸建て住宅などで受信するときに設定します。本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。

供給しない：この機能は、おもにマンションなどの共聴受信時に設定します。以下の場合は、こちらを選択してください。

- 他の機器から電源を供給している場合
- CATV（ケーブルテレビ）などで受信している場合
- BS・110度CSアンテナを接続しない場合

▷受信状態の確認

映りが悪いBS・110度CSデジタル放送チャンネルがあるとき、BS・110度CSアンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。くわしくは P.47 をご覧ください。

共通設定

▷視聴年齢制限

デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。

くわしくは P.49 をご覧ください。

- 設定／解除するには暗証番号の作成・入力が必要です。

制限なし：年齢制限しません。

4歳 ～ 19歳：制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を超える番組を視聴または録画予約するときは、暗証番号の入力が必要になります。

▷暗証番号変更

[視聴年齢制限] の暗証番号を変更します。

くわしくは P.49 をご覧ください。

▷miniB-CASカード情報

miniB-CASカードの状態やID番号を表示します。

▷アンテナ出力

本機の電源「切」のとき、本機背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは、**[入]** に設定してください。**[切]** に設定すると、本機の電源「切」のときにテレビで地上デジタル放送やBS・110度CS放送が受信できなくなる場合があります。

入：電源「切」時でも地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力します。

切：電源「切」時は地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力しません。

▷文字スーパー

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組（強制的に文字スーパーが表示されるものなど）によっては、設定通りに表示されないことがあります。
- **[切]** に設定しても、緊急放送のような自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
- 文字スーパーの対応言語は日本語、英語となります。

日本語／英語／切

▷県域設定

お客様のお住まいの県域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの県域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

くわしくは P.48 をご覧ください。

▷郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。地域に密着したデータ放送をより正しく視聴するために、郵便番号を入力してください。

くわしくは P.48 をご覧ください。

▷番組表設定

Gガイド地域設定：お住まいの地域を設定します。番組表（Gガイド）の機能（広告表示、番組検索や注目番組一覧表示）をご利用いただくために必要な設定です。

Gガイド受信確認：お客様のお住まいの地域で、番組表（Gガイド）の番組データを取得できるか確認します。

本機で使えるメディアについて

▷録画できるメディア

録画先メディア	デジタル放送	外部入力	繰り返し録画
HDD（内蔵ハードディスク）	◎	○※2	○
USB-HDD（外付けハードディスク）	◎	×	○
BD-RE SL（1層）／BD-RE DL（2層）／BD-RE TL（3層） Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで）	◎	○※2	○
BD-R SL（1層）／BD-R DL（2層） BD-R TL（3層）／BD-R QL（4層）※1 Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで）	◎	○※2	×

◎：ハイビジョン画質で録画できる　○：録画できる　×：録画できない

※1　2017年4月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。
※2　標準画質で録画されます。

▷ダビングできるメディアと録画モード

デジタル放送をDVD-RW／DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

ダビング先メディア		ダビングできる番組の画質 DR	AVC（HD画質）	標準（標準画質）	SKP
HDD（内蔵ハードディスク）		○	○	○	○
USB-HDD／SeeQVault-HDD（外付けハードディスク）		○	○	○	○
BD-RE SL（1層）／BD-RE DL（2層）／BD-RE TL（3層） Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで）		○	○	○	○
BD-R SL（1層）／BD-R DL（2層） BD-R TL（3層）／BD-R QL（4層）※1 Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで）		○	○	○	○
DVD-RW Ver. 1.1、1.2（高速記録6倍速ディスクまで）	AVC方式	×	○	×	×
	VR方式	×	×	○	×
	Video方式	×	×	○※3	×
DVD-R（1層）／DVD-R DL（2層）※2 Ver. 2.0、2.1（高速記録16倍速ディスクまで） Ver. 3.0（高速記録8倍速ディスクまで）	AVC方式	×	○	×	×
	VR方式	×	×	○	×
	Video方式	×	×	○※3	×

○：ダビングできる　×：ダビングできない

※1　2017年4月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。
※2　DVD-Rの2層ディスクの場合は、AVCREC™ 方式（AF～AE）でのみダビングできます。
※3　DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズが行われます。（本書では、ファイナライズされたDVD-RW（Video）／DVD-R（Video）はDVD-Videoとして扱います。）

お知らせ

- デジタル放送をダビングするとき、「コピー」、「移動」のどちらになるかについてくわしくはP.173をご覧ください。CATV、スカパー！、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。
  ただし、CATVのホームターミナル／セットトップボックス経由でダビング10（コピー9回＋移動1回）番組を録画する場合は、コピーワンス番組（1回だけ録画可能番組）として録画されます。
- 本機で対応しているDVD-RW／DVD-Rの録画方式は3種類（AVCREC™、VR、Video）です。P.225
- ファイナライズされたDVD-RW（AVCREC™）／DVD-RW（Video）に繰り返しダビングするには、初期化（再フォーマット）P.230を行ってください。（ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。）

本機で使えるメディアについて（つづき）

▷再生できるメディア

対応メディアとファイル		再生	録画一覧から再生	追っかけ再生
HDD（内蔵ハードディスク）		○	○	○
USB-HDD（外付けハードディスク）		○	○	○
SeeQVault-HDD（外付けハードディスク）		○	○	×
BD-RE SL（1層）／**BD-RE** DL（2層） **BD-RE** TL（3層） Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで）		○	○	×
BD-R SL（1層）／**BD-R** DL（2層） **BD-R** TL（3層）／**BD-R** QL（4層）※1 Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで）		○	○	×
DVD-RW Ver. 1.1、1.2（高速記録6倍速ディスクまで）	AVC方式	○	○	×
	VR方式	○	○	×
	Video方式	○	×	×
DVD-R（1層）／**DVD-R** DL（2層） Ver. 2.0、2.1（高速記録16倍速ディスクまで） Ver. 3.0（高速記録8倍速ディスクまで）	AVC方式	○	○	×
	VR方式	○	○	×
	Video方式	○	×	×
BD-Video リージョンコードに A が含まれるディスク		○	×	×
DVD-Video リージョンコードに 2 や ALL が含まれるディスク		○	×	×
DVD-RAM（4.7／9.4GB） Ver. 2.0、2.1、2.2 他のDVDレコーダーのVR方式で録画されて、 カートリッジからディスクを取り出せるもの		○	○	×
音楽用CD（CD-DA） 音楽用CD形式で記録され、 ファイナライズ済みのCD-RW／CD-R		○	○	×
JPEG デジタルカメラで撮影された写真などが記録されたもの		○	○ （JPEG専用）	×
AVCHD方式 デジタルビデオカメラで撮影された ハイビジョン画質の動画で記録されたもの※2		○※3	×※3	×

○：再生できる　　×：再生できない

※1　2017年4月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。
※2　録画メディアは、ファイナライズされたDVD-RW／DVD-R／DVD-RAM（2層ディスクを含む）のみ対応しています。
※3　**ディスクの場合：**ディスクから直接再生できます。
本機前面のSDカードやUSB機器の場合：本機に取り込み（ダビングし）、HDDの録画一覧から再生できます。P.104

ご注意

- HD Recの再生については、本機では対応していません。
- VCD／SVCDの再生については、本機では対応していません。
- HD DVDについては、本機では対応していません。
- ＋RW／＋Rについては、本機では対応していません。

本機を初期化する

本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合は、**[すべての初期化]** を行うことをおすすめします。

1 ホーム を押して、▲·▼で **設定／お知らせ** ➡ **本体設定** を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で **その他** ➡ **初期化** を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼でお好みの項目を選んで 決定 を押す

- 初期化が終わったら、終了 を押してください。



初期化の項目と内容

▷BDビデオデータ消去

以下の中から消去方法を選んでください。
（本機のディスクトレイにBD-Videoが入っている場合は、選ぶことができません。）

- **[すべて]**：
  本機とUSBメモリーに保存されたすべてのBDビデオデータを消去します。
- **[本機に保存されたデータ]**：
  本機に保存されたBDビデオデータの中で、アプリケーションデータ（BDビデオのゲームスコアなど）を消去します。
- **[USBに保存されたデータ]**：
  USBメモリーに保存されたBDビデオデータの中で、バーチャル·パッケージ（ダウンロードしたBDビデオの特典映像·音声·字幕など）を消去します。

▷USBメモリー初期化

USBメモリーを初期化して、本機で使えるようにします。

- USBメモリーにAVCHD方式の映像が入っている場合は、USBメモリーを初期化できません。お持ちのデジタルビデオカメラやパソコンでUSBメモリーのAVCHD方式の映像を消去してから、初期化してください。

▷ネットワーク設定初期化

以下の項目をのぞき、**[ネットワーク設定]** で設定した内容を初期化します。

- **[宅外接続機器一覧]**
- **[インターネット接続]**
- **[BDインターネット接続]**

▷宅外機器の登録初期化

「どこでも視聴」や「どこでも予約」に関する設定を初期化します。初期化すると本機に登録した子機のすべてが宅外接続機器一覧から消去されるため、再登録が必要となります。

▷設定項目の初期化

以下の項目をのぞき **[本体設定]** を初期値に戻します。

- **[BD視聴制限]**
- **[DVD視聴制限]**
- **[ネットワーク設定]**
- **[リモコン設定]**

▷すべての初期化

工場出荷状態に戻し、電源が切れます。（HDD初期化を含む）

ご注意

- 本機に記憶されたお客様の個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化·消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ディスクを初期化する

新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する

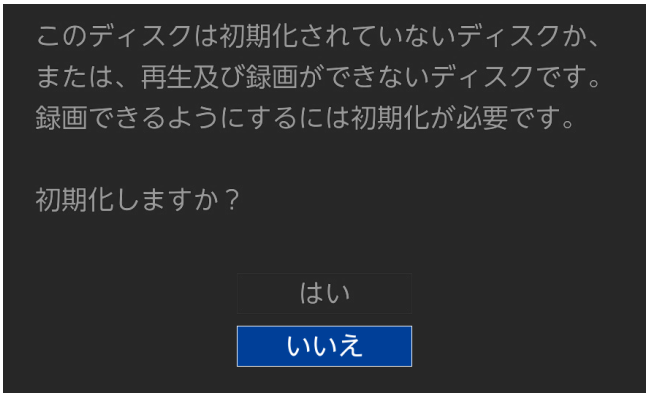
BD

新品(未使用)のディスクを入れると初期化(フォーマット)画面が表示されるので、ディスクを初期化(フォーマット)してからお使いください。初期化(フォーマット)しないと、録画・ダビングができません。

BD-RE	• お買い上げ時は初期化されていません。使用前に初期化してください。 • あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。P.230)
BD-R	• お買い上げ時は初期化されていません。使用前に初期化してください。 • 一度初期化すると初期化し直すことはできません。

1 ディスクを入れる

2 初期化確認画面が表示されるので、▲・▼で はい を選んで 決定 を押す



- 初期化が始まると放送画面に戻ります。
- 初期化が終わるまで、数分かかります。



ご注意

- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- 初期化は、途中で中止できません。
- 予約録画開始8分前以降は初期化できません。
- 傷や汚れなどが多いディスクは、本来可能な記録時間よりも少なくなってしまう可能性があります。

新品のDVDを初期化(フォーマット)する

AVC方式 VR方式 Video方式

DVDは初期化(フォーマット)するときに、録画方式を選びます。初期化(フォーマット)しないとダビングできません。(DVDには直接録画できません。)

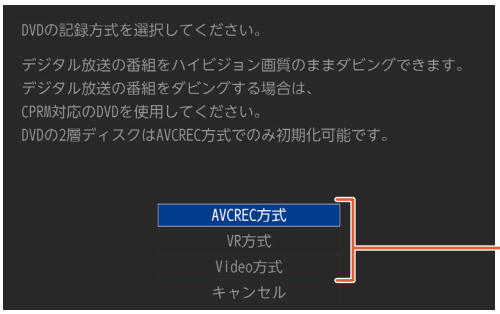
DVD-RW	• お買い上げ時は初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。 • あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。P.230)
DVD-R	• お買い上げ時は初期化されていません。初期化していない場合は、Video方式でのみ使用できます。他の方式で使用する場合は、使用前に録画方式を選んで初期化してください。 • 一度初期化すると初期化し直すことはできません。

1 ディスクを入れる

2 初期化確認画面が表示されるので、▲·▼で はい を選んで 決定 を押す



3 ▲·▼でお好みの録画方式を選んで 決定 を押す



● 初期化が始まると放送画面に戻ります。

AVCREC方式
- デジタル放送の番組をハイビジョン画質のままダビングできます。

VR方式
- ダビングした番組は標準画質で記録されます。
- AVCREC™方式より、長時間記録できます。
- 他の機器で再生するときは、本機でのファイナライズP.227とVR方式に対応したプレーヤーなどが必要です。

Video方式
- デジタル放送の番組はダビングできません。
- AVCREC™方式かVR方式をおすすめします。
- VR方式で再生できないDVDプレーヤーに適しています。

▷ **デジタル放送をダビングするときは**
CPRM対応ディスクを使って、VRまたはAVCREC™方式で初期化してください。

▷ **本機で2層ディスク(DVD-R DL)を使う場合は**
AVCREC™方式でのみ、初期化できます。

▷ **初期化を中止するときは**
キャンセル を選んで 決定 を押す

ご注意
- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- 初期化は、途中で中止できません。
- 予約録画開始8分前以降は初期化できません。
- 傷や汚れなどが多いディスクは、本来可能な記録時間よりも少なくなってしまう可能性があります。

メディアを管理する

ディスク／USB-HDD／SeeQVault-HDDの名前を変更する

USB-HDD　SeeQVault-HDD　BD　AVC方式　VR方式

▶ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDをつないでおく P.195
- SeeQVault-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にSeeQVault-HDDをつないでおく P.195
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく P.52

1 ホームを押して、▲·▼でメディア管理を選んで決定を押す

- メディア選択画面が表示されます。



2 ▲·▼お好みの項目を選んで決定を押す

- ディスク名を変更したい場合は、
  BD／DVDメニュー ➡ ディスク名変更 を選んでください。
- USB-HDD名を変更したい場合は、
  USB-HDDメニュー ➡ USB-HDD ➡ USB-HDD名変更 を選んでください。
- SeeQVault-HDD名を変更したい場合は、
  USB-HDDメニュー ➡ SeeQVault-HDD ➡ SeeQVault-HDD名変更 を選んでください。
- 編集画面が表示されます。
- USB-HDDの場合は、USB-HDDの登録が完了していないと
  USB-HDD名変更 の選択ができません。
- SeeQVault-HDDの場合は、SeeQVault-HDDの初期化が完了していないと
  SeeQVault-HDD名変更 の選択ができません。

▷ **USB-HDDの場合**

本機背面のHDD用USB端子に接続しているUSB-HDDの一覧が表示されるので、名前を変更したいUSB-HDDを選んで決定を押す

▷ **SeeQVault-HDDの場合**

本機背面のHDD用USB端子に接続しているSeeQVault-HDDの一覧が表示されるので、名前を変更したいSeeQVault-HDDを選んで決定を押す

3 ディスク名、USB-HDD名またはSeeQVault-HDD名を入力する



P.206

- 入力が終わったら、決定を押してください。
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- ディスク名、USB-HDD名またはSeeQVault-HDD名が変更されます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

ディスクを保護する・保護を解除する

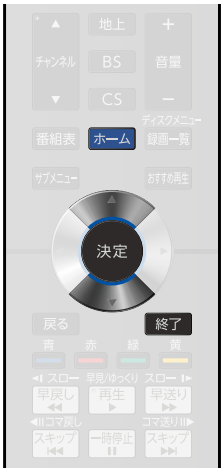
BD　AVC方式　VR方式

▶ 準備
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく P.52

1 ホーム を押して、▲・▼で メディアメニュー を選んで 決定 を押す
- メディア選択画面が表示されます。

2 ▲・▼で BD／DVDメニュー を選んで 決定 を押す

3 ▲・▼で ディスク保護 または ディスク保護解除 を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- ディスクが保護（保護が解除）されます。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。



お知らせ
- 保護されたディスクは、以下の操作ができなくなります
  - 番組の録画やダビング
  - 番組の編集、消去
  - 初期化
  - ファイナライズ、またはファイナライズの解除

本機で記録したディスクをファイナライズする

BD　AVC方式　VR方式　Video方式

ファイナライズ後、録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。（DVD-RW（VR）の場合のみ、ファイナライズを解除できます。）

本機で録画した以下のディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応したほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生できます。

- BD-R
- DVD-RW（AVC）／DVD-R（AVC）
- DVD-RW（VR）／DVD-R（VR）

▶ 準備
- ファイナライズするディスクを入れておく P.52

1 ホーム を押して、▲・▼で メディアメニュー を選んで 決定 を押す
- メディア選択画面が表示されます。



次ページへつづく

2 ▲·▼で BD／DVDメニュー を選んで 決定 を押す



3 ▲·▼で ファイナライズ を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- ファイナライズが始まると放送画面に戻ります。
- ファイナライズは、途中で中止できません。
- ファイナライズの進捗表示は目安です。ディスクによっては90%以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
- ファイナライズは数分から数十分かかります。(録画時間が短い場合や番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。)

▷**DVD-Videoの場合**

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。手動でのファイナライズできません。

ご注意

- ファイナライズ中は、テレビのチャンネル切換以外の操作はできません。また、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 他機で録画されたディスクは、本機でファイナライズができないことがあります。
- 予約録画開始2分前以降はファイナライズできません。(DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)は、予約録画開始45分前以降はファイナライズできません。)
- チャプターの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- プレーヤー／レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- BD-RやDVD-Rのファイナライズ中に停電したときは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ファイナライズを解除する

VR方式

本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)の場合のみ、本機でファイナライズを解除できます。解除すると、再び録画や編集ができます。

1 ホーム を押して、▲·▼で メディア管理 を選んで 決定 を押す

- メディア選択画面が表示されます。

2 ▲·▼で BD／DVDメニュー を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で ファイナライズ解除 を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- ファイナライズの解除が始まると放送画面に戻ります。



HDD／USB-HDDの記録内容を全部消去する

消去された記録内容は、元に戻せません。 記録内容をよく確認してから初期化してください。

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

▶ **準備**

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD用USB端子にUSB-HDDまたはSeeQVault-HDDをつないでおく P.195

1 ホームを押して、▲·▼で メディア管理 を選んで決定を押す

- メディア選択画面が表示されます。



2 ▲·▼でお好みの項目を選んで決定を押す

- HDDの番組を消去したい場合は、HDDメニュー を選んでください。
- USB-HDDの番組を消去したい場合は、
  USB-HDDメニュー ➡ USB-HDD を選んでください。
- SeeQVault-HDDの番組を消去したい場合は、
  USB-HDDメニュー ➡ SeeQVault-HDD を選んでください。

3 保護された番組も含めすべて消去したいときは 番組全消去 を▲·▼で選んで決定を押す 保護された番組は残してそれ以外をすべて消去したいときは 番組全消去（保護番組以外） を▲·▼で選んで決定を押す

- USB-HDDの場合は、本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して接続されているUSB-HDDの一覧が表示されるので、番組を消去したいUSB-HDDを選んで決定を押してください。
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は、途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。
- 番組全消去 を選ぶと、**[すべて]** または **[ジャンル]** フォルダ以外のフォルダおよびすべての番組が消去されます。
- 番組全消去（保護番組以外） を選ぶと、**[すべて]**、**[ジャンル]** または保護された番組が保存されたフォルダ以外のフォルダおよび保護された番組以外のすべての番組が消去されます。

HDDのモバイル持ち出し番組または DVD持ち出し番組を全部消去する

HDD

1 ホーム を押して、▲·▼で メディア管理 を選んで 決定 を押す
- メディア選択画面が表示されます。

2 ▲·▼で HDDメニュー を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で モバイル持ち出し番組全消去 または DVD持ち出し番組全消去 を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。



ディスクを初期化(フォーマット)し直す

BD AVC方式 VR方式 Video方式 AVCHD方式

▶ 準備
- 初期化(フォーマット)するディスクを入れておく P.52

BD-REやDVD-RWの場合は、一度初期化されても、以下の手順で再度初期化できます。
ディスクを初期化するとデータはすべて消去されます。

1 ホーム を押して、▲·▼で メディア管理 を選んで 決定 を押す
- メディア選択画面が表示されます。

2 ▲·▼で BD／DVDメニュー を選んで 決定 を押す

3 ▲·▼で 初期化 を選んで 決定 を押す
- DVD-RWの場合は、続けて初期化するフォーマットを選んでください。 P.225
- 確認画面が2回表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- 初期化が始まると放送画面に戻ります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- BD-REの初期化はBDAV方式で行われます。

ご注意
- 初期化中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 予約録画開始8分前以降は初期化できません。
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

お知らせ
- 新品(未使用)で初期化されていないBD-RE／BD-RやDVD-RW／DVD-Rを初期化(フォーマット)するときは、P.224、P.225をご覧ください。

同時にできること

再生しているときの予約録画について

再生 ＼ 予約録画	HDD	USB-HDD SeeQVault-HDD	BD
HDD USB-HDD SeeQVault-HDD	○	△※1	○
HDD	○	○	○
BD	○	○	×※3
DVD-Video CD AVC方式 VR方式	○	○	×※4
BD-Video AVCHD方式	△※2	△※6	×※4
JPEG形式	×※3	×※3	×※5

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 USB-HDD／SeeQVault-HDDを本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して複数台接続している場合は、予約録画に使用するUSB-HDDのみ再生できます。（予約録画に使用しないUSB-HDDの再生は停止します。）
※2 下記の場合は、一時的に**[DR]**で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）
・持ち出し設定をDVD 持ち出しに設定している場合
・録画モード**[AF]**～**[AE]**での予約と持ち出し設定がモバイル持ち出しに設定されている予約が2番組ある場合
※3 再生を停止し、予約録画を実行します。
※4 再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。
※5 ディスクの場合：再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。
USB機器の場合：再生を停止し、予約録画を実行します。
※6 下記の場合は、一時的に**[DR]**で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）
・持ち出し設定を**[DVD持ち出し]**に設定している場合
・持ち出し設定が**[モバイル持ち出し]**に設定されている予約が2番組ある場合

ダビングしているときの再生と予約録画について

▷ダビングしているときの再生

- 高速ダビング中のみ、再生できます。（等速ダビング中は、再生できません。）
- ダビング中は、写真を再生できません。

ダビング（高速） ＼ 再生	HDD	USB-HDD SeeQVault-HDD	ディスク
HDD USB-HDD SeeQVault-HDD ↔ USB-HDD SeeQVault-HDD	○	△※2	○
HDD ↔ ディスク	△※4	△※4	×
USB-HDD ↔ ディスク	△※4	△※2※4	×
SeeQVault-HDD → BD	○	△※2	×
HDD → LAN	○	○	△※3
USB-HDD → LAN	○	△※2	△※3
AVCHD方式※1 → HDD	○	○	×

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 USB機器やSDカードからAVCHD方式の映像を取り込む（ダビングする）場合のみ。
※2 USB-HDD／SeeQVault-HDDを本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して複数台接続している場合は、ダビングに使用するUSB-HDDのみ再生できます。また、USB-HDDからUSB-HDDにダビングする場合は、ダビング元のUSB-HDDのみ再生できます。
※3 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。
※4 ディスクへのダビング時、**[他のプレーヤーでも再生する]**を選択しダビングをする場合、ダビング中は再生できません。

▷ダビングしているときの予約録画

- 高速ダビング中のみ、予約録画できます。（等速ダビング中に予約録画が始まると、等速ダビングを中止します。）
- USB-HDD／SeeQVault-HDDを本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して複数台接続し、ダビングに使用するUSB-HDDと予約録画に使用するUSB-HDDが別々の場合は、予約録画はHDDに代理録画されます。
- ブルーレイディスクへの予約録画は、HDDに代理録画されます。

同時にできること(つづき)

▷予約録画しているときのダビングについて

- 1番組を予約録画中に高速ダビングができます。
- 2番組以上予約録画を実行中は、ホームメニューのダビングや、録画一覧サブメニューのダビングは選べなくなります。
  また、等速ダビングとなる項目も選べなくなります。(ダビング先の **[モバイル持ち出し用変換]** など)
- LAN録画中のダビングはできません。(ダビング項目が選べなくなります。)

ネットワーク機能の同時動作について

	通常配信	変換配信	現在放送中の番組を配信	お引越し(LAN)	LAN録画	ホームネットワーク再生
通常配信	○	○	○	×	×	×
変換配信	○	○	○	×	×	×
現在放送中の番組を配信	○	○	○	×	×	×
お引越し(LAN)	×	×	×	×	×	×
LAN録画	×	×	×	×	×	×
ホームネットワーク再生	×	×	×	×	×	×

○:できる　　×:できない

ご注意

- 3つ以上の同時動作はできません。

録画中の再生について

▷1番組のみ録画しているとき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード/持ち出し設定	HDD	USB-HDD SeeQVault-HDD	ディスク
HDD	[DR]	○	○	○
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○	○	○
	[DVD持ち出し]	○	○	△※1
	外部入力([標準])	○	○	△※1
USB-HDD	[DR]	○	△※2	○
	[モバイル持ち出し]	○	△※2	○
	[DVD持ち出し]	○	△※2	△※1
BD	[DR]	○	○	×
	[AVC]	○	○	×
	外部入力([標準])	○	○	×

○:できる　△:一部できないものがある　×:できない

※1 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。
※2 USB-HDD/SeeQVault-HDDを本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して複数台接続している場合は、現在録画中のUSB-HDDのみ再生できます。

ご注意

- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

▷2番組同時録画しているとき

録画メディア			再生するメディア		
録画先	録画モード／持ち出し設定		HDD	USB-HDD SeeQVault-HDD	ディスク
HDD のみ	[DR]		○	○	○
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	○
	[DR]	[DVD持ち出し]	○	○	△※2
	[AVC] または [モバイル持ち出し]		○	○※1	○※1
	外部入力 ([標準])	[DR]	○	○	△※2
USB-HDD のみ	[DR]		○	△※3	○
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	○
	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	△※2
	[モバイル持ち出し]		○	△※3	○※1
HDD と USB-HDD	[DR]		○	△※3	○
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	○
	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	△※2
	[モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	○※1
	外部入力 ([標準])	[DR]	○	△※3	△※2
HDD と BD	[DR]		○	○	×
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	×
	[DR]	[DVD持ち出し]	○	○	×
	[AVC]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	×
USB-HDD と BD	[DR]		○	△※3	×
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	×
	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	×
	[AVC]	[モバイル持ち出し]	○	△※3	×
HDD または USB-HDD と BD	外部入力 ([標準])	[DR]	○	△※3	×

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 録画モードを**[DR]**以外に設定していても一時的に**[DR]**で録画される場合があります。
（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）

※2 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

※3 USB-HDD／SeeQVault-HDDを本機背面のHDD用USB端子にUSBハブを経由して複数台接続している場合は、現在録画中のUSB-HDDのみ再生できます。

ご注意

- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

同時にできること(つづき)

▷3番組を同時録画しているとき

録画メディア				再生するメディア		
録画先	録画モード／持ち出し設定			HDD	USB-HDD SeeQVault -HDD	ディスク
HDD のみ	[DR]			○	○	○
	[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	○
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	○※1
	[AVC] または [モバイル持ち出し]			○※1	○※1	○※1
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	○	△※2
	外部入力 ([標準])	[DR]	[DR]	○	○	○
USB-HDD のみ	[DR]			○	△※3	○
	[DR]	[DR]	[モバイル持ち出し]	○	△※3	○
	[DR]	[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	○	△※3	○※1
	[モバイル持ち出し]			○※1	△※1、※3	○※1
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	△※2
HDD と USB-HDD	[DR]			○	△※3	○
	[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	○
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	○※1
	[モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○※1	△※1、※3	○※1
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	△※2
	外部入力 ([標準])	[DR]	[DR]	○	△※3	×
HDD と BD	[DR]			○	○	×
	[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	×
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	○	×
	[AVC]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○※1	○※1	×
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	○	×
USB-HDD と BD	[DR]			○	△※3	×
	[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	×
	[DR]	[AVC]	[モバイル持ち出し]	○	△※3	×
	[AVC]	[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	○※1	△※1、※3	×
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	×
HDD と USB-HDD と BD	[DR]			○	△※3	×
	[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	×
	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	○	△※3	×
	[AVC]	[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	○※1	△※1、※3	×
	[DR]	[DR]	[DVD持ち出し]	○	△※3	×

録画メディア				再生するメディア		
録画先	録画モード／持ち出し設定			HDD	USB-HDD SeeQVault -HDD	ディスク
HDD または USB-HDD と BD	外部入力（[標準]）	[DR]	[DR]	○	△※3	×

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 録画モードを**[DR]**以外に設定していても一時的に**[DR]**で録画される場合があります。
（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
※2 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。
※3 USB-HDDをUSBハブを経由して複数台接続している場合は、現在録画中のUSB-HDDのみ再生できます。

ご注意

- 録画中は、写真を再生できません。
- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

お知らせ

- 録画モードを**[AF]**～**[AE]**で録画中に、再生などを行うとメッセージが表示される場合があります。
- 持ち出し設定が**[モバイル持ち出し]**に設定されている予約を録画中に再生などを行うと、メッセージが表示される場合があります。
- メッセージが表示された場合は、録画モードを**[DR]**に切り換えて録画します。録画が終わると、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。録画モードの変換が終了しているか確認するには、P.140をご覧ください。
- 下記の場合は、3D映像は2Dで再生されます。
  - 持ち出し設定が**[DVD持ち出し]**に設定されている予約を録画中の場合
  - 録画モード**[XP]**～**[EP]**で録画中の場合
- USB-HDDには外部入力から直接録画できません。

同時録画時の録画モードについて

録画モードや通常録画の組み合わせによっては、以下のような条件が発生します。

- **[DR]**以外で設定された録画モードは一時的に**[DR]**で録画される場合があります。（電源「切」時に設定した録画モードに変換します。）
- **[AVC]**を選んだ録画モードは**[DR]**固定に変更される場合があります。
- 録画を押しても録画できない場合があります。

その他、同時録画時に変更される録画モードや条件についてくわしくは次ページからの表をご覧ください。

同時にできること(つづき)

▷2番組を同時録画の場合

1番組目の録画		2番組目の録画							
録画先	録画モード／持ち出し設定	HDD							
		[DR]		[AVC]		[モバイル持ち出し]		[DVD持ち出し]	
		予約録画	録画	予約録画	録画	予約録画		予約録画	
HDD	[DR]	○		○		○		○	
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○		△※1	
	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1		△※1	
	外部入力([標準])	○		△※1	△※2	△※1		△※1	
USB-HDD	[DR]	○		○		○		○	
	[モバイル持ち出し]	○		○		○		△※1	
	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1		△※1	
BD	[DR]	○		○		○		○	
	[AVC]	○		○		○		△※1	
	外部入力([標準])	○		△※1	△※2	△※1		△※1	

1番組目の録画		2番組目の録画							
録画先	録画モード／持ち出し設定	USB-HDD				BD			
		[DR]		[モバイル持ち出し]	[DVD持ち出し]	[DR]		[AVC]	
		予約録画	録画	予約録画	予約録画	予約録画	録画	予約録画	録画
HDD	[DR]	○		○	○	○		○	
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○	△※1	○		○	
	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※1	○		×※3	△※2
	外部入力([標準])	○		△※1	△※1	○		×※3	△※2
USB-HDD	[DR]	△※5	△※6	△※5	△※5	○		○	
	[モバイル持ち出し]	△※5	△※6	△※5	△※1、※5	○		○	
	[DVD持ち出し]	△※5	△※6	△※1、※5	△※1、※5	○		×※3	△※2
BD	[DR]	○		○	○	×※4	×	×※4	×
	[AVC]	○		○	△※1	×※4	×	×※4	×
	外部入力([標準])	○		△※1	△※1	×※4	×	×※4	×

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1　録画モードは一時的に[DR]で録画されます。
※2　録画モードは[DR]固定になります。
※3　HDDに代理録画され、録画モードは一時的に[DR]で録画されます。
※4　HDDに代理録画されます。
※5　USB-HDDをUSBハブを経由して複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDを2番組目の録画先に指定するとHDDに代理録画されます。
※6　USB-HDDをUSBハブを経由して複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDには切り換えできません。

ご注意
- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

▷3番組同時録画の場合(FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ)

1番組目の録画と2番組目の録画			3番組目の録画					
録画先	録画モード／持ち出し設定		HDD					
			[DR]		[AVC]		[モバイル持ち出し]	[DVD持ち出し]
			予約録画	録画	予約録画	録画	予約録画	予約録画
HDDのみ	[DR]	[DR]	○		○		○	○
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
HDDとUSB-HDD	[DR]	[DR]	○		○		○	○
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
USB-HDDのみ	[DR]	[DR]	○		○		○	○
	[DR]	[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
	[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
HDDとBD	[DR]	[DR]	○		○		○	○
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
	[AVC]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
USB-HDDとBD	[DR]	[DR]	○		○		○	○
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○		○	△※1
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※2	△※1	△※1
	[モバイル持ち出し]	[AVC]	○		○		○	△※1
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※2	△※1	△※1

同時にできること(つづき)

1番組目の録画と2番組目の録画			3番組目の録画						
			USB-HDD			BD			
録画先	録画モード／持ち出し設定		[DR]		[モバイル持ち出し]	[DVD持ち出し]	[DR]		[AVC]	
			予約録画	録画	予約録画	予約録画	予約録画	録画	予約録画	録画
HDDのみ	[DR]	[DR]	○		○	○	○		○	
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○	△※1	○		○	
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※1	○		×※3	△※2
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○	△※1	○		○	
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※1	○		×※3	△※1
HDDとUSB-HDD	[DR]	[DR]	△※7	△※8	△※7	△※7	○		○	
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	△※7	△※8	△※7	△※1、※7	○		○	
	[DR]	[DVD持ち出し]	△※7	△※8	△※1、※7	△※1、※7	○		△※3	△※2
	[AVC]または[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	△※7	△※8	△※7	△※1、※7	○		○	
	外部入力([標準])	[DR]	△※5、※7	△※6、※8	△※1、※7	△※1、※7	○		×※3	△※1
USB-HDDのみ	[DR]	[DR]	△※5、※7	△※6、※8	△※7	△※7	○		○	
	[DR]	[モバイル持ち出し]	△※5、※7	△※6、※8	△※7	△※1、※7	○		○	
	[DR]	[DVD持ち出し]	△※5、※7	△※6、※8	△※1、※7	△※1、※7	○		△※3	△※2
	[モバイル持ち出し]	[モバイル持ち出し]	△※5、※7	△※6、※8	△※7	△※1、※7	○		○	
HDDとBD	[DR]	[DR]	○		○	○	×※4	×	×※4	×
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○	△※1	×※4	×	×※4	×
	[DR]	[DVD持ち出し]	○		△※1	△※1	×※4	×	×※3	×
	[AVC]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	○		○	△※1	×※4	×	×※4	×
	外部入力([標準])	[DR]	○		△※1	△※1	×※4	×	×※3	×
USB-HDDとBD	[DR]	[DR]	△※7	△※8	△※7	△※7	×※4	×	×※4	×
	[DR]	[AVC]または[モバイル持ち出し]	△※7	△※8	△※7	△※1、※7	×※4	×	×※4	×
	[DR]	[DVD持ち出し]	△※7	△※8	△※1、※7	△※1、※7	×※4	×	×※3	×
	[モバイル持ち出し]	[AVC]	△※7	△※8	△※7	△※1、※7	×※4	×	×※4	×
	外部入力([標準])	[DR]	△※5、※7	△※6、※8	△※1、※7	△※1、※7	×※4	×	×※3	×

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1　録画モードは一時的に[DR]で録画されます。
※2　録画モードは[DR]固定になります。
※3　HDDに代理録画され、録画モードは一時的に[DR]で録画されます。
※4　HDDに代理録画されます。
※5　USB2.0の場合は、3番組目はHDDに代理録画されます。
※6　USB2.0の場合は、録画できません。
※7　USB-HDDをUSBハブを経由して複数台接続している場合は、1番組目と2番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDを3番組目の録画先に指定するとHDDに代理録画されます。
※8　USB-HDDをUSBハブを経由して複数台接続している場合は、1番組目と2番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDには切り換えできません。

ご注意
- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

▷外部入力について

- 録画モード [AF] ～ [AE] と外部入力は同時に録画できません。

予約録画の場合：録画モード [AF] ～ [AE] で同時録画している番組は一時的に録画モードを [DR] にして、外部入力の予約録画を実行します。
[DR] モードで録画した番組は、電源「切」時に [AF] ～ [AE] モードに変換します。
（録画している番組の録画先がBDの場合は、録画している番組を停止して外部入力の予約録画を実行します。）

録画を押して録画する場合：録画できません。

録画時の配信について

録画モード／持ち出し設定			通常配信※5	変換配信※5	現在放送中の番組を配信※5	通常配信※5	通常配信※5	通常配信※5	変換配信※5	変換配信※5	現在放送中の番組を配信※5
1番組目の録画	2番組目の録画	3番組目の録画	—	—	—	通常配信※5	変換配信※5	現在放送中の番組を配信※5	変換配信※5	現在放送中の番組を配信※5	現在放送中の番組を配信※5
[DR]	—	—	○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※2
[AVC] または [モバイル持ち出し]	—	—	○	○	○	○	○	○	○※3、※4	○※3、※4	○※2
[DVD持ち出し]	—	—	○	×	×	○	×	×	×	×	×
[外部入力]	—	—	○	×	×	○	×	×	×	×	×
[DR]	[DR]	—	○	○※3	○※2	○	○※3	○※2	○※3	○※3	×
[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	—	○	○※3	○※2	○	○※3	○※2	○※3、※4	○※3、※4	×
[DR]	[DVD持ち出し]	—	○	×	×	○	×	×	×	×	×
[DR]	[外部入力]	—	○	×	×	○	×	×	×	×	×
[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	—	○	○※3、※4	○※2、※4	○	○※3、※4	○※2、※4	×	×	×
[DR]	[DR]	[DR] ※6	○※1	○※3	×	○※1、※4	○※3、※4	×	○※3、※4	×	×
[DR]	[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し] ※6	○※1	○※3	×	○※1、※4	○※3、※4	×	○※3、※4	×	×
[DR]	[DR]	[DVD持ち出し] ※6	○※1	×	×	○※1、※4	×	×	×	×	×
[DR]	[DR]	[外部入力] ※6	○※1	×	×	○※1、※4	×	×	×	×	×
[DR]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し] ※6	○※1	○※3、※4	×	○※1、※4	○※3、※4	×	×	×	×
[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し]	[AVC] または [モバイル持ち出し] ※6	○※1	×	×	○※1、※4	×	×	×	×	×

※1 録画中のチャンネルのみ視聴できます。
※2 録画中または現在放送中の番組を配信中のチャンネルのみ視聴できます。
※3 本機の状態によっては、チャンネル切り換えできない場合があります。
※4 再生を開始すると配信を停止します。
※5 BD-Video／AVCHD方式のディスクを再生すると配信を停止します。
※6 3番組目の録画を開始するときに、本機の状態によっては配信を停止する場合があります。

ご注意

- 以下の場合は、FBR-HT2000／FBR-HT1000のみとなります。
  - 3番組同時録画中
  - 外部入力からの録画

二カ国語・マルチ番組・字幕について

録画メディア （ ）はダビング	HDD USB-HDD BD	HDD USB-HDD BD （SeeQVault -HDD AVC方式）
録画モード	DR	AF ～ AE
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。※2 再生時に音声切換で音声が選べます。※5	
マルチ番組の映像・音声	1つの映像と複数の音声が記録されます。 （再生時に音声切換で音声が選べます。）	▷**現在放送中の番組を録画するとき** HDD USB-HDD BD 1つの映像と複数の音声が記録されます。 ▷**番組表から録画するとき、ダビングするとき** HDD USB-HDD BD AVC方式 1つの映像と複数の音声が記録されます。 映像：1つの映像が記録されます。 音声：音声1と**[詳細設定]**画面で選んだ音声の2つが記録されます。また、音声1を選んでいるときは、音声1と音声2が記録されます。 ▷**日時指定予約するとき** HDD USB-HDD BD 1つの映像と複数の音声が記録されます。 ▷**ダビングリストからダビングするとき** 高速ダビングであれば、複数の音声で記録された番組はそのままの音声数でダビングされます。
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。	
字幕	字幕の情報が記録されます。※3（再生時に字幕切換で字幕表示の入／切ができます。）	HDD BD USB-HDD SeeQVault -HDD AVC方式 字幕の情報が記録されます。※3、※4

▷外部入力の二重音声を録画すると・・・

録画メディア （ ）はダビング	HDD BD（USB-HDD SeeQVault -HDD VR方式※1）	（Video方式）
録画モード	XP ～ EP	XP ～ EP
二重音声※5	主音声／副音声の両方が記録されます。 （再生時に音声切換で音声が選べます。）	**[二カ国語音声]**で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。

※1　DVD-RW／DVD-Rのみ。（DVD-RAMにはダビングできません。）
※2　DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）へのダビング時は、**[二カ国語音声]**で選択している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。
※3　ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングおよびAVC等速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。
※4　録画中は字幕の表示ができません。
※5　**[音声出力設定]**の**[ドルビーオーディオ]**、**[DTS／DTS-HD]**または**[AAC]**を**[自動]**に設定してビットストリーム出力している場合は、音声を切り換えることができません。音声出力設定を**[自動]**から**[PCM]**に変更することで本機で音声切換できるようになります。P.215

お知らせ

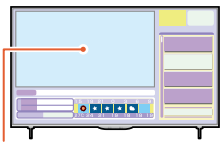
- 外部入力の二重音声のどちらか一方だけを記録する場合は、ホーム➡**[設定／お知らせ]**➡**[本体設定]**➡**[録画設定]**➡**[外部入力音声]**の設定を**[二カ国語]**にしてください。設定が**[ステレオ]**になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

本機で受信できる放送の種類

▷各テレビ放送の主な特徴とサービスについて

放送の種類	特徴	本機で利用できる主なサービス
地上デジタル放送	地上波のUHF放送の周波数帯域を使って行うデジタル放送です。また、本機はCATV（ケーブルテレビ）パススルー方式に対応しています。CATV局が再送信する地上デジタル放送も受信できます。 最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）5.1chサラウンド・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 本機ではワンセグ放送は受信できません。	番組表 データ放送 字幕放送
BSデジタル放送	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。	番組表 データ放送 字幕放送 ラジオ放送
110度CSデジタル放送	BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。 ほとんどの放送が有料です。 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。	番組表 データ放送 字幕放送 ラジオ放送

▷デジタル放送の「データ放送」「ラジオ放送」「双方向サービス通信」について

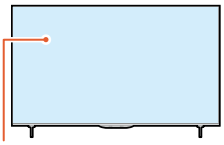


小画面ではほとんどの場合は、放送中の番組画面が表示されます。

●データ放送（県域設定：P.48）

データ放送には「番組連動データ放送」「独立データ放送」などがあり、番組連動データ放送は、例えば野球放送中の他球場の速報や、歌番組などでの勝敗投票といった、番組に関連したデータ放送です。（番組連動データ放送には、「双方向通信」機能を使う番組があります。接続や設定が必要です。）独立データ放送は、天気予報、ショッピング情報（オンライン通販）などの、番組とは無関係の内容です。

※ データ放送は記録できません。



静止画などが表示されます。

●ラジオ放送

ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送で行われています。放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽用CD並みの高音質を楽しむことができます。

※ ラジオ放送は記録できません。



（例）青、赤、緑、黄ボタンを使って、投票などができます。

●双方向通信（接続と設定：P.182、P.185）

デジタル放送では、「双方向通信」機能を使って、クイズ番組に参加したり、買い物をしたりできます。双方向通信をするには、ブロードバンド常時接続環境が必要です。

※ 本機はインターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応していますが、電話回線を使用する双方向通信サービスには対応していません。

ご注意

- 双方向通信サービスをご利用になるには、インターネット環境が必要になります。

本機で受信できる放送の種類（つづき）

有料放送をご覧になる場合は

■「かんたん一括設定をする」P.31を実行してから、確認してください。
■有料放送をご契約されるときは、miniB-CASカードのID番号が必要になります。
■本機以外にご使用頂いている機器で、BS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合は、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更することをおすすめ致します。

1 本機とBS・110度CS対応アンテナを接続する

● くわしくはP.26をご覧ください。

2 本機にminiB-CASカードを挿入する

● くわしくはP.24の準備3をご覧ください。

3 miniB-CASカードのID番号を確認する

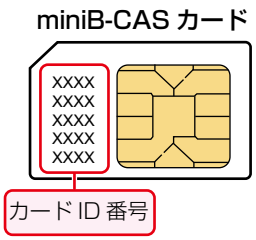
▷設定メニューから確認するときは

ホーム ➡ 設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 ➡ 共通設定 ➡ miniB-CASカード情報 の順番に選ぶ



▷miniB-CASカード裏面から確認するには

本機からminiB-CASカードを取りはずし、miniB-CASカード裏面に記載されているID番号をご確認ください。



4 有料放送事業者と契約する

● 有料放送事業者によって、契約方法が異なります。
くわしくは下記をご覧ください。

5 契約が完了したことを確認する

● 有料放送チャンネルを選んで、映像と音声が正しく出力されているかご確認ください。

ご注意
● くわしくは有料放送事業者にお問い合わせください。

(2017年4月現在)

WOWOW	① **以下のいずれかの方法でお申し込みください。** ■ネットから ➡「WOWOW」で検索（http://www.wowow.co.jp/） ■お電話から ➡ WOWOWカスタマーセンター：0120-580-807 受付時間 9：00 ～ 20：00（年中無休） ② **手続き完了後、WOWOW BS-9ch（191ch）を選局して15分程度お待ちください。** （P.242の手順5で契約ができているかご確認ください。）
ココロ動く、未来へ。スカパー!	① **CS161 QVCチャンネルを選局して、視聴できるかを確認してください。** リモコンの CS を押す ➡ 3桁入力 消去 を押す ➡ 1 · 6 · 1 の順に押す ② **以下のいずれかの方法でお申し込みください。** ■ネットから ➡ スカパー！公式サイト：http://www.skyperfectv.co.jp 加入手続きに従ってお申し込みください。 ■お電話から ➡ スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）：0120-039-888 受付時間 10：00 ～ 20：00（年中無休） ■本機から ➡ チャンネルをCS100 スカパー！プロモ100に合わせて、案内に従ってお申し込みください。 お申し込み完了後、申し込み時の案内に従い、ご契約いただいたチャンネルを選局し、視聴可能になるまでしばらくお待ちください。
STAR CHANNEL	① **BSデジタルでスター・チャンネルをご覧いただくには、まずスカパー！にご加入いただく必要があります。** ■具体的なご加入のフロー、加入のお申し込みについては、スカパー！の加入案内サイトをご確認ください。 http://www.skyperfectv.co.jp/guide/ ■スカパー！をすでに見ている方は、加入者専用Myスカパー！から加入申し込みできます。 https://my.skyperfectv.co.jp/login/ ■お電話から ➡「スター・チャンネル」総合案内窓口： 0570-013-111 または 044-540-0809 受付時間 10：00 ～ 18：00（年中無休）

各メディアに関するその他のお知らせ

HDDについて

▷HDD、ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の１つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

次のようなことは行わないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気をつけください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、２分以上経過してから行ってください。）
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。

▷HDDへの録画（録音）について

- HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。
- HDDを録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
- たいせつな録画（録音）内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。

その他

- お客様ご自身で本機のHDDを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

ご注意

- HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画（録音）内容が消えたりすることがあります。

USB-HDDについて

- 本機背面のUSB端子は、以下のUSB-HDDに対応しています。
  - USB-HDD
  - SeeQVault-HDD
- 本機背面のUSB端子には上記以外の機器は接続しないでください。接続した機器や本機の故障の原因となります。
- 本機とUSB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画したり、USB-HDDの番組を、HDDにダビングしたりできます。
- 本機とSeeQVault-HDDを接続しているときは、当社製の他のSeeQVault対応機器でSeeQVault-HDDに記録した番組を本機で再生できます。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDおよび本機が故障したりする原因となることがあります。

▷USB-HDDで使える機能

- 登録したUSB-HDDは、右のHDDとUSB-HDDの相違点を除けばHDDと同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

▷HDDとUSB-HDDの相違点

- USB-HDDに録画モード **[AF]** ～ **[AE]** で直接録画すると、一時的に録画モードを **[DR]** で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- USB-HDDには外部入力から直接録画できません。

▷HDDとSeeQVault-HDDの相違点

- ブルーレイディスクからSeeQVault-HDDへのダビングはできません。
- SeeQVault-HDDでは以下の操作はできません。
  - 直接録画
  - **[録画モード変換]**
  - **[番組分割]**
  - **[番組結合]**
  - **[チャプター消去]**

ディスクについて

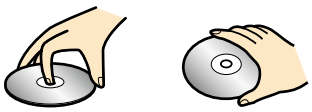
▷ブルーレイディスク／DVD／CD全般

以下の場合は、正常に録画・再生できません。

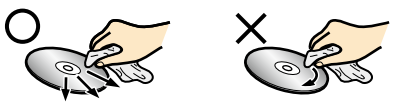
- 記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画／再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
- 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「おかしいな？と思ったときの調べかた」P.256をご覧になり、対処してください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾（海賊版など）のディスク。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）の録画・再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたりしたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。



クリーニングディスクについて

- 市販品のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障の原因となります。

ディスクの保管について

- 使用後、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置いたりすると、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください

- ディスク自体の破損や本機の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク
  - ラベルやシールが貼られているディスク
  - ラベルがはがれているディスク
  - のりがはみ出しているディスク
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
  - 六角形など、特殊な形状のディスク

8 cm盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集はできません。
- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8 cmアダプターなしで使用できます。

▷BD-RE／BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ（クローズ）していないBD-Rは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE／BD-Rは、お買い上げ時には初期化（フォーマット）されていません。使用する前に初期化してください。（ディスクの初期化についてくわしくはP.224をご覧ください。）
- BD-RE Ver1.0（カートリッジタイプ）は、本機では使用できません。

▷DVD-RW／DVD-R／DVD-RAM

- DVDには直接録画できません。
- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW（AVCREC™）／DVD-R（AVCREC™）は、AVCREC™方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（VR）／DVD-R（VR）は、VR方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。（CPRMについてくわしくはP.274をご覧ください。）
- DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後、本機ではDVD-Videoと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。
- DVD-RAMについてはすべてのDVD-RAMの再生を保証するものではありません。

▷BD-Video／DVD-Video

- ディスクによっては、ディスク制作者の意図により本書の記載通りに動作しないことがあります。
  くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

▷音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面にCOMPACT DISC DIGITAL AUDIOマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

ご注意

- 以下の場合は、実際に録画できる時間が短くなります。
  - ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき
  - 映りが悪い（電波状態が悪い、弱い）番組など、画質が良くない映像を録画したとき
- 高速記録対応のディスクを使用してダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。

お知らせ

- 保護されたディスクは、初期化（フォーマット）や録画などができません。
- ディスクでは、**[ディスク保護]**や**[ディスク保護解除]**を行っても、ディスク残量を消費します。

SDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠した以下に対応しています。
  - exFAT形式でフォーマットされたSDXCカード
  - FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードとSDXCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードとSDXCカードの動作を保証するものではありません。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。
- SDカードの動作中は、接続ケーブルを抜いたり、SDカードを抜き挿ししたりしないでください。記録した内容が消えたり、SDカードが故障したりする原因となることがあります。

USB機器について

- 本機前面のAV周辺機器用USB端子は、以下のようなUSBマスストレージクラス（大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ）、またはUSB接続したSDカードに対応しています。
  - JPEG対応のデジタルカメラ
  - AVCHD方式対応のデジタルビデオカメラ
  - USBメモリー
  - USB接続したSDカード
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作を保証するものではありません。
- 本機前面のAV周辺機器用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

ご注意

- SDカードやUSB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- SDカードやUSB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - SDカードやUSBケーブルを抜く
- SDカードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラのときに、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。

本機で再生できるJPEGファイルについて

▷最大認識可能フォルダ／ファイル数

CD-RW／CD-R	255フォルダ、999ファイル
その他のメディア	999フォルダ、9999ファイル

▷画素数

サブサンプリング（4：4：4の場合）	32 × 32 ～ 8192 × 8192
サブサンプリング（4：2：2または4：2：0の場合）	

- 1ファイルの再生可能容量は20 MBまでです。
- 一覧のフォルダ名は、表示幅を超えるときにスクロール表示します。
- フォルダ表示できる階層は9までになります。（CDのみ、フォルダ表示できる階層は8になります。）
- 次のメディアまたは機器に記録されたJPEGファイルに対応しています。
  - BD-RE ／ BD-R
  - DVD-RW ／ DVD-R
  - CD-RW ／ CD-R
  - SDカード
  - USB機器

ご注意

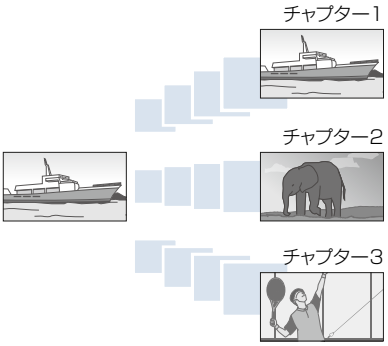
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEG には対応していません。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されるファイルでも再生できないことがあります。

番組・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて

▷番組とチャプター

番組： HDDやUSB-HDD、ディスクなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。短編集の「話」に相当します。

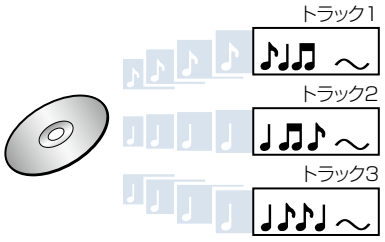
チャプター： ホーム ➡ **[設定/お知らせ]** ➡ **[本体設定]** ➡ **[録画設定]** ➡ **[自動チャプター]** P.214 で **[入]** に設定した番組の録画では、1つの番組の中で、場面ごとにさらに小さく区切られています。
本の「章」に相当します。



▷トラック

音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

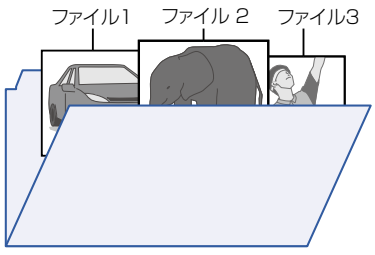


▷ファイルとフォルダ

JPEGファイルが記録されたメディアは、「フォルダ」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。デジタルスチルカメラでJPEG形式のファイルが作成されたり、それらファイルをパソコンなどで保存したりする際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

ファイル： ひとつひとつのデータのことです。

フォルダ： ファイルなどの集合を内包する階層のことです。



記録時間一覧表

記録時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- メディアの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- 番組によってビットレートが異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- 本機は、効率よく録画を行うためにVBR（可変ビットレート）方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大15時間です。（ブルーレイディスクへの録画の場合は、連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。）
- くわしくは「録画モードについて」P.65をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送のSD放送は、録画モードを **[DR]** または **[AF]** ～ **[AE]** に設定して録画しても標準画質で録画されます。

HDD

- HDDに録画モードを **[AF]** ～ **[AE]** に設定して録画するときに、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。
  その場合は、録画モードを **[DR]** に切り換えて録画されます。（録画終了後、HDDに空き容量があるときの電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。P.140）

▷LAN録画機能での録画

- CATV（ケーブルテレビ）チューナーの番組は、「HDD」のDR、AVCをご覧ください。（番組によって録画モードや記録時間は異なります。）
- スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組内容によって記録時間が異なります。

録画モード ＼ 録画先メディア		HDD 2TB (FBR-HT2000)	HDD 1TB (FBR-HT1000／FBR-HW1000)	HDD 500GB (FBR-HW500)
DR	地上デジタル（HD放送）	約259時間41分	約129時間7分	約63時間49分
	BSデジタル（HD放送）	約184時間2分	約91時間29分	約45時間13分
	BSデジタル（SD放送）	約367時間39分	約182時間47分	約90時間21分
スカパー！HD録画	スカパー！ハイビジョンチャンネル（スカパー！HD放送）(AVC)	約480時間（約260～600時間）	約240時間（約130～300時間）	約120時間（約65～150時間）
	スカパー！3Dチャンネル（スカパー！HD放送 3D Contents）(AVC)	約300時間	約150時間	約75時間
	スカパー！SD放送 (SKP)	約820時間（約520～1,580時間）	約410時間（約260～790時間）	約205時間（約130～395時間）
AVC	AF（2倍モード）	約342時間1分	約170時間2分	約84時間3分
	AN（3倍モード）	約513時間7分	約255時間6分	約126時間7分
	AS（4倍モード）	約733時間39分	約364時間44分	約180時間18分
	AL（5.5倍モード）	約1,007時間42分	約501時間0分	約247時間40分
	AE（12倍モード）	約2,180時間57分	約1,084時間18分	約536時間3分
標準	XP（1時間モード）	約462時間9分	約229時間46分	約113時間35分
	SP（2時間モード）	約921時間38分	約458時間13分	約226時間30分
	LP（4時間モード）	約1,851時間36分	約920時間34分	約455時間4分
	EP（6時間モード）	約2,733時間27分	約1,359時間2分	約671時間52分

ディスク

■ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が表示されている場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。

■DVDの録画モードは、ディスクによって異なります。

■ AVC方式 の場合：　[AF] ～ [AE]

■ VR方式 または Video方式 の場合：　[XP] ～ [EP]

録画モード ＼ 録画先メディア		BD-RE		
		SL（1層）25GB	DL（2層）50GB	TL（3層）100GB
DR	地上デジタル（HD放送）	約3時間09分	約6時間19分	約12時間37分
	BSデジタル（HD放送）	約2時間14分	約4時間28分	約8時間56分
	BSデジタル（SD放送）	約4時間28分	約8時間57分	約17時間53分
AVC	AF（2倍モード）	約4時間08分	約8時間17分	約16時間34分
	AN（3倍モード）	約6時間12分	約12時間26分	約24時間51分
	AS（4倍モード）	約9時間20分	約18時間42分	約37時間30分
	AL（5.5倍モード）	約12時間30分	約25時間03分	約50時間03分
	AE（12倍モード）	約27時間14分	約54時間35分	約109時間04分
標準	XP（1時間モード）	約5時間35分	約11時間12分	約22時間24分
	SP（2時間モード）	約11時間11分	約22時間25分	約44時間48分
	LP（4時間モード）	約22時間23分	約44時間52分	約89時間38分
	EP（6時間モード）	約33時間30分	約67時間10分	約134時間12分

録画モード ＼ 録画先メディア		BD-R		
		SL（1層）25GB	DL（2層）50GB	TL（3層）100GB
DR	地上デジタル（HD放送）	約3時間　4分	約6時間14分	約12時間27分
	BSデジタル（HD放送）	約2時間10分	約4時間25分	約8時間49分
	BSデジタル（SD放送）	約4時間21分	約8時間50分	約17時間39分
AVC	AF（2倍モード）	約4時間　2分	約8時間11分	約16時間21分
	AN（3倍モード）	約6時間　3分	約12時間17分	約24時間31分
	AS（4倍モード）	約9時間　8分	約18時間32分	約37時間　0分
	AL（5.5倍モード）	約12時間11分	約24時間45分	約49時間24分
	AE（12倍モード）	約26時間34分	約53時間55分	約107時間38分
標準	XP（1時間モード）	約5時間27分	約11時間　4分	約22時間　6分
	SP（2時間モード）	約10時間54分	約22時間　9分	約44時間13分
	LP（4時間モード）	約21時間49分	約44時間18分	約88時間27分
	EP（6時間モード）	約32時間41分	約66時間20分	約132時間26分

録画モード ＼ 録画先メディア		DVD-RW	DVD-R	
		SL（1層）4.7GB	SL（1層）4.7GB	DL（2層）8.5GB
AVC	AF（2倍モード）	約0時間46分	約0時間46分	約1時間25分
	AN（3倍モード）	約1時間　9分	約1時間　9分	約2時間　7分
	AS（4倍モード）	約1時間45分	約1時間45分	約3時間13分
	AL（5.5倍モード）	約2時間20分	約2時間20分	約4時間17分
	AE（12倍モード）	約5時間　5分	約5時間　5分	約9時間21分
標準	XP（1時間モード）	約1時間　3分	約1時間　3分	記録できません
	SP（2時間モード）	約2時間　6分	約2時間　7分	
	LP（4時間モード）	約4時間13分	約4時間15分	
	EP（6時間モード）	約6時間20分	約6時間21分	

記録時間一覧表(つづき)

USB-HDD

■USB-HDDの容量によって記録できる時間が異なります。
■外部入力の映像は録画できません。

録画モード＼録画先メディア		USB-HDD 320GB	USB-HDD 500GB	USB-HDD 750GB	USB-HDD 1TB
DR	地上デジタル(HD放送)	約41時間27分	約64時間57分	約97時間36分	約130時間15分
	BSデジタル(HD放送)	約29時間22分	約46時間　1分	約69時間10分	約92時間18分
	BSデジタル(SD放送)	約58時間41分	約91時間57分	約138時間10分	約184時間23分
AVC	AF(2倍モード)	約54時間35分	約85時間33分	約128時間32分	約171時間32分
	AN(3倍モード)	約81時間54分	約128時間21分	約192時間51分	約257時間31分
	AS(4倍モード)	約117時間　7分	約183時間29分	約275時間43分	約367時間57分
	AL(5.5倍モード)	約160時間52分	約252時間　4分	約378時間43分	約505時間25分
	AE(12倍モード)	約348時間　7分	約545時間30分	約819時間41分	約1,093時間53分

録画モード＼録画先メディア		USB-HDD 1.5TB	USB-HDD 2TB	USB-HDD 3TB	USB-HDD 4TB
DR	地上デジタル(HD放送)	約195時間36分	約260時間50分	約391時間24分	約521時間59分
	BSデジタル(HD放送)	約138時間34分	約184時間50分	約277時間23分	約369時間55分
	BSデジタル(SD放送)	約276時間49分	約369時間16分	約554時間　8分	約738時間59分
AVC	AF(2倍モード)	約257時間31分	約343時間31分	約515時間29分	約687時間27分
	AN(3倍モード)	約386時間22分	約515時間22分	約773時間23分	約1,031時間24分
	AS(4倍モード)	約552時間24分	約736時間50分	約1,105時間44分	約1,474時間36分
	AL(5.5倍モード)	約758時間45分	約1,012時間　6分	約1,518時間47分	約2,025時間28分
	AE(12倍モード)	約1,642時間　8分	約2,190時間26分	約3,287時間　4分	約4,383時間40分

録画モード＼録画先メディア		USB-HDD 5TB	USB-HDD 6TB
DR	地上デジタル(HD放送)	約652時間34分	約783時間　9分
	BSデジタル(HD放送)	約462時間27分	約555時間　0分
	BSデジタル(SD放送)	約923時間51分	約1,108時間44分
AVC	AF(2倍モード)	約859時間25分	約1,031時間24分
	AN(3倍モード)	約1,289時間25分	約1,547時間25分
	AS(4倍モード)	約1,843時間30分	約2,212時間23分
	AL(5.5倍モード)	約2,532時間11分	約3,038時間52分
	AE(12倍モード)	約5,480時間18分	約6,576時間57分

テレビ画面に表示されるメッセージ

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

	表示されるメッセージ （例）	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
操作全般	🚫	・現在、その操作を行うことは禁止されています。	–
	まもなくオートオフ機能により電源が切れます。	・[無操作電源オフ]が設定されているため、まもなく電源が切れます。 ➡ 何らかの操作をすると、電源は切れません。	P.216
		・[無操作電源オフ]を無効に設定するときは、ホーム➡[設定／お知らせ]➡[本体設定]➡[その他]から[無操作電源オフ]の設定を[切]にしてください。	P.216
	ダビング中にこの操作はできません。	・現在ダビング中のため、その操作を行うことは禁止されています。	P.231
	まもなくディスクへの予約録画を開始します。ディスクへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。	・録画可能なディスクが挿入されていません。	P.221
		・同時操作によってディスクに録画できません。 ➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。	P.231
	まもなく、USB-HDDへの予約録画を開始します。USB-HDDへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。	・録画可能なUSB-HDDが接続されていません。	P.194
		・同時操作によってUSB-HDDに録画できません。 ➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。	P.231
メール	**ホームメニューからメールを確認してください。**	・新着のお知らせメールがあります。 ➡ ホーム➡[設定／お知らせ]➡[お知らせメール]からメールの内容を確認してください。	P.208
ディスク・SDカード・USB	**ディスクを取り出してください。このディスクは再生することができません。**	・本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 ➡ ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	–
	この地域での再生は禁止されています。	・本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 ➡ ディスクを取り出してください。	P.222
	USB機器が認識できません。USB機器を確認してください。USB機器を取りはずしてください。	・USB機器から写真の再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 ➡ USB機器の接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	P.50
	登録したUSB-HDDが接続されていません。登録設定したUSB-HDDを、本機背面のHDD用USB端子に接続してください。	・USB-HDDを認識できません。もしくは認識できないUSB-HDDが接続されています。USB-HDDを確認してください。	P.194
		・本機で登録できるUSB-HDDの容量は、32GB～6TBになります。	–
		・登録設定したUSB-HDDが本機背面のHDD用USB端子に接続されていない可能性があります。接続を確認してください。	P.195
		・保護装置がはたらいていませんか。	P.256
SDカード・USB	**AVCHDまたはJPEGファイルが存在しません。もしくは本機では対応していない方式の機器が接続されている可能性があります。パソコンなどで一度初期化してから、AVCHDやJPEGファイルを保存してください。**	・USB-HDDやSeeQVault-HDDを本機前面のAV周辺機器用USB端子に接続していませんか。 ➡USB-HDDやSeeQVault-HDDは、必ず本機背面のHDD用USB端子に接続してください。	P.195
		・SDカードやUSBメモリーが、本機に対応していない形式でフォーマットされている可能性があります。 ➡本機はexFATやFAT32に対応しています。（NTFSは非対応）。お持ちのパソコンで、exFATまたはFAT32形式で初期化したSDカードやUSBメモリーをご使用ください。	P.246
		・AVCHDやJPEGファイルが保存されていないSDカード、またはUSBメモリーを挿入していませんか。 ➡お持ちのパソコンで、SDカードやUSBメモリーにAVCHDやJPEGファイルが保存されているかご確認ください。	P.16

次ページへつづく

テレビ画面に表示されるメッセージ(つづき)

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
録画	**本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。**	・本機の動作を安定させるために、録画などの動作が停止された可能性があります。動作が改善されない場合は、P.256の手順3を試してください。(それでも動作が改善されない場合は、HDDの異常が原因の可能性があります。)	P.244、P.256
録画	**miniB-CASカードが正しく挿されてないか、録画、またはダビングが禁止された番組です。**	・miniB-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。正しく挿入できている場合は、「録画禁止」番組を録画しようとしています。	P.24、P.64
録画	**録画容量不足により、録画を中止しました。**	・HDDやUSB-HDD、ディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。	–
録画	**録画時間が15時間を超えたため、録画を停止しました。**	・HDD／USB-HDDへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。 ・HDD／USB-HDDへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。	– –
録画	**録画時間が8時間を超えたため、録画を停止しました。**	・ブルーレイディスクへの連続録画時間が8時間以上になったため、録画を停止しました。 ・ブルーレイディスクへの1番組あたりの連続録画可能時間は8時間未満です。	– –
予約	**HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、最後まで録画できません。**	・HDD／USB-HDDまたはディスクの残量が不足しています。 ➡ 決定を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	P.53
予約	**ディスクの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。**		
予約	**USB-HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。**		
予約	**予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。**	・予約登録数が上限の200に達したので、不要な予約を消去してください。	P.95
予約	**番組情報が変更されました。**	・予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。	–
消去・編集・ダビング	**本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。**	・ディスクに傷や汚れがあると、編集が正常に完了しない場合があります。 ➡ 決定を押して放送画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	–
消去・編集・ダビング	**この番組(またはディスク)は保護されているため、ダビングできません。**	・「移動」になる番組やディスクが保護されているときは、ダビングができません。 ➡ 番組やディスクの保護を解除してください。	P.147、P.227
消去・編集・ダビング	**この番組はすでに登録しているため、選択できません。**	・「移動」になる番組、またはダビング10番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。	–
消去・編集・ダビング	**最大登録数を超えるため、選択できません。**	・ダビングリストの登録番組数がいっぱいになっています。 ・ダビングリストに登録できる番組数は最大36番組です。	P.156 –
消去・編集・ダビング	**15時間を超える番組はダビングできません。**	・ダビング先がHDD／USB-HDDのときに、15時間を超える番組は、ダビングできません。	–
消去・編集・ダビング	**8時間以上の番組はダビングできません。**	・ダビング先がディスクのとき、8時間以上の番組はダビングできません	–
消去・編集・ダビング	**番組数が上限を超えています。ダビングする番組を減らしてください。**	・ダビング先の番組総数が、限界を超えます。 ➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。	P.156

困ったときは

よくあるご質問

	質問	回答	ページ
準備	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？	・本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。	P.29
	ハイビジョン映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか？	・HDMI端子付きのテレビとHDMIケーブルでつないでください。	P.27
メディア	本機で使えるディスクは？本機で録画や再生が可能なディスクは？	・「本機で使えるメディアについて」をご覧ください。	P.221
	高速記録対応ディスクとは？	・通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。	P.221
	DVDの録画方式(AVCREC™方式、VR方式、Video方式)とは？	・DVD-RW／DVD-Rに録画するときに選べる録画方式のことです。	P.225
	AVCREC™方式、VR方式、Video方式はどのように使い分けるのですか?	・「新品のDVDを初期化(フォーマット)する」をご覧ください。	P.225
	1枚のディスクにAVCREC™方式、VR方式、Video方式を混在させて録画できますか？	・本機では対応していません。ディスクごとに録画方式を選択してください。	–
	HD Recの再生には対応していますか？	・本機では対応していません。	–
	市販品のBD-Video／DVD-Videoの2層ディスクの再生はできますか?	・再生できます。	–
	＋RW／＋Rの録画・再生はできますか？	・本機では対応していません。	P.222
	DVDオーディオ、CD-ROM、ビデオCDは再生できますか?	・本機では対応していません。	–
	パソコンで作ったDVD・音楽用CDは再生できますか?	・本機では対応していません。	P.245
	MP3形式で記録されたディスクは再生できますか？	・本機では対応していません。	P.246
おすすめ再生機能	録画した番組が表示されない	・設定時に選択したカテゴリーにあてはまる番組のみを表示します。(カテゴリーにあてはまらない番組は表示されません。)別のカテゴリーを表示するように条件を変更したり、カテゴリーを新規追加したりしてください。 ・録画中の番組は「おすすめ再生」画面に表示されません。録画終了後に表示されます。 ・他機で録画した番組を本機にダビングした場合は、おすすめ再生画面で表示できないことがあります。その場合は、録画一覧から再生してください。	P.114 P.111 –
番組表	番組表を使った予約には、どのような特徴がありますか?	・番組表からかんたんに録画予約をしたり、番組の詳細情報を表示したりすることができます。また、ジャンルから関連番組を探すこともできます。 ・自動追跡録画に対応しています。 ・録画一覧に番組名が自動的に入ります。	P.73 P.103 –
	番組表は、何日分まで表示できますか?	・最大8日分まで表示できます。	P.68
	番組表の利用料金はかかりますか？	・利用料金はかかりません。	–
	番組表は日本全国で利用できますか？	・番組データの内容は県域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの県域で番組データを取得する必要があります。	P.48
	番組表をCATV(ケーブルテレビ)で利用できますか?	・できる場合とできない場合があります。くわしくはご利用のCATV会社にご相談ください。	P.69

次ページへつづく

困ったときは(つづき)

	質問	回答	ページ
録画	二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	・「二カ国語・マルチ番組・字幕について」をご覧ください。	P.240
	字幕の録画はできますか？	・できます。	P.240
	デジタル放送は録画できますか?	・HDD／USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。 DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(VR)／DVD-R(VR)やDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングしてください。	P.64、P.221
	デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	・HDD／USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。 (録画モードを[DR]、[AF]～[AE]に設定した場合のみ) DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングしてください。	P.64、P.221
	デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	・本機では録画できません。	P.241
	同時録画はできますか？	・できます。 (ただし、ブルーレイディスクへの2番組同時録画はできません。)	P.101
	ダビング10(コピー9回＋移動1回)番組の録画はできますか？	・できます。	P.64
	おまかせ録画で、持ち出し用に録画したい	・おまかせ録画では、持ち出し番組を作ることができません。 ➡ おまかせ録画された番組をモバイル持ち出し番組に変換してください。	P.176
予約	予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか?	・「予約が重なったときは」をご覧ください。	P.102
	電源を入れたまま予約時間になった場合は？	・電源の入／切にかかわらず、予約録画は始まります。	P.101
再生	ブルーレイ3D™ディスクが3D映像で再生されない	・本機と3D映像対応テレビをHDMIケーブルで接続していますか。 ・[3D出力設定]が[切]になっていませんか。	P.27 P.216
	海外で買ったBD-Videoは再生できますか？	・リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。	P.222
	海外で買ったDVD-Videoは再生できますか？	・リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。	P.222
	本機で録画やダビングしたUSB-HDDやディスクを、他の機器で再生できますか？	・本機で記録したUSB-HDDは、他の機器では再生できません。 ・ディスクをファイナライズすると、対応しているプレーヤーなどで再生できます。記録状態によっては再生できないことがあります。	P.194 P.227
編集	どんな編集ができますか？	・メディアによって、編集できる機能が異なります。「本機でできる消去と編集について」をご覧ください。	P.136
	ファイナライズを解除すると何ができますか？	・すでに録画された内容を消さずに、追加で録画や消去・編集ができるようになります。(本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)のみ)	P.228
	市販品のBD-Video／DVD-Videoやレンタルディスクからダビングできますか？	・市販品のBD-Video／DVD-Videoやレンタルディスクなど、著作権保護・違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされているディスクはダビングできません。	–
ダビング	本機でダビング中に録画や再生はできますか？	・高速ダビング時は以下の操作はできません。 － 写真の再生 － ディスクへのダビング中に、ディスクの再生 － 移動中に移動対象の番組の再生 － 録画 による録画(予約録画はできます。) ・等速ダビング時は、録画や再生はできません。	P.231 –
	お引越し(LAN)ができない	・本機やダビング先の機器にブルーレイディスクやDVD(AVCREC™方式やVR方式)が入っている場合は、お引越し(LAN)ができないことがあります。 ・ダビング先の機器によっては、一部のドライブにダビングできない場合があります。 ・対応機器から本機にお引越し(LAN)をする場合は、本機のダビング先メディアからHDDしか選べません。	– – –

	質問	回答	ページ
ダビング	**DVD持ち出しに設定した持ち出し用の番組がない**	• 予約録画時の録画状況によっては録画と同時にはDVD持ち出し番組が作成されないことがあります。電源「切」時にDVD持ち出し番組作成を行いますので、本機の電源を「切」にしてください。該当する番組が作成できているか確認するには、ホーム➡[録画一覧]から[DVD持ち出し番組]を選んでください。	–
ネットワーク連携接続	**端末機器と接続できない**	• 端末機器と本機が、同じネットワーク環境で接続されていますか。 ➡ 端末機器と本機それぞれの通信設定を確認してください。 • お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。 ➡ ブロードバンドルーターが無線LANに対応していない場合は、端末機器と接続できません。	P.182 –
	外部入力から録画した映像を持ち出したい	• 外部入力からの映像は持ち出し番組に変換できません。	–
	現在放送中の番組を配信中に、突然番組が見られなくなった	• 本機で録画などが始まっていませんか。 ➡ FBR-HT2000／FBR-HT1000は3番組同時録画中、FBR-HW1000／FBR-HW500は2番組同時録画中の場合は、現在放送中の番組を配信することはできません。	P.175
	現在放送中の番組を配信中でチャンネル切り換えに時間がかかる	• 実際の放送をリアルタイムに変換して端末機器へ配信するため、現在放送中の番組を配信中にチャンネルを切り換えるには時間がかかることがありますが、故障ではありません。	–
	ネットワーク再生や配信時に映像が止まることがある	• 2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。(FBR-HW500をのぞく) • 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがあります。USB-HDDおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。(FBR-HW500をのぞく)	– –
その他	**日本全国どこでも使えますか？海外でも使えますか？**	• 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	P.267
	VTRとの違いは？	• HDDに録画すれば長時間番組も録画できます。 • HDDやディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、消去することも可能です。 • 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。(ビデオテープのように早送り／巻戻しをする必要はありません。) • パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	– – – –
	FUNAI Connectアプリで「どこでも視聴」を行うときに、端末にエラーメッセージが表示される	• ご自宅のインターネット接続環境が「どこでも視聴」できるかをご確認頂く必要があります。アプリから下記サイトのチェックツールを用いて、ご自宅のインターネット接続環境が、DiXiMリモートアクセスサービスに対応しているかご確認ください。 http://www.dixim.net/sp/support/check_index.htm ご自宅のパソコンなどから確認する場合は、下記にアクセスしてチェックツールをご使用ください。 http://www.dixim.net/support/check_index.htm (FUNAI Connectアプリは、「どこでも視聴」にDiXiMリモートアクセスサービスを利用しています。) チェックツールの結果に問題はないが、それでも接続に失敗する場合は、ご契約されているプロバイダーへお問い合わせください。 • ご使用のネットワーク構成が、複数ルーター環境(多段ルーター、二重ルーター)になっていないかご確認ください。インターネットへ接続するために、ルーターを2つ、あるいはそれ以上経由する場合、「どこでも視聴」が利用できない場合があります。この場合、それぞれの環境に適したルーターの設定が必要になります。また、マンションやアパートなど共用設備としてネットワーク環境が構築されている建物に居住されている方は、施設の管理人、またはご契約されているプロバイダーへお問い合わせください。ご自身ではルーターの設定が困難な場合があります。	– –

症状に合わせて解決法を調べる

おかしいな？と思ったときの調べかた

おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

■アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 自己診断機能で本機の主な機能に故障がないかをご確認ください。P.200

▷問題がないときは　手順2へ

2 「こんなときは」（症状）と「ここをお調べください」（対処方法）をご覧ください。P.257〜P.264

▷当てはまる症状がないときは　手順3へ

3 保護装置がはたらいていませんか？

- ディスクやSDカードが取り出せる場合は、あらかじめ取り出しておいてください。USB機器が取り外せる場合は、あらかじめ取りはずしておいてください。
- 以下の方法で、保護装置を解除してください。

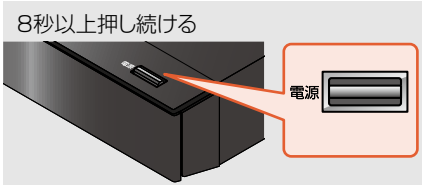
① 本機の電源を切ることができる場合は、本機上面の を押して電源を切る

- 上記手順①で電源が切れなかった場合は、電源ボタン を8秒間以上長押しすることにより、強制的に電源を切ることができます。

② 本機の電源プラグをコンセントから抜いて、数分間待つ

③ 本機の電源プラグをコンセントに差し込む（本機が通電状態になります。）

④ 電源を入れて、動作を確認する



▷保護装置を解除しても直らないときは　手順4へ

4 お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

- 手順3で保護装置の解除を行ったあとは、予約の設定など、必要な設定を行ってください。

お知らせ

- 保護装置とは？
  本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合は、保護のために保護装置がはたらき、強制的に電源を切る仕組みになっています。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	**電源が入らない**	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	P.30
		• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	P.17
		• 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。	P.256
	何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る	• 番組表の番組データを受信中（待機時動作中LEDが点灯）です。	P.18、P.68
		• ダウンロードしたソフトウェアの更新中（本機前面のHDD LEDが点滅）です。	P.205
		• 予約録画の開始時刻約2分前になると録画LEDが点滅します。（録画が始まると録画LEDは点灯に変わります。）	P.101
	電源を入れると、[かんたん一括設定]開始画面が表示される	• [かんたん一括設定]をしていないときは、電源を入れると[かんたん一括設定]開始画面が表示されます。	P.31
	テレビの電源を入／切すると、本機の電源も自動的に入／切する	• HDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどと組み合わせて[機器制御]機能のテレビ電源オン連動機能やテレビ電源オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源の入／切に連動して本機の電源が自動的に入／切します。 （お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。）	P.199
	勝手に電源が切れる	• [無操作電源オフ]を設定していませんか。	P.216
		• 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。	P.256
		• 電源を「入」にした際に、HDD LED、待機時動作中LEDが同時に点滅しているのは、本機の高温保護機能により自動的に電源を「切」にしたことを示しています。 ➡ コンセントから電源プラグを抜いて、本機の設置場所についてご確認ください。	P.18
	電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかったりする	• システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	–
	電源を切ったあと、2時間ほど冷却用ファンが回ったままになる	• デジタル放送の有料放送と契約した場合は、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンがまわり続けることがあります。	–
本機の操作全般・ディスク・USB	**本機が動かない 本機の操作ができない**	• その操作が禁止されているときは、[🚫]またはメッセージが表示されます。	–
		• リモコンのTV操作が押されて点灯していませんか。 ➡ もう一度TV操作を押すと消灯して本機のリモコン信号に戻ります。	P.42
		• 本機側とリモコン側のリモコンモードが合っていますか。	P.43
		• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	P.17
		• ご購入後に初めて電源を入れたときは、[かんたん一括設定]開始画面が表示されます。	P.31
		• [かんたん一括設定]実行中は、録画・再生などの操作はできません。	–
		• 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。	P.256
		• HDDに記録されている番組数が多いと、その分、本機の電源プラグを差し直した際の起動に時間がかかります。	–

次ページへつづく

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
本機の操作全般・ディスク・USB	**HDDまたはUSB-HDDの操作ができない**	・本機のHDD LEDまたはUSB LEDが点灯していますか。 ➡ 操作するメディアを切り換える場合は、リモコンの HDD または USB を押してください。	P.18
	ディスクの操作ができない	・本機のDISC LEDが点灯していますか。 ➡ DISC LEDが点灯していない場合は、リモコンのDISCを押してください。	P.18
		・ディスクを入れていますか。	P.52
		・ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	–
	ディスクトレイの開閉ができない	・ダビングリスト表示中などは、トレイの開閉ができない場合があります。	–
		・本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。 ➡ 本機上面の⏻を8秒以上押して本機の電源を切ってから 開/閉 で電源を入れてください。それでも直らないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3の②以降を行ってください。	P.256
	ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる	・情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	–
	ディスクを入れてから、しばらく操作ができない	・ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	–
	本機の設定画面やサブメニューが選べない	・現在操作ができない項目はグレー表示されます。	P.55
		・テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	–
	本機が正常に動作しない	・結露(露付き)が起こっていませんか。 ➡ 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。	P.270
	本機前面のLEDが正常に点灯、点滅しない	・保護装置がはたらいている可能性があります。 ➡ 「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。	P.256
	SDカードの操作ができない	・本機前面のSDカードスロットにSDカードを入れていますか。(FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ)	P.50
		・本機前面のAV周辺機器用USB端子とUSB接続できていますか。	P.246
	SDカードの内容が読めない	・SDカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。	P.50
	USB機器の操作ができない **USB機器の内容が読めない**	・本機で対応しているUSB機器を接続していますか。	P.246
		・USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。	P.50
		・SDカードに記録するデジタルカメラ／デジタルビデオカメラのときに、USB接続で認識・読み込みができない場合は、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。	P.50
		・録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。	–
	USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった	・USB機器から写真の再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 ➡ USBケーブルの接続をはずして、つなぎ直してください。	P.50

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
視聴、チャンネル切換	**テレビに本機の映像が映らない**	• アンテナ－本機－テレビを接続していますか。 • ケーブルやコードを違う端子（入力／出力も含む）につないでいませんか。 • ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。 • 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、[出力解像度設定]の設定が合っていないと、正常に映りません。 ➡ 早見/ゆっくり 再生 を5秒以上押し続けてください。設定が[自動]になり、映るようになります。 • テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	P.26 〜 P.30 P.216 –
	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	• 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 • 本機の電源プラグを、常にコンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。 • アンテナ線とHDMIケーブル、LANケーブルなどの距離を離してください。 • [共通設定]の[アンテナ出力]が[切]になっていませんか。この設定が[切]になっていると、本機の電源が切れている間は、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送アンテナ信号を送ることができません。	– P.30 – P.220
	地上デジタル放送が映らない、映りが悪い	• アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか。また、UHFアンテナ、同軸ケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか。 • 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。 • 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、[放送受信設定]の[信号品質]の数値が低くなります。信号品質の数値は、「20」以上を目安にしてください。 ➡ [自己診断機能]の[放送チャンネル]では信号品質を一覧で確認できます。 • 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、[放送受信設定]の[受信状態の確認]内で、[アッテネーター]を[入]に設定すると、映りが改善されることがあります。 • miniB-CASカードを正しい向きで「カチッ」と音がするまで奥へ（止まるまで）差し込んでいますか。 • 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	P.19 P.219 P.46 P.202 P.46 P.24 –
	BS・110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る	• アンテナ線をBS・110度CSデジタル放送用の端子につないでいますか。また、BS・110度CSアンテナ、同軸ケーブル、分波器などは、BS・110度CSデジタル放送対応のものを使っていますか。 • 本機に付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用ですので、BS・110度CSデジタル放送対応同軸ケーブル（市販品）をご使用ください。 • ホーム ➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[BS／CSデジタル設定]の[アンテナ電源]の設定は正しいですか。 • ホーム ➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[BS／CSデジタル設定]の[アンテナ電源]の設定を[供給する]にしているときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。 • BS・110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 • 以下の場合は、電波障害により一時的に映像・音声が乱れることがあります。 －雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。 －雪がBS・110度CSアンテナに付着しているとき。 • miniB-CASカードを正しい向きで「カチッ」と音がするまで奥へ（止まるまで）差し込んでいますか。	P.19 P.220 P.220 – – P.24
	放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない	• 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。 • 録画モード[AF]〜[AE]に設定して同時録画中のときは、外部入力に切り換えることはできません。	– –

次ページへつづく

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
視聴、チャンネル切換	チャンネルを切り換えられない	• [かんたん一括設定]([チャンネル設定])をしましたか。	P.31、P.40
	映像の左右の端が切れる	• テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	–
	デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない	• 字幕の設定が[切]になっていないか確認してください。	P.58
		• [文字スーパー]の設定が[切]になっていないか確認してください。	P.220
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	• 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。	–
		• 本機以外にご使用頂いている機器で、BS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合は、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更することをおすすめ致します。	–
	NHK BSデジタル放送を、視聴中に、受信確認メッセージが表示される	• NHK BSデジタル放送のメッセージ消去の申し込みが完了していない場合があります。 なお、メッセージ消去の申し込みには、miniB-CASカード挿入口に挿入したminiB-CASカードのID番号を使用してください。	–
番組表	番組表が表示されない 番組表が8日分表示されない	• お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。	P.68
		• スキップ設定したチャンネルは表示されません。	P.45
		• 番組表で[CH毎表示]に設定すると、1つのチャンネルのみ表示されます。	P.70
		• 番組表で[1チャンネル表示]に設定されている放送局は、1つのチャンネルしか表示されません。	P.70
	番組データを受信できない	• 番組データは、本機の電源が「切」(通電状態)のときに受信します。 なお、電源が「入」であっても、視聴中のチャンネルの番組データは取得されます。	P.68
	番組表に表示されない放送局や番組がある NHKが違う地域の番組表で表示される	• 県域設定やチャンネルが正しく設定されていない場合は、表示されません。 ➡ ホーム ➡[設定/お知らせ]➡[放送受信設定]➡[地上デジタル放送]の[初期スキャン]で県域設定とチャンネルを再度設定してください。	P.219
		• 深夜時間帯などで番組が表示されていない場合は、放送が予定されていない場合があります。	–
	予約した番組と録画された番組が合っていない	• 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	P.69
録画	録画できない	• 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。	–
		• 「録画禁止」番組を録画していませんか。	P.64
		• HDDやUSB-HDD、BD-RE/BD-Rの残量時間が不足していませんか。 ➡ 不要な番組を消去するか、別のUSB-HDD、BD-RE/BD-Rに録画してください。	P.138
		• 番組数がいっぱいになっていませんか。 ➡ 不要な番組を消去するか、別のUSB-HDD、BD-RE/BD-Rに録画してください。	P.138
		• アンテナを本機に接続していますか。	P.26
	ディスクに録画できない	• 録画可能なディスクを入れていますか。	P.221
		• 本機では、DVD-RW/DVD-Rには直接録画できません。(ダビングはできます。)	P.221
		• 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。	–
		• 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。	–
		• ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。	P.245
		• ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。	P.227

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
録画	CATV(ケーブルテレビ)のセットトップボックスなど、他の機器の映像が録画できない	• 本機の入力切換を外部入力に切り換えていますか。	P.99
		• つないだ機器の電源が入っていますか。	–
		• ケーブルやコードを違う端子(入力／出力も含む)につないでいませんか。 コピー制限の有無にかかわらず、外部入力からHDDに録画された番組をDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングできません。	P.28
		• HDD、ブルーレイディスク以外には外部入力の映像を直接録画できません。 (HDD、ブルーレイディスクからのダビングはできます。)	–
	予約録画できない 録画予約した番組が録画されない	• 予約スキップをしていると、録画されません。	P.94
		• 停電があったときは、正しく録画されません。	P.102
		• ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。	–
		• 録画予約した番組が、番組変更などにより放送されなかった可能性があります。	–
	番組の最後まで録画できていない 予約で録画した最後の部分が録画できていない	• 予約が重なっていませんか。	P.102
		• 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	P.102
	番組を同時に録画できない	• ブルーレイディスクに2番組を同時録画できません。	–
		• 外部入力の番組の同時録画はできません。	P.239
	USB-HDDやSeeQVault-HDDに録画できない	• 録画可能なUSB-HDDを接続していますか。	–
		• 他機で初期化されたUSB-HDDは、本機では録画できません。	–
		• 本機では、外部入力の映像をUSB-HDDには直接録画できません。(HDDからダビングはできます。)	P.221
		• 保護装置がはたらいていませんか。	P.256
	録画モード[DR]以外で録画・予約録画した番組が、録画モード[DR]で録画されている	• USB-HDDに録画モード[AF]～[AE]で録画するときや、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード[AF]～[AE]で録画するとき、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード[DR]で録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。	P.83、P.235
再生	再生できない 再生画面が出ない	• テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	–
	ディスクの再生ができない	• 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。	P.222
		• ディスクの表裏を正しく入れていますか。	P.52
		• 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。	P.245
		• 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video、AVCREC™)／DVD-R(Video、AVCREC™)は、本機では再生できません。	P.245
		• 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。	P.245
		• ブルーレイディスク／DVDの視聴制限設定をしていませんか。	P.211
		• 録画モードを[XP]～[EP]で録画している場合は、BD-VideoやAVCHD方式のディスクを再生できません。	–
	番組の最初から再生が始まらない	• つづき再生(レジューム停止)になっていませんか。	P.106
	映像や音声が一瞬止まる	• 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	–
	画面サイズがおかしい	• 4:3 / 16:9 LB / 16:9 PS のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	–

次ページへつづく

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
再生	**再生中の映像が乱れる 再生中の色がおかしくなる**	• 早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。	–
		• 本機とテレビを直接つないでいますか。他の録画機器などを経由して本機とテレビをつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。	–
		• 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。	–
	DVDの再生が途中で自動的に止まる	• DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。	–
	音声が出ない 字幕が出ない	• AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 －つないだ機器の電源が入っていますか。 －つないだ機器の入力切換が合っていますか。 －ケーブルやコードを正しく(入力／出力も含む)つないでいますか。	–
		• [音声出力設定]が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか。	P.215
		• 字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。	P.240
		• ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	–
	外部入力で録画した番組を再生すると、 ２つの音声が 混ざって聞こえる	• [録画設定]の[外部入力音声]を[ステレオ]にして録画していませんか。 ➡ 録画前に、設定を[二カ国語]にしてから録画してください。	P.240
	二カ国語音声が切り換えできない 日本語と英語が切り換えできない	• [録画設定]の[二カ国語音声]と[外部入力音声]で設定されている音声で記録されます。 ➡ 録画前に、これらの設定を確認してください。	P.240
	ディスクやUSB-HDDに録画した番組が見つからない	• HDDに代理録画されていませんか。	P.101
	デジタル音声の 二重音声が 切り換えられない	• [音声出力設定]の[ドルビーオーディオ]、[DTS／DTS-HD]または[AAC]を[自動]に設定してビットストリーム出力しているときは、本機で二重音声(主音声／副音声)を切り換える操作をしても、音声が切り換わりません。 ➡ 設定を[PCM]にするか、テレビまたはアンプ側で音声を切り換えてください。	P.215
	ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない	• ディスクに複数の言語が収録されていますか。	–
		• ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。	–
	カメラアングル(映像)が切り換わらない	• カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	–
	録画モード[DR]以外で録画した番組が、録画一覧の番組内容画面上では[DR→○○変換予定](○○は録画モード)または[モバイル変換予定]・[DVD変換予定]と表示されている	• USB-HDDに録画モード[AF]～[AE]で録画するときや、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード[AF]～[AE]で録画するとき、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード[DR]で録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。	P.64、P.83、P.231
		• 録画予約時に持ち出し設定を[作成しない]以外に設定した番組を録画中に、同時動作制限でモバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組の作成が中断された場合は、持ち出し番組を後で変換する状態となり、録画一覧上で録画モードの箇所に[モバイル変換予定]・[DVD変換予定]と表示します。	P.77
	本機に録画した番組が、DLNA対応機器の録画一覧に表示されない	• ダビング中や通常録画中の場合は、番組数が多いと、録画一覧への更新に時間がかかり、番組が録画一覧に表示されないことがあります。 ➡ ダビング中や通常録画中の場合は、動作終了すると、内部処理が行われたあとに録画一覧への更新が早くなります。	–

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
消去・編集・ダビング	**番組の編集・消去ができない** **ディスクの編集ができない** **チャプターの編集ができない**	• 番組やメディアが保護されている場合は、消去や編集はできません。 ➡ 番組やディスクの保護設定を解除してください。 • ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 • 録画モード変換予定またはモバイル変換予定、DVD持ち出し変換予定の番組は、番組の保護／分割／結合はできません。	P.147、P.227 P.227 –
	チャプターを分割できない	• チャプター数がいっぱいになっていませんか。チャプター数は使用するメディアによって上限があります。 ➡ チャプターを結合するか、不要なチャプターを消去してください。	P.143
	番組を消去しても、ディスクの残量が増えない	• BD-R、DVD-R、DVD-RW(AVCREC™)は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。	P.139
	消去した番組を元に戻せない	• 消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、消去してください。	P.137
	初期化した内容を元に戻せない	• 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。内容をよく確認してから、初期化してください。	P.230
	ファイナライズしても、他のDVDプレーヤーで再生できない	• DVDプレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。	–
	ファイナライズが解除できない	• 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)だけです。	P.228
	ダビングすると、元の番組が消える	• コピーワンス番組(1回だけ録画可能番組)のダビングや、ダビング10(コピー9回＋移動1回)番組の10回目のダビングは、「移動」になり、ダビング元の番組は消去されます。	P.173
	ダビングしても字幕がダビングされない	• 録画モードを[DR]、[AF]～[AE]にして録画された番組を高速ダビングしたとき、または[画質選択]で[AF]～[AE]を選んで、等速ダビングした場合は、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ) [画質選択]で[XP]～[EP]を選んでダビングした場合は、字幕情報はダビングされません。	P.240
	ダビングできない	• 市販品のBD-Video／DVD-Videoやレンタルディスクなど、著作権保護・違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされているディスクはダビングできません。 • 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video)／DVD-R(Video)は、ダビングできません。 • ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 • 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 • 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 • 保護されたダビング10番組の10回目またはコピーワンス番組のダビング(移動)はできません。ダビング(移動)するには保護を解除してください。	– – P.245 – – P.147
USB-HDD	**USB-HDDを使用できない**	• USB-HDDの電源が入っていますか。 ➡ USB-HDDの電源を入れたあと、本機の電源を入れてください。 • USB-HDDが正しく接続・設定されていますか。 ➡ 正しく接続・設定してください。 • 本機でUSB-HDDを登録しましたか。 ➡ USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、登録する必要があります。	– P.195 P.197
	USB-HDDに録画できない	• USB-HDDに十分な空き容量がありますか。 ➡ 空き容量が少ない場合は、番組をHDDにダビングしたり、消去したりして空き容量を増やしてください。	P.137、P.154
	USB-HDDの番組が消えてしまった	• USB-HDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、USB-HDDの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 ➡ このようなとき、記録されていた番組が消える場合があります。番組がすべて消えた場合や、USB-HDDが動作しない場合は、USB-HDDを登録し直してください。	P.197

次ページへつづく

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
USB-HDD	**USB-HDDに予約録画した番組が、HDDに録画されていた**	• USB-HDDが無効になっていませんか。 ➡ USB-HDDを正しく接続しているか、またはUSB-HDDの電源が入っているかどうかをご確認ください。	P.195
		• 本機に登録されていないUSB-HDDを接続していませんか。 ➡ USB-HDDを登録するか、本機に登録済みのUSB-HDDを接続してください。	P.195、P.197
		• USB-HDDへ予約録画中に停電があったとき、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きは HDDへ代理録画します。	P.197
	USB-HDDの番組が再生できない	• 通常録画したあとでUSB-HDDの登録を解除していませんか。 ➡ 登録を解除してしまうと、USB-HDDを接続しても番組を再生できなくなります。また、再登録する場合は、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。	P.197
機器制御機能	**[機器制御]機能がはたらかない**	• [機器制御]機能は、本機とHDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどを組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合のみ使えます。	P.199
		• [機器制御]機能が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、機器制御機能が無効となります。 ➡ 電源プラグやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または[HDMI接続設定]から[機器制御]の設定を一度[切]に変更して決定したあともう一度設定を[入]に変更して決定すると、再び[機器制御]機能が有効になります。	–
リモコン	**リモコンがはたらかない 本機だけ、テレビだけ、など一部のボタンを押しても動作しない**	• 本機側とリモコン側のリモコンモードが合っていますか。	P.43
		• 乾電池が消耗していませんか。	P.17
	HDDの操作ができない	• 操作先がHDD(本機のHDD LEDが点灯)になっていますか。 ➡ HDD を押して操作先をHDDに切り換えてください。	P.20
	ディスクの操作ができない	• 操作先がディスク(本機のDISC LEDが点灯)になっていますか。 ➡ DISC を押して操作先をディスクに切り換えてください。	P.20
	USB-HDDの操作ができない	• 操作先がUSB(本機のUSB LEDが点灯)になっていますか。 ➡ USB を押して操作先をUSBに切り換えてください。	P.20
	テレビの操作ができない	• テレビメーカーの設定をしていますか。	P.41
		• 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。	P.17
		• 乾電池を交換したり乾電池が消耗したりした場合は、テレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(FUNAI)に戻ることがあります。電池を交換していない場合は、リモコンの電池をすべて新品に交換してください。電池を交換したあとは、テレビメーカー番号を再設定してください。	P.17、P.41
その他	**何も操作していないのに、本機の内部で音がする 本機の動作音が大きくなる**	• 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。	–
		• 高速記録対応ディスクを使用してダビングしているとき動作音が大きくなります。	–
	[BD視聴制限]、[DVD視聴制限]、[インターネット接続]、[BDインターネット接続]または[視聴年齢制限]の暗証番号を忘れた	• これらの設定画面で暗証番号入力画面が表示されたときに、4737を入力してください。暗証番号と制限設定値がクリアされます。新しい暗証番号を作成し、設定し直してください。	P.49、P.210

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

インターネットの接続制限機能について

- 本機には、インターネットサービスを利用する際に、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限する機能を搭載しています。
- インターネット接続制限についてくわしくはP.211をご覧ください。

HDD（内蔵ハードディスク）およびUSB-HDD（外付けハードディスク）についての重要なお願い

- 本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- HDDは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので、以下のことにお気をつけください。
  - 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
  - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
  - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
  - 背面の冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
  - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
  - 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず  を押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
  - 衝撃･振動･誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなる恐れも十分にあります。このためHDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとにディスクにダビングするまでの一時的な保管場所として使用してください。また、HDD内に壊れかけている部分がある状態で録画した場合は、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生したりすることがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合は、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
  こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ非常に精密な機器です。ディスクなどへのバックアップを前提のうえで使用してください。
- USB-HDDやSeeQVault-HDDに、録画番組などのデータを記録した場合でも、記録したデータが長期的に保管できることを保証するものではありません。

無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。（FBR-HW500をのぞく）
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

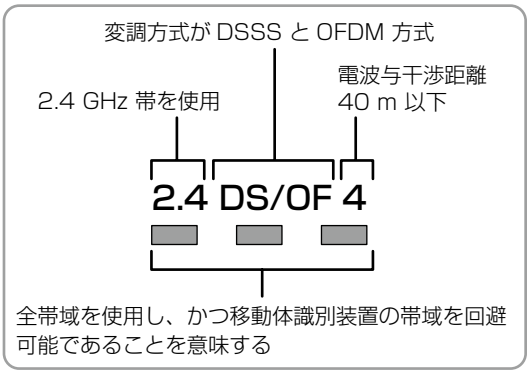
連絡先：船井電機　お客様ご相談窓口

0120-055-271

※　間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



（FBR-HW500をのぞく）

- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b／g／n

IEEE802.11a／n

~~J52~~ | **W52** | **W53** | **W56**

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE802.11 b／g／n		1 ～ 13	2.412 ～ 2.472GHz
IEEE802.11 a／n	W52	36,40,44,48	5.18 ～ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ～ 5.32GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140	5.50 ～ 5.70GHz

※　本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
  - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a／b／g／nの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
  - 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。P.196
  - 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

▷本機は日本国内専用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
  This recorder is designed for use in Japan only.

▷取扱いに関すること

- 非常時をのぞいて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- **[クイック起動]** を設定している時間帯は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

▷使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。

▷置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

使用上のお願い(つづき)

▷お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機の汚れは柔らかい布（ガーゼなど）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナーなど有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させます。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ったあとに拭き取ります。中性洗剤を使って拭いたあとは、温水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本機に水が入らないように、十分注意してください。
- 本機には内部で発生した熱を外部へ逃がすために冷却用ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がれてしまうと放熱が不足し故障の原因となりますので、本機背面および底面の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。

▷クリーニングディスクについて

- 市販品のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

▷アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続したとき、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販品のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合は改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良がないように十分確認してください。

▷地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。（ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。）
- 地上デジタル放送の特長
  - ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
  - ② 高音質放送（MPEG-2 AAC方式）
  - ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
  - ④ データ放送や双方向通信サービス
    （通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が利用できます。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども利用できます。）
  - ⑤ 移動体受信・部分受信サービス
    （本機では部分受信サービスは受信できません。）

▷放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス（インターネットを利用した映像配信サービス、その他の放送・通信サービスなど）は、予告なしに放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

▷ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。また、ディスクトレイ上から押したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは１枚だけです。２枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

▷音量について

- 市販品のBD-Video ／ DVD-Videoの中には、音量がテレビ放送や音楽用CDなどよりも小さく感じられる場合があります。このようなディスクの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

▷たいせつな録画･録音･編集について

- たいせつな録画･録音･編集の場合は、事前に試し録画･録音･編集を行い、正しくできることを確かめておいてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画･録音･編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。このときは、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のためコピーワンス番組（1回だけ録画可能番組）などの録画はバックアップをとることはできません。

▷停電について

- 本機の録画中に停電があったとき、その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があったとき、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きはHDDへ録画する場合があります。

▷本機前面の待機時動作中LEDが点灯したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データの取得中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

▷メディア再生時の制限事項

- 本書では、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販品のBD-Video ／ DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作した通りに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、現在本機もしくはディスクがその操作を行えないことを示します。

▷録画／録音／ダビング時の制限事項

- 市販品のコピーが禁止されたBD-Video／DVD-Video、音楽用CDは本機でコピーできません。
- 録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。コピーワンス番組（1回だけ録画可能番組）やダビング10（コピー9回＋移動1回）番組※1は、HDD／USB-HDD（外付け）またはBD-RE／BD-Rに録画できますが、DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)への録画はできません。（CPRM※2対応のDVD-RW（VR、AVCREC™）／DVD-R（VR、AVCREC™）はダビングできます。）BD-Video／DVD-Videoにはダビング（移動やコピー）できません。
- HDDに録画したコピーワンス番組は、USB-HDD（外付け）やBD-RE／BD-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW（VR、AVCREC™）／DVD-R（VR、AVCREC™）へのダビングは、移動は可能ですがコピーはできません。
  HDDに録画したダビング10番組は、USB-HDD（外付け）やBD-RE／-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW（VR、AVCREC™）／DVD-R（VR、AVCREC™）へのダビング（移動やコピー）は、回数に制限があります。
- SeeQVault-HDDをバックアップ用に使用し、ダビング10番組をバックアップまたはダビングした場合は、1回分のダビングとなり、番組はコピーワンスになります。
- コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。

※1 ダビング10および条件についてくわしくはP.273をご覧ください。

※2 CPRMや各ディスクについてくわしくはP.221をご覧ください。

▷ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。
- 本機の**[放送波による自動更新]**を**[自動更新する]**に設定しておくと、放送電波（地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。）の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアを更新させることができます。（お買い上げ時は、**[自動更新する]**に設定されています。）
- ソフトウェアの更新や**[自動更新する]**についてくわしくはP.204をご覧ください。ソフトウェアの更新中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

▷HDMI連動機能（[機器制御]機能）について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作を保証するものではありません。

▷インターネット機能について

- インターネットの利用には、FTTH（光ファイバー）、ADSL、CATVなどのインターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

▷結露（露付き）について

- 結露（露付き）とは、例えば、よく冷えたビールをコップについだときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。
- 結露（露付き）は本機が下記の状態のときにおきやすくなります。
  - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
  - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
  - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
  - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
- 結露（露付き）がおきたとき、またはおきそうなときは、本機のご使用を直ちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。
  結露（露付き）がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。

▷本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合は、各種「本機を初期化する」P.223を行い、暗証番号や個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- miniB-CASカードの廃棄に関しては、付属のminiB-CASカードの台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」に従ってください。

▷ライセンス情報

本製品に使用されるソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれのソフトウェアコンポーネントには、当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、GNU General Public License（以下、GPL）およびGNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェアが搭載されています。
  - **GPLソフトウェア**：linux、busybox、dhcpcd、wpa_supplicant、e2fsprogs、util-linux、mtd-utils、mkdosfs、exfat-utils
  - **LGPLソフトウェア**：DirectFB、gmp、eglibc、xfsprogs、libmbfl、Microhttpd
- 本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証等、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。
- 詳細については、ホーム➡**[設定/お知らせ]**➡**[本体設定]**➡**[その他]**➡**[ソフトウェア情報と更新]**の**[ライセンス情報]**でご確認いただけます。
- 組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

（連絡先）
〒574-0013
大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
船井電機株式会社

▷著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報･機器･サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード（複製防止）機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されている映画や番組は録画できません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audioおよびダブル D記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc.
© DTS, Inc. All Rights Reserved

dts 2.0+Digital Out

使用上のお願い(つづき)

- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、Blu-ray 3D™（ブルーレイ3D）、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™ および関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

Blu-ray 3D™　BD LIVE™

BDXL™　AVCREC™

BONUS VIEW™

- “DVD Logo” はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。

DVD VIDEO/RW/R

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、 およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- Oracle と Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。

Java POWERED

- “AVCHD 3D／Progressive” および “AVCHD 3D／Progressive” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCHD™ 3D/Progressive

- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

x.v.Color

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License およびVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録するとき
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生するとき
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生するとき
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
  © 1996-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™

NetFront® Browser DTV Profile

この製品はVerance Corporation（ベランス･コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2017 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

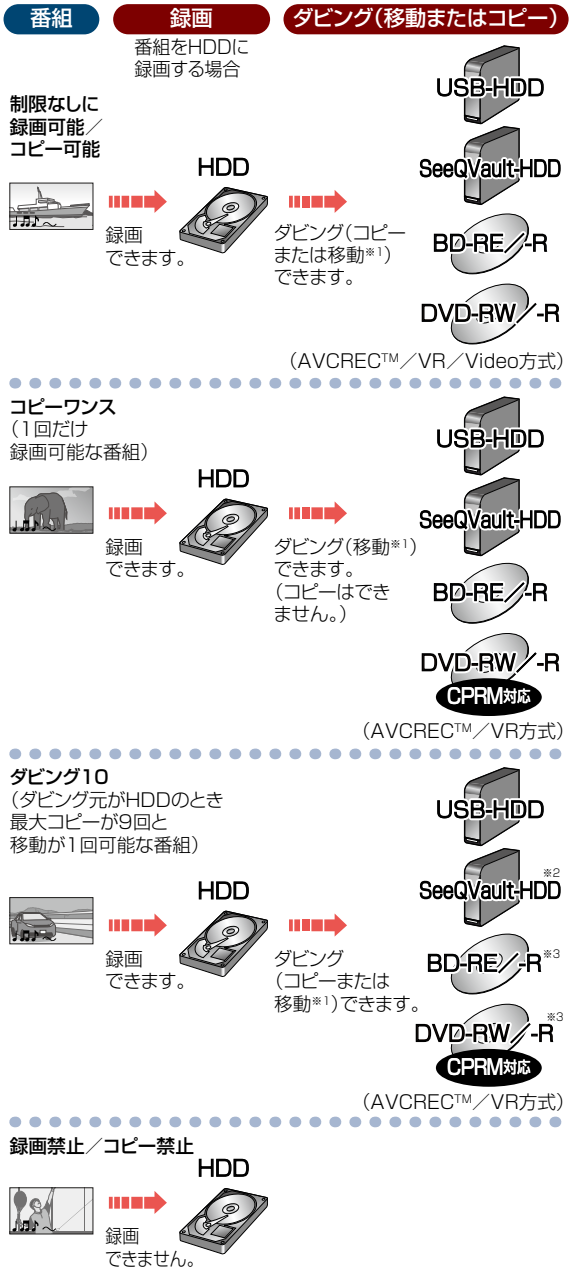
- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.

SeeQVault™

- 本製品に搭載されている「UD新ゴ R」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

▷デジタル放送の番組と録画制限について

デジタル放送には視聴が有料の番組となる場合があることに加え、録画やダビングを行う際にもご注意いただきたい制限事項などがあります。



- ダビングについてくわしくは P.153〜P.173 をご覧ください。

※1 移動したとき、ダビング元のHDDやメディアでは、その番組は再生できなくなります。

※2 SeeQVault-HDDにダビング10番組をダビングしたとき、番組はコピーワンスとなります。

※3 ディスクにダビング10番組をダビングしたとき、番組はコピーワンスとなります。

用語解説

数字・アルファベット順

4Kアップコンバート

横4,000×縦2,000前後の高解像度の映像方式のことです。単に「4K」、あるいは「4K解像度」と呼ばれることもあります。フルHD（1,920×1,080）の約4倍の解像度で、小さな文字もつぶれずに表示することができます。

AAC

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AACS

Advanced Access Content Systemの略で、Blu-ray Disc™で採用されている著作権保護技術です。

AVC（録画モード）

Advanced Video Codecの略で、DVDなどにハイビジョン映像を録画するための規格です。

AVCHD方式

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

BD-J

BD-VideoにはJavaアプリケーションを含むものがあり、これをBD-Jと呼びます。通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

BD-Live™

BD-Live™は、BD-Video（BD-ROM Profile 2.0）の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

BD-Video

BD-Videoとは、Blu-ray Disc™における映像記録用の標準的な規格のことです。市販されている映画などの記録に用いられています。

BDAV方式

デジタル放送の番組などを記録したブルーレイディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したり、ダビングしたりすることができます。

CPRM

Content Protection for Recordable Mediaの略で、コピーワンス番組（1回だけ録画可能番組）に対する著作権保護技術です。

Deep Color（ディープカラー）

従来の8ビットの色数を超える色調表現が可能な技術で、色じまのない、より自然に近い色を再現できます。

DHCP機能

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

DLNA

AV機器やモバイル、パソコンなどにおいて、機器やメーカーを問わず、ネットワーク経由での相互接続を容易にするためのガイドラインのことです。

DLNA対応機器同士をネットワーク接続すると、他機に保存してある動画などのデータがもう一方の機器から操作できます。

DNS

Domain Name Systemの略で、インターネットで通信を行うコンピュータにアクセスしやすくするため、ネットワークやコンピュータにドメインネーム（ドメイン名）と呼ばれる名前を付けて管理するシステムです。

DTS®

DTS社が開発したデジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®

DTS®をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまでの音声出力に対応しています。

GB（ギガバイト）

HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD、ブルーレイディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

HDD（ハードディスクドライブ）

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。（お客様ご自身でHDDを交換できません。）

HD放送（ハイビジョン画質）

高精細度テレビジョン放送のことで、走査線数（画面を構成する絵素の輝度または色の数）を増やし、かつワイドアスペクト比（16：9）を採用することにより、鮮明な映像を実現したテレビジョン放送です。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

HDMI-CEC

HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

IPアドレス

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

JPEG（ジェイペグ）

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。

ファイル容量を小さくでき、画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

LPCM

LPCMはLinear Pulse Code Modulationの略で、信号を一定時間ごとに数値化（サンプリング）して記録するPCM方式の一種で、アナログ信号をそのまま圧縮せずにデジタル音声に変換された音声信号のことです。

リニアPCM（ピーシーエム）とも呼ばれます。

LAN（ラン）

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

LAN録画

同一ネットワークに接続されたスカパー！HD録画やCATV（ケーブルテレビ）にハイビジョン画質で録画したり、ダビングしたりできます。

MPEG（エムペグ）、MPEG-2、MPEG-4 AVC／H.264

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。MPEG-4 AVC／H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC

日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVD-Videoは視聴できないことがあります。

PINコード（ピンコード）

Personal Identification Numberの略で、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

SDカード

SDメモリーカード（SD Memory Card）はフラッシュメモリーの一種です。

SeeQVault（シーキューボルト）

SeeQVault対応機器、またはSeeQVault対応メディアに記録したHDコンテンツを、別のSeeQVault対応機器で再生することができる新コンテンツ保護技術です。

SKP（録画モード）

スカパー！プレミアムサービスの録画モードのひとつです。

SSID

Service Set IDentifierの略で、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。

USB

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ／デジタルカメラなどを接続して、写真（JPEGファイル）の再生やハイビジョン画質（AVCHD方式）動画のHDDへの取り込み（ダビング）ができます。

USB-HDD（ユーエスビーハードディスクドライブ）

USB端子付きの外付けHDDです。USBケーブルを使って本機背面のUSB端子につなぐことができます。

USB機器

主に本機前面のAV周辺機器用USB端子に接続されたUSBメモリーを指しますが、USB端子（USBケーブル）を介した、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、SDカードリーダーに挿入されたSDカードも含まれます。

AV周辺機器用USB端子では、お持ちの機器に保存されているAVCHD方式のファイルの取り込み（ダビング）や、JPEGファイルの再生も可能です。

USBハブ

USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブを使うとUSBポートを増やすことができます。

VBR（可変ビットレート方式）

Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い／少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

VR方式

DVDに記録する際の記録方式のひとつで、デジタル放送を標準画質で記録するのに適しています。

あ

頭出し

番組や音楽用CDの再生中に、前または次のチャプターやトラックへとばす操作のことです。

アスペクト（比）

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比のことです。

アッテネーター

信号を弱くする装置（減衰器）のことです。設定を**[入]**にすると強すぎる信号レベルが適正なレベルになり、信号品質が良くなるときがあります。

アンテナレベル

地上／BS・110度CSデジタル放送の放送電波の受信強度をあらわしたもので、一定レベル以上の電波が受信できれば視聴が可能になります。

イベントリレー

野球放送など（イベント）録画中に放送時間が延長されたときに、引き続き（リレー）録画できる機能のことです。

インターフェース

二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたものを意味します。

インターレース（飛び越し走査）（480i）

テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1つの画像（有効走査線数480本）を1本とばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒（30コマ／秒）で映します。

お知らせメール

本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード（掲示板）のことです。

次ページへつづく

用語解説(つづき)

おすすめ再生機能
お気に入りの条件と見やすい画面で番組を楽しめる機能です。

お引越し(LAN)
本機と同一ネットワーク環境に接続した当社製のLAN録画対応機器に、ハイビジョン映像の画質を劣化させずにダビングできます。

音声・音声言語
番組の視聴や再生、録画するときの音声や音声言語を設定できます。

か

外部入力
本機につないだビデオデッキやビデオカメラの映像を見たり、CATV(ケーブルテレビ)やスカパー! SD(標準画質)の映像を見たり、録画したりできます。

画質レート
ビットレートともいいます。数値が高いほど高画質になります。

画面表示
視聴中や再生中の番組情報や、再生中や録画中などの本機が動作している状態が表示されます。

かんたん一括設定
ホーム ➡ **[設定]**／**[お知らせ]** ➡ **[かんたん一括設定]** で、以下の設定をやり直すことができます。
チャンネル設定／ネットワーク設定／その他設定

機器連携設定
FUNAI Connectアプリ、番組の配信など、ネットワークを使った連携機能が利用できます。

クイック起動
電源「入」時に本機が使用できるまでの時間を短縮します。設定している時間帯に電源プラグをコンセントから抜く場合は、必ず設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。

結露／露付き
本機を温度差や湿度差の激しい場所に置いたり移動したりすると、本機内部のピックアップレンズや部品、部品の内部などに水滴がつくことがある現象を指します。

言語コード一覧
音声言語設定で **[その他の言語]** を選んだときに必要な、4桁のコード一覧です。

コピーガード、コピー制御信号
複製防止機能のことです。著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されている映画や番組は録画できません。

コピーワンス番組(1回だけ録画可能番組)
地上／BS・110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。
ダビング先のメディアに移動(ムーブ)させることはできますが、ダビング元(オリジナル)のメディアからは消去されます。

さ

サーバー名
ネットワーク上で表示される本機の名前のことです。

最大記録可能数／登録数／文字数
録画できる番組やチャプターの記録、作成可能なフォルダの最大数および番組名やメディア名に制限される文字列数などの数値を指します。

サブネットマスク
IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。

サムネイル
元画像を縮小した見本イメージを確認するために利用されます。

自己診断機能
本機の主な動作やチャンネル状況を診断したり、ディスク、USB-HDD、SDカードの情報を表示したりする機能です。

視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やディスク側で設定された視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生できます。

字幕放送
デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示する放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する【文字スーパー】という機能もあります。

初期化(フォーマット)
録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときに行います。初期化(フォーマット)を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

スカパー! SD(標準画質)の録画
スカパー!の標準テレビジョン放送を外部入力で録画することです。標準テレビジョン放送の画素数は720×480、アスペクト比は16:9／4:3となります。

スライドショー
選択した一連の画像(写真)を順次表示する動作のことです。

セカンダリ音声
音声に複数の言語が記録されているBD-Videoの再生中に、音声を切り換えることができます。ピクチャー・イン・ピクチャー対応のBD-Videoでは、インタラクティブ音声やコメンタリ音声などのサブトラック音声を設定することができます。

セカンダリビデオ
ピクチャー·イン·ピクチャー対応のBD-Videoの再生中に、子画面の設定や切り換えができます。

双方向通信サービス、通信
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。

た

ダウンロード
ソフトウェアなどを、サーバーからネットワークなどを使って、機器に転送することです。

宅内配信
本機と同一ネットワーク環境に接続してある端末機器への配信のことです。

ダビング
HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD／ディスクやSDカードなどに録画した番組を複製または移動することです。

ダビング10番組（コピー9回＋移動1回番組）
地上／BS·110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護·違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、HDDまたはCPRM対応のBD-REいずれか一方に9回までダビングすることが許可されている番組のことを、ダビング10番組（コピー9回＋移動1回番組）といいます。
HDDまたはCPRM対応のBD-REに録画したダビング10番組の録画は、9回目までダビングすることができますが、10回目はダビング先のメディアに移動（ムーブ）され、ダビング元（オリジナル）のメディアからは消去されます。

チャプター
録画された映像に付与された区切りを「チャプター」といいます。本（小説など）でいう「章」にあたります。

チューナー
放送電波を受信する装置のことです。
本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

超解像設定
映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。

通常配信
DLNA対応機器間で、配信先に対して元の番組の解像度のまま配信することです。

ディスク
大容量で記録できる円盤状の電子媒体／光ディスクのことで、ブルーレイディスク／DVD／CDなどがあります。
お好みの番組を長期間保存したいときなどはブルーレイディスクへの録画（またはダビング）をおすすめします。

データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。
また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。
その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどがあります。

デジタルハイビジョン
デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。
有効走査線数1080本です。

デフォルトゲートウェイ
LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行うときに、出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

テレビ画面保護
テレビ画面の焼き付きを保護する機能のことです。画面の表示中に操作をしない状態が約15分続いた場合は、自動的にテレビ放送画面に戻ります。音楽一覧や写真一覧画面の表示中の無操作時はスクリーンセーバーが起動します。

同軸ケーブル
電気信号を転送するための電線の一種です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

独立データ放送
番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスのことです。

どこでも視聴
スマートフォンやタブレットにインストールしたFUNAI Connect アプリを用いて、本機で録画した番組や放送中の番組を外出先でも視聴できる機能のことです。

どこでも予約
スマートフォンやタブレットにインストールしたFUNAI Connect アプリを用いて、外出先から録画の予約ができる機能のことです。

トラック
音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス
(Dolby Audio - Dolby Digital Plus)
ドルビーオーディオ - ドルビーTrueHD
(Dolby Audio - Dolby TrueHD)
ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラスは、ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。
ドルビーオーディオ - ドルビーTrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。
両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

次ページへつづく

用語解説(つづき)

ドルビーダイナミックレンジ
ドルビーオーディオで記録された番組の音声レベルの最小値と最大値の差のことで、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすい音質に調整して再生することができます。

ドルビーデジタル(Dolby Digital)
ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。
この技術をPCM記録の代わりに用いることで、記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

な

ノイズリダクション
映像信号に含まれるノイズを軽減・抑制し、より見やすい映像に最適化する内部処理のことです。

は

バーチャル・パッケージ
一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。
データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送
HDはHigh Definitionの略で、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。
SD放送(Standard Definition)と呼ばれる標準画質よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

番組/チャプター
HDDやブルーレイディスク/DVDの大きな区切りを「番組」、番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

番組表
放送を予定している番組を、各放送局と放送時間に分けて表形式でまとめている一覧です。個々の番組を選ぶと、詳細情報を見たり、録画を予約したりすることができます。

ピクチャー・イン・ピクチャー(子画面)
対応しているBD-Videoの再生中に、子画面で本編とは異なるコンテンツを表示させることができます。

ビットストリーム
圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているテレビやAVアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート
映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD放送
SDはStandard Definitionの略で、標準画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は480本です。

ファイナライズ
本機で録画したBD-R/DVD-RW/DVD-Rを、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

ファイル
お持ちのビデオカメラで撮影した動画やデジタルスチルカメラで撮影したJPEGファイルなどの総称です。

フォルダ
録画した番組を分類・整理するための保管場所のことです。

ブロードバンド
高速通信ができるインターネット接続サービスのことをいいます。

プロキシ
プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

プログレッシブ(順次走査)(480p)
テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。
インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

分波器
アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110 度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

変換配信
DLNA対応機器間で、配信先からの再生解像度の要求に合わせて番組の解像度を変えて配信することです。

放送受信設定
地上デジタル放送のチャンネルやアンテナなど、お住まいの地域に合わせて設定する機能を指します。

放送の種類
地上デジタル放送は、地上にあるデジタル方式の無線局から放送信号を受信するテレビ放送のことです。BS放送のBSとは、Broadcast Satelliteの略で、放送衛星を用いたテレビ放送のことです。また、110度CSデジタル放送のCSとは、Communication Satelliteの略で、通信衛星を用いたテレビ放送のことです。BS、CSいずれの放送信号も、東経110度にある衛星のアンテナから受信しています。

ホームメニュー
本機の主たる機能を一覧で表示させるメニュー画面のことです。

ホームネットワーク
家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。

ポップアップメニュー
BD-Videoの再生中に、設定項目などが最前面に現れるメニュー画面のことです。

本体設定
映像や音声、接続および本機を活用するためのいろいろな各種設定・変更ができます。

ま

マルチ番組（マルチビュー）
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

無操作電源オフ
電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定が行えます。

メッセージ
本機で処理された結果や注意を促したい場合に、それらの情報を画面に表示します。また、システムにエラーが発生した場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。

メディア
番組の録画やAVCHD／JPEGファイルなど、データそのものや、詳細情報などの付加情報を記録･伝送する際に使われる物理的な装置や機器のことを指します。

文字スーパー
設定された言語（日本語または英語）で表示される文字情報のことです。ニュース速報や気象警報発令時などでは強制的に表示される場合もあります。

文字入力
番組名またはフォルダ名の登録や変更および番組検索、通信設定などに使用します。

持ち出し設定
録画予約時にモバイル持ち出し番組やDVD持ち出し番組の作成を予約できます。

モバイル持ち出し番組
FUNAI Connect アプリをインストールした端末機器で、番組を視聴したり、持ち出したりできるように、モバイル持ち出し用に録画したり、録画した番組を変換したりした番組を指します。

や

有料放送事業者
別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー！などがあります。

ら

ライブ配信
DLNA対応機器間で、放送中の番組を配信することです。

ラジオ放送
BSデジタル放送および110度CSデジタル放送で行われているラジオ放送のことです。番組によって音楽用CD並みの高音質なラジオ放送を楽しむことができます。

リージョンコード（再生可能地域番号）
BD-Video／DVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合は、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだ映画や番組のみ再生できます。

リモコン
本機と離れた場所から、遠隔で操作･制御できる小型の操作盤（ユニット）を指します。

冷却用ファン
本機と外部の空気を循環させるためのファンで、本機の内部が熱くなるのを防止する役割があります。

レジューム機能（つづき再生）
再生中に停止したときの再生停止位置（レジュームポイント）を記憶する機能のことです。このレジュームポイントから再生を開始することをつづき再生と呼びます。

録画
放送中の番組や外部入力からの映像･音声信号を記録することを指します。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■保証書(梱包箱に貼り付けしています)について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)の「修理規約」も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

船井電機お客様サポートサイト
funai.jp/cs/

- 製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。一度ご覧ください。それでも解決しない場合には、当社お客様ご相談窓口までお電話をお願いいたします。

お客様ご相談窓口のご案内

取扱い・修理に関するご質問は、
お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合はご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(他機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認を行った交換用製品となります。
  なお、交換後の製品は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- お名前
- ご住所
- 電話番号
- お買い上げ製品の型番
  (この取扱説明書または保証書に記載)
- お買い上げ製品の製造番号
  (保証書または本機背面のラベルに記載)
- お買い上げ日
- 症状(故障または不具合の内容)
  「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

0120-055-271 (通話料無料)

受付時間 9:00～18:00(年末年始を除く)

※ 時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※ FAXをご利用の方はこちらまで ☞ FAX：06-6746-3374

■ 付属品のご購入についてはこちらをご確認ください。

https://www.funai-service.co.jp/shop/funai/

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

(2018年10月現在)

症状診断シート

本機の故障･不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下[　　]の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

全情報の初期化： 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になる場合があります。

全情報の初期化を行うと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USB メモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB 機器※や内蔵ハードディスクの初期化を行うと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。※USB 機器は再登録も必要となります。

☐ 同意する

☐ 同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

【不具合症状】

発生区分 ：☐ 地デジ　☐ BS／CS　☐ ハードディスク　☐ USB 機器　☐ BD ディスク　☐ DVD ディスク
☐ その他（　　）

発生頻度 ：☐ 常時　☐ 時々　☐ その他（　　）

症状：（できるだけくわしく）　例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。

受信環境 ：☐ 戸建住宅（個別受信）　☐ マンションなど（共同受信）　☐ ケーブルテレビ（社名：　　）

接続機器 ：☐ テレビ　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ レコーダー　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ 外付け HDD（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ その他　（　　）

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。
（この製品の型番、製造番号は保証書及び本機背面などに記載してあります。）

お買い上げ年月日	年　月　日	miniB-CAS カード番号※
お買い上げ店名／電話番号	☎	
お買い上げ製品の型番	☐ FBR-HT2000　☐ FBR-HW1000 ☐ FBR-HT1000　☐ FBR-HW500 （お買い上げいただいた製品の型番の☐にチェックを入れてください。）	
お買い上げ製品の製造番号		

※「miniB-CAS カード情報」画面 P.242 で確認できる「カード ID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。

愛情点検 ● **長年ご使用の製品の点検を！**（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような症状はありませんか
- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

→ **ご使用中止**　このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

仕様

<table>
<tr><td rowspan="11">一般</td><td colspan="2">電源</td><td colspan="3">AC 100 V 50／60 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格消費電力</td><td colspan="3">FBR-HT2000：26 W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 41 W）
FBR-HT1000：26 W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 41 W）
FBR-HW1000：23 W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 38 W）
FBR-HW500 ：21 W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 36 W）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">待機時消費電力※1</td><td>クイック起動：
設定した時間帯</td><td>アンテナ出力設定：入
地上デジタルアッテネーター：切</td><td>FBR-HT2000：約14.1 W
FBR-HT1000：約13.5 W
FBR-HW1000：約12.4 W
FBR-HW500 ：約10.0 W</td></tr>
<tr><td>待機モード設定：
モード1</td><td>アンテナ出力設定：入
地上デジタルアッテネーター：切</td><td>FBR-HT2000：約7.5 W
FBR-HT1000：約7.5 W
FBR-HW1000：約6.8 W
FBR-HW500 ：約6.5 W</td></tr>
<tr><td>待機モード設定：
モード2</td><td>アンテナ出力設定：切
地上デジタルアッテネーター：入</td><td>FBR-HT2000：約0.06 W
FBR-HT1000：約0.06 W
FBR-HW1000：約0.06 W
FBR-HW500 ：約0.06 W</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容動作温度</td><td colspan="3">5～40 ℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容湿度</td><td colspan="3">80%最大（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="3">430（幅）× 48（高さ）× 212（奥行）mm（突起部を含む）
430（幅）× 47（高さ）× 202（奥行）mm（突起部を含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td colspan="2">FBR-HT2000：2.6 kg
FBR-HT1000：2.4 kg</td><td>FBR-HW1000：2.4 kg
FBR-HW500 ：2.1 kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモコン</td><td colspan="3">FRM-100BDR</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDD／ブルーレイディスク部</td><td rowspan="2">録画方式</td><td>ブルーレイディスク</td><td colspan="3">Blu-ray Disc™ Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format準拠</td></tr>
<tr><td>DVD</td><td colspan="3">DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC™規格準拠</td></tr>
<tr><td colspan="2">HDD容量</td><td colspan="2">FBR-HT2000：2TB（2,000GB）
FBR-HT1000：1TB（1,000GB）</td><td>FBR-HW1000：1TB（1,000GB）
FBR-HW500 ：500GB</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画圧縮方式</td><td colspan="3">MPEG-2、MPEG-4 AVC／H.264</td></tr>
<tr><td colspan="2">録音圧縮方式</td><td colspan="3">ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画可能ディスク</td><td colspan="3">「本機で使えるメディアについて」P.221をご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画時間</td><td colspan="3">「記録時間一覧表」P.248をご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生可能ディスク</td><td colspan="3">「本機で使えるメディアについて」P.221をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リージョンコード</td><td>ブルーレイディスク</td><td colspan="3">Region A</td></tr>
<tr><td>DVD</td><td colspan="3">Region 2、ALL</td></tr>
<tr><td>チューナー部</td><td colspan="2">受信チャンネル</td><td colspan="3">地上デジタル　：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63）
BSデジタル　：BS000～BS999チャンネル
110度CSデジタル：CS000～CS999チャンネル</td></tr>
<tr><td rowspan="8">端子部</td><td colspan="2">映像入力端子※2</td><td colspan="3">ピンジャック　1.0 V（p-p）　75 Ω</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声入力端子※2</td><td colspan="3">ピンジャック　2 V（rms）　47 kΩ不平衡</td></tr>
<tr><td colspan="2">HDMI出力端子</td><td colspan="3">HDMI端子　19 ピン　Type A</td></tr>
<tr><td colspan="2">SDカードスロット※2</td><td colspan="3">SDカード、SDHCカード、SDXCカード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">USB端子</td><td>前面：AV周辺機器用</td><td colspan="3">USB2.0準拠　Type A　DC5 V　最大 500 mA</td></tr>
<tr><td>背面：HDD用</td><td colspan="3">FBR-HT2000／FBR-HT1000：USB3.0準拠　Type A　DC5 V　最大 900 mA
FBR-HW1000／FBR-HW500：USB2.0準拠　Type A　DC5 V　最大 900 mA</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN端子</td><td colspan="3">10 BASE-T／100 BASE-TX</td></tr>
<tr><td colspan="2">地上デジタル入出力</td><td colspan="3">75 Ω　F型コネクター</td></tr>
<tr><td colspan="2">BS・110度CS入出力</td><td colspan="3">75 Ω　F型コネクター（最大DC15 V、4 W）</td></tr>
</table>

※3 内蔵無線LAN	規格	IEEE 802.11 a／b／g／n ARIB STD-T71（5GHz 帯）　J52 は非対応 ARIB STD-T66（2.4GHz 帯）
	伝送方式	IEEE 802.11b:　DSSS（DBPSK、DQPSK、CCK） IEEE 802.11a／g:　OFDM（BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM） IEEE 802.11n:　OFDM（BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM）
	周波数範囲	2.412 ～ 2.472 GHz（Subject to Local Regulations） 5.180 ～ 5.700 GHz（Subject to Local Regulations）
	動作モード	インフラストラクチャーモード（アドホックモードは対応しておりません。）
	セキュリティ	WEP 64bit／128bit、WPA、WPA2

※1　待機時消費電力は、以下の設定で測定しております。設定を変更すると消費電力が大きくなります。
機器連携設定：利用しない／BSアンテナ電源：供給しない
※2　FBR-HT2000／FBR-HT1000のみ。
※3　FBR-HW500には無線LANアンテナは内蔵されていません。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- HDD、BD-RE／BD-Rの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画するときの基準について
地上デジタル（HD放送）：17Mbps・BSデジタル（HD放送）：24Mbps・BSデジタル（SD放送）：12Mbps
- **国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料放送契約上禁止されています。**
It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this product in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.

最大記録可能数／登録数／文字数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

メディア ／ 項目	HDD USB-HDD※1	SeeQVault-HDD※1	BD	AVC方式	VR方式	Video方式
番組数	2,000	2,000	200	200	99	36
チャプター数（1つの番組内）	999	99	100	100	上限なし※2	99
作成できるフォルダ数	99	99	（フォルダ作成できません。）			
チャプター数（メディア内）	上限なし	上限なし	999	999	999	上限なし
メディア名の文字数	全角40文字※3	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角32文字	全角40文字
番組名の文字数	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角32文字	全角28文字

※1　1台ごとの数値です。
※2　ディスク内の最大チャプター数（999）まで、制限はありません。
※3　HDDのメディア名は変更できません。

- 録画予約数　200
- ダビングリストの番組登録数　36
- 1番組あたりの連続録画可能時間　15時間（HDD／USB-HDD）／8時間未満（ブルーレイディスク）

お知らせ
- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

したいことがすぐ分かる！ 逆引きリファレンス

録画したい

- 録画状況を表示したい …… P.53
- 録画モードを変更して視聴中の番組を録画したい …… P.66
- 視聴中の番組を録画したい …… P.66
- 日付を選択して予約したい …… P.70
- 指定したチャンネルの番組を予約したい …… P.70
- マルチチャンネルの番組を予約したい …… P.70
- 好みのジャンルの番組を探しやすくしたい …… P.71
- 番組の詳細内容を確認して予約したい …… P.71
- 番組表を使って予約したい …… P.75
- 連続ドラマ（毎週／毎日）を予約したい …… P.76
- 録画モードを変更して予約したい …… P.76
- BD／USB-HDDに録画されるように予約したい …… P.76
- 予約録画後、番組をすぐに持ち出したい …… P.77
- 指定したフォルダに振り分けられるように予約したい …… P.76
- 録画開始、終了時刻を設定して予約したい …… P.81
- 条件に合う番組を録っておきたい …… P.84
- 予約録画される番組を確認したい …… P.91
- 設定済みの予約の内容を変更したい …… P.91
- 次回以降の連続ドラマの録画を一時停止したい、録画を再開したい …… P.94
- 予約の重複を解消したい …… P.95
- 連続ドラマの予約を取り消したい …… P.95
- CATV（ケーブルテレビ）をハイビジョンで録画したい …… P.97
- スカパー！プレミアムサービスをハイビジョンで録画したい …… P.97
- スカパー！プレミアムサービスを録画したい …… P.99
- CATVを録画したい …… P.99
- ディスクの残量などの情報を確認したい …… P.202
- ダビングできるディスクかどうか確認したい …… P.202
- 番組を検索して予約したい …… P.79
- 同じ番組名を検索して予約したい …… P.85



編集したい

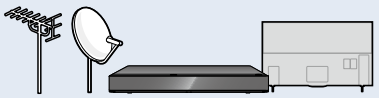
- チャプターを分割したい …… P.142
- チャプターを結合したい …… P.142
- チャプターを消去（切り取り）したい …… P.143
- 番組を2つに分けたい …… P.144
- 2つの番組を1つにまとめたい …… P.145
- 番組名を変更したい …… P.146
- 番組を消去できないようにしたい …… P.147
- フォルダを作りたい …… P.148
- フォルダの名前を変更したい …… P.149
- 番組をフォルダに振り分けたい …… P.150
- フォルダを消去したい …… P.152
- ディスクの番組を消去できないようにしたい …… P.227



録画時間を増やしたい

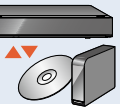
- HDD／USB-HDDの空き容量を増やしたい …… P.140
- ディスクの空き容量を増やしたい …… P.139
- まとめて（フォルダ単位で）番組を消去したい …… P.152
- 録画時間を増やしたい …… P.137
- すべての番組を消去したい …… P.229
- すべての持ち出し番組を消去したい …… P.230

もう一度［かんたん一括設定］をしたい……P.40
本機のリモコンで別の機器が動作しないようにしたい……P.43
デジタル放送の映りを良くしたい……P.46
地上デジタル放送の受信状況を確認したい……P.46
BS／110度CSデジタル放送の受信状況を確認したい……P.47
視聴年齢が制限された放送番組、録画番組をお子様が視聴できないようにしたい……P.49
視聴中のチャンネルの受信状況を確認したい……P.61
視聴年齢が制限されたディスクをお子様が視聴できないようにしたい……P.210



設置

番組をHDD／USB-HDDにダビングしたい……P.154
番組をディスクにダビングしたい……P.157
番組をDVDに高速ダビングしたい……P.160
お引越し（LAN）ダビング……P.164
撮影ビデオ（AVCHD方式）をダビングしたい……P.166
ビデオテープ、撮影ビデオ（AVCHD方式以外）をダビングしたい……P.163
別の機器で再生できるようSeeQVault-HDDにダビングしたい……P.154



ダビングしたい

本機のリモコンでテレビを操作したい……P.41
リモコンの数字ボタンに割り当てられたチャンネルを入れ換えたい……P.44
本機の主な機能を使いたい……P.55
番組表のページを切り換えたい……P.70



便利に使いたい

再生中の番組名を表示したい……P.53
再生位置を表示したい……P.53
リモコンの数字ボタンでチャンネルを切り換えたい……P.56
チャンネル一覧でチャンネルを切り換えたい……P.56
地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送を切り換えたい……P.20
番組名を確認してチャンネルを切り換えたい……P.57
番組連動情報を表示したい……P.57
データ放送やラジオ放送を視聴したい……P.60
視聴中の番組の音声を切り換えたい……P.58
視聴中の番組の字幕を表示したい……P.58
視聴中の番組の字幕を切り換えたい……P.58
SD画質番組の映像の精細感を強くしたい……P.130
視聴制限された番組を一時的に視聴したい……P.110
放送中の番組名を表示したい……P.53
ブルーレイディスク、DVDを再生したい……P.118
AVCHD撮影ビデオのディスクを再生したい……P.120
音楽用CDを再生したい……P.120
ディスクの頭出し再生……P.121
同じ番組やシーンを繰り返し再生したい……P.126
追っかけ再生……P.127
吹き替え再生、字幕再生に切り換えたい……P.128
DVD映像の精細感を強くしたい……P.130
写真を再生したい……P.133
インターネットがつながらない場所でも番組を視聴したい……P.176
入浴中に放送中の番組を視聴したい……P.180
入浴中に録画した番組を視聴したい……P.180
別の部屋で録画した番組を視聴したい……P.178
外出中に放送中の番組、録画した番組を視聴したい……P.181



視聴したい

さくいん

数字・アルファベット順

10 秒戻し ····· 124
30 秒スキップ ····· 124
4K アップコンバート ····· 216
AAC ····· 215
AACS ····· 274
AF、AN、AS、AL、AE ····· 65
AVC ····· 65
AVCHD™ 方式 ····· 120
BD ビデオ副音声・操作音 ····· 215
BD-J ····· 274
BD-Live™ ····· 132
BD-Video ····· 118
BDAV 方式 ····· 16
BS・110 度 CS アンテナ ····· 19
CD ····· 16
CPRM ····· 274
Deep Color ····· 274
DHCP 機能 ····· 274
DLNA ····· 178
DNS ····· 35
DR ····· 65
DTS® ····· 215
DTS-HD® ····· 215
DVD 持ち出し番組 ····· 169
EP ····· 65
GB ····· 248
HDD ····· 244
HDD について ····· 244
残量時間表示 ····· 53
記録内容の全消去 ····· 229
HD 放送 ····· 19
HDMI ····· 19
HDMI 接続設定 ····· 216
機器制御 ····· 199
HDMI-CEC ····· 199
IP アドレス ····· 35
JPEG ····· 133
形式（本機で再生できる JPEG ファイル） 247
JPEG ファイルの再生（スライドショー） ····· 133
LPCM ····· 215
LAN ····· 182
LAN 録画 ····· 97
LP ····· 65
miniB-CAS カード ····· 24
有料放送の契約 ····· 242
MPEG ····· 275
MPEG-2 ····· 275
MPEG-4 AVC ····· 275
MPEG-4 H.264 ····· 275
NTSC ····· 275
PIN コード ····· 37
SD カード ····· 50
接続・設定 ····· 50
USB 接続について ····· 50
SeeQVault ····· 194
SKP ····· 65
SP ····· 65
SSID ····· 36
USB ····· 246
USB-HDD ····· 194
USB-HDD について ····· 244
USB-HDD の登録 ····· 197
名前を変更 ····· 226
記録内容の全消去 ····· 229
USB 機器 ····· 50
USB 機器について ····· 246
USB ハブ ····· 195
VBR ····· 275
VR 方式 ····· 157
XP ····· 65

あ

頭出し ····· 124
サーチ ····· 125
スキップ ····· 124
アスペクト（比） ····· 275
アッテネーター ····· 46
アフターサービス ····· 280
アングル ····· 59
アングルアイコン ····· 214
再生中の切り換え ····· 129
アンテナレベル ····· 61
イベントリレー ····· 275
インターフェース ····· 275
インターレース ····· 216
お知らせメール ····· 208
放送メール ····· 208
CS1 ボード／CS2 ボード ····· 209
おすすめ再生機能 ····· 111
おすすめ再生をする ····· 111
まとめ番組を表示する ····· 112
おすすめ番組を表示する ····· 112
新番組を表示する ····· 113
カテゴリーを登録する ····· 114
ジャンルを登録する ····· 115
出演者を登録する ····· 116
番組を消去する ····· 117
お引越し（LAN） ····· 164
音声・音声言語 ····· 58
音声言語設定 ····· 214
再生中の切り換え ····· 128
視聴中の切り換え ····· 58
録画 ····· 240

か

外部入力 ····· 62
外部入力音声 ····· 214
外部入力の切り換え ····· 62
画質レート ····· 65
画面表示 ····· 53
かんたん一括設定 ····· 31
機器連携設定 ····· 189
クイック起動 ····· 217
結露／露付き ····· 270
言語コード一覧 ····· 218
コピーガード、コピー制御信号 ····· 271
コピーワンス番組 ····· 169

さ

サーバー名 ····· 191
再生 ····· 104
一時停止 ····· 105
追っかけ再生 ····· 127
コマ戻し／コマ送り ····· 123
再生開始位置（レジューム機能） ····· 106
おすすめ再生で見る ····· 111
市販品のディスクの再生 ····· 118
写真（JPEG ファイル） ····· 135
スロー／逆スロー ····· 123
ハイビジョン画質の動画（AVCHD） ····· 120
早見／ゆっくり再生 ····· 122
早戻し／早送り ····· 122
リピート ····· 126
録画した番組の再生 ····· 104
録画一覧 ····· 108
最大記録可能数 ····· 283
登録数 ····· 283
文字数 ····· 283
サブネットマスク ····· 35
サムネイル ····· 133
自己診断機能 ····· 200
視聴 ····· 56
外部入力 ····· 62
チャンネルで選局 ····· 56
番組表から選局 ····· 57
本機で受信できる放送 ····· 241
視聴制限 ····· 210
BD 視聴制限 ····· 211
DVD 視聴制限 ····· 211
デジタル放送の視聴制限 ····· 49
字幕放送 ····· 240
再生中の切り換え ····· 129
視聴中の切り換え ····· 58
字幕言語設定 ····· 214
録画 ····· 240
初期化 ····· 223
BD ビデオデータ消去 ····· 223
USB メモリー ····· 223
すべての初期化 ····· 223
宅外機器の登録 ····· 223
ディスクのフォーマット ····· 224
ネットワーク ····· 223
設定項目 ····· 223
スカパー! SD（標準画質）の録画 ····· 99
スライドショー ····· 133
セカンダリ音声 ····· 128
セカンダリビデオ ····· 131
接続 ····· 26
HDMI ケーブル ····· 19
SD カード ····· 50
USB-HDD ····· 195
USB 機器 ····· 50
アンテナ線 ····· 19
映像・音声接続コード ····· 29
オーディオ機器 ····· 29
ケーブルテレビ ····· 28
電源プラグ ····· 30
双方向通信サービス、通信 ····· 241
ソフトウェア ····· 271

た

待機モード設定 …… 216
ダウンロード……204
　バージョンを確認 ……204
　デジタル放送電波で更新……204
　サーバーで更新 ……205
　宅内配信 ……277
ダビング …… 153
　移動 …… 172
　ダビング …… 172
　高速ダビング …… 160
　コピー …… 168
　ダビング制限 …… 168
　ダビングの種類 …… 153
　ダビング方向 …… 168
　等速ダビング …… 172
　複数番組のダビング…… 154
　ダビング 10 番組 …… 169
チャプター…… 142
　結合 …… 142
　消去 …… 143
　自動チャプター …… 214
　チャプターとは ……277
　チャプターリピート…… 126
　分割 …… 142
チューナー……277
超解像設定 …… 60
通常配信 ……277
ディスク ……277
　残量時間表示…… 53
　ディスク情報……202
　ディスクメニュー …… 118
　名前の変更 ……226
　ファイナライズ……227
　保護･保護の解除 ……227
データ放送 …… 57
デジタルハイビジョン ……277
デフォルトゲートウェイ …… 35
テレビ画面保護 …… 216
同軸ケーブル…… 19
独立データ放送 …… 60
どこでも視聴 …… 180
どこでも予約 …… 180
トラック……247
ドルビーオーディオ …… 215
ドルビーダイナミックレンジ …… 215
ドルビーデジタル (Dolby Digital)… 215

な

ノイズリダクション …… 130

は

バーチャル･パッケージ …… 132
ハイビジョン画質
　HD（エイチディー）放送……278
番組／チャプター……247
　消去 …… 136
　録画一覧 …… 108
　番組とチャプターについて ……247
　番組名の変更 …… 146
　保護 …… 147
番組表 …… 68
　受信 …… 68
　番組の詳細内容…… 71
ピクチャー･イン･ピクチャー
　（子画面）…… 131
ビットストリーム ……278
ビットレート ……278
標準画質、SD（エスディー）放送‥278
ファイナライズ ……227
ファイル ……247
フォルダ……247
付属品 …… 23
フナイコネクト …… 174
ブロードバンド…… 185
プロキシサーバー…… 35
プログレッシブ……278
分波器 …… 26
変換配信 …… 175
編集 …… 136
　チャプター結合 …… 142
　チャプター消去 …… 143
　チャプター分割 …… 142
　番組の結合……145
　番組の分割……144
　番組の保護……147
　番組名の変更……146
　フォルダ順の変更 …… 151
　フォルダの消去 …… 152
　フォルダの作成 …… 148
　フォルダ名の変更 …… 149
放送受信設定……219
放送の種類 ……241
ホームメニュー…… 55
ホームネットワーク …… 178
ポップアップメニュー …… 118
本機 …… 18
　前面 …… 18
　背面 …… 19
　本体設定……213
　項目と設定内容……214
　設定のしかた ……213

ま

マルチ番組 ……279
　再生中の切り換え…… 129
　視聴中の切り換え…… 59
無操作電源オフ …… 216
メッセージ……251
メディア ……279
　本機で使えるメディア……221
　メディア管理……226
文字スーパー……220
文字入力 ……206
持ち出し設定 ……279
モバイル持ち出し番組 …… 174
　モバイル持ち出し番組の録画…… 77
　モバイル持ち出し番組への変換…… 176
　端末機器にダウンロード…… 175

や

有料放送事業者……243
予約 …… 73

ら

ライブ配信 …… 175
ラジオ放送 …… 60
リージョンコード……279
リモコン…… 17
　乾電池の入れかた…… 23
　テレビ操作 …… 42
　ボタン名とはたらき …… 20
　モードの切り換え …… 42
　リモコンモード …… 43
冷却用ファン…… 19
レジューム機能…… 106
録画 …… 64
　一時停止 …… 96
　一発予約 …… 73
　イベントリレー
　（野球放送などの自動延長録画）‥ 103
　おまかせ録画 …… 84
　外部入力 …… 99
　自動追跡 …… 103
　代理録画 …… 101
　日時指定予約 …… 81
　番組検索 …… 79
　番組表予約 …… 75
　毎週／毎日録画 …… 76
　メディアについて …… 64
　予約が重なったとき …… 102
　予約スキップ …… 94
　予約の取り消し …… 95
　予約の内容を変更…… 93
　予約を確認 …… 91
　録画制限 …… 64
　録画の停止 …… 96
　録画モード …… 65
　録画モード変換
　（HDD の空き容量を増やす）…… 140
　録画予約一覧 …… 91
　ワンタッチタイマー …… 67

FUNAI

船井電機株式会社

EAY06JH
EAY05JH
EAY01JH
EAY00JH
バージョン：4.3